KEMBUNSHA'S ENGLISH SERIES

濱林生之助先生監修　英語普及會編

學生英文學選

各冊新四六判特製・定價80・送料6

譯註者は多年の經驗と蘊蓄とを有し，適切な然もこなれた譯を付し更に懇切な註と講義を施してある。

- フィフティ・フェイマス・ストーリズ講義
- サーティ・フェイマス・ストーリズ講義
- バイオグラフィカル・ストーリズ講義
- ラウンド・ザ・ワールド・ウィズ・フアーザ講義
- イソップ物語講義
- ロビンソン・クルーソウ講義
- グリムズ・フェアリ・テイルズ講義
- アラビヤン・ナイツ講義
- ストーリズ・フロム・シェイクスピア講義
- エスィックス・フォア・ヤングピープル講義
- テイルズ・フロム・シェクスピア講義　近刊
- スケッチブック講義　近刊
- ワンダ・ブック講義　近刊
- クオレ物語講義　近刊
- ハピプリンス講義　近刊

この廉價にしてこの内容

在學生も受驗生も本書により難關を突破せよ

斷然他の追從を許さゞる權威ある内容!!

健文社　東京・麹町區・飯田町　振替東京44864番

澤田總清・龍澤良芳・共編

自修受驗 新撰國漢叢書

各册四六判・美裝

本叢書は中等學生及び各種上級學校受驗生・高校生の最も要領を得たる參考書である。材料は現下最も使用されつゝある各教科書を基準とせる故諸君は豫習しつゝ優に受驗準備なもなし得るのである。

新撰	增鏡詳解	定價	.60
		送料	.06
新撰	徒然草詳解	定價	.60
		送料	.05
新撰	花月草紙詳解	定價	.60
		送料	.06
新撰	東關紀行・十六夜日記詳解	定價	.60
		送料	.05
新撰	平家物語詳解	定價	.60
		送料	.06
新撰	神皇正統記詳解	定價	.60
		送料	.05
新撰	荀子鈔詳解	定價	.60
		送料	.06
新撰	韓非子鈔詳解	定價	.60
		送料	.06
新撰	古文眞寶鈔詳解	定價	.60
		送料	.06
新撰	正續 文章軌範鈔詳解	定價	.60
		送料	.06
新撰	春秋左氏傳鈔詳解	近刊	
新撰	諸子鈔詳解	近刊	
新撰	漢詩鈔詳解	近刊	
新撰	史記鈔詳解	近刊	

好評嘖々◇在學生・受驗生の絶好伴侶!!

權威ある内容は斷然類書を壓す!!

健文社　東京・麹町區・飯田町　振替東京44864番

岡村書店出版圖書略抄

岡田朝太郎修	法學博士 監修	新六法全書	革製布製	定價 送各一・八〇
三輪義熹著		神代事蹟の大發見 神皇紀	定價 送料五〇	二・三〇
倉野憲司著	文學士	古代文學研究	定價 送料二〇	二・三〇
佐藤繁作著		徒然草講義	定價 送料一〇	一・三〇
清瀧一郎著	文學博士 加藤知正 鴻巣盛廣 序文	增鏡新講	定價 送料二〇	二・八〇
中村孝也 龜井孝 藤口祐 駒敬 序文	文學博士	平家物語新釋	上卷定價各二・八〇 送料各一・二〇	下卷
永田義直著	文學士	佐日記新講	定價 送料一〇	一・七〇
尾上八郎	文學博士	土佐日記新講	定價 送料一〇	一・七〇
永田義直著	文學士	伊勢物語新講	定價 送料一二	一・八〇
山田忠雄著		試驗によく出る英語の解釋法	定價 送料一二	一・八〇
佐伯有三著		分る樣に說明した英作文の書き方	定價 送料一二	一・八〇
本多孝一著		速成暗記 英語單語一萬五千	定價 送料一四	二・一〇
星野久成著		ユース・オブ・ライフ 全譯講義	定價 送料一五	二・二〇
大家序文 尾山篤治郎編	六	新選一萬歌集	定價 送料一〇	一・三〇
桑田春風著		現代手紙大鑑	定價 送料一五	二・二〇
岡田朝太郎監修	法學博士	最新六法全書	革製布製	定價 送各一・八〇
中島秀次郎著	帝國大學教授	代數學の獨力解決 學習本位 幾何學の獨力解決	定價 送料一六	二・一〇
同			定價 送料一〇	一・六〇
石上錄之助著		正式解法 算術熟達自修書	定價 送料一〇	一・八〇
神尾錠吉著		新式珠算教本	定價 送料七五	一・二〇
石上錄之助著		最も早い 珠算の彈き方	定價 送料八〇	一・二〇
梅田晴江著		新型毛糸編物のおしえ	定價 送料一〇	一・三〇
大妻コタカ閲 南雲ハツヨ著	大妻女學校長	新しい和服の仕立方	定價 送料一〇	一・三〇
大妻コタカ著	大妻女學校長	日常禮儀作法	定價 送料一〇	一・三〇
長谷川德三著	農學博士	育兒衛生 母の知識	定價 送料一〇	一・三〇
中村哲蔵	農學博士	實用 養鷄百科全書	定價 送料二〇	二・三〇
久田賢	農學博士	最近和洋 園藝十二ケ月	定價 送料一八	二・三〇
八畑匡山著		式辭演說大觀	定價 送料一五	二・二〇
東京朝日運動部 小出秀世共著		最新 野球實際の知識	定價 送料一〇	一・三〇
東京朝日運動部 小高吉三郎 上忠共著		現代ラグビーの見方	定價 送料八〇	一・二〇

京下 京平 市右 淺衞 草門 區町 岡村書店 電振 話替 淺東 草京 四一九 二〇五 二〇番

一六七

健文社

東京市・麹町區・飯田町 電話 九段 一五二八 番 振替 東京 四四五六四 番

歩一第の學勉は擇採の書良

★ 參考書として成績の位本内容 ★

好評嘖々たる名著敢て誇る——この内容とこの廉價

果然！學生界風靡セル名著！！！

書名	著者	定價	送料
改訂英文法所成ひ狙研究	助之松生林	1.50	8
新式英文和譯ひ狙研究	芳芳木木	.50	4
新式英和文譯ひ狙研究	芳峯木木	.50	4
根本的單語研究	一峯田田	.30	2
英語アクセント・讀方取方研究	編社田田	.30	2
立體幾何學問題研究	社社文文	1.00	6
平面三角學問題研究	編社文文	1.50	8
幾何學解法の日標線補助研究	二清島島	1.20	8
最新數學公式・數體・代數・平三角研究	編社文文	.50	4
物理學問題研究	雄邦岡岡	1.80	12
徹底せる化學本界語研究	雄次郎部	2.00	12
徹底せる日世物記遺文解文國釋史略語子	雄親田澤	1.80	10
簡簡落古式吉世かをる明明窪事部野國つ國明覺漢外史論孟	夫健橋野野田野野代代澤野野田澤	1.40	8
簡で位る本八譯譯	清總忠總總忠尚尚良二總良	2.80	12
日十全全	一忠尚貞貞良延延貞良郎郎清芳	2.30	12
歌	藤磯磯澤龍	1.50	8
紫	野野田澤	1.40	8
近玉	田澤龍	1.20	8
		1.20	8
		1.20	8
		1.00	8
		1.00	6
		1.20	6
		1.50	10
		1.50	10
		1.50	8
		1.50	8

れあ文注へ社本接直は節の切品切の店書地貴一萬。りあに店書國全

一六六

清野治間 榮えゆく道 〇・五〇 〇・〇八
清野治間 體驗を語る 〇・二〇 〇・〇四
清野治間 處世の道 〇・二〇 〇・〇四
清野治間 出世の礎 〇・二〇 〇・〇四
清野治間 修養雜話 〇・二〇 〇・〇四
本社編纂 交渉應對 座談術 一・五〇 〇・一二
本社編纂 美談逸話集 一・三〇 〇・一二
本社編纂 現代青年雄辯集 一・五〇 〇・一二
本社編纂 挨式辭挨拶 五分間演說集 一・八〇 〇・一〇
本社編纂 挨式辭挨拶 十分間演說集 一・八〇 〇・一二
本社編纂 テーブル・スピーチ 一・〇〇 〇・〇六
永井柳太郎氏大演說集第一集各第三集 一・五〇 〇・一〇

永井柳太郎 隈重信 〇・五〇 〇・〇六
武者小路實篤 二宮尊德 一・三〇 〇・一〇
武者小路實篤 大石良雄 一・三〇 〇・一〇
山中峯太郎 九條武子夫人 二・〇〇 〇・一三
澤田謙 ムッソリニ傳 一・二〇 〇・一二
澤田謙 エヂソン傳 一・三〇 〇・一二
澤田謙 世界十傑傳 一・三〇 〇・一二
鶴見祐輔 ナポレオン 一・二〇 〇・一二
鶴見祐輔 英雄待望論 〇・五〇 〇・〇八
小山莊一郎 猛獸境探檢記 一・三〇 〇・一二
本社編纂 新滿洲國寫眞大觀 一・五〇 〇・一〇
永井柳太郎 日本の決意 〇・五〇 〇・〇八

東本京郷 大日本雄辯會講談社 (振替東京三九三〇口座)

久米正雄 白夜は明くる 一・六〇 〇・一二
菊池寬 心の日月 一・五〇 〇・一二
菊池寬 仇討新八景 一・二〇 〇・一〇
中村武羅夫 嘆きの都 一・六〇 〇・一四
鶴見祐輔 子 一・八〇 〇・一四
鶴見祐輔 母 二・〇〇 〇・一二
賀川豐彥 一粒の麥 一・三〇 〇・〇八
小島政二郎 新版義士銘々傳 一・六〇 〇・一四
谷脇素文 川柳漫畫 いのちの洗濯 一・八〇 〇・一二
谷脇素文 川柳漫畫 うき世さま〴〵 二・三〇 〇・一二
平田晉策 われ等の陸海軍 一・三〇 〇・一四
山中峯太郎 敵中橫斷三百里 一・三〇 〇・一四

山中峯太郎 亞細亞の曙 一・三〇 〇・一四
西條八十 少女純情詩集 一・五〇 〇・一〇
西條八十 少年詩集 一・五〇 〇・一〇
波文話文例 八則吉 少年模範文 〇・八〇 〇・一〇
水田泡河 のらくろ上等兵 一・〇〇 〇・〇八
水田泡河 漫畫常設館 一・三〇 〇・一〇
水田泡河 漫畫の罐詰 一・二〇 〇・一〇
水田泡河 漫畫のお祭 一・三〇 〇・一〇
宮尾しげを 長靴の三銃士 一・三〇 〇・一〇
牧野誓大 日本人オイン 一・三〇 〇・一四
大佛次郎 リンカーン物語 一・三〇 〇・一二
池田宣政 プリュターク英雄傳 一・五〇 〇・一四
澤田謙 少年 一・三〇 〇・一四

東本京郷 大日本雄辯會講談社 (振替東京三九三〇口座)

柴田常惠 稻村坦元 編

埼玉叢書

全三冊 定價金十二圓 送料一冊十八錢

埼玉縣史編纂事務所に於て編纂せられ、縣の貴重なる資料は悉く此内に集まれる大寶庫と云ふべし。本書は全三冊の完成を見るに至ると共に埼玉縣知事より長くも天覽の榮を賜ふに至りたる光榮を有する叢書なり

山梨縣編 四六倍版百廿余頁 寫眞版アート紙兩面刷六十二枚

山梨縣名木誌

定價金三圓五十錢 送料十二錢

本書は山梨縣山林課に於て縣下の巨木、畸木、庭木等を調査し其の中最も顯著なる百五十余種を撰みて大さ、樹相等は元より其傳說文學等に至る迄詳細に記述したるもの、學者其他一般に歡迎せられつゝある近來の快著なり

三島政行先生編 菊版九ポイント活字・圖版多數挿入・全三卷 上製美本箱入・全三冊

葛西志

定價金八圓六十錢 送料一冊十二錢

本書は從來一部の稿本を東京府廳に祕藏して世に出でざりしを今度始て世に出でたる尊重すべき稀本にして、得難き葛西地方の史料なるべし。

柴田常惠監修 菊版二百余頁・挿畫廿九枚
高橋城司著 コロタイプ版及圖版七十枚

群馬縣史蹟名勝天然記念物調査報告(第一輯)

定價金二圓二十錢 送料十二錢

史蹟名勝天然記念物保存法に依り指定せられたる群馬縣下の史蹟及名勝は本書に依つて悉く闡明せられたり。

故福島武雄編 菊版六十余頁コロタイプ及圖版挿入多數

群馬縣史蹟名勝天然記念物調査報告(第二輯)

定價金二圓 送料十二錢

本書は上芝古墳阯及八幡塚古墳の二調査を載錄したるものにして昭和四年發掘調査せらるゝや考古學上貴重なる發見として當時中央及地方の學界を賑はしたり。

山梨縣編 四六倍版二百餘頁石版折込大圖二枚寫眞銅版凸版挿入多數

山梨縣史蹟名勝天然記念物調査報告(第五輯)

定價金二圓二十錢 送料十二錢

本書は非賣品たりしを特に縣當局の許可を得て一般に發賣することを得たり、部數僅少なれば速刻御申込を乞ふ

山口剛序・黎明居紫舟著 四六版布裝幀函入 極上美本總頁五百廿頁

俳句三十講

定價金貳圓 送料十二錢

忽再版、行き詰れる現俳句界に快刀亂麻的の藝術俳句指導書、靜かに過去の俳句を語り、熱心に今日より明日の文學的俳句の辿るべき方針を說く。季語・用語・作り方・味ひ方其他俳句に關する一切を說きたる書なれば眞實の俳句を求むる人・一般俳人・教育家等へ一讀をすゝむ。

黎明居紫舟編 菊半截布裝幀・總頁七百有余頁

新選俳句季語辭典

合本金二圓六十錢 送料十二錢

現代人の要求に依つて生れたる最初の全日本歲事記、解說詳に走らず簡に偏せず實に其中庸を得たるもの他に比類なし而かも季語類語は新舊漏らす所なく、これを北は樺太より南臺灣に至る迄悉く拾蒐して現代俳人の例句を挿入せり。尙分册注文に應ず。

春の部六十錢 秋の部六十錢(送料)
夏の部八十錢 冬の部六十錢(各四錢)

東京市淀橋區戸塚町一丁目十三番地 上田泰文堂 振替東京五五九四一番 電話牛込一八五九番

◇新刊と重版◇

東京神田 有斐閣 (振替東京三七〇番)

東大教授 法學博士 美濃部達吉先生著

評釋 公法判例大系

公法上のあらゆる問題に關する判例を學問的に系統を正して分類彙集し之に詳細なる說明と評論とを加へたものである。載錄した判例は主として大正元年より昭和七年迄の行政裁判所及び大審院の判例中行政諸問題に關するもので、上卷は博士の名著「行政法撮要(總論)」の部分の判例である。—(下卷續刊)

菊判上製 上卷金四・八〇 送料內地二二

東大教授 小野清一郎先生著

刑法講義

本書は多年の苦心に成れる刑法の體系的講義である。今回各論篇に最新の學說及び判例に基き增訂を加へ全部を改版され曩に發賣の總論と合して全一册となし發賣す。其の深刻にしてしかも簡潔なる理論は刑法を學ぶ者にとつて最もよき指導書である。

菊判上製全一册 金四・〇〇 送料內地二二

東大教授 法學博士 牧野英一先生著

重訂 刑事訴訟法

本書は前數回に亘りて增訂を加へられ實に六百頁の大著となれるものである。今回重版に際しては昭和七年より實施になれる刑事補償法の新法規に對し其要旨を簡潔に論じ、之を本書の卷末に加へて發賣せる最新版である。

菊判上製全一册 金四・五〇 送料內地二二

ドクトル・オブ・フイロソフイー
神戸商業大學教授
文部省英語教授顧問

竹原常太編

パーマ

發音擔任

ポケット型千三百頁
優良總羊革裝三方金
印刷鮮明・製本堅牢

定價金貳圓八拾錢
送料金十六錢

忽五十五版

スタンダード英和辭典

▲類書を壓して現代最高の標準を示せる

◆英和辭典界の大權威!!

各學校の指定辭書

本書の批評

スタンダード英和辭典はズット坐右に置いて愛用してゐますが、使へば使ふ程よく出來てゐるのに感心してゐます。新語殊に米の俗語の多く入れてあるは勿論、熟語成句の妥當なるものが實に豐富に取入れてある點全く驚く外はありません。此點丈けから言つても充分專門學校程度の學生用としても實に有用です。同種の他の辭書に比べて役立つこと數倍であります。徒らに語數の多きを誇つて編輯上に些かの良心も用ひてない粗雜な辭書の多い中に本辭典のみは不思議に光つてゐるので嬉しく思ひます。此樣な辭書こそ學生のみならず一般の人々にも敢て推奬し度いと思ひます……天理外語 永島教授

八大特色

（語數豐富）現代活用の單語・新語・熟語・成句の總てに亘り絶對的豐富を誇り得る實質的英和辭典である。

（熟語豐富）常用熟語・成句の收載數は如何なるポケット型は勿論、所謂大辭典をも遙かに凌駕してゐる。

（新語完備）新語の採錄と其の現代的正譯とは著者の實際文例研究の必然的結果であつて、正に卓越獨歩。

（實際文例）著者は曩に「和英大辭典」に於て實際應用文例の研究を大成し更に本書にも及ぼされた。

（發音記號）文部省顧問パーマ氏が全責任を以て萬國發音記號を記入せられた本邦唯一の發音公認の辭典である。

（順位指導）基本標準語一萬を別揭として一々其の重要順位を示し、卷末の標準語表は副讀本の效用を兼ねる。

（入試安全）本書により入試問題の單語は大凡豫想し得。試驗官にも受驗者にも良指針となる。

（價格至廉）本書一冊あれば中學一年より大學卒業迄活用自在一人一冊の最廉價である。

（見進本呈）大修館書店發行
東京市神田錦町三丁目
電話神田二七三九番
振替東京四〇五〇四番

文檢・中等教員・一般研究家・高等諸學校教科用の最適書

理學士	秋山武太郎氏著	訂正增補	幾何學つれづれ草	菊判特製函入	定價貳圓五拾錢 送料貳拾壹錢
理學士	秋山武太郎氏著		解析幾何講要	四六判特製	定價貳圓五拾錢 送料貳拾壹錢
理學士	秋山武太郎氏著	增訂改版	微分積分早わかり	四六判特製	定價壹圓五拾錢 送料拾五錢
理學士	根津千治氏著		微分積分學講話	四六判特製	改正定價八拾錢 送料六錢
理學士	根津千治氏著		解析幾何學講話	四六判特製	改正定價八拾錢 送料六錢
理學士	根津千治氏著		球面三角法講話	四六判特製	改正定價八拾錢 送料六錢
理學士	根津千治氏著		微分積分の講義	四六判特製	定價貳圓七拾錢 送料貳拾壹錢
理學士	北村友圭氏著		確率及最小自乘法	菊判特製	定價壹圓八拾錢 送料貳拾壹錢
理學士	北村友圭氏著		實用高等數學綱要	菊判特製	定價參圓 送料貳拾壹錢
理學士	北村友圭氏著		初等微分方程式附變分學	菊判特製	定價貳圓 送料貳拾壹錢
理學士	北村友圭氏著		統計數學	菊判特製函入	定價參圓五拾錢 送料參拾參錢
理學士	鈴木一郎氏著		高等數學十講	菊判特製	定價參圓五拾錢 送料貳拾壹錢
理學士	山崎榮作氏著		高等平面三角法	菊判特製	定價貳圓五拾錢 送料貳拾壹錢
理學士	河野德助氏著	增補改版	代數的解析論	菊判特製函入	定價五圓 送料參拾參錢
理學士	河野德助氏著	增補改版	最近微分積分學精義	菊判特製函入	定價五圓五拾錢 送料參拾參錢
理學士	田村明一氏著		高等化學計算法	四六判特製	定價貳圓五拾錢 送料拾五錢

內容見本挿入出版目錄進呈（送料貳錢封入御申込下さい）

發行所 東京市神田區通神保町六 高岡本店 振替東京二一四三二番 電話神田一二二八番

◇書叢方へ考◇

◆中等學校受驗準備諸君の爲めに◆

藤森良藏	中等學校受驗準備 算術學び方 考へ方と解き方	價	一・三〇
		送	・〇六

◆中學初年級生諸君の爲めに◆

藤森良藏	增訂新版 代數初步學び方 考へ方と解き方講義		一・一〇
			・〇六
藤森良藏	幾何初步學び方 考へ方と解き方講義		一・〇〇
			・〇六
塚本哲三	漢文初步學び方 考へ方と解き方講義		一・〇〇
			・〇六
塚本哲三	國文初步學び方 考へ方と解き方講義		一・〇〇
			・〇六

◆中學上級生並に受驗生諸君の爲に◆

藤森良藏	三訂改版 代數學び方考へ方と解き方 上卷		一・一〇
			・〇八
藤森良藏	三訂改版 代數學び方考へ方と解き方 下卷		・九〇
			・〇六
藤森良藏	三訂新版 幾何學び方考へ方と解き方 正編		一・二〇
			・〇八
藤森良藏	訂正 幾何學び方考へ方と解き方 續編		・九〇
			・〇六
藤森良藏	訂正 三角法學び方考へ方と解き方		一・〇〇
			・〇六
藤森良藏	カード式代數學び方考へ方と解き方 第一卷		一・〇〇
			・〇八
藤森良藏	カード式代數學び方考へ方と解き方 第二卷		・八〇
			・〇八
藤森良藏	カード式代數學び方考へ方と解き方 第三卷		・八〇
			・〇八
塚本哲三	三訂新版 漢文學び方考へ方と解き方		一・三〇
			・〇八
塚本哲三	新訂第四版 國文學び方考へ方と解き方		一・〇〇
			・〇八
塚本哲三	三訂新版 作文學び方考へ方と解き方		一・二〇
			・〇八
野原三郎	英語學び方考へ方と解き方		一・三〇
			・〇八
野原三郎	英語基本單語集		一・〇〇
			・〇六
野原三郎	英語問題撰集		一・三〇
			・〇六
宮坂三重	物理計算法學ビ方考へ方ト解キ方		一・三〇
			・〇六
近藤音三郎	改訂增補 物理學學び方考へ方と解き方講義		一・五〇
			・〇八
近藤音三郎	增補 化學學び方考へ方と解き方講義		一・三〇
			・〇六
近藤音三郎	化學計算法學び方考へ方と解き方講義		・五〇
			・〇四
下泉重吉	動物學學び方考へ方と解き方		一・三〇
			・〇六
植松七九郎 塚本哲三	カード式 英文和譯學び方考へ方と解き方		・八〇
			・〇八
塚本哲三	カード式 書取及文法學び方考へ方と解き方		・八〇
			・〇八
藤森良夫	解析幾何學び方考へ方と解き方	四月刊行	
藤森良藏	數學問題練習カード		・五〇
			・〇八
塚本哲三	國語漢文問題練習カード		・五〇
			・〇八
藤森良藏	受驗者の取るべき道		一・三〇
			・〇六
尾澤金衛	增補 高等學校專門學校 寮歌集（樂譜付）		・六〇
			・〇六
帝大新聞	高等學校——進路と展望		一・〇〇
			・〇六
今井登志喜 今井克積	西洋歷史學び方考へ方と解き方		一・五〇
			・〇八

社究研方へ考

東京市神田區一ツ橋通リ町二
振替口座東京三六六一〇番

帆足理一郎個人雜誌 人生

毎月一回一日發行
定價 一冊 金十五錢
半年送料共 九十錢
一年送料共 一圓七十錢

人間は宇宙の極小一點、而も全宇宙にその思想的全景を展開し、情意的に之を把握しうる不思議な存在だ。我等は過去經驗の與材を詮じつめて、將來の理想を建て、理想を實現せんと努力する處に人生の價値を創造し、意味を生産する。今日この混亂溷濁せる我國の思想界において健全なる生活原理ほど、その必要を痛感させるものはない。茲に私が個人雜誌を刊行しつゝあるとする趣旨はこの適切なる要求に應じて、私の人生觀を披瀝し、更に古今聖賢の人生理想を讀者に紹介せんがためだ。私は月々諸君に見えて、私の立場から自由に人生の諸問題を論述し、兼ねて社會の種々相を論評してゐる。昭和六年六月第一號創刊以來月々愛讀者を增加しつゝあるは感謝に堪えない。

帆足理一郎

新生堂刊行帆足理一郎著譯目錄

宗教と人生	（三十一版）	一、五〇 一〇
哲學と人生	（十七版）	一、五〇 一〇
社會と人生	（十版）	一、五〇 一〇
教育と人生	（七版）	一、五〇 一〇
死生と宗教	（十三版）	一、五〇 一〇
優越の世界へ	（五版）	一、五〇 一〇
精神生活の基調	（十一版）	一、五〇 一〇
人生詩人 ブラウニング	（七版）	一、五〇 一〇
哲學概論	（四十二版）	二、五〇 一四
教育哲學概論	（十版）	三、〇〇 一四
教育改造論	（三版）	一、二〇 八
ミルトン 失樂園 上卷	（三版）	三、〇〇 一四
同 下卷	（新刊）	三、五〇 一六
ミルトン 失樂園 畫集	（帆足解說）	三、五〇 一四
イエスの生活原理	（最新版）	一、五〇 一〇

新生堂
東京・神田・北神保町
振替東京六六二七三
電話九段
三八二二番

東京高等師範學校前教授 北垣恭次郎先生著

第八版

地理文庫 日本の誇

（地理教授の最高指標）

名著全九册完成

關東	卷一	定價一圓二十錢
中國・四國	卷五	定價一圓七十錢
奧羽	卷二	定價一圓二十錢
九州	卷六	定價一圓八十錢
中部	卷三	定價一圓七十錢
北海道・樺太	卷七	定價一圓八十錢
近畿	卷四	定價一圓七十錢
臺灣・南洋	卷八	定價一圓八十錢
朝鮮・關東州（滿鐵沿線滿洲問題）	卷九	定價二圓二十錢

研鑽八年實地踏査の上執筆せられた權威書

發兌 東京市京橋區入船町 振替東京一八五一三 明治圖書株式會社

ウキヨラー内史

第一輯 第二輯 （以上既刊）

澁井清著

浮世繪は日本が世界に誇る一大藝術であるだが嘗つて我々は、日本が生んだこの民衆藝術の眞髓に觸れる機會を與へられなかつた。會本と云はれ春畫と云はれ、頑ななヴエールに閉ざされてゐたその赤裸の全姿はこの研究に半生を捧げつゝある澁井清氏の手に依つて今や遂に編纂公開さるゝに到つたのである。人間眞髓の世界的秘境はその扉を開いて諸君の前に現れたのである。

第一輯 收容異書百十三種・圖版三百圖
第二輯 收容異書百三十種・圖版三百余
菊倍判・全アート紙
フランス綴・美術裝
幀鮮明無比二色印刷

定價各輯 三圓七十錢 送料内地卅三錢

東京・下谷・池之端仲町五
振替東京八〇六九六番
電話下谷二六五一番

大鳳閣書房

生田蝶介著　十一版　四六判　定價二圓二十錢　二八二頁　送料十錢

短歌文法七十講

古今數千の歌例により短歌の眞諦を悟るに緊要なる文法を明解し助動詞動詞接尾語副詞につき詳細なる研究を遂げてゐる等全く他に類を見ず初學の士にも作歌の正道を歩ましむる古今獨歩の好著である。

生田蝶介著　定價二圓二十錢　送料十錢

短歌用語小辭典

和歌の詞の内容、隆影、ひゞきを知ることは作歌並に其の解釋上最も重要である

窪田空穗　松村英一共編　定價三圓八十錢　送料二十二錢

德川時代和歌の研究

德川時代に於ける和歌につき其の全般に亘つて細密なる研究を遂げたるもの

文學博士　吉澤義則著　四六判箱入　美本　定價一圓五十錢　送料十錢

國語史概說

本書は國語學の一部門としてその歷史的研究の方面を受持つた我國最初の研究書にして、國語の音韻、語彙、語法等の上に如何なる變遷を經て現代に至れるかを明にしたものである。本書は、高等專門學校の教科書とも、また參考書ともなるやう、國語史の大體を述べたものである。

東京市京橋區銀座西二ノ一
立命館出版部
振替東京七五三六二

生田蝶介	作歌入門	二・二〇 稅・一四
生田蝶介	昭代一萬歌集	二・四〇 稅・一八
生田蝶介	百人一首の講義	一・五〇 稅・一二
橋田東聲	短歌初學	一・五〇 稅・一〇
北原白秋	青年日本の歌	一・五〇 稅・一〇
尾山篤二郎	短歌論攷	二・二〇 稅・一二
大井廣	南窓歌話	一・五〇 稅・一〇
川田順	新古今集の鑑賞	一・五〇 送・一〇
生田蝶介	日本和歌史	二・二〇 稅・一二
太田亮	家系々圖の合理的研究法	二・五〇 稅・一四
吉澤博士	國語說鈴	三・八〇 稅・二〇
吉澤博士	徒然草諸抄大成	五・三〇 稅・二二
吉澤博士	異本徒然草	一・二〇 稅・一〇
田中健三	國語國文法の理論と演習	一・八〇 稅・一〇
田中健三	國文法概說	一・七〇 稅・〇八

松本仁著　四六判箱入　上製美本　定價一圓五十錢　送料十錢

俳句表現辭典

本書は近代俳句に現はれてゐる樞要缺くべからざる語句を五十音順に摘錄、配列し其の各に簡にして要を得たる解說を施し、各其の語句の活用、表現されてゐる作品を例句として示してゐる、本書は巖谷小波先生の校閲に成れるものにして最も象徵的なる短詩型、俳句藝術にあつてその横溢する句興と句意とを述ぶ。

松本仁著　定價一圓五十錢　送料十錢

俳句文法六十講

本書は俳句にあらはれたる助動詞、助詞、副詞、接尾語、感動詞の重要なるものを解く。

川田瑞穗著　定價三圓五十錢　送料十四錢

詩語集成

本書は其の獨特の編纂法と完全なる類別により古今數千年無限の詩語は一目瞭然たり。

鷹取岳陽著　四六判上製　四二〇頁　定價二圓二十錢　送料十二錢

漢詩入門

平易なる言葉を以て漢詩の作法を說き而も其全般に亘つて完璧餘す所なきは、本書の特色である。之に加ふるに著者獨特の興趣ある行文を以てし一讀漢詩作法の妙諦を得せしむ。「月落烏啼霜滿天」。「江村漁火對愁眠」。「姑蘇城外寒山寺」。

西谷碧落居	俳句新釋	一・五〇 稅・一〇
荻原井泉水	俳句の道	一・五〇 稅・一〇
西谷碧落居	芥川龍之介論	一・五〇 稅・一〇
荻原井泉水	新俳句提唱	一・五〇 送・一〇
井手逸郎	明治大正俳句史	一・五〇 稅・一〇
大門富之助	勸業債券の話	一・八〇 稅・〇八
片山繁雄	金及通貨論	二・八〇 稅・一四
神戸博士	赤字時代の財政諸問題	一・八〇 稅・一〇
神戸博士	地方稅改革問題	一・〇〇 稅・〇八
神戸博士	滿洲國の財政經濟	一・〇〇 稅・〇八
谷口吉彥	米專賣の問題	一・五〇 稅・〇六
蜷川虎三	漁村問題と其對策	一・五〇 稅・〇六
大谷政敬	農村經濟の窮乏と對策	一・五〇 稅・〇六
佐久間貞次郎	支那風俗春秋	二・八〇 稅・一四
角田音吉	支那女流詩講	一・八〇 稅・一二

東京市京橋區銀座西二ノ一
立命館出版部
振替東京七五三六二

明文堂

東京・神田・錦町一
振替東京一三一九〇

★大阪毎日・東京日日新聞社編（昭和七年版）
日本産業美術年鑑　價送 三・五〇 三三

★工藤彌九郎著（第三卷）
熱帶植物寫眞集　價送 二・五〇 一二

★小林英一著
藥用植物と家庭療法　價送 二・〇〇 一二

中澤辨次郎著

日本米價變動史

定價 六・八〇
送料 三三

——菊判洋布六〇〇頁・口繪寫眞六圖・本邦貨幣圖七〇版・函入——

肇國の劈頭以來、わが瑞穗の國の歷史は、亦米價變動史上の歷史に盡される。げに米穀は、わが國民生活一切の中心であつた。本書は米價を中心とする社會諸般の史的展望を背景として、米穀及び米價のもつ社會的重要性を、各時代の生產關係に於て把握し、加ふるに現代科學の許す最大限度の諸般なる知識の領域から、悉く根據すべき數字に照合して古代より現代特に昭和七年末迄の記錄を尨大六百頁に大成した學界稀有の勞作である。就中明治以降に於ける東京・大阪並に地方十六大取引所の精確なる年次月別相場（正米・定期—當・中先限—相場）及び價格構成の諸要素の分析、之に加ふる米價關係政治・經濟・社會情勢等の詳述は、正に先人未檢の領野を啓明したもので、之等各般の相關々係に於てのみ近代に於ける米價變動は、具體的實證的に把握される所以を說いてゐる。

武田總七郎	實驗・稻作新說	定價四・五〇　送料三三
武田總七郎	實驗・麥作新說	定價六・五〇　送料四五
門多榮男	滿蒙商取引總覽	定價三・五〇　送料二一
鎌田正忠	農民心理の研究	定價一・八〇　送料一二
近藤康男	蠶絲業統制論	定價一・八〇　送料一二
志村茂治	生絲市場論	定價三・五〇　送料三三
纐纈理一郎	生理植物學	定價七・八〇　送料四五
里正義	乳學	定價一二・〇〇　送料五七

陸軍大學教授　宮島吉敏　矢野藤助　共著

ポケット支那語辭典

尚文堂版

—特價提供—　特價 二圓半

俄然大好評　八大特色

勿三萬部突破

各學校指定辭書
各大學・專門學校
各地高商・中商學校

支那語學會推賞

語彙八萬語
譯語正鵠
各語發音付
檢索至便
輯錄廣範圍
裝幀優美
紙質精選
價格至廉

總羊革・頗美裝・紙數八百頁
定價二圓八〇錢　送料六錢

——內容見本贈呈——

忽八版　奈良一雄先生新著　ポケット滿日會話　全然滿洲語を知らずして渡滿する人々の必携書。　袖珍型美本　定價二六〇頁　八〇錢　送四錢

新刊忽四版　矢野藤助先生著　支那語作文　支那語の能動的創作的研究書。　四六判　定價九〇頁　五〇錢　送六錢

近刊　大阪商科大學教授奥平定世先生著　ザイデル簡易支那語文典　四月下旬愈々發賣

出版目錄贈呈

東京市神田區南神保町二八
尚文堂發行
振替東京一九三四四
電話九段一七五四

模範 佛教辭典

新時代に輝く佛教辭典

監修
帝大名譽教授 文學博士 井上哲次郎
大正大學々部長 文學博士 椎尾辨匡
駒澤大學長 文學博士 忽滑谷快天
史料編纂官 文學博士 鷲尾順敬
東洋大學前學長 文學博士 境野黃洋

専門大家分擔執筆

文學博士笹川臨風先生推薦して曰はく

佛教語義の深長にして難解なる、一般民衆の容易に窺知すべきところではない。故に佛教辭典の發刊せられたるもの少きにあらねど、大辭典は煩瑣にして、小辭典は簡單に過ぐるの憾がある。其弊を拯はんが爲めに生まれた東方書院發刊の本書は、教理・儀式・藝術・史傳・典籍等の各般に涉り、細大漏らさず、深長難解の語彙を極めて平易に釋明し、極めて通俗に、極めて平易に釋明し、估價至廉にして、佛教の各家庭は方に一本を備へて、東洋文化の基くところを深く味ふべきである。佛教國日本のこれ獨り過去の讃美はなくして、將來向上の一途である。

本辭典の特色

▲現代語にて解釋をなし、平易を旨とす
▲一の宗派に偏せず、各派に亘る教義、歷史、美術、傳記、遺蹟、典籍、儀式等の各部門を網羅す
▲語彙の配列を實用的とす
▲寫眞版を多く入れ佛教美術研究の資料とす

菊判千二百頁、口繪原色版一個、寫眞版二〇四個、總六號活字三段組、背及角革、パックラム最上裝幀、金文字金模樣入、天金豪華版

佛教辭典として、本辭典ほど多くの賣行を見たものはない。實に佛教を現代に甦らせたものは、本辭典なりと云つても過言ではない。一日も早く手にして佛教の眞髓に觸れられよ

定價金拾圓
特價
金七圓五拾錢
送料 東京市内十二錢 地方四十五錢

東京ツ橋 東一市神通田町 方書院
振替東京六六八一一 電話九段三八四二

養賢堂發行新刊書目

東北帝國大學教授・理學博士 吉井義次著 植物學大要 菊判布裝全一冊・四百數十頁 正價三圓九十錢・送料三十三錢

大原農業研究所長・農學博士 近藤萬太郎著 日本農林種子學 菊判布裝・上卷四圓八十錢・下卷七圓二十錢 全二冊 送料各三十錢

盛岡高等農林教授・農學博士 小野寺伊勢之助著 肥料學各論 菊判布裝・上卷三圓八十錢・下卷三圓五十錢 全二冊 送料各三十錢

臺北帝國大學教授・農學博士 田中長三郎著 柑橘の研究 菊判布裝全一冊・四百五十頁 正價金四圓・送料三十三錢

盛岡高等農林學校・教授 定盛兼助著 果樹剪定論 菊判布裝全一冊・四百數十頁 正價三圓八十錢・送料三十三錢

鳥取高等農林學校・助教授 久保佐久美著 農業經營方式 菊判布裝全一冊・二百五十頁 正價二圓三十錢・送料二十一錢

農學博士・林學士 鈴木茂次著 農村副業大成 菊判布裝全一冊・四百八十六頁 正價二圓九十錢・送料三十三錢

農林省林業試驗場・技師 北島君三著 樹病學及木材腐朽論 菊判布裝全一冊・五百三十頁 正價四圓八十錢・送料三十三錢

古河理化研究所技師・工學士 渡邊幸吉著 農業藥劑提要 菊判布裝全一冊・三百二十頁 正價三圓五十錢・送料三十三錢

三重高等農林教授・林學士 關谷文彥著 木材工藝論 菊判布裝全二冊・四圓八十頁 正價四圓八十錢・送料三十三錢

仙臺高等工業教授・工學士 南日實著 材料強弱及彈性學 菊判布裝全一冊・五百十頁 正價金五圓也・送料三十三錢

九大教授 宮崎博士閥・大塚眞夫著 電氣材料學 菊判布裝全一冊・二百數十頁 正價二圓八十錢・送料二十一錢

發兌 養賢堂 東京振替 麹町區元園町一の七 電話九段 六三九番 〔二五七〇〇番〕

ヴン・デ・ヴエルデ著　醫學士　楨次雄譯

夫婦に於ける受胎

完全なる夫婦　第三部作

四六版・上製
五百頁・函入
定價　三・五〇圓
（送料　二〇錢）

内容目次概要

第一篇　根本的態度
第一章　序論——倫理學的及び神學的觀察方法に對する態度
第二章　本問題の人間社會、人種及び民族に對する意義
第三章　個人的見地より觀察したる問題
第二篇　望ましき姙娠の成功
第四章　生殖生理學
第五章　性交の姙娠促進技巧
第六章　女性に於ける不姙（第一部）
第七章　女性に於ける不姙（第二部）
第八章　女性に於ける不姙（第三部）
第九章　男性の除萎（第一部）
第十章　男性の除萎（第二部）
第十一章　人工姙娠
第三篇　欲せざる姙娠の豫防
第十二章　序言——受胎と姙娠に就て、精蟲の殺菌
第十三章　受胎回避の性交方法
第十四章　避姙の手段と方法
第十五章　最後的手術による不姙化
第十六章　一時的不姙化の手術
第十七章　一時的不姙化の生物學的方法
第十八章　レントゲン及びラヂウム照光に依る不姙化
第十九章　回顧と結論

ヴン・デ・ヴエルデ　夫婦に於ける性愛　定價　一・二〇圓（稅六錢）

マリー・ストープス　避姙の研究　定價　一・二〇圓（稅八錢）

平野書店
東京市本郷四丁目十七番地
振替東京七六九〇六番
電話小石川八〇七四番

權藤成卿先生編著　〔四六版・特製〕　附錄—年表七〇頁

八隣通聘攷

定價　上卷　二・〇〇圓
　　　下卷　一・五〇圓
（送料各一五錢）

本邦に史書多し!!　と雖も、本書を讀まずして國史を語る勿れ!!

本書は、本邦唯一の制度研究家——權藤家數代に亘る苦心研究の結果に、更に現代稀に見る碩學、成卿先生が研究を加へ、補批續修されたものである。

本書は、我國上世出雲氏の時代より、中世足利氏の滅亡に至る間、本朝史のみならず、支那・朝鮮の史記・史實を詳細に參照し、八隣諸國との諸關係より見たる我國中世以前の國情が極めて明瞭となり、祖國日本の正確なる認識に とつて不滅の聖書である。特に、附せられた年表は、先生獨自の研究になり、國史研究に貢獻する所大なることを信ず。日本國民たる者、必讀せよ。（全十三章、四十一節、附—年表）

祖國日本の不滅の聖書!!

權藤成卿校訂
訓釋　南淵書

定價　一・〇〇圓
（送料一五錢）

大化改新の淵源たる本書!!　官僚學者は多く是れを否定し、民間學者は皆な是れに贊同す!!

東京市本郷四丁目拾七
平野書房
振替東京七六九〇六番
電話小石川八〇七四番

ローマ字圖書

末弘嚴太郎・土岐善麿・福永恭助・H・E・パーマー・田中館愛橘・田丸卓郎・兒山敬一等諸名士執筆
國字問題研究パンフレット〔一組七册 四六・二七〇頁〕 七〇錢 〒八錢

田丸卓郎博士著 **ローマ字文の研究** 第三版〔四六版・三四四頁〕 一五〇錢 〒十錢

廣島文理科大學教授 佐伯功介著 **各國語に於るローマ字の使ひ方**〔四六版・一二七頁〕 六五錢 〒六錢

文部省ローマ字調査會臨時委員 文學士 菊澤季生著 **國字問題の研究** 再版〔菊版・二八二頁〕 一五〇錢 〒十四錢

田丸卓郎博士著 **ローマ字國字論** 第三版第五刷〔四六版・四〇三頁〕 一二〇錢 〒十錢

福永恭助著 **國語國字問題** 再版〔四六版・二八〇頁〕 九五錢 〒八錢

ローマ字雜誌

月刊 **ローマ字世界** 定價二十錢 〒〇・五錢
國語國字問題研究及趣味豐かな高級雜誌！

月刊 **ローマ字の日本** 定價五錢 〒〇・五錢
國字改良運動ニュース・國字論解說の青年新聞！

月刊 **日本とアメリカ** 定價十五錢 〒〇・一錢
中等學生向面白い記事滿載の大形雜誌！

月刊 **ローマ字の友** 定價五錢 〒〇・五錢
ローマ字講義・名士の御話・海外ニュース等の少年少女新聞

誰にも書ける **ローマ字看板集** 送共 二四錢
帝大ローマ字會 **ローマ字年報** 送共 二四錢
外人向日本語學習書 **英文・日本語袖珍** 送共 一二二錢
土岐善麿編 **短編小說集** 送共 一八八錢
神原泰譯 **ビリチスの歌から** 送共 五二錢
早川桂太郎作 **桃色の眞珠** 送共 一〇八錢
文部省認定 **西洋物語** 送共 四四錢
文部省認定 **西洋歷史噺** 送共 四四錢

ローマ字理學書

池野成一郎 **實驗遺傳學** 送共 五二二錢
田丸卓郎 **振動** 送共 一五八錢
寺田寅彦 **海の物理學** 送共 一八八錢
末松直次 **植物病理學** 送共 一九二錢
椎尾嗣 **數學の土台** 送共 三三四錢
田丸卓郎 **力學の教科書** 送共 三一四錢
永雄節郎 **荷役の機械** 送共 七〇二錢
荒川文六 **電氣工學の實驗** 送共 五七二錢

---

(1) 芳賀矢一博士・田中館博士・田丸博士・合著
ローマ字讀方
文部省認定 105.000冊發行 定價8錢〒2錢

(2) 田丸卓郎博士著
ローマ字模範讀本
17.000冊發行 卷一・定價15錢〒2錢
7.000冊發行 卷二・定價20錢〒4錢

圖書目錄 三錢切手二枚封入御申込み次第御送り申します

大取次店 東京堂・上田屋・北隆館・大東館・東海堂・文林堂・丸善・

新しく **國定英語教科書に採用される・全國都市小學校協議會決定のローマ字綴方！**

(3) 八高ローマ字會編
日本ローマ字讀本 50.000部發行 定價15錢〒2錢

(4) 本社編・名士筆跡入り
ローマ字習字帳 25.000部發行 定價15錢〒2錢

(5) 法學士・經濟學士・鬼頭禮藏著
ローマ字おさらひ讀本 新刊2.000部發行 定價20錢〒4錢

(6) 東京朝日新聞社調査部長・土岐善麿著
女子ローマ字讀本 3.000部發行 定價45錢〒4錢

學習程度 (1)尋四以上(2)(3)(4)尋五・六以上(5)高等科・中等學校初年級用(6)女學校二・三年向

頁數
(1)四・六・34頁
(2)卷一・四・六・40頁 卷二・四・六・87頁
(3)四・六・67頁
(4)四・六・倍・20頁
(5)四・六・137頁
(6)五・六・61頁

陸海軍省中央氣象台等制式による文部省認定の ローマ字教科書

「ローマ字を敎へないで尋常科を卒業させることは慘酷だ！」雨天體操・夏休等を利用して盛にローマ字が敎へられる。文部省も勿論之を認めて居る。市內及び支部所在地では奉仕的講習によつて一年に一萬五千の小學生がローマ字を學んで居る。

獨習用・敎師敎授用

▷文部省認定◁

芳賀・田中館・田丸・三博士 合著 **ローマ字獨りげいこ** 25錢 〒4錢
文學士・工學士 菊澤季生著 **ローマ字の學び方** 35錢 〒4錢
法學士・經濟學士 鬼頭禮藏著 **曙ローマ字讀本** 30錢 〒4錢
大形70錢 〒14錢 **ローマ字掛圖** 小形15錢 〒14錢
田丸博士著 **小學校とローマ字問題** 20錢 〒2錢
N.R.K.兒童敎育部編 **ローマ字敎育參考資料(1)** 5錢 〒2錢

文部省管轄・財團法人
日本のローマ字社
東京市・麴町區・有樂町・一丁目・三柏ビル・四階・振替東京21504
電話 丸ノ內(23) 4037

小林房太郎先生著

世界地名大辭典

四六倍判六號四段組
總クロース背皮
最上製函入
800頁
上卷定價拾圓
書留送料三十三錢

地理學界の豫望大成す
世界地理の最高原據

★最新最要の取材
★純科學的な記述
★範圍の豊富正確
★簡易連絡的說明
★編輯法の斬新

上卷發賣

地名辭典の貧困は現代出版界の持つ一大欠點である。然も地理研究の上に地名辭典の必要不可缺の事たるや明なり。本書はその組織規模、內容の充實、全ての點に於て世界に類例なき大地名辭典である。地球上のあらゆる地名と地理を、全三冊に壓縮せる本書は、全世界の地理的知識の寶庫であり、世界地理研究上の最高の原據である。【中卷三月・下卷六月完成】

內容見本進呈

東京市神田區表猿樂町二
振替東京五七五七番
株式會社 南光社

文學博士・中山久四郎監修

詳解國漢文叢書

四六版・各冊定價金三十五錢・送料四錢

1 徒然草	2 增鏡	3 平家物語	4 大學・中庸 近思錄	5 孟子	6 太平記	7 方丈記	8 近古史談	9 論語	10 神皇正統記	11 玉勝間	12 十六夜日記 土佐日記	13 花月草紙 櫻園文集	14 唐宋八家文 續文章軌範	15 東西遊記	16 言志四錄 愼思錄
17 樂訓文訓	18 大鏡	19 東關紀行 東海紀行	20 十八史略 上	21 史記列傳	22 日本外史 上	23 小學	24 奧の細道 鶉衣	25 琴後集 泊洒文藻	26 十訓抄 宇治拾遺物語	27 保元平治物語	28 枕の草紙	29 鈴屋集 菅笠日記	30 うけらが花 藤簍冊子	31 十八史略 下	32 文章軌範
33 日本外史 下	34 折たく柴の記 藩翰譜	35 年々隨筆 雨月物語	36 常山紀談 駿臺雜話	37 日本政記論文	38 韓非子	39 雲萍雜志 梅園叢書	40 蒙求	41 近代名家漢文選	42 近世名家文選	43 竹取物語 伊勢物語	44 芭蕉俳句集	45 百人一首	46 荀子	47 先哲叢談	48 孝經・禮記

東京市神田區表神保町八番地
芳文堂
振替東京五九六五番
內容見本圖書目錄無代進呈

圖書目錄進呈

基督教社會經濟倫理	神原雅治（懸賞當選）著	新刊四六版四〇〇頁	上製箱入	定價一圓五十錢 送料十二錢
イエス —第十二版—	本田正一（懸賞當選）著	四六版二八〇頁	上製箱入	定價上製一圓 並製五十錢 送料十錢 送料八錢
世界の現勢と基督教	モット博士著 齊藤惣一譯	四六版四五〇頁	上製箱入	定價一圓八十錢 送料十四錢
新社會建設のため（祈禱書）	ラウシエンブッシュ著 栗原基譯	菊半截二〇〇頁	上製箱入	定價八十錢 送料六錢
イエスの宗教とマルキシズム	丸大教授 今中次麿著	四六版二〇〇頁	上製箱入	定價一圓 送料八錢
日本人の觀たる基督	青山學院教授 松本卓夫編	四六版二五〇頁	上製箱入	定價一圓 送料十錢
愛の神學	立教大學教授 村尾昇一著	四六版二四〇頁	上製箱入	定價一圓 送料八錢
舊約文學のユートピア思想	東京女子大學教授 渡邊善太著	四六版二四〇頁	上製箱入	定價一圓 送料八錢
青年指導の原理と實際	文學士 鈴木榮吉著	四六版三〇〇頁	上製箱入	定價一圓 送料八錢
近代基督教思想史	マッギフアルト著 栗原・有賀共譯	菊版二〇頁	上製箱入	定價五圓 送料二十四錢
現代科學思想と基督教	カノン・ストリイター著 村尾昇一譯	菊版五〇頁	上製箱入	定價三圓五十錢 送料二十錢

發兌 東京市神田區美土代町 東京YMCA内 基督教思想叢書刊行會 振替東京四三七九一番

◆警醒社藏版書◆

にげゆく想い	浦口文治著	◇	定價送料	四〇四
舊約物語	夏木亮著	◇	定價送料	一、五一二
聖地パレスチナの今昔	海老澤亮著	◇	定價送料	八〇六
創造的禮拜	ブリントン・岩橋武夫共著	◇	定價送料	八〇六
伏屋の曙	座古愛子著	◇	定價送料	七〇六
求安錄	内村鑑三著	◇	定價送料	七〇六
基督信徒の慰め	内村鑑三著	◇	定價送料	五〇四
日蓮上人を論ず	内村鑑三著	◇	定價送料	五〇四
天路歷程	バンヤン作 松本雲舟譯	◇	定價送料	二、〇〇〇一四
病者の福音	武本喜代藏著	◇	定價送料	七〇六
新約聖書ロマンス	ロバトスン著 福田君子譯	◇	定價送料	一、三〇〇一〇〇
見る	吉田清太郎著	◇	定價送料	六〇六
神を		◇	定價送料	二五、〇〇〇三六
基督教大辭典	高木壬太郎著	◇		

東京市京橋區木挽町五ノ四 警醒社 振替東京五五三七番 電話銀座一五八七番

目錄贈呈

諸氏の御希望により、各編とも堅牢・典雅な保存版が出來ました。定價三〇錢增

基督教教程叢書

横濱バプテスト教會牧師 橋本正三著 新刊

VII イエス傳

保存版	〇・八〇
紙裝	〇・五〇
送料	〇・〇四

發兌 日獨書院株式會社

東京・本郷・一ノ一六
電話・小石川(85)三七三
振替・東京六二六五六

		價	送
II 新約文學序說	青山學院神學部教授 松本卓夫著 再版	.50	.04
III 基督教の本質	日本神學校教授 桑田秀延著 四版	.70	.06
IV 讃美歌小史	讃美歌改訂委員 由木康著 再版	.60	.60
V 概說教會史	青山學院神學部教授 氣賀重躬著 再版	.70	0.6
VI 日本基督教史要	青山學院神學部教授 比屋根安定著 再版	.70	.06

三三年度上半期上梓豫定書

關西學院教授 河邊滿甕著 概說舊約地誌
日本神學校教授 村田四郎著 パウロ思想概說
明治學院教授 都留仙次著 舊約文學序說

文學士・小林一郎譯著

國譯新註妙法蓮華經

裝美絹	¥4.50
白判	¥ .18
價料	
定送	

(內進容見本呈)

法華經八卷廿八品を國譯し假名をつけ俗人でも讀で理解し得る樣、詳な說明を加へ此の經の深義を信解せしめんとしたものである。法華經は單に衆生成佛の道を示したのみならず末法の世、人心極度に險惡となつた時、之を救ふ唯一の經典である。

附 ▽無量義經梗概 ▽佛說觀普賢行法梗概 ▽法華經概說

中大教授・小林一郎著

實踐倫理講話

裝洋判	¥3.50
六價料	¥ .14
四定送	

(一)倫理教育の任に當る人の最もよき參考書。(二)青年指導の任にある人の最もよき案內書。(三)檢定試驗の準備を爲す人の最もよき成功の鍵。(四)人生問題に就て深慮する人の最もよき相談相手。(五)高等學校專門學校教科書參考書。

例言の中から □世間は極めて複雜である。此の複雜なる世間に立つて、如何したなら生きがひのある一生を送つて行くことが出來るであらう。余は此の問題に就て平生いろ〳〵に考へて見た、云云。

文學士中島萬次郎・松岳謙一共著

論理學

裝洋判	¥2.50
六價料	¥ .14
四定送	

一般論理學の包含する重要嶄新なる問題の悉くを拉致して平易明快に反覆詳述せるもの、如何なる初學者と雖も容易に其の原理法則を會得なし得るであらふ。近來含蓄の名著である。專門學校、高等學校の教科書または參考書として兼て初等教育家並に一般斯學入門の士にすゝむ。

法大・國大講師・見尾勝馬著

東洋哲學史概說

裝洋判	¥1.80
六價料	¥ .14
四定送	

本書は東洋哲學思想の起源發達の史的考察を系統的に起述されたもの、支那哲學及び印度哲學を極めて容易に識しめ且つ軈て吾が日本哲學、卽ち我が精神文化の眞髓を穿つ道程たらんとするものである。專門學校、高等學校の教科書及び參考書並に一般哲學研究學徒の爲に廣く各位の机前に捧ぐ。

法學士・小松泰馬著

法律學概論

裝洋判	¥2.50
定價料	¥ .18
菊送	

法律學がその對象とする法律秩序の構造を全體的に說明し、法律思想史を基調とし、自然法觀念を以てせず、法實證主義に基きドグマに陷る危機を脫する方法として、法律學上の諸概念に於ける社會性と歷史性とを闡明にすることを主眼としたものである。

東京市日本橋區通三丁目一番地 文原堂 振替東京七一七一番 電話日本橋四五一九番

生物學研究家の必備書

農林省畜産試驗場長 木村和成外六氏共著

應用動物圖鑑

四六判八〇〇頁 背革裝函入 特價五圓 送料二十七錢

卵・乳・肉・羽毛・皮革・生糸・鼈甲・眞珠・珊瑚・蜂蜜・海綿など、數へあげる迄もなく我々は常に各種の動物から莫大な資源を供給されてゐる。一面また小さな虫ケラと侮りつゝ吾が體内に寄生されて生命を蝕まれ或は農作物を荒されて年々多額の損害を蒙つてゐる。本書は鮮明な挿圖六百五十個を掲げて之等人生と密接な交渉をもつ各種動物の生態習性並に現在の利害關係と之に對する適策を詳述してある。

日本動物圖鑑の御所藏者は是非應用動物圖鑑の内容見本を請求せられよ＝動物採集便覽の贈呈規定あり。

理學博士 飯塚啓 外二十一氏共著

學生版 動物圖鑑

携帶に便利な三五判ポケット型、總革裝。定價は至廉奉仕的、而も内容は豐富で正確な各類分擔執筆。鳥・獸・魚・貝・蟲其他の動物二七五〇種の姿態と名稱が一目瞭然。教員學生諸氏・狩獸・飼鳥・釣魚・採集趣味家の野外携帶用または一般家庭の教育資料として快適。定價貳圓五拾錢送料拾二錢▼内容見本御申越次第進呈

動物採集便覽

日本動物圖鑑の著者が昆蟲以外の動物各類の採集保存法等について積年の體驗を書寄せられ日本動物圖鑑(定價拾五圓)の別冊附錄として刊行せるもの。四六判紙裝七十頁。日本動物圖鑑の讀者以外頒布實費廿二錢。

昆蟲採集便覽

日本昆蟲圖鑑(定價拾五圓)の別冊附錄として刊行せるもの。執筆者は日本昆蟲圖鑑の著者。圖版五十五個を挿入して昆蟲の採集保存法・雌雄鑑別法等について詳說してある。四六判紙裝七十頁。頒布實費二十二錢。

植物名彙

植物學上に於ては和名漢字を使用せぬことを原則としてゐるが、和歌・俳句等文學上に於ては、この漢字を必要とする場合が尠くない。本名彙は志田義秀氏・田中徹翁氏が日本植物圖鑑(定價拾圓)に掲げられた標準和名に準據して文學上の立場から調査編纂した植物和名漢字集。四六判紙裝一三〇頁。頒布實費十七錢。

東京京橋銀座西五 振替東京七五〇番 **北隆館** 電話一七八八 銀座一七九五

採集品整理の三大指針書

理學博士 江崎悌三外二十五氏共著

日本昆蟲圖鑑

四六判二五〇〇頁 背革裝函入 定價拾五圓 送料四十五錢

昆蟲學界の權威者二十六氏が三年有餘の日子を費し積年の蘊蓄を傾注して著述せられたる昆蟲圖說書の最高權威書。原色圖廿四葉、形態圖四千四百個を掲げてありと凡ゆる昆蟲とその幼蟲を一種毎に圖解せるもの。挿圖の正確にして鮮明なる、說文の懇切なる、而も索引の完備せる點に於て斷然類書に冠絕す。

理學博士 牧野富太郎外四博士執筆

日本植物圖鑑

四六判一五〇〇頁 背革裝函入 定價拾圓 送料三十一錢

植物と云へば牧野、牧野と云へば植物―と全世界にその名高き著者が、三好學博士(地衣類)岡村金太郎博士(藻類)川村清一博士(菌類)岡村周諦博士(蘚苔)の協力執筆を得て圖解せる邦產植物二五五〇種の規範的圖說書。日本動物圖鑑と相竝んで生物圖鑑の双璧。

理學博士 丘淺次郎外二十一氏共著

日本動物圖鑑

四六判二五〇〇頁 背革裝函入 定價拾五圓 送料四十五錢

原色圖廿一葉、形態圖四千一百個を掲げて鳥・獸・魚・介・蟲その他凡ゆる動物と其の幼生を一種毎に圖解せるもの。巨大な鯨・肉眼で見えぬアミーバ・人體内に寄生する蟲までも動物である以上みな本圖鑑に收載されてゐる。應用動物圖鑑(五圓)と相竝んで本邦動物學界の代表的二大文獻。

東京京橋銀座西五 振替東京七五〇番 **北隆館發行** 内容見本 無代贈呈

特許局審査官 工學士 中井一鵄著

▼▼折込圖面其他 挿入凸版二十四圖
▼出願書類實例豐富

【大好評】

特許 實用新案 活きた出願法

菊判上製函入
紙數二六二頁
定價貳圓參拾錢
送料十八錢

特許出願の秘訣は公開さる

『諸君の苦心に成る發明考案は本書に依て活せ』

著者は現に特許局に於て審査を鞅掌する篤學能文の士、從來多數の出願人を指導し來つた經驗と蘊蓄との結晶が卽ち本書である。貧しい發明家や適當な代理人の得られない人の爲めに書かれた最良なる特許實用新案出願の指針である。

◇特許と實用新案の差異 ◇何うすれば權利が廣く取れるか ◇何んな場合に審査が遲れるか ◇何うして良い出願書類を作るかと云ふ事が各種の書類及び圖面の實例に依つて詳說され更に出願の心得から權利獲得まで總て無經驗者を標準として懇切に說明されてゐる。附錄の「發明餘談」及「現行法規拔粹」は發明考案者の好伴侶である。

東京高等師範學校教授 垣内松三先生序◆久米井 束先生著

▼▼四六版總布製函入
▼紙數四百二十餘頁

【大好評】

樹は如何に自ら潑溂と天に伸びるか

新しい綴方指導者の必讀書

・文指導の靜觀

定價二圓五十錢
送料十八錢

これは著者が附屬在任時代から靜かに秘めてゐた綴方に對する雄大な抱負と、その詩人的天性に映ずる前人未踏の境地を披瀝したものである、全篇美くしいそのまゝ一篇の詩である、纖細に顫える著者の心は必ず讀む者の心に、新しい感動と發見と創意との花輪を送るであらう、單に綴方指導者としてのみでなく、廣漠たる精神の領域に棲む者の必ず讀むべき永遠に價値ある書物である。

されば垣内教授は、その序に於て『我が國語教育の道は窮しない、この明るい風光に接して心躍るやうに覺ゆるものは私達のみでないことゝ深く信ずる』と推讚の言葉を惜んでゐない

◆發行所 東京市牛込早稻田 鶴巻町四一〇大通 誠明堂書店 振替東京 七五四六

大正十五年以來本年に至る迄の試驗問題・解答・出題傾向・入學率等を詳細に研究し受驗生の爲に必勝合格の完備せる參考書たらんことを期したるものなり發賣以來好評噴々!!

入學試驗精解

昭和八年版

陸士入學試驗精解 定價一圓・送料六錢

海兵入學試驗精解 定價一圓・送料六錢

海機入學試驗精解 定價一圓・送料六錢

海經入學試驗精解 定價一圓・送料六錢

東京高師 入學試驗精解 定價一圓・送料六錢

廣島高師 入學試驗精解 定價一圓・送料六錢

東京商船 入學試驗精解 定價一圓・送料六錢

神戸商船 入學試驗精解 定價一圓・送料六錢

冠絶せる校風閣版

この外目下續々發行中。
志望校記入の上申込み次第目錄呈上。

東京市牛込區若松町五四 校風閣 振替口座東京五一〇三七番

書科教度程校學門專等高

第六高等學校教授 文學士 小西謙	日本大學教授 文學士 森本治吉	第七高等學校教授 文學士 松村一雄	福岡高等學校教授 文學士 安田喜代門	東京女子高等師範學校教授 文學士 佐伯常麿	二松學舍專門學校教授 文學士 橋純一
上古文新抄	萬葉集新抄	平安朝短篇集 —竹取・伊勢物語—	年代順作者別 古今和歌集	枕草子新抄	增鏡新抄
新刊菊版 金六拾五錢 送料八錢	新刊菊版 金七拾錢 送料八錢	新刊菊版 金七拾五錢 送料八錢	新刊菊版 金九拾錢 送料八錢	新刊菊版 金八拾錢 送料八錢	新刊菊版 金七拾五錢 送料八錢
早稻田大學教授 文學士 野々村戒三	遞信官吏練習所講師 文學士 山崎斐	第六高等學校教授 文學士 森敬二	京都女子專門學校 教授 文學士 荒潮邦介	臺北帝國大學助教授 文學士 瀧田貞治	文學士 藤川忠治
謠曲狂言 名作新選	西鶴文撰集	近世十大歌人短歌選	俳文學選	淨瑠璃文學選	明治大正 短歌新抄
新刊菊版 金八拾錢 送料八錢	新刊菊版 金九拾錢 送料八錢	新刊菊版 金六拾五錢 送料八錢	新刊菊版 金一八錢圓 送料	新刊菊版 金壹圓五拾錢 送料八錢	新刊菊版 近刊

編纂 夫忠本橋 博士 大學 學士 文學 海軍

1. Humoristishe Skizzen （ユーモア小品集）
2. Durch Freud und Leid （悲喜小話集）
3. Zur Plaudernden Stunde （閑日閑話集）
4. Geistige Fronten （精神戰線）
5. Auf dem Wege des Wieder-aufbaus （ワイドの上途興復）

新四六判 各冊 錢拾八

編纂 治謹村木 教授 京都帝國大學 文學士 國文學 大學

1. Goethes Märchen und Erzählungen （ゲーテ童話集） 新四六判 壹圓拾錢
2. Naturwissenschaftliche Lesestücke （自然科學論集） 新四六判 八拾錢
3. Deutsche Musterprosa der Gegenwart （獨逸現代散文傑作集） 新四六判 七拾錢
4. Thomas Manns Unordnung und Frühes Leid （トーマスマン小說） 新四六判 七拾五錢
5. Die Pädagogische Provinz （教育學） 新四六判 八拾錢

振替・東京一六一七番 電話・日本橋一五一六・一四一番

東京市日本橋區通三丁目十八番地 **春陽堂**

牧野富太郎、根本莞爾共著

訂正增補

日本植物總覽

第三版

日本植物總覽舊版の發行されるや、當時既に最高の學的定評ありしは贅言を要せず、蓋し兩氏二十年努力の結晶として國民の寶典たるは世の認むるところ。爾來日進月歩の今日にあつて斯學の進歩發達誠に驚くべきものあり。此間不休の精進を續け、いやしくも世に發表せられたる研究の結果は細大漏さず網羅して餘す所なく、舊版中に掲げられたる植物の種類約一萬に加ふるに更に一千を以つてしたり。其結果玆に新版毎頁の字面舊版に五百を增したるに拘らず頁數は却つて增加し、かくして約七百頁を增補したる計算となる。以つて新版の内容の如何に豐富なるかを約し得べし今や本書に對する世の渴望實に切なり。學界永劫の權威書として敢て江湖に推薦する所以である。

寺崎留吉著 菊大判・二千二百餘頁 定價金貳拾五圓 送料四十五錢

日本植物圖譜

最新刊

本書は右の日本植物總覽と相俟ちて車の双輪となすものなり、本書は日本植物寫圖、貳千百葉に各簡潔なる說明を添へたるものなり本書收錄植物の範圍は北、樺太、千島より南、臺灣に、日本アルプスの絕頂より小笠原島の海濱に及ぶ。本書の骨子をなせる實寫圖は過去四十年廣く山野を跋涉採集したる體驗を有せる著者が一々活きたる現品に直面して執筆したるものなれば讀者をして眞に植物自然の姿勢と情景を彷彿せしめる本書の實寫圖に用ゐたる材料標本は一々出所を明記し他日疑義を生じたる場合之が解決に便にせり本書内容は著者の獨創に係る季節的排列を以てし一般植物家の外に實際採集家、圖藝家、畫家工藝家華道家の爲めにも無比の便宜を與ふ。

東京市日本橋通 **春陽堂** 振替東京一六一七 （内容見本進呈）

滿洲研究圖書

（上呈代無第次越申御報月版出）

滿洲文化協會編（第十二輯）

昭和八年 滿洲年鑑

四六版六三六頁
寫眞グラビヤ刷
折込地圖添付
定價一圓五十錢
送料十錢

毎年好評を博し居る滿蒙年鑑を改稱したのである。

內容 滿洲大觀、地理、政治、經濟、交通、社會、敎育、宗敎、藝術、運動競技、附錄の各章に亘り各項目を分ちて詳細を極む。

滿洲國地圖	價 七〇 〒 四	滿洲の水田 價 八〇 〒 六
支那住宅志	價 四、二〇 〒 二一	滿蒙移植民問題 價 五〇 〒 四
滿洲の鑛產資源	價 五〇 〒 六	滿洲の農畜產業の現勢 價 五〇 〒 四
滿洲幣制の現在及將來	價 五〇 〒 六	滿洲民族變遷史 價 一、〇〇 〒 八

東京神田小川町二丁目
海文堂書店
（振替東京 80993）
（電話神田 2702）

〔東京代理店〕

大連市紀伊町九一
滿洲文化協會
（振替大連 2850）
（電話大連 3805）
社團法人

好評なる獨逸語參考書

著者	書名	定價	送料
粕谷眞洋	誰にも分かる獨逸語の第一步	一・五〇	一〇
桃井鶴夫	獨逸語五週間上達法	一・五〇	一二
石原質	最新獨逸語獨習書	二・五〇	一四
山田幸三郎	休暇中の獨逸語	・九〇	六
中尾啓太郎 井口連	獨逸語基本五千語A版	一・五〇	八
同	同 B版	一・五〇	八
粕谷眞洋	獨逸重要單語カード	一・九〇	二二
莊直一	新複式獨逸單語カード	一・九〇	二二
莊直一	復習用獨逸單語四千と熟語六百	一・三〇	八
莊直一	獨逸一千熟語集	一・二〇	八
澤井要一	なくてならぬ獨和動詞辭典	一・五〇	六
澤井要一	なくてならぬ和獨動詞辭典	一・二〇	四
澤井要一	なくてならぬ獨＝和獨＝和動詞辭典	三・五〇	八
宮本桂仙	和英雙解獨逸語發音辭典	一・五〇	六
南山堂編	獨逸文法諸變化一覽表	・二〇	二

著者	書名	定價	送料
早川文哉	袖珍獨逸文典	・八〇	四
中尾啓太郎 井口連	獨逸語强變化動詞暗記法	・七〇	四
中尾啓太郎 井口連	前置詞及二格支配の動詞形容詞の用法	一・八〇	一四
粕谷眞洋	名詞冠詞代名詞の研究	二・五〇	一四
粕谷眞洋	時と可能法の研究	一・七〇	八
粕谷眞洋	公式應用和文獨譯法	一・五〇	一〇
粕谷眞洋	文法應用獨文和譯法	一・五〇	一〇
澤井要一	高等受驗用獨作と和獨要語	一・五〇	八
小池堅治	アウトデイタクト	一・八〇	一〇
小池堅治	單語暗誦和文獨譯練習書	一・五〇	六
タンツエ 淡川康一	文法詳解和文獨譯の秘訣	一・八〇	一四
粕谷眞洋	詳註趣味の獨逸語會話	一・五〇	八
粕谷眞洋	譯註ハイネ詩集	一・九〇	一二
粕谷眞洋	譯註獨逸歌謠曲集	一・五〇	一〇
粕谷眞洋	譯註現代獨逸短篇小說	一・五〇	八

東京市本郷區龍岡町三十一
南山堂書店
振替口座東京 六三三八番

＝燦たり三大雜誌＝

倫理道德

思身想教善育導材修料

東京文理科大學 道德教育協會編輯

月刊

道德教育

定價

一冊	六冊	十二冊
三五錢	二、〇〇圓	四、〇〇圓
送料一錢	送料とも	送料とも

教育學習

本邦唯一の教師用雜誌

奈良女子高等師範附屬小學校 學習研究會編輯

月刊

學習研究

年二回倍大號あり

定價

一冊	六冊	十二冊
四〇錢	二、八〇圓	五、六〇圓
送料一錢五厘	倍大號とも	倍大號とも

運動競技

體育家競技選手の絶好資料

東京高等師範學校 大日本體育學會編輯

月刊

體育と競技

定價

一冊	六冊	十二冊
四〇錢	二、四〇圓	四、八〇圓
送料一錢五厘	送料とも	送料とも

口繪、八頁美麗寫眞表紙附

◇ 東京市神田區駿河臺三丁目 目黑書店發行 振替東京二八〇九 ◇

第三部 昭和七年出版圖書目錄

◇本目錄を毎年各種別に分解して合本せらるれば、「哲學」なれば哲學書類の目類、「教育」なれば教育書類の目錄が出來るよう、各頁の上欄に、それ〴〵別に頁數を附して置いた。

◇例へば「哲學」の部の上欄に（7—1）とあるは、七年度發行の哲學書目錄の第一頁といふ意味で、從つて八年度のものは（8—1）より始る。

◇書店、圖書館等頻繁に本目錄を活用せらるる場合は、將來は分解し、各種別の目錄を作ることをお奬めする。五年、十年の後には或は「哲學書類」、或は「教育書類」のみの目錄が出來る譯で檢索に際して甚だ便利であると思ふ。

哲學	二〇五頁	
宗教	二二一	
教育	二四一	
文學	二八五	
語學	三七五	
美術・音樂	四一五	
歷史・傳記	四三三	
地理・紀行	四五一	
政治・社會	四六五	
法律	五〇九	
經濟・商業	五二三	
工業	五五七	
農業	五七五	
理科學	五八七	
數學	六〇五	
醫學・衛生	六一三	
運動・娛樂	六二三	
婦人・家庭	六三一	
兒童書類	六三七	
非賣品	六六九	
日記	六七九	

一、哲學

哲學一般・西洋哲學

著者	書名	形體裝釘	頁數	定價送料	發行所	發行月	內容大意
永野芳夫	哲學概論	菊判 洋布	481	三、〇〇 一四	改造社	四月	▲哲學は何か、形而上學、認識論、最も確實な存在、自我の構成外七章にて論述。
文學士 杉原圭三	哲學概論 —教育倫理講座—	菊判 洋布	292	二、〇〇 一二	甲子社	六月	▲哲學の概念、本體論、認識論、價値論、現代哲學概論の五篇にて論述。
香原一勢	初學者の爲の哲學思想講義 初學者の爲の 哲學概論	四六判 布裝	214	一、三〇 一〇	文化書房	三月	▲深遠な哲學思想を平明に論述せるもので、哲學と人生、常識と科學外十五講。
西晋一郎 伊藤證信	哲學入門	菊判 上製	260	一、八〇 一四	山喜房	九月	▲從來の哲學概論では難解である爲、特に平易に新傾向を以て說いた哲學概論書。
ヴインデルバンド著 井上忻治譯	一般哲學史 第一卷	菊判 洋布	363	二、〇〇 一四	第一書房	十一月	▲二千數百年の久しきに亘る西洋思想發展の記述で、第一卷は緒論及び希臘哲學を收む。
ヴインデルバンド著 井上忻治譯	一般哲學史 第二卷	菊判 洋布	470	二、五〇 一二	第一書房	十二月	▲第二卷は希臘・羅馬哲學（倫理時代・宗教時代）中世哲學（第一期・第二期）を收む。
文學士 加藤將之譯	ユーベルヱーク大哲學史 六—近世下	菊判 洋布	512	三、五〇 一四	春秋社	一月	▲近世哲學下卷は啓蒙時代、カントの批判主義の二篇譯述。
香原一勢	初學者の爲の哲學・思想講義 初學者の爲の 西洋哲學史概說	四六判 布裝	214	一、三〇 一〇	文化書房	三月	▲西洋哲學の歷史的變遷に就て述べたもので希臘哲學、中世哲學外二篇。

オスボン著 弓削達勝譯	自然科學思想史	洋函四六布入判	391	一、八〇 一〇	日東書院	十月	▲自然の豫測と解釋、ギリシヤの人々、神學者と自然哲學者外三章にて譯述。
桑木嚴翼	改造文庫第一部(51) 現代哲學思潮	布菊半裝緘	444	〇 六〇 六	改造社	八月	▲序說、科學的哲學、形而上學派、批評的哲學等にて論述。
田中潤一	初學者の爲の哲學・思想叢書 現代思潮概說	布函四六裝入判	235	一、五〇 八	文化書房	四月	▲アメリカニズムと現代社會の種々相、自由主義及び議會主義、マルクス主義外二章。
廣島文理科大學教授 文學博士 勝部謙造	現代哲學の根本問題	洋函菊布入判	561	三、八〇 二三	同文書院	九月	▲生哲學の根本問題、現象學の根本問題、基本存在論の三編にて論述。
文學博士 得能文	現今の哲學問題	洋四六布判	247	一、〇〇 八	第一書房	五月	▲哲學の一般知識に關して最も平易に叙述せるもので、現今の哲學問題外七篇。—普及版—
藤井健治郎	藤井博士全集(8) 現代思潮批判 自然の世界から理想の世界へ	背函菊革入判	322	三、五〇 一四	玉川學園出版部	十一月	▲故藤井博士著作の「現代思潮批判」「自然の世界から理想の世界へ」の二篇を收む。
藤井健治郎	藤井博士全集第五卷第二分冊 マルキシズム批判	洋菊布判	262	一、五〇 一〇	玉川學園出版部	一月	▲唯物史觀の解剖と其素成分、マルクス主義國家觀の倫理的批判外五章。
文學博士 川合貞一	マルキシズムの哲學的批判	並四六製判	238	一、〇〇 八	青年教育普及會	四月	▲マルキシズムの認識論形而上學唯物史觀、階級闘爭說國家觀社會觀に亘つて批判せる書
三田哲學會編	哲學 第九輯	並菊製判	259	一、八〇 一〇	丸善株式會社	五月	▲大乘世界觀の基調としての假（常盤大定）純粹意志に就いて（宮崎友愛）外三篇。
早稻田大學文學部編	哲學年誌 第二卷	並菊製判	250	一、〇〇 一〇	理想社出版部	十二月	▲教育と道德、教育學と倫理學（稻毛金七）因果と慣性（植田清次）外六篇。
巽軒會編	井上先生喜壽記念文集	布函四六倍裝入判	686	四、五〇 三〇	冨山房	一月	▲佛教に於ける身口意三業觀（姉崎正治）草假名の進展（尾上八郎）外五十三篇。
出隆・石原純・本多謙三 高橋里美・大江精志郎 兒玉達童・由良哲次	哲學とは何か	並菊製判	96	五〇 四	理想社出版部	九月	▲哲學は何であつたか（出隆）哲學とか何か（本多謙三）外五氏の論文集。
文學博士 西田幾多郎	無の自覺的限定	洋函菊布入判	585	三、五〇 二三	岩波書店	十二月	▲表現的自己の自己限定、私の絶對無の自覺的限定といふもの外七篇の論文集。

東北帝國大學教授 高橋里美	全體の立場	洋函菊布入判	457	二、八〇 二三	岩波書店	七月	▲體驗全體の立場、發展の全體と發展の終極時間の意識と意識の時間性外九篇。
大島豐	宇宙論	洋函菊布入判	461	二、〇〇 二三	第一書房	七月	▲宇宙の構成、物質界の本質、價値の問題としての宇宙の秩序外二章にて論述。
陶山務	魂は哲學する	洋函新四六布入判	328	一、五〇 八	アルス	十一月	▲自然的事象及び社會的現象の檢討で、魂は哲學する、認識へのかどで外卅四章。
牧野周吉	生命への哲學的奮闘	上菊製判	293	二、〇〇 一〇	希望堂	十一月	▲哲學とは何ぞや、認識、實體、道德、藝術宗教外二章にて論述。
佐々木際彥編	生の哲學	並菊製判	177	八〇 八	理想社出版部	十一月	▲生の哲學について（西田幾多郎）生哲學の一般的動向（金子馬治）外十篇。
佐藤信衛	自然の認識に於ける原理	洋函菊布入判	299	二、〇〇 一四	鐵塔書院	十二月	▲自然科學の基礎に就て論述せる書で、空間と時間、科學原理外二章。
文學士 後藤一民	新興哲學叢書(2) 認識の形而上學	洋函四六布入判	193	一、二〇 八	理想社出版部	六月	▲ハルトマンの哲學に就ての詳述で、認識問題の諸要素、認識の分析的研究外三部。
倍賀義雄	教育の基礎としての哲學	洋函四六布入判	345	二、五〇 一〇	文化書房	八月	▲哲學研究の方法について、原始人の思惟の性質、哲學の問題の起源外十五章。
文學士 鹿野治助譯	プラトーン ソピステース	洋函菊布入判	256	二、二〇 一四	岩波書店	九月	▲第一部（方法の說明と魚釣人定義の例外二項）以下五部より成る。譯者註、索引。
波多野通敬譯	ラクレイトス	並菊製判	100	七〇 六	刀江書院	四月	▲ヘラクレイトスの斷片百三十をディイルスの順序に從つて譯出し註釋を附せる書。
メトリイ著 杉捷夫譯	岩波文庫(786) 人間機械論	並菊半截	145	〇 二〇 四	岩波書店	十一月	▲佛蘭西唯物論の代表者の名著の全譯及びその生涯と學說の小論を添ふ。
平田禿木譯	エマソン 代表偉人論	洋函四六布入判	450	二、二〇 一四	玄黄社	十二月	▲古代希臘より近代歐洲に於ける偉人を扱つた「代表偉人論」の譯。—改譯改訂版—
齋藤晌譯	スピノザ全集 第一卷	布函四六裝入判	482	二、五〇 一四	內田老鶴圃	五月	▲第一卷は神、人間及び人間の幸福に關する短論文、形而上學的思想外一部の譯。

(7—4)

ニイチエ著 生田長江譯	世界名作文庫（204） ツアラトウストラ 前篇	並菊半截	218	二五 〒四	春陽堂	八月	▲ツアラトウストラ第一部、第二部。
ニイチエ著 生田長江譯	世界名作文庫（205） ツアラトウストラ 後篇	並菊半截	282	三〇 〒四	春陽堂	八月	▲第三部、第四部。
小林太市郎譯	ベルグソン 精神力	洋函菊布入判	255	一、八〇 〒一二	第一書房	十月	▲意識と生命、現在の追想と贋の再認識、腦と想哲學的一錯覺外三篇。
コーヘン著 村上寛逸譯	純粹認識の論理學	背函菊洋布入判	877	三、五〇 〒二三	第一書房	十二月	▲ヘルマン・コーヘンの哲學の體系の譯著で思惟法則の判斷、數學の判斷其他。
高橋里美	フッセルの現象學	洋菊布判	126	一、〇〇 〒八	第一書房	七月	▲フッセルの現象學―特に其の現象學的還元批判論と現象學其他。―學生版―
シュプランガー著 辻幸三郎譯	文化哲學概論 ―生の形式―	洋函菊布入判	640	四、〇〇 〒二七	内外出版印刷株式會社	四月	▲文化教育學の思想核心を摑まんとする者の世界的名著。
宮島肇	玉川文庫（30） 歴史哲學	並菊半截	67	二〇 〒二	玉川學園出版部	十二月	▲歴史哲學思想を時代を追つて述べたもので古代、中世時代外三篇。
三木清	續哲學叢書（1） 歴史哲學	洋函四六布入判	320	一、五〇 〒一二	岩波書店	四月	▲歴史哲學上の諸問題に就て論述せるもので歴史の概念、存在の歴史性外四章。
三木清編	スピノザとヘーゲル ―國際ヘーゲル聯盟日本版―	洋函菊布入判	310	二、三〇 〒一四	岩波書店	七月	▲宗教としてのスピノザ哲學（ボルコヴスキー）個體的本質と辯證論（田邊元）外六篇。
國際ヘーゲル聯盟 田外三氏譯	國際ヘーゲル聯盟論叢 ―第一輯―	洋函菊布入判	350	三、〇〇 〒一四	政經書院	十二月	▲國際ヘーゲル聯盟第一回大會の際に爲した各國代表學究の講演集で聯盟規約を附す。
ロイス著 小倉好雄譯	「カント」より「ヘーゲル」へ	洋函四六布入判	397	一、五〇 〒一〇	白揚社	一月	▲カントの自我の概念の修正、ヘーゲルの圓熟せる體系外八講。
京都帝國大學教授 文學博士 田邊元	ヘーゲル哲學と辯證法	洋函菊布入判	393	二、八〇 〒一四	岩波書店	二月	▲ヘーゲルの絶對觀念論、ヘーゲル哲學と絶對辯證法、辯證法の論理外四篇の論文集。
ローゼンクランツ編 高橋里美 武市健人譯	ヘーゲル哲學概論	洋函菊布入判	310	二、三〇 〒一四	岩波書店	一月	▲（ヘーゲル自身の書いたヘーゲル哲學への豫備學で、精神現象論及び論理學其他。

(7—5)

人間學・人生問題

モーク著 土方定一譯	ヘーゲル學派史	並菊製判	140	九〇 〒六	刀江書院	四月	▲ヘーゲル在世時の學徒團體の形成、一八三〇年代のヘーゲル學說贊否の論爭外三篇。
ローゼンベルゲ著 松岳讓一譯	ヘーゲル解釋史	並菊製判	59	四〇 〒四	刀江書院	四月	▲ドイツにおけるヘーゲル觀の沿革を平明に敍述せる書。
東北帝國大學講師 文學士 鈴木權三郎譯	ヘーゲル全集（10） 歴史哲學	洋函菊布入判	812	三、五〇 〒二三	岩波書店	十二月	▲ヘーゲル哲學への絶好の入門書で、東洋世界、希臘世界、ゲルマン世界外一部。
大江精志郎	存在論と辯證法	並菊製判	152	七〇 〒八	理想社出版部	三月	▲現代哲學の存在論的傾向に就て、ヘーゲルの辯證論に就て外四篇の論文集。
ランゲ原著 川合貞一譯補	唯物論史 卷下附錄、マルクシズム批判	布菊裝判	443	四、〇〇 〒一四	丸善株式會社	五月	▲ランゲの唯物論史の完譯。卷末に川合博士のマルクシズム批判を付す。
ルードルフ・ヘウス著 田元培譯	マルクス主義哲學の方法論	洋函菊布入判	204	一、八〇 〒一二	政經書院	十一月	▲マルクス主義哲學の方法論に關する全體系を網羅し、唯物辯證法的記述せるもの。
ザピール・ライヒ著 植田正雄譯	フロイド主義と辯證法的唯物論	並四六製判	154	六〇 〒四	京都共生閣	三月	▲辯證法的唯物論と精神分析學（ライヒ）フロイド主義、社會學、心理學（ザピール）
文學士 平田内藏吉	辯證法教典	並函四六倍製入判	500	三、〇〇 〒三三	大東盟舍	十月	▲マルクス辯證法の批判と綜合辯證法の提唱及び治療其他生活全般への辯證法の適用。
廣島定吉 直井武夫譯	レーニン哲學ノート 第一册	並菊製判	299	八〇 〒一〇	白揚社	六月	▲レーニンスキー・ズボールニの第九卷の原文及飜譯で、存在論の梗概其他。
アドラツキー其他編 廣島定吉・直井武夫編	レーニン哲學ノート 第二册	並菊製判	233	一、八〇 〒一〇	白揚社	九月	▲レーニンの哲學上の覺書で、神聖家族の梗概と批判其他數篇を原文對照全譯したもの。
プレハーノフ著 藏原惟人譯	チエルヌイシエフスキイ ―その哲學・歴史及び文學觀―	並四六製判	416	一、〇〇 〒八	叢文閣	九月	▲プレハーノフの大著「チエルヌイシエフスキイ」の序論及び第一部の譯。―普及版―
戸坂潤	新編哲學叢書（3） イデオロギー概論	洋函四六布入判	332	一、九〇 〒一〇	理想社出版部	十一月	▲「社會科學」的イデオロギー論の綱要、「社會學」的イデオロギー論の批判の二部。

理想社編	人間學	菊判並製	217	一、〇〇八	理想社	一月
土田杏村	人間論	菊判洋布	145	一、〇〇八	第一書房	九月
江原小彌太 中西伊之助	人生論十二講	四六判函入洋布	512	二、五〇一二	白永社	二月
トルストイ著 中村白葉譯	人生論	菊半截並製	243	〇四〇四	岩波書店	十月
原久一郎譯	トルストイ 人生の道 下卷	四六判函入上製	296	一、七〇一〇	岩波書店	十月
トルストイ著 八住利雄譯	人生日記	四六判函入布裝	409	一、六〇一〇	四條書房	六月
加藤咄堂	死生問題	四六判函入洋布	702	二、五〇一四	丙午出版社	四月
石丸梧平	結婚前後	四六判函入上製	380	一、一〇一〇	人生創造社	六月
兒山敬一	信一精神史	四六判洋布	147	八〇六	短歌表現社	九月

▲人間學の立場（田邊元）藝術の人間學的考察（中井正一）外十二篇。

▲人間の地位、人間と大衆、人間の歷史、人間と自然、人間の存在形態外一篇。

▲基督、ショペンハウエル、カーライル、マホメット外八講。

▲最も系統的にトルストイの思想を叙述せるものとして有名な「人生論」の譯。

▲下卷は善及び善心に就いて、基督教と愛國心、正教に就いて外十章より成る。

▲先哲賢人の傑れた語を網羅したもの。

▲西洋に於ける死生觀の變遷、東洋に於ける死生觀の變遷其他。—縮刷版—

▲第一部結婚前後の諸問題十章、第二部結婚人生問答七章二十三項。

▲著者の亡兄信一の精神史をかき、一面に信一型の人間精神を批判したもの。

東洋哲學・東洋思想

杉浦重遠	初學者の爲の哲學・思想叢書 初學者の爲の東洋哲學史	四六判函入布裝	253	一、三〇一〇	文化書房	七月
山根鎭夫	初學者の爲の哲學・思想叢書 初學者の爲の東洋哲學	四六判函入布裝	230	一、三〇八	文化書房	五月
安岡正篤	東洋政治哲學 —王道の研究—	菊判函入洋布	297	二、〇〇一四	玄黃社	十二月

▲東洋哲學思想を歷史的發達の順序を主眼として其推移と過程を究明せるもの。

▲支那哲學（古代哲學外二章）印度哲學（佛教以前、佛教以後）の二篇にて講述。

▲政治汎論、王道、國士道、處士道、王道政治家の二典型の五編にて論述。

今村完道	新觀老子	四六判函入洋布	321	一、五〇一二	三省堂	六月
福士繁吉	老子大觀	四六判並製	45	一五二	社會教育協會	十一月
高瀨武次郎	陽明學叢話	四六判函入布裝	225	一、〇〇八	博多成象堂	四月
早川祐吉	支那詩想の研究	菊判函入洋布	334	二、八〇一四	古川出版部	十一月
飯島忠夫講	易經研究	菊判和綴	190	八〇八	信濃毎日新聞社	七月
宇井伯壽	印度哲學史	菊判函入洋布	739	四、〇〇二二	岩波書店	九月

▲支那思想界に於て孔子と並んだ偉人老子の說を說けるもので、天道說人道說其他。

▲老子と其の時代、老子の根本思想、老子の虛無的言辭について外五章。

▲陽明學の主意に基づける叢話で、倒れても復た興きあがれ、知行合一外四十三篇。

▲詩をもつて東洋倫理を說けるもので、天人祖孫、父子、君臣夫婦外五章。

▲支那古代の宗教思想、支那古代の學術、易の組織、占筮法、象山先生の易等外十一篇。

▲紀元前八百年より紀元八百年まで三期に分つて印度哲學史を詳述し餘論一篇を加ふ。

日本哲學・日本思想

文學博士 河野省三	日本精神發達史	新菊判函入洋布	354	二、八〇一四	大岡山書店	四月
法政大學日本精神史學會編	日本精神史論纂 第一卷	菊判並製	221	一、三〇八	岩波書店	十一月
紀平正美 安岡正篤	日本精神と辯證法 日本精神の根本	四六判並製	96	五〇四	青年教育普及會	五月
國學院教授 松永材	日本主義の論理	四六判並製	176	七〇四	大雄閣	七月
文學博士 鹿子木員信	新日本主義と歷史哲學	四六判並製	135	七〇四	青年教育普及會	四月
紀平正美 安岡正篤	國體の眞意義 日本の國體	四六判並製	106	五〇四	青年教育普及會	十月

▲日本精神の特色、日本民族性と國體、中世に於ける武士道の發達外二章。

▲日本思想と生活心理學（城戶幡太郎）萬葉集中の民謠に就て（土屋文明）外六篇。

▲日本精神の根本を理論的に解明せる紀平博士と安岡氏の二篇を收む。

▲日本主義の論理に就て論述せるもの。

▲自然の世界と其の諸階段、日本歷史の七階段、新日本主義の理想外四章。

▲國體の眞意義（紀平正美）日本の國體（安岡正篤）の二篇を收む。

猪狩又藏	日本皇室論	洋函菊布入判	207	一、〇〇（一〇）	日本皇室論刊行會	六月	▲民族精神概說、歷朝の聖德、民族精神の具體化、三種の神器、君主の責任外十章。
文學博士 加藤玄智	日本人の國體信念	並四六製判	80	三〇（四）	明治聖德記念學會	六月	▲日本の國體を宗教學上より考察して、其特色を論明せるもの。
小泉八雲著 戸川秋骨譯	神國日本	洋函新菊布入判	535	一、八〇（一四）	第一書房	十一月	▲日本固有の精神の論評に筆を起し佛教儒教等の歷史的變遷と文化の推移を考察す。
亘理章三郎	軍人勅諭の御下賜と其史的研究	洋函菊布入判	232	二、五〇（一四）	中文館	四月	▲軍人勅諭御下賜の歷史的研究で、明治維新の國民皆兵の制度と其の精神外十六章。
亘理章三郎	國體精神の涵養	洋函菊布入判	270	二、五〇（一四）	中文館	十二月	▲國體精神涵養の問題に就て論述せるもので國體精神涵養の重要性外五篇及び附錄。
陸軍中將 吉江石之助	明治天皇御製讀本 忠君愛國篇	並菊製判	256	六六（八）	聖書房	十一月	▲御製の內に包含される大御心を以て國體皇軍忠節禮義武勇信義質素の七章に編せしもの
修道青年會會長 小瀧辰雄	日ノ本聖典 教育勅語正義	並四六製判	162	特四〇 五〇（四）	日本書院	七月	▲創生紀、人道紀、世界紀、未來紀の四章にて教育勅語を解釋せるもの。
文學博士 河野省三	國學の研究	洋函菊布入判	453	四、二〇（二三）	大岡山書店	五月	▲國民道德史の立場から近代の文化現象たる國學の性質を考察せる書。
伊東多三郎	國學の史的考察	洋函四六布入判	425	二、八〇（一四）	大岡山書店	一月	▲國學の本質、國學勃興前史、國學古道說の發展、國學の史的理解の四章にて論述。索引。
文學博士 平泉澄編	闇齋先生と日本精神	洋函菊布入判	223	一、五〇（一二）	至文堂	十月	▲平泉澄、內田良平、山本信哉等の闇齋研究者の多年の苦心を輯錄したるもの。
淺野正恭	古事記生命の原理	並四六製判	172	七〇（四）	淺野家	七月	▲古事記を貫通するところの原理を明らかにせるもので天地の初發外七章。
足利衍述	鎌倉室町時代之儒教	洋函菊布入判	917	一〇、〇〇（二三）	日本古典全集刊行會	十二月	▲鎌倉時代より室町安土桃山時代に至る迄の儒教を叙述せる書で、鎌倉時代外二編。
文學博士 田中義能	心學概說	洋函菊布入判	128	一、五〇（一二）	日本學術研究會	十月	▲心學の思想的研究で、心學者の經歷、心學教化論、心學と儒佛二教外五編。

文學博士 田中義能	武士道概說	洋函菊布入判	134	一、五〇（一二）	日本學術研究會	十月	▲我が武士道精華に就ての研究で、武士道の發達、武士道の教義外二編。
日本思想研究會編	現代語譯 松陰・象山名著集	脊函菊革入判	493	三、五〇（二三）	先進社	六月	▲吉田松陰、佐久間象山、會澤正志、淺見絅齋の名著を現代語譯せるもの。

倫理學・國民道德

藤井健治郎	倫理學原論（藤井博士全集（3））	脊函菊革入判	468	三、五〇（二三）	玉川學園出版部	八月	▲厭世主義に就いて、人生の理想と世界の根柢、生存競爭と道德外十章にて論述。
藤井健治郎	倫理學方法論 倫理學說研究（藤井博士全集（1））	脊函菊革入判	344	三、五〇（二三）	玉川學園出版部	六月	▲倫理學方法論（社會生活の內容と形式外八章）、倫理學說研究の二篇を收む。
藤井健治郎	正義の研究 國家の倫理（藤井博士全集（4））	脊函菊革入判	537	三、五〇（二三）	玉川學園出版部	四月	▲明治、大正、昭和を通じての我が倫理學界の權威故藤井博士の遺稿。
藤井健治郎	倫理と教育 日本特有道德研究（藤井博士全集（7））	脊函菊革入判	623	三、五〇（二三）	玉川學園出版部	十月	▲藤井博士の論文集で、「倫理と教育」「日本特有道德研究」の二篇を收む。
藤井健治郎	倫理と經濟（藤井博士全集第五卷第一分冊）	洋菊布判	299	一、五〇（一〇）	玉川學園出版部	一月	▲アリストテレースの倫理と經濟、倫理問題としての都市問題外五篇。
香原一勢	倫理學概論（初學者の爲の哲學・思想讀書 初學者の爲の）	布函四六裝入判	216	一、三〇（八）	文化書房	七月	▲倫理學の主要問題を選んで講述せるもので倫理學の問題、行爲論外十三講。
杉森孝次郎	社會倫理學概說	洋函菊布入判	396	二、〇〇（一四）	三省堂	二月	▲社會倫理學の必然及び必要、社會構造の倫理外三章。附錄失業の倫理外三章。
友枝高彥 近藤兵庫譯	グリーンとその倫理學	洋函菊布入判	617	三、八〇（二三）	培風館	五月	▲トーマス、ヒル、グリーンの倫理學及傳記を譯述せるもの。
東京文理大學教授 文學士 小野正康	西洋倫理學史（教育倫理講座）	洋函菊布入判	328	二、〇〇（二三）	甲子社	七月	▲希臘羅馬の倫理、中世の倫理、過渡時代の倫理等三篇にて論述せる書。
青木晦藏	東洋倫理學原論	布函菊裝入判	269	一、五〇（一四）	立命館出版部	四月	▲支那及び日本に於ける倫理的思想に關して論述せる書で、本性論、良心論其他。

東京帝國大學教授 文學博士 宇野哲人	東洋倫理學史	洋函四六布入判	162	一、五〇 八	甲子社	六月	▲支那の倫理諸學説に就ての論述で上代、中世、近世、の三篇。
三浦藤作	表解 西洋東洋日本倫理學史	布函菊裝入判	371	三、五〇 一二	文化書房	三月	▲西洋倫理學史表解、東洋倫理學史表解、日本倫理學史表解の三篇にて論述。
文部省督學官 文學士 藪田萬一郎	實踐道德	洋函菊布入判	236	二、五〇 一二	甲子社	九月	▲序言、時弊と青年の覺悟、自己、人の區別自覺、自己否定外十四章にて講述。
文學博士 河野省三	國民道德本義	洋函四六布入判	379	二、五〇 一二	天地書房	四月	▲國民道德實現の力としての民族精神を闡明せるもので、人と國家外十一章。
文學士 池岡直孝	國民道德概論	布函菊裝入判	311	二、三〇 一四	章華社	四月	▲國民道德の意義、國民道德研究の方面並に必要なる諸科學、國家の理論外八章。
亘理章三郎	國民道德論概要	洋函菊布入判	398	二、五〇 一四	大成書院	十一月	▲道德の原理、個人と社會、社會價値の創造と其の原理、國家外四章にて論述。
伊藤千眞三 蜷川龍夫	國民道德概説	上四六製判	322	一、五〇 一二	大倉廣文堂	一月	▲我が國固有の國民道德の本質、特色及びその發達並に現實の諸問題を闡明したる書。
日本大學教授 伊藤千眞三	國民道德原論	上函菊製入判	210	一、六〇 一四	甲子社	三月	▲國民道德の意義、國民道德研究の必要、國民道德研究の方法外十六章。
文學博士 西晉一郎	精神科學叢書(7) 國民道德講話	洋函四六布入判	234	一、五〇 一〇	藤井書店	六月	▲國民道德の眞相に就て論明せるもので、國民道德の理、國民道德の事實の二篇十章。

論理學

東北帝國大學講師 文學士 鈴木權三郎譯	（ヘーゲル全集(6)）大論理學 上卷	洋函菊布入判	682	四、五〇 一二	岩波書店	五月	▲ヘーゲルの論理學の譯で、上卷は有論（學は何をその始原となすべきか其他）。
宮島眞一	初學者の爲の哲學・思想讀書 論理學概論	布函四六裝入判	276	一、五〇 一〇	文化書房	七月	▲思考の性質、思考の原理、間接推理中の演繹推理、統整的方法外七章。
倍賞義雄	教育の基礎としての論理學	洋函四六布入判	361	二、五〇 一二	文化書房	八月	▲知識の性質一般、知識の基本要求、知識と言語、知識と論理學外十三章にて論述。

心理學・精神分析

東京府青山師範學校教諭 堀江時三	心理學 上卷	並菊製判	213	一、八〇 八	中文書房	四月	▲第一編にて心理學概説第二編にて知的作用を説述。
東京府青山師範學校教諭 堀江時三	心理學 下卷	並菊製判	197	一、六〇 六	中文書房	十月	▲情的作用意的作用、作業、心身の發達・個性及び人格について説述す。
香原一勢	初學者の爲の哲學・思想讀書 心理學概論	布函四六裝入判	238	一、三〇 八	文化書房	七月	▲心理學界に於ける各方面の傾向考へ方意見等を紹介せる入門書。
文學博士 小野島右左雄	最近心理學概説 上卷	洋函菊布入判	360	三、五〇 一二	中文館	十月	▲心理學の體系的叙述で、問題と其の性質、衝動論、知覺論、學習論外四章。
文學博士 久保良英	實驗心理學精義 —簡單行動篇—	洋函菊布入判	723	六、八〇 一二	中文館	四月	▲實驗心理學の定義及び、發達、感覺と知覺、嗅と味、色及び光外九章にて論述。
應用心理研究會編	應用心理研究 —第一卷第一號—	並菊製判	160	七〇 六	中文館	十月	▲繪畫の心理的鑑賞（松本亦太郎）文學作品と心理描寫（丸山學）外九篇。
東京帝國大學講師 法政大學教授 城戸幡太郎	現代心理學の主要問題	洋函菊布入判	397	三、〇〇 一四	同文書院	四月	▲哲學的人間學と精神科學、精神科學と心理學と性格學外一篇にて論述。
文學博士 淡路圓治郎	個人差の心理學	洋函菊布入判	317	二、五〇 一四	雄山閣	六月	▲個人及び社會の心的差異の問題に就ての組織的な研究で、性能の遺傳外八章。
青木庄左衞門	直覺心理の研究	布函菊裝入判	518	三、〇〇 一四	雄文閣	十月	▲科學と現象、心理學研究の單位、神經系統と身體、心的屬性と意識外十六章。
文學士 伊藤安二譯	街頭心理學	洋函四六布入判	219	一、二〇 八	モナス	九月	▲マクドゥーガルの『品性と生活統制』の譯述。
三枝博吉 江塚幸夫譯	ディルタイ記述的分析的心理學	洋函菊布入判	241	二、〇〇 一二	モナス	十一月	▲精神諸科學の心理學的基礎づけの課題、記述的分析的心理學外七章。附錄一章。
スプランガー著 上村福幸 土井竹治譯	青年心理學	洋函菊布入判	534	三、五〇 一四	教育研究會	一月	▲青年期の心理的全體特徴表現の試み、青年の社會的發達外十二章から成る。

レヱヴェス著 高野瀏譯	音響心理學原論	洋函菊 布入判	207	二、〇〇 一二	改造社	八月	▲音感覺に於ける二つの獨立せる音樂的特性其他。
文學士 金子武藏譯	（ヘーゲル全集(4)）精神現象學 上卷	洋函菊 布入判	371	二、六〇 一四	岩波書店	六月	▲序文、學的認識に就いて、緒論、A意識、B自己意識を譯載。
レムケ著 立花祐雄譯	（岩波文庫(820)）人間の精神 —心理學概說—	並菊半 製截	180	二〇 四	岩波書店	五月	▲序論、第一篇精神本體、第二篇精神生活により體系的に說いた心理學概說。
クレッチュメル著 内村祐之譯	天才人	洋函菊 布入判	248	二、七〇 一二	岩波書店	四月	▲天才人の個性に關して論述せる書で、人格の刻印、精神生活の週期性其他。
文學士 古川竹二	血液形と氣質	洋函菊 布入判	393	二、八〇 一四	三省堂	二月	▲情意的素質の身體的基礎、應用方面の研究訓育への應用其他にて論述。
廣島文理科大學教授 文學博士 久保良英	（現代心理學選書(2)）精神分析學	洋函菊 布入判	497	四、〇〇 一二	中文館	五月	▲精神分析學の全般に亘つて說き更に應用的方面に及べるもので、夢の解釋外十一章。
矢部八重吉	精神分析の理論と應用	並四六 製判	330	一、五〇 八	早稻田大學出版部	八月	▲精神分析學の根本義及びその應用に就て述べたもので、自己欺瞞と理窟附外十八章。
大槻憲二	（雄山閣ライブラリイ(2)）精神分析概論	並新四六 製判	109	特三〇 二〇	雄山閣	十二月	▲精神分析の全般知識に就て述べたもので精神分析とか何か、精神分析の發達外三章。
フロイド著 木村謹治・内藤好文譯	（フロイド精神分析大系(12)）幻想の未來	洋四六 布判	272	一、八〇 八	アルス	十月	▲幻想の未來、素人分析の問題の二論文並に自傳を收む。
フロイド著 林髞譯	（フロイド精神分析大系(13)）超意識心理學	洋四六 布判	372	一、八〇 一〇	アルス	五月	▲一九一一年より一九一七年に亘つて書かれたフロイドの超意識心理學外三章の譯。
フロイド著 矢部八重吉・對馬完治譯	（フロイド精神分析學全集）自我とエストーテムとタブー	洋四六 布判	313	一、八〇 八	春陽堂	一月	▲自我とエス（二種の本能外四章）トーテムとタブー（骨肉姦の恐怖外三章）。
フロイド著 大槻憲二譯	（フロイド精神分析學全集）分析戀愛論	洋四六 布判	274	一、八〇 八	春陽堂	五月	▲戀愛心理に關するフロイドの重要なる論文の譯で、戀愛生活の心理外九篇。
大槻憲二譯	（フロイド精神分析學全集(8)）分析療法論	洋四六 布判	315	一、九〇 八	春陽堂	十月	▲分析療法論、非醫者の分析可否の問題、性格と肛門性感の三篇收錄。

美學・藝術論

文學博士 佐藤直丸	美學概說	上四六 製判	215	一、五〇 一〇	大倉廣文堂	四月	▲序說美意識の構成美の一般形式美的感情の種類美と人生の五章に分ちたる系統的研究書
カント著 東京帝國大學教授 文學博士 大西克禮譯	（カント著作集(4)）イマヌエル・カント 判斷力批判	洋函菊 布入判	693	四、二〇 一二	岩波書店	五月	▲カントの第三批判に關しての論述で、美的判斷力の批判外一部。
カント著 坂田德男譯	判斷力批判	洋函菊 布入判	707	五、〇〇 一二	鐵塔書院	二月	▲美的（直觀的）判斷力の批判、目的論的判斷力批判の二部。附錄判斷力批判第一序說。
ベッカー著 湯淺誠之助譯	美の果無さと藝術家の冒險性	並菊 製判	51	六〇 四	理想社	四月	▲オスカー・ベッカーの「美の果無さと藝術家の冒險性」の譯。
甘粕石介譯	（ヘーゲル美學大系(1)）ヘーゲル美學の辯證法	洋函四六 布入判	164	一、二〇 八	春陽堂	六月	▲ハインリッヒ・ホト編纂のヘーゲル美學講義緒論の飜譯で、藝術哲學の根本問題外四章。
土方定一	ヘーゲルの美學 —唯物論美學への一寄與—	洋函四六 布入判	216	一、二〇 八	木星社	十一月	▲藝術の本質、自然美と藝術美、藝術創作の客觀的側面外二編にて論述。
金原省吾	東洋美學	洋函菊 布入判	247	二、〇〇 一四	古今書院	十月	▲東洋美學の組織立つた研究で、自然、空間の行動性認識、展開點外七章。
島村民藏	藝術學汎論	洋函四六 布入判	381	二、〇〇 一二	三省堂	六月	▲藝術及び藝術學研究の主要方向と根本問題に就て論述せるもので、藝術の特殊性其他。
外山卯三郎	一般藝術學考	洋函菊 布入判	492	五、〇〇 一二	第三書院	五月	▲最近の藝術學に就いて、一般藝術史の對象と方法外二章にて論述。
トルストイ著 木村毅譯	（改造文庫第一部(56)）藝術とは何ぞや	布菊半 裝截	286	三〇 四	改造社	十二月	▲トルストイの「藝術とは何ぞや」の譯で、藝術に浪費さるゝ時間と勞力其他。
清水清譯	（玉川文庫(13—14)）フーイドラー藝術論	並菊半 製截	139	四〇 四	玉川學園出版部	八月	▲藝術と美、藝術と學問、藝術と認識外一章。

心靈・妖怪

著者	書名	體裁	頁數	定價・送料	發行所	發行月	內容
三浦關造	心靈の飛躍 ―超人の出現―	背革入 圖入 四六判	303	一、八〇 一〇	日東書院	六月	▲一大變化の合圖、人生の超越法則に就て、人間界に訴へ出る天界外十六章。
文學博士 福來友吉	心靈と神祕世界	布裝入 圖入 菊判	573	特七、〇〇 五、八〇 三〇	人文書房	十一月	▲心靈研究書で、緒論、心靈現象、自我、神秘世界、靈と生命の五編にて論述。
文學博士 井上圓了	妖怪學	洋布入 圖入 四六判	2058	三、八〇 三三	莊人社	十月	▲定義篇、學科篇、天變篇、地妖篇、偶合篇陰陽篇、心象篇外卅九講。―改訂版―
宇佐美景堂	日本靈怪史話（靈學文庫第四篇）	並製 四六判	26	[illegible] 二五	日本神靈協會	五月	▲我が國古來より殘る神靈實話を文献より拾ひ集たもので、近代心靈學と對照して面白い。
岡田建文	蛇淫と幽靈の話（靈學文庫第五篇）	並製 四六判	18	[illegible] 二五	日本神靈協會	九月	▲蛇類の有する奇怪なる靈的實話と幽靈の實在を證明するに足る話を蒐集せるものである
宇佐美景堂	心靈科學と惟神道	洋布 四六判	70	一、〇〇 四	日本神靈協會	九月	▲最新の科學心靈學と我國最古の思想惟神道の一致を說き日本民族の世界的使命を明にす

易學・運命學

著者	書名	體裁	頁數	定價・送料	發行所	發行月	內容
藤村與六	易の新研究	洋布入 圖入 菊判	872	五、〇〇 三三	關書院	六月	▲易に就ての合理的實證的な研究で、聯卦易說、繫辭傳全文、周易上經其他。
文學士 神山五黄	實占適用 易學講義 第一卷錄	上製 菊判	200	二、〇〇 一〇	神山易學會	七月	▲廿年に亘る學理の研究と實占體驗とを傾注せる講義で實占家及研究家の指針。
文學士 神山五黄	實占適用 易學講義 第二卷錄	上製 菊判	200	二、〇〇 一〇	神山易學會	八月	▲同上
文學士 神山五黄	實占適用 易學講義 第三卷錄	上製 菊判	200	二、〇〇 一〇	神山易學會	十月	▲同上
文學士 神山五黄	實占適用 易學講義 第四卷錄	上製 菊判	200	二、〇〇 一〇	神山易學會	十二月	▲同上
神靈研究會	生年月日 周易占ひ法	並製 菊半截	117	三〇	日本佛教新聞社	十月	▲九星の原理、易の說明、五行と吉凶、十干と十二支、生年月日と運勢の關係早見等。

著者	書名	體裁	頁數	定價・送料	發行所	發行月	內容
神靈研究會	九星便覽 運勢大辭典	並製 菊半截	181	四〇 四	日本佛教新聞社	九月	▲九星による運勢判斷を中心とし生年月日によりてその人一代の運勢を豫斷すべき指針。
文學士 神山五黄	昭和八年 今年の運勢	四六裝判	200	七〇 五	神山易學會	十二月	▲一々立筮し各人の運勢を年齡別各月割に說明せるもの。
文學士 神山五黄	占斷實驗錄	布製 菊判	250	三、〇〇 一〇	神山易學會	十月	▲實際占斷實例中興味ある問題に占斷を下せる理由を各封各爻變卦等に基き說明す。
小西久遠	圖解手相學	洋布入 圖入 四六判	236	二、〇〇 一〇	一誠社	九月	▲新手相學の精髓を述べたもので、手の形狀に關する研究外一編。
平田了山	闘運讀本	上製入 圖入 菊判	256	一、五〇 一四	木村書房	二月	▲正名と易とに就て記述したもので、正名の意義、言表の辯證、易の辯證。
松平英明 本間五郎	知らねばならぬ科學的家相の話	布裝入 圖入 四六判	222	一、二〇 一〇	歐亞社	一月	▲家相に關する研究並に建築學及設計に關する研究を收錄せる書で、地相の元則外六章。
飯田天涯	家相方鑑大全	洋布入 圖入 菊判	491	五、五〇 三三	木村書房	三月	▲方相學に就て論述せるもので、方鑑、家相總論、地相、方相學に關係ある迷信誤說其他。
長谷川沼浦	指紋と性格（實學全書(7)）	洋布入 圖入 四六判	318	一、五〇 一二	春秋社	二月	▲總論、指紋法、指紋と性格、指紋と運命、指文排列の實例の五章にて論述。

法學士 新田邦達先生著

菊判上製函入 紙數三百三十頁 定價金貳圓五拾錢 送料金十八錢

最新刊

宗教行政法要論

解說書無ければ理解し難しとする難解の宗教法規を系統的且つ平易に講說したる良書なり。第一編に宗教行政の理論を說述し、第二編に宗教法規を詳說し、附錄に關係法規全部を編述せり。神佛道教師、僧侶、寺院教會、檀信徒總代人、基督教關係者、社寺擔任の官公吏警察官等實務家の必携すべきは勿論、宗教制度の知識を要する教員、學生諸子の一讀を奬む。

土屋詮教先生著

菊判上製紙數千頁 大特價金參圓 定價全六圓 送料廿四錢

增補再訂

日本宗教史

文部省特選圖書として各方面より高評を博したる本書も品切の處今回昭和七年末日迄を增補し訂正して新裝發賣す。特に菊判千頁の本書を最大特價を以て大方の需要に應ず、此の機會は再び來らず、即刻購求あらんことを。

東京牛込區早稻田大學前
振替東京二三七三七番
電話牛込(34)五七三五番

敬文堂書店

二、宗教

宗教學・宗教論・宗教問題

著者	書名	形體裝釘	頁數	定價錢 送料錢	發行所	發行月	內容大意
イマヌエル・カント著 安倍能成譯	カント著作集(5) 宗教哲學	菊判 洋函入布	480	三、二〇 二二	岩波書店	二月	▲カントの著「單なる理性の限界內に於ける宗教」訂正第二版の譯で、四篇より成る。
田淵正範	宗教學叢書(12) 英米の宗教哲學	菊判 洋函入布裝	327	二、二〇 一四	春秋社	七月	▲ロイス及びジェームズの思想の根本的解說書で、ジェームズの經驗とその宗教其他。
フオイエルバツハ著 奥一雄譯	宗教の本質	四六判 洋函入布	463	二、〇〇 一〇	共生閣	八月	▲宗教の基礎としての依據感、宗教の根本としての利己主義外廿八講。—改訂版—
クノー著 玉城肇譯	改造文庫第一部(52) 宗教及び信仰の起源	菊半截 布裝	271	〇 三〇 四	改造社	九月	▲近代の宗教研究、靈魂及び神の觀念の發生祖先崇拜から自然崇拜へ外七章。
ルカチエフスキー著 岩村伍一郎譯	唯物史觀 宗教の起源及本質	菊判 洋函入布	236	二、〇〇 一二	考古書院	十二月	▲宗教の規定の方法論的意義、原始的信仰に關する吾々の根本資料外九章。
赤松智城	宗教史方法論	菊判 春函入洋布	134	一、〇〇 八	共立社	十二月	▲宗教史の一般方法論に就て述べたもので、近代の宗教史學史其他。
江原萬里	宗教と國家 —エレミヤ記の研究—	四六判 並製	460	一、八〇 一〇	岩波書店	十二月	▲舊約聖書中有名なるエレミヤ記の解說で、ヨシヤ王時代、ゼデキヤ王時代外二篇。
小野清一郎	宗教肯定の論理	四六判 洋函入布	184	六〇 六	大雄閣	十月	▲宗教肯定の論理、社會科學と社會思想、現時に於ける佛教青年運動の意義外十四章。

生田長江	宗教至上	四六判 洋布入	324	一、五〇 一二	新潮社 二月
松岡讓	宗教戰士	四六判 上製	478	一、五〇 一〇	大雄閣 十一月
堀内眞澄	比較宗教夜話	四六判 洋布入	470	二、三〇 一二	文書堂 六月
世界宗教平和會議日本委員會編	日本宗教平和會議紀要	菊判 並製	400	一、五〇 一〇	世界宗教平和會議日本委員會 三月
友松圓諦	寺院經濟の前途	四六判 並製	397	一、〇〇 八	大東出版社 十二月
櫻井匡	明治宗教運動史	四六判 並製	191	一、〇〇 六	森山書店 十一月
東京帝大助教授 宇野圓空編	反宗教運動の批判	四六判 並製	270	一、〇〇 六	近代社 四月
本庄可宗	宗教の批判と理解	四六判 布函入裝	439	一、五〇 一二	大東出版社 一月
眞野正順	マルクス主義に對する宗教の立場	四六判 並製	130	五〇 六	大東出版社 二月
沖田順三譯編	反宗教鬪爭	四六判 並製	248	八〇 六	木星社 十二月
ルカチェフスキー著 日本戰闘的無神論者同盟譯	「無神論」教程 —第二部、宗教の起源—	四六判 並製	280	九〇 六	白揚社 十一月
淺野研眞	無神論と反宗教運動 —その史的展望—	四六判 並製	142	五〇 四	大雄閣 七月
淺野研眞	社會變革過程と宗教	四六判 並製	170	五〇 六	大雄閣 十二月

▲我等はむしろ宗教至上主義者、マルキシズム自體の阿片性外廿篇の評論集。

▲宗教に就ての感想批評等を收錄せるもので宗教批判、宗教都市外二篇。

▲日本とイスラエル、信仰と其對象、基督の價値判斷、四大宗教の理想人外十三章。

▲日本宗教平和會議の發端準備趣意を始め會議の經過決議事項其他一切の事項を網羅す。

▲序論、本論（寺院經濟問題の發生、寺院經濟の指導的思想外二章）結論。

▲明治維新と宗教、神佛分離、護法扶宗の運動、基督教の活動外四章にて論述。

▲辯證法の本質（紀平正美）反宗教運動の背景的思想（川合貞一）外八篇及附錄三篇。

▲宗教的眞理の批判、他力道への理解、將來文化は宗教的古典より何を攝取するか。

▲運動の社會的基礎、マルクス主義の立場と其特質、宗教の立場と其特質外四章。

▲ソヴエートロシアに於ける教會と宗教、反クリスマス鬪爭其他譯編。

▲宗教の起源、キリスト教の起源、回々教の起源、外三章にて論述。

▲無神論と反宗教運動の歷史的發展を全面的に叙述せる書。

▲目まぐるしき社會の變革過程を宗教特に佛教は如何に方針を定むべきか文化的伴侶である

濱田本悠	神の退場より再登場まで	四六判 上製	276	一、五〇 一二	大倉廣文堂 三月
立正・日本大學教授 濱田本悠	宗教問題パンフレット 第一編	菊判 並製	30	一〇 二	天沼研究室 八月
立正・日本大學教授 濱田本悠編	宗教問題パンフレット 第二編	菊判 並製	30	一〇 二	天沼研究室 十月
立正・日本大學教授 濱田本悠編	宗教問題パンフレット 第三編	菊判 並製	30	一〇 二	天沼研究室 十一月
立正・日本大學教授 濱田本悠編	宗教問題パンフレット 第四編	菊判 並製	30	一〇 二	天沼研究室 十二月
文學博士 經學博士 富士川游	内觀の法	菊判 並製	182	八〇 六	山喜房 十月
京城大學教授 白井成允	善の實現	四六判 並製	190	一、二〇 八	大雄閣 一月
東洋大學講師 田中治吾平	驗奇蹟物語り	四六判 上製	180	八〇 八	會通社 十二月

▲聖なる絶體を思慕して強く、正しく、清く、樂しく生きさせる爲に書かれた書。

▲「反宗教問題批判」並に「西洋の寺院生活」

▲宗教のフアツショ性。フアツシズムの宗教性。佛教體系に於けるフアツショ思想。

▲寺院教會を公立公會堂として經營する改革案。村落更生と教團更生。寺院財產の管理方法

▲カトリツク問題の所在。カトリツクの根本概念宗教に於ける國民主義と國際主義外一篇

▲内觀自省の法を宗教的、醫學的立場から說いたもの。

▲善とは何にか、如何にして吾々は善を實現すべきであるかを詳述されてある。

▲信仰の力に依つて救はれた體驗談を報告三十有餘篇を集む。

神道

文學博士 清原貞雄	神道史	菊判 脊革入	673	五、〇〇 一二	厚生閣 六月
宮司 高山昇	日本神道史精義	菊判 上製	480	三、八〇 一二	會通社 一月
文學博士 田中義能	神道修成派の研究	菊判 洋布入	64	八五 八	日本學術研究會 十月
文學博士 田中義能	黑住教の研究	菊判 洋布入	70	八五 八	日本學術研究會 十月

▲固有神道、儒道佛三教の輸入とその神道に及ぼした影響、神儒道佛混淆の傾向外四章。

▲神道の起源、發達、特色、時代による變遷を說き、尙神道の史實と史論を講述。

▲新田邦光の起せる神道修成派の研究で、教義論、教法論外二編。

▲黑住宗忠の起せる一新宗教の系統的研究で道の觀念、無限の生命、神國外廿五章。

佛教

宇佐美景堂		山嶽崇拜と磐城磐境 第二輯	並四六製判	16	日本神靈協會	十二月	▲山嶽崇拜の謬謬を指摘して日本古代の信仰を物語る磐城磐境を照會せるもの。
岡泰雄	神道演講	神道短篇講演錄	上四六製判	250	會通社	十二月	▲人道、神道、神道は教ではない其他數篇通俗の神道講演集。
河野鐵憲	神道演講	何でも來い	上菊製判	210	會通社	七月	▲祭典解說篇、民衆指導篇、通俗長講篇の三編よりなる講演材料。
青戸波江	神社祭式	行事作法教範	洋菊布入判	351	明治書院	二月	▲祭典に於ける起居進退敬禮作法及び行事作法儀式次第などを上下七章にて詳述した書。
宇井伯壽 文學博士	佛教研究調書(1)	根本佛教概觀	並四六製判	182	大東出版社	四月	▲上世印度思想の二潮流、新潮流としての佛教、初期の佛教即ち根本佛教外三章。
加藤精神	佛教研究調書(7)	佛教哲理の發達	並四六製判	168	大東出版社	九月	▲大乘佛教の起原に對する私見、釋尊の說法と教義、大乘佛教の獨立外二章。
友松圓諦		佛教經濟思想研究 第一卷	菊四六判	529	東方書院	二月	▲印度古代佛教寺院所有に關する學說を收めたもので、佛教文學の傳說性其他。
橋川正	九州大學教授	日本佛教年表	洋菊三六布入判	530	内外出版印刷株式會社	五月	▲我國佛教史の概要を完全に一目下展觀し得べき年表にして斯學研究者の座右必備の寶典
境野黃洋 文學博士	佛教研究調書(2)	日本佛教發達概觀	並四六製判	152	大東出版社	四月	▲日本佛教の史的概觀、支那輸入の佛教、日本特殊の佛教開立の三章にて論述。
宇野圓空	佛教研究調書(3)	佛教が要求する宗教生活	並四六製判	154	大東出版社	四月	▲宗教と宗教的生活、佛教の史的展開、成佛と信心の意義、教團の眞義外七節。
梅原眞隆	佛教研究調書(6)	淨土教の實踐法	並四六製判	145	大東出版社	八月	▲八正道と六波羅蜜、五念門の啓拓、五正行の構成外五章。附錄淨土教の本質。
倉田百三逸	佛教研究調書(8)	生活と一枚の宗教	並四六製判	146	大東出版社	十二月	▲信仰の經路に就て、信仰と生活、善惡を橫に截る、萬有悉く見れ如來の四篇。

山邊習學	佛教に於ける	地獄の新研究	洋菊布入判	269	法藏館	三月	▲佛教に於ける地獄に就ての檢討で、迷界研究の意義、地獄の位置と其意味外九章。
高楠順次郎 文學博士		人間學としての佛教	並四六製判	462	春秋社	五月	▲聖者の系統としての如來、五類の說法、文字なき聖典文學、生命の意義外廿八章。
小瀧淳		佛門を叩く人に	洋菊布入判	357	二松堂	二月	▲佛陀、極樂淨土、淨土生活、民衆化さるべき經典、生活は佛外六十五章。
加藤咄堂		現代思潮と佛教	上四六製判	120	大雄閣	六月	▲現代思潮の傾向、佛教の一貫概念、佛教の現代的考察、人間苦と其解說其他にて論述。
岸澤惟安		宗意安心	上菊四六製入判	215	大倉廣文堂	十二月	▲敎法布敎上の知識と其要領に就て述べたもので、修證義と安心、戒法の意義其他。
中央佛教社編		自力更生と佛教	並四六製判	152	甲子社	十二月	▲時局敎化に對する佛敎者の覺悟、自力更生の根本精神、自力更生と精神立國。
安藤州一		實在と信仰	並菊半截	80	中央佛教社	十二月	▲實在と信仰を說いたパンフレット。
萩生隆三		愚禿禮讚	並四六製判	105	顯眞學苑出版部	五月	▲親鸞聖人傳の精密な研究及びそのうちに自ら溢れ出た追慕と法悅の記錄。
梅原眞隆		眞實の道	上四六製判	260	顯眞學苑出版部	十月	▲眞實の大道を講唱せるもの、宗教の眞諦、佛教の根元、眞宗の行信を味ふ書。
關田香動		ニーチエと佛教	並四六製判	108	顯眞學苑出版部	五月	▲ニーチエと東洋との間に存する意外なる親緣を論述。
尾辨匡 文學博士		佛教經典概說	洋菊布入判	675	甲子社	十二月	▲大乘經典の成立、般若經典、初期大乘經、大乘經典成立の根據外三章。
加藤咄堂		維摩經の文學	並四六製判		大東出版社	六月	▲大乘經典の特色、維摩經の文章、維摩經の註疏、維摩經の內容等にて平易に講述。
高島米峰	佛教研究調書(5)	般若心經講話	和菊紙入判	342	丙午出版社	八月	▲全佛敎的見地から淨若般眞空妙有の哲理を平易に解說せる書。

清水谷恭順	新釋 般若心經講話	上製三六判	240	八〇 送六	山喜房	十一月	▲般若心經を平易に誰にも判りやすく説いたものである。
玉置韜晃	盂蘭盆經講話	並製四判	137	六〇 送四	顯眞學苑出版部	七月	▲盂蘭盆經の本文と意譯と解説、日蓮尊者の生涯、施餓鬼、盆會、盆踊等の講解。
梅原眞隆	大經五惡段講話	並製四六判	90	四〇 送二	顯眞學苑出版部	十月	▲大無量壽經の五惡段を解説して、眞宗教徒の生活態度を正しく指示したものである。
大内青巒	六方禮經講話	並製四六判	71	三〇 送四	鴻盟社	八月	▲説釋迦羅越六方禮經の講話で、正宗分前段正宗分後段外二部。—改訂版
原田祖岳	佛祖正傳 信證抄訣 修證義講話	洋布函入四六判	801	四、〇〇 送一四	中央佛教社	十月	▲修證義の深旨に就て述べたもので、懺悔滅罪の大綱、受戒入位の大綱外三章。
慶應大學教授 文學士 友松圓諦譯	新譯 阿含經	並製函入四六判	304	一、五〇 送一八	甲子社	十一月	▲苦の實相、苦の原因、理想實現の形式、涅槃の理想の四章。—普及版
高野山大學教授 森田龍僊	觀音經普門品講義	並製四六判	170	六〇 送六	日本佛教新聞社	十月	▲法華經の大綱、普門品の大意、觀音の三昧密教より觀たる法華經、法華經の註釋等。
大原性實	讃佛偈講話	並製四六判	121	五〇 送四	顯眞學苑出版部	五月	▲法藏菩薩の讃佛偈、この嘆佛の詩を體驗的に講述す。
高千穗徹乘	大經重誓偈講話	並製四六判	101	五〇 送四	顯眞學苑出版部	十二月	▲大經の重誓偈を通して眞宗の根本信條を述べ著者の宗教經驗を打ち出したものである。
顯眞學苑同人	觀經定善觀研究	並製菊判	254	一、〇〇 送九	顯眞學苑出版部	八月	▲學苑同人の綜合研究といふ新しい試みによつて發表せられたものである。
玉置韜晃	阿頼耶識論	並製四六判	150	六〇 送四	顯眞學苑出版部	六月	▲唯識學の根本問題である阿頼耶識について縱横に論斷したものである。
山田孝雄編	一切經音義	半紙判和裝七冊帙入	1316	二六、〇〇 送四五	西東書房	十一月	▲佛經中の漢字漢語の音を註し義を釋したるもの。
本派本願寺布教使 甲斐静也編	日々聖典	袖珍洋布	430	二五 送四	内外出版印刷株式會社	四月	▲佛典中より譬喩、物語、佛傳、訓話、歎異等を蒐集三百六十五日に配當編纂。

松崎登本	曹洞宗在家信徒 日課要集	並製三六判	158	二五 送四	光融館	四月	▲朝晩の勤行用に適す、特に讀經の始まり、中、終りに黒丸を入れてオリンを打つを示す。
住田智見	眞宗要目五十題講述	洋布菊判	310	二、五〇 送一〇	法藏館	七月	▲眞宗安心の要を五十にわかつて一つ一つ明瞭に講義したるもの。
法藏館編	眞宗假名聖教	洋布四六判	1210	三、〇〇 送二三	法藏館	八月	▲大本十三冊の縮刷版。石版印刷。
ピッシェル著 鈴木重信譯	佛陀の生涯と思想	並製函入四六判	207	八〇 送六	甲子社	十一月	▲佛陀時代に於ける東北印度、佛陀の生涯、佛陀の教訓法外四章。—普及版—
增谷文雄	宗教學讀書(8) 佛陀時代	布装函入菊判	259	二、〇〇 送一四	春秋社	五月	▲佛陀時代の史的研究に關する理論、佛陀の根本的立場外八章にて論述。
小瀧淳	地上の人釋迦	洋布函入四六判	284	一、二〇 送一〇	二松堂	十一月	▲釋迦種族の興起、老病死苦の感得、畢波羅樹下の成道、涅槃直前の阿難外廿八章。
大正大學教授 岡田契昌	弘法大師之教義	洋布函入菊判	434	三、五〇 送一四	第五 宗典發行所	九月	▲眞言宗の沿革、弘法大師の御傳、弘法大師の御偉績、即身成佛外四章にて論述。
藤枝昌道	聖覺法印の研究	並製四六判	105	五〇 送四	顯眞學苑出版部	七月	▲專修教團の英哲たりし聖覺法印の生涯を検討し其教義を論述せしもの。
高佐貫長編	日蓮聖人御遺文	革装函入菊半截	1577	三、〇〇 送二二	本化聖典普及會	六月	▲日蓮上人の遺文集で、御著作篇、消息篇に分け收む。—普及版—
清水龍山・守屋貫教・中谷良英・鈴木一成・屋原久遠編	新修略註 日蓮聖人遺文集	洋布函入三六判	1099	二、五〇 送一四	誠文堂	八月	▲日蓮聖人の遺文四百餘篇中より五大部を初め百二十餘篇を年代順に收錄せるもの。
大谷尊由	親鸞聖人	布装函入四六判	236	一、二〇 送一〇	實業之日本社	二月	▲宗教界の偉人親鸞聖人の信仰生活の骨子を粉飾なく表現せる書。
曉烏敏	佛教研究叢書(4) 親鸞聖人の信念の底に流るゝ神ながらの道	並製四六判	132	六〇 送四	大東出版社	六月	▲親鸞聖人の血統について、自然法爾の信念歸命の字訓について外二章。
文學博士 齋藤唯信	親鸞教徒の信仰	布装四六判	382	一、八〇 送一四	金尾文淵堂	十二月	▲親鸞教徒の信仰を説いた書で、業力と他力信仰、彌陀如來の佛身其他數十章。

若山智道	親鸞聖人と道元禪師の思想と宗教	菊判	46	一五二	山喜房	五月
梅原眞隆	親鸞聖人の三經觀	四六判	62	二三〇	顯眞學苑出版部	四月
梅原眞隆	歎異鈔に現れたる親鸞聖人	四六判	253	一、〇〇八	顯眞學苑出版部	十月
藤原猶雪	親鸞聖人の女 覺信尼公行實の研究	上菊判	220	二、〇〇二	山喜房	三月
安井廣度	覺信尼と大谷本廟	並四六判	100	三〇四	法藏館	三月
高橋北堂編	禪門をたゝく人に	布四六判	270	一、三五〇	近代文藝社	五月
宮島資夫	禪に生くる	上四六判	344	一、一〇〇	大雄閣	十一月
飯田儀隱忠	禪	並四六判	77	三〇二	中央佛教社	一月
近角常觀博士	眞澄 野狐禪	上四六判	296	一、〇〇八	京都人文書房	二月
原田祖岳	參禪質疑解答集	布四六判	302	一、〇〇八	中央佛教社	四月
來島琢道	驚見日顯 人生哲學 禪と日蓮主義	洋四六判	661	二、三四	資文堂	一月
村山廣道	禪と修養	洋四六判	303	一、〇一〇	中央佛教社	十月
無佛居士	大乘酒落禪	並四六判	110	三〇四	新日本佛教社	十月

▲親鸞と道元の思想を比較研究せるもの。

▲本書は淨土三部經に對する聖人の獨自の觀察を縷ろに論述せるもの。

▲歎異鈔をとほして親鸞の生活と信念を縷述せるもの。

▲淨土眞宗の開祖親鸞の第二女にて開宗に力せし覺信尼公の史的研究書。

▲大谷廟堂の創建者覺信尼公の一代を信仰上より觀たる著述。

▲坐禪の價値、禪の四門、禪的修養、自然の妙用、人格の向上、心を練れ外廿七篇。

▲僧堂、居士禪、提唱、得度、掛錫まで、托鉢、點心場、食事、接心外二篇。

▲忠は日本の生命、滿身忠となれ、勤王の志士平野國臣の歿外廿六篇。

▲崇佛の本旨、因果物語、道流誥ふ少きを得て足れりと爲す勿れ外卅七章。―特價版―

▲參禪質疑問題の解答を收めた書で、公案は如何にして工夫すべきや其他。

▲釋尊と禪、禪の現代思想、日蓮聖人の人生觀、人生問題の解決外廿八篇。

▲國民精神の振作と禪の要諦、精神修養の要旨、自力更生と禪、農村問題と佛教精神。

▲古來の公案をとらへ來りて禪の堂奧に參し徹然大悟せしむ。枯木巖一逢はず以下卅十項。

菅原如庵	禪學綱入笑談	並四六判	160	三〇四	新日本佛教社	十月
孤樂庵主人	一休禪師奇行笑談	並四六判	237	三〇六	新日本佛教社	十月
松浦百英 天野雉彥	布教方法と話術の秘訣	上菊判	193	一、〇〇八	甲子社	十二月
安藤嶺丸外四名合著	特殊布教講演集	洋四六判	680	二、〇〇四	法藏館	十一月
眞鍋廣濟	地藏說話の研究	並四六判	168	七〇四	顯眞學苑出版部	十月
津本鐵城	道味小品	並四六判	101	三〇四	顯眞學苑出版部	三月
中央佛教社編	信仰體驗錄	並菊判	83	三〇六	中央佛教社	十二月
牧田彌績	神祕と迷信の研究	並四六判	208	三〇六	日本佛教新聞社	九月
小瀧淳	西國靈場 新緣起傳說物語	洋四六判	564	二、三四	內外社	六月
高楠順次郎編	佛教辭典	洋菊半布製	305	二、一〇〇	大雄閣	六月
吉田龍英編	佛教年鑑 昭和八年版	並四六判	531	一、三五〇	佛教年鑑社	十二月

基督教

桑田秀延	基督教經濟學說（3） 基督教の本質	並四六判	262	七〇六	日獨書院	二月

▲禪と道元禪の綱要、三界唯一心、大體大度、禪の由來、禪の眞意、不動智、劍道の經事等。

▲一休の大悟、獨坐の戒、死しての後は、往生歌百種、地獄問答、末語の句等。

▲現代の布教方法（松浦百英）話術の秘訣（天野雉彥）の二篇を輯錄。

▲特殊布教權威者五氏の熱辯を輯錄せるもの。

▲地藏に關する我國の說話を手廣く敬虔に集錄討究したもの。

▲日常の生活の中に味ふ深い宗教味を、修道の指針、敎化の題材として集錄。

▲余が體驗に就て、わが宗教要求の經路、修養體驗の要訣、私の信仰體驗の告白。

▲鬼門、方位、惡魔と鬼、家相、降神術、幽靈、妖怪、狐と狸等に關する批判解說。

▲西國三十三所觀音靈場の緣起傳說物語で、佛智―那智山、靑岸渡寺其他。

▲中等學校の佛教の敎材として高楠博士の監修の下に編纂されしものである。

▲大勢、宗務、敎學、事業、時事、法令、統計、基礎經、神道、人事外三章。

▲諸宗敎の特徵、新約聖書の宗敎、羅馬カトリク敎會の神學外三章。

フォエルバッハ著 木暮浪夫譯	全譯 基督教の本質	四六判 洋布入	674	二、八〇 一四	共生閣	九月
フォイエルバッハ著 桑田悟郎譯	改造文庫第一部(107) キリスト教の本質	菊半截 布裝	497	五〇 八	改造社	六月
富永德磨	基督教とは何ぞや	四六判 洋布入	199	一、〇〇 八	新生堂	十月
柳原貞次郎	基督教讀本	四六判 上製	295	七〇 六	聖公會出版社	三月
坂野龍雄 坂野つる代	基督教女性觀	四六判 布裝	223	一、〇〇 八	向山堂	九月
ワーフイルド著 岡田稔譯	基督教原理入門	四六判 並製	70	三〇 四	一粒社	二月
ハルナック著 森敬之譯	基督教神學及教會教理の成立	菊判 並製	150	一、〇〇 六	長崎書店	十二月
熊野義孝	辯證法的神學概論	四六判 洋布入	250	一、二〇 八	新生堂	九月
マツコナツキー著 岸千年譯 藤原藤男譯	危機の神學者バルト及バルトの神學	四六判 洋布入	266	一、五〇 一〇	新生堂	十二月
アダム著 吉滿義滿譯	カトリシスムの本質	四六判 並製	335	一、〇〇 八	岩波書店	六月
ヴエルハウゼン著 丸川仁夫譯	イスラエル宗教文化史	四六判 洋布入	260	一、五〇 一〇	新生堂	七月
澁谷治	基督教思想原論(7) 基督教會の論據批判	菊判 布裝入	912	七、〇〇 二二	岡山思想科學研究所	二月
ゾーム著 岡田五作譯	基督教會史論	四六判 洋布入	330	一、八〇 一〇	新生堂	三月

▲宗教の眞實的即人類學的本質、宗教の非眞理的即神學的本質の二部。

▲宗教の眞實のすなはち人間學的本質、宗教の眞實ならざるすなはち神學的本質の二部。

▲基督教の要點を平易に說明せるもので、基督教とは何ぞや、神外二章。

▲理論と例話を配せし理想的指導書で大衆に理解を與ふる教理教科書。

▲聖書を通じての女性觀で、聖母マリヤに對する一考察、寡婦と二つのレプタ外十五章。

▲カルヴイン原著の基督教原理の最初の九章を研究し入門者への手引となしたるもの。

▲基督教初代史の中、表題につきての講演にして、著者晩年の著述。

▲宗教的知識、啓示の理解、人間と其歷史、信仰と倫理外一章にて論述。

▲バルト神學の入門書で、カール・バルトの知的靈的巡禮、バルトの基督教生活外六章。

▲序說、教會の內における基督、基督の體なる教會、教會を通じて基督へ外九章。

▲イスラエル宗教とイエスの福音、ユダヤ教團史の二篇にて譯述。

▲基督教會制度の前提、基督の教會建設意志と聖書的根據其他にて論述。

▲基督教會歷史の明瞭なる綱要で、初代、中世時代、宗教改革時代外二篇。

氣賀重躬	基督教教程叢書(5) 概說 教會史	四六判 並製	256	七〇 六	日獨書院	六月
黑崎幸吉	教會の本質	四六判 並製	68	三〇 四	一粒社	十二月
神學博士 館岡剛	基督教會史	四六判 洋布入	447	二、〇〇 一四	警醒社	五月
由木康	基督教教程叢書(4) 讃美歌小史	四六判 並製	243	六〇 六	日獨書院	五月
比屋根安定	基督教教程叢書(6) 日本基督教史要	四六判 並製	236	七〇 六	日獨書院	八月
塚本虎二	現代日本と基督教 ―ラヂオ講演―	四六判 並製	154	三五 四	向山堂	九月
原田季夫	文化の進展と基督の再臨	菊判 並製	103	五〇 六	ホーリネス教會出版部	三月
榊原巖	基督教思想叢書第三輯(6) 基督教社會經濟倫理	四六判 洋布入	395	一、五〇 一〇	基督教思想叢書刊行會	十二月
菅圓吉	基督教社會化の理論	四六判 並製	92	五〇 四	基督者學生運動出版部	七月
ラウシエンブツシユ著 栗原基譯	基督教思想叢書第八輯(1) 新社會建設のため	菊半截 洋布入	202	八〇 六	基督教思想叢書刊行會	四月
モツト著 齋藤惣一譯	世界の現勢と基督教	四六判 洋布入	456	一、八〇 一二	基督教思想叢書刊行會	十月
東京帝大教授 矢內原忠雄	マルクス主義と基督教	四六判 洋布入	285	一、一〇 一二	一粒社	二月
エス・エル・オラード著 鈴木二郎譯	オックスフォード運動	四六判 布裝	260	一、八〇 一二	聖公會出版社	六月

▲二千年に亘る基督教教會史の叙述で、古代教會史、中世教會史外一篇。

▲教會とは何であるか、聖書の源泉に立ち還つて其處より此の眞理について述ぶ。

▲教會二千年間の消長變化を的確簡明に述べたもの。

▲基督教讃美歌の歷史を簡明に記述せるもので舊約の讃美歌外八章。

▲日本基督教史の序說、傳來時代、布教時代禁教時代、迫害時代外四章。

▲基督教研究の必要、日本と基督教、キリストの生涯、基督教の本質外四講。

▲經濟史より視たる文化の進展と基督再臨思想に立却せる思想界に對す宣戰布告。

▲基督教社會經濟倫理の可能性、基督教社會經濟倫理の史的類型論外二部より成る論文。

▲現代に於ける基督教の社會化、基督教は社會問題を如何う取扱ふか外四章。

▲主の祈りの意義、讃美と感謝、社會集團と階級のため、義憤の祈禱其他の祈禱を收錄。

▲世界の現勢とその動向、基督教の農村進出人種關係と基督教の地位外七章。

▲基督教の立場よりせるマルクス主義思想を批判せる唯一の書。本論十四章他七篇を加ふ

▲英國宗教界の危機を救つた十九世紀の大運動、大運動に參加せし名士等の活躍集。

杉山元治郎	農村教化の研究	並四六製判	230	八〇六	大阪日曜世界社	二月	▲農村教化の實際的方法を著者の研究と體驗に基いて詳述せるもの。			
内村鑑三	内村鑑三隨筆集（岩波文庫 832—833）	並菊半製截	279	四四〇	岩波書店	七月	▲神、基督、信仰、希望、愛、生涯、天然、眞正の忠孝、聖貧其他を取めた隨筆集。			
内村鑑三	愛國心と基督教	並四六製判	180	三五〇	一粒社	十二月	▲愛國心と基督教、武士道と基督教、日本人と基督教、日本國と基督教について述ぶ。			
賀川豊彦	神に跪く	上圖四六製入判	230	一、一〇〇	大阪日曜世界社	十二月	▲著者の祈を集め一年三百六十五日、一日々々頒布するために編輯。—普及版五十錢—			
賀川豊彦	神と苦難の克服	並四六製判	362	一、一〇〇	實業之日本社	十月	▲苦杯を前にして、死の谷の蹂躙、宇宙の黎明に備へよ等三篇にて說述。			
外村義郎	神を求むる人々へ	並四六製判	154	三五〇	救世軍出版及供給部	十月	▲基督教の七大要義、放蕩息子の譬。誘惑、基督者の朝晝晩の四篇より成る說教集。			
山室軍平	天の父に露れ—說教集—	並四六製判	163	三五〇	アルバ社書店	三月	▲宗教と基督教、生命を與ふる宗教、十字架活ける基督、人生の目的、其他二篇を收む。			
野香澄	霊閃餘錄	並四六製判	180	六〇	一粒社	八月	▲著者の信仰に與へられたる閃光錄、日本語のバンセとして多大の好評を博するもの。			
浦口文治	にげゆく想い	上四六製判	186	四五〇	警醒社	十月	▲現實世界に於ける人生の謎を豐かな思想と根強い信仰とを以て解決す。			
佐藤繁彦	回心の回顧	並四六製判	70	三五〇	一粒社	五月	▲ルツター研究の大家たる著者のクリスチャンになつた回心の回顧錄である。			
小野村林藏	苦難の理解	並四六製判	69	三五〇	長崎書店	九月	▲苦難の理解、文ちやんのお母さんへ、病床の友への三篇を收む。			
土山喜一	祈禱の飢饉	並四六製判	48	二〇〇	一粒社	十一月	▲英國の無名基督者の信仰斷片錄を記したものにして靈の香り高き信仰に益する良書。			
	泉田精一アサ王の祈禱	菊三五製判	202		ホーリネス教會出版部	一月	▲本書は著者の說教集である。			

藤原藤男	基督と思富	並四六製判	127	八〇六	新生堂	九月	▲隣者即基督教そのものゝ本質の解明で、啓示と恩寵、聖書と恩寵外五章。			
富永徳磨	未來の創造（富永徳磨說教集（1））	洋四六判布入判	418	二、二〇〇	新生堂	一月	▲未來の創造、生命核心の問題、信を增させよ、人の將來外廿二篇。			
金澤常雄	祈と人生（基督立場講演叢書（1））	並菊半截製	30	一、二五〇	獨立堂	十二月	▲祈と人生、祈の困難、祈に就ての短想の三篇。			
苞卷星淵	信仰詩篇伸び行く生命	並菊半截製	144	三四〇	獨立堂	十一月	▲明治時代の基督教信徒の意氣抱負を持つ著者の信仰詩篇。			
イ冨治ヘ井藤近（ラ部譯）	禮拜の精神	洋四六判布入判	138	一、一〇〇	新生堂	三月	▲東教會の禮拜式、ロマ教會外十一章にて禮拜の精神及公同精神を說述。			
ブルンネル著菊地雄一譯	神の言と世界	洋四六判布入判	195	一、二〇〇	新生堂	二月	▲神と言と理性、キリストの言と歷史、聖靈の言と心理學外二講。			
ゴ稻垣陽一郎譯ア著	キリストへの信仰	洋四六判布	500	二、五〇〇	聖公會出版社	十一月	▲昨春逝ける世界的神學者ゴア著作五十種中の最大雄篇。			
カイバ上田丈夫譯アア著	カルヴィニズム	洋菊判布入判	340	二、三〇〇	長崎書店	十二月	▲宗教改革の總結論なるカルヴィニズムと、他宗教、科學、政治、藝術等の關係を述ぶ。			
パル松尾相譯ト著	義認と聖化	並菊判	72	五〇四	長崎書店	十二月	▲危機神學の倫理的方面についての小論。			
ブリトン岩橋武夫著	創造的禮拜	洋四六判布	154	八〇六	警醒社	六月	▲禮拜の本質を論じ宗教の永遠性をこゝに發見し破壞されし宗教の力を新にせんとす。			
トーレー菱谷與三郎著	如何に祈るべきか	並菊半截製	146	二五四	新報社	六月	▲基督者の信仰生活に必要なる祈禱に就いて明瞭に叙述。			
ムーデー石井越次郎著	神の愛	並四六製判	24	二五〇	アルバ社書店	二月	▲大說教家ムーデーの說教集の一篇を譯出したものである。			
マルテインデール著深井漠二譯	生命の言葉	並四六製判	57	二五〇	思想科學研究所	三月	▲カトリック教の要點を宣傳するトラクト。			

書名	著訳者	出版者	刊年月	判型	頁数	定価	備考
一粒社編輯部譯	マーレー著	一粒社	十二月	四六製	44	一、一〇	▲信仰とは何か、如何に祈るべきか、活きた信仰生活を送らんと思ふ者の書。
一粒社編輯部譯	マーレー著	一粒社	九月	四六製	110	一、一〇	▲他人のために祈る禱告の秘訣を語り之が何であるかを教へ導くところのもの。
原田美實譯	マーレー著	一粒社	五月	四六製	130	一、一〇	▲クリスチヤンの信仰生活の根本義について教ふるところの世界的の名著の一つである。
一粒社編輯部譯	マーレー著	一粒社	五月	四六製	100	一、一〇	▲自己の全部を投げ出して神に従はんとする者に助けと教へを與ふるところの指導書。
土山喜一譯	アイアンサイド著	一粒社	三月	四六製	40	一、一〇	▲キリストの十字架の救の眞意義を何人にも判り易く信仰ある者への參考書。
岡田五作譯	メーチェン著	一粒社	三月	四六製	40	一、一〇	▲キリストの救の信仰の確かさについて教ふる著者の論文を譯せしものなり。
金澤常雄譯	ロバートソン著	一粒社	四月	四六製	70	一、一〇	▲信ずる者に與へ給ふキリストの平安とは何であるか、キリストの治癒とは何であるか。
山崎亨治譯	ゴーデー著	一粒社	九月	四六製	84	一、一〇	▲創世記第一章について研究したるところの、天地創造の眞意義を教ふ。
三谷種吉譯	スクロッギー著	基督教書類會社	十一月	四六製	36	一、一〇	▲非常時に當りて基督者は新しき默示を受け體驗を新にし神に奉仕すべしと奬めた書。
土山喜一譯	トーレー著	基督教書類會社	四月	四六製	68	一、三五	▲ト博士の名說教「萬人の避難所、神は愛なり、神」の三篇を繙譯紹介したるもの。
テービーデビス著 事田秋次譯		ホーリネス教會出版部	四月	四六製	122	八〇	預言に適ひて　▲神の預言通りに實現しつゝあるユダヤ民族と榮えゆくユダヤ國の現狀に就いて。
エスエーキーン著 大江邦治譯		ホーリネス教會出版部	四月	四六製	193	一、四〇	信仰の盈滿　▲基督教信仰の經驗的方面に就いて。
中田重治譯	アンドリウマーレー著	聖潔の黄燈	一月	並四六判	97	一、二〇	▲耶蘇基督の寶血により聖潔られし者に對する信仰の成長に就いて。

書名	著訳者	出版者	刊年月	判型	頁数	定価	備考
事田秋次譯	ロシヤ館とユダの獅子	ホーリネス教會出版部	二月	三五製	28	一五	▲赤化思想擴大しつゝあるロシヤに對する預言者エゼキエルの預言と現狀。
ミス・ケニオン	天使	聖公會出版社	十一月	並菊半截	15	一二	▲天使の形體、性質、動作、等聖書に現はれたる諸事項に就ての研究書。
海老澤亮	聖地パレスチナの今昔	基督教書類會社	十二月	四六上製	160	七〇	▲聖地歷訪の旅に於てパレスチナの七不思議を強く受けたその靈感を書綴つたもの。
三枝義夫	基督（望之學園叢書6）下卷—基督時代の基督教	警醒社	十二月	四六菊判	350	二、一〇	▲ユダヤ思想とキリスト教の誕生、ヘレニズム文化へのキリスト教の進出の二篇。
本田正一	イエス（基督教思想叢書第三輯(3)）	春秋社	一月	並四六製	276	一、一〇	▲福音書を忠實にその資料としたイエス傳でイエスにきく外三部。—普及版—
ブツセ著 林達雄譯	イエス（岩波文庫845）	岩波書店	十月	並菊半截	136	〇二〇	▲イエスの生涯の外部的經過並びに彼の活動の諸々の形式外二章。
橋本正三	イエス傳（基督教教經論叢(7)）	基督教書刊行會	二月	四六製	202	一、一〇	▲イエス・キリストの傳記で、ナザレ、聖なる家庭、初期ユダヤ傳道外廿八章。
山口德夫	イエス傳—自叙傳ふうに—	聖公會出版社	四月	四六並製	308	一、一〇	▲イエス・キリストの傳で、イエスを叙す、キリストを叙すの二篇十八章より成る。
原野駿雄	イエス・キリスト（日本メソヂスト監敎教育論叢(5)）	警醒社	九月	四六並製	250	一、〇〇	▲聖地歷訪の旅に於てパレスチナの七不思議を強く受けたその靈感を書綴つたもの。
フインゲル	神人イエズス・キリスト	天主公教會	二月	四六洋裝	630	一、四〇	▲イエスの時代、イエスの召命、イエスの宣教、イエスの奉仕外六章。
賀川豐彦	キリストに就ての誤想	敎文館	七月	四六製	200	一、一〇	▲ユデア民族及ユデア敎、キリストの降生、公生活の開始外四篇。
ゴーデー著 岡藤正彦譯	キリストの奇蹟	一粒社	十二月	並四六製	58	一、一〇	▲キリスト傳の再吟味、キリストに與へし豫言者エゼキエルの感化外十二章。
ジエファソン著 村上潤次郎譯	耶蘇の品性	新生堂	六月	四六並製	228	一、一〇	▲キリストの行ひたまひし奇蹟の眞意義を開明し之を解說したるものとして有名なる書。 ▲耶蘇の品性に關する研究で、研究の資料、耶蘇の信條外十五章。

岩見次三	全世界の驚き	四六判上製函入	300	1,20 / 10	平凡社	十二月	▲イエス・キリストが僞の救主であつた事を詳述せる書で、平和を叫ぶ發端外十一章。
竹村清譯	聖アウグスチヌス基督教綱要	四六判並製函入	214	80 / 8	新生堂	十一月	▲信仰と希望と愛とに就ての本質的な問題を披瀝解明せるアウグスティヌスの著の譯。
內村達三郎	岩波文庫（813—816）聖アウグスチヌス懺悔錄	菊半截並製	491	80 / 8	岩波書店	五月	▲アウグスチヌスが過去の半生を叙述懺悔した告白錄全十三卷の全譯。
中山昌樹著譯	基督教文獻叢書 聖アウグスティヌス傳及「神の都」	四六判洋布函入	186	1,20 / 8	新生堂	二月	▲聖アウグスティヌスの生涯、「神の都」序說「神の都」（本文抄萃）の三部。
戶塚文卿	農村の改革者 —聖ヴィアンネー傳—	四六判並製	295	75 / 8	武宮出版部	二月	▲アルスの司祭聖ヴィアンネーの傳記で、幼き日、最初の頃の日常生活外十七章。
中澤正七編	日本の使徒 トマス・ウヰン傳	四六判並製	263	90 / 6	長崎書店	十月	▲明治十年日本に來り、北陸地方、大阪及び滿洲地方傳道につとめたるウヰン博士一代記。
吉田小五郎	聖フランシスコ・シヤギエル小傳	四六判洋布函入	338	2,50 / 12	大岡山書店	六月	▲シヤギエルの城、パリー大學、雪のアルプスを越えて、等卅九章、系圖、年譜、圖版。
神學博士 前川眞二郎譯	聖徒の面影	四六判上製	161	80 / 6	聖公會出版部	四月	▲英國教會を代表する十二名の聖徒列傳。模範的聖生涯集。
畔上賢造	聖書の基督教	四六判並製	117	45 / 4	獨立堂	二月	▲宗教の本質、イエスの神性、基督教道德の第一外六章。
立教大學教授 菅圓吉	聖書を讀む人の爲に	四六判洋布	429	1,80 / 8	文書堂	七月	▲舊約聖書及び新約聖書の全體に就ての一通りの知識を紹介解說せるもの。
トーレー著 土山喜一譯	聖書の權威	四六判並製	108	35 / 4	一粒社	二月	▲聖書の神的起原と權威と能力を各方面より說明せる研究的且つ信仰的の書。
ゲーベライン著 土山喜一譯	近代主義と聖書	四六判並製	32	10 / 2	一粒社	九月	▲俗化墮落せる基督教の排擊をなし聖徒の一度び傳へられたる信仰を闡明せるもの。
ルーン著 神近市子譯	聖書物語	四六判並製	277	1,00 / 8	大日書房	六月	▲やさしく書きかへられた聖書物語で、文學上の遺產、奴隸の生活を捨つ外十章。

ルーン著 神近市子譯	聖書物語 —新約の卷—（改造文庫第二部153）	菊半截布裝	256	30 / 4	改造社	四月	▲新約の卷（十六項）を收む。
ルーン著 神近京子譯	聖書物語 —舊約の卷—（改造文庫第二部152）	菊半截布裝	296	30 / 4	改造社	四月	▲舊約の卷（文學上の遺產以下十三項）。
ジェイ・エイ・ロバトスン著 稲田君子譯	秘められたる新約聖書ロマンス	四六判洋布函入	312	1,30 / 10	警醒社	四月	▲新約聖書の裡に秘められたるロマンスを科學的良心に基きて解剖す。
夏木亮	舊約物語 —上卷—	四六判上製函入	448	1,30 / 12	警醒社	十一月	▲舊約聖書の色々の物語を題材にして子供の爲にやさしく書いたもの。
卜部幾太郎編	日日の聖書	菊半截並製	46	10 / 2	アルパ社	十一月	▲基督界知名三百六十五人の愛誦の聖書の句を蒐めて聖書日課となしたものである。
米田豐	新約聖書全解	四六判洋布	566	1,50 / 14	ホーリネス教會出版部	四月	▲新約聖書全註解書にして句に簡潔通俗的で教理的又靈的方面に一般的知識を與ふべき書。
大屋左一	歷史的に見たる舊約聖書	四六判上製	3[illegible]0	1,20 / 14	一粒社	八月	▲舊約聖書を歷史的に秩序正しく配列し舊約聖書の眞意義を說明したる書。
原田美實	我がガラテヤ書	四六判布裝	270	1,20 / 12	一粒社	十二月	▲ガラテヤ書講解にして、信仰の活きた實驗より生れた力と熱とに充てる講解である。
守屋興雄譯	マテオ聖福音書註解	菊半截布裝函入	451	1,00 / 6	思想科學研究所	十月	▲內容は二色刷の本格的註解。
守屋興雄譯	トビア書註解	菊半截布裝函入	88	45 / 4	思想科學研究所	十二月	▲舊約聖書中ルーテルが廢棄したトビヤ書の原文譯とその註解。初代教會に使用された書。
畔上賢造	コリント前書註解	四六判洋布	680	3,00 / 14	一粒社	十一月	▲新約コリント前書を精密に註解したるもの
山谷省吾	コリント前書 —新譯と解釋—	四六判洋布函入	350	1,50 / 10	長崎書店	五月	▲パウロ三大書翰の一なるコリント前書の口語譯に簡明なる解釋を附したるものである。
日高善一	新譯聖書註解 ローマ書	四六判洋布函入	300	1,50 / 10	大阪日曜世界社	三月	▲新約聖書註解全廿七卷十三册の中の第十三回ローマ書の註解。

黒崎幸吉	新約聖書 ギリシヤ語文典	菊判 洋布	200	二、五〇 一四	一粒社	十二月
福地虎雄	新讃美歌の知識	四六判 並製	20	五〇 二	一粒社	九月
中田羽後	リヴイヴル聖歌	四六判 並製	321	一、〇〇 一〇	ホーリネス教會出版部	一月
聖公會神學院教授 山縣雄杜三編	家庭の祈	菊半截 上製	125	六〇 四	聖公會出版社	十二月
ロバーツ著 橋本よし子譯	いやしのたすけ	四六判 上製	72	五〇 四	聖公會出版社	七月
ジョンストン著 稲垣文子譯	みかげて慕ひて	四六判 布裝	309	二、〇〇 一〇	聖公會出版社	十二月
神學博士 トリスト著 細貝貞子譯	子供のイエスさま	四六判 上製	112	八〇 六	聖公會出版社	十二月
ミス・バラード著 細貝貞子譯	アリス姫	菊半截 並製	90	三〇 二	聖公會出版社	十二月
馬場久成	日曜學校の諸問題	四六判 並製	230	五〇 六	一粒社	二月
岩橋武夫	暗室の王者	四六判 洋布入	290	一、〇〇 一〇	大阪 日曜世界社	三月
スポルジョン著 青芳勝文譯	朝ごとに	四六判 並製	306	一、〇〇 八	大阪 日曜世界社	一月
梅田安之	信仰英雄物語 第三篇	四六判 並製	110	二〇 四	大阪 日曜世界社	十一月
日曜世界社編輯部	日曜學校 實演對話集 第二	四六判 並製	150	四五 四	大阪 日曜世界社	十月

▲新約聖書のギリシヤ語一般を學習する者にの文典書。

▲新しい讃美歌の特徴、歌詞の分類、曲の分類等に々ついて説明したるもの。

▲基督教諸集會用の聖歌集である。

▲澤山の模範的祈禱集。家庭を中心として自己及教會、國家、社會事業の爲の祈禱集。

▲合理化されたる靈的自己暗示療法。ひとりで出來る簡易な心理的信仰法療。

▲新約聖書の小説化。四福音書の横顔。基督のみかげを慕ひ行きしガリラヤ少年物語。

▲スイエさまの傳記。子供中心に書かれたやさしい傳記。澤山の美麗な繪入物語。

▲母皇ヴヰクトリア陛下に捧げまつりし、心やさしきアリス姫の手記集。

▲日曜學校教師として心得べき重要なる問題を研究し之を説明したるもの。

▲『イエスの階級觀』『孤獨に於ける愛』以下十壹篇を收めた講演集第二輯。

▲一日一頁全文振カナ付で書かれた毎朝の個人の祈の栞また家庭禮拜の資料。

▲子供のために書かれた古今東西の信仰英雄にまつはる物語十數篇を收めたもの。

▲クリスマス向の對話、パゼントを集めた小兒童劇集。

石黒つぎ子	基督教兒童劇集	四六判 上製	137	九〇 六	大阪 聖公會出版社	九月
山本つち譯	少女ゴルテー	四六判 並製	391	一、〇〇 八	アルパ社書店	九月
野邊地天馬	うるはしき朝	四六判 上製	180	八〇 六	一粒社	八月
西阪保治	カタカナモノガメリ イエスサマ ダイニノマキ	四六判 並製	110	一五 四	大阪 日曜世界社	十二月

▲純眞な子供に適應する兒童劇集。クリスマス、イースター、花の日等の參考書。

▲有名なるカミンスの『ゴルテー』の飜譯で基督教家庭文學である。

▲面白くて益になる童話集で尋小二三年程度の生徒の讀物。

▲子供のために片假名で書いたキリスト物語美しい繪入。

ヴアン・ルーン著
前田晃譯
聖書物語（人間の魂の歴史）
定價 三・五〇 東京堂版

三、教育

教育學・教育史

著者	書名	形體	頁數	定價錢 送料錢	發行所	發行月	內容大意
岡田怡川	文檢標準 教育學概論	四六判	460	二、八〇 一二	莊人社	二月	▲教育の意義、教育學研究の過去及現在、教育學と他の科學との關係外十二章。
寺田彌吉	日本教育學原論	菊判	581	三、〇〇 一四	モナス	四月	▲日本教育學の根本諸問題、日本教育學の背景になるもの外二章にて論述。
文學士 細谷俊夫	教育環境學	菊判	282	二、五〇 一四	目黒書店	九月	▲獨逸に於ける教育學的な環境研究並に批判に重點を置いて論述せる書。
教育學術界編輯長 岡田怡川	文檢標準 教育史	四六判	569	三、五〇 一二	莊人社	三月	▲教育史に關して全體的叙述をなせる文檢受驗者の參考書で日本教育史外三篇。
井上助太郎	新教育史綱	四六判	346	二、〇〇 一二	啓文社	六月	▲文檢受驗者師範學校上級生等の參考書で、西洋教育史日本教育史の二篇。
三浦藤作	文檢參考 西洋教育史	菊判	423	三、五〇 一四	文化書房	七月	▲文檢受驗者の參考書として體系的に叙述せる西洋教育史で、古代教育史外二篇。
渡部政盛	最新 西洋教育史講義	菊判	636	四、八〇 二二	大同館	二月	▲有史以來の西洋教育を現代に至るまで系統的に叙述せるもので古代の教育其他。
小原國芳	玉川叢書(23) 日本教育史	四六判	339	一、五〇 一〇	玉川學園出版部	十二月	▲日本教育史を新しき觀點から論述せるもので、日本固有文化時代の教育思想外五章。

◇教育の殿堂・賢文館の新刊◇

臺北帝國大學教授 安藤正次先生著
國語音聲學概說
菊判紙數四二〇 定價三圓二十錢 送料十八錢
不必要な學理の解說ではない誰にも解かる行文で實際必要な音聲學の知識と實際を說いたもの。

東京帝國大學助教授 青木誠四郎先生著
個性調査の原理と方法
菊判紙數三二〇 定價二圓八十錢 送料十四錢
實際家が使用出來るものを理論的根據の上に立つて述べたもの、特に學業成績考査は著者獨特の創案に依る。

廣島文理科大學教授 清原貞雄先生著
修身教育原論
菊判紙數四五〇 定價三圓五十錢 送料十八錢
日本精神に立脚した主張の下に著者は修身教育の目的、實際、教材等を說く。蓋し著者の獨壇場。

東京女子高等師範教授 堀七藏先生著
研究本位の理科教育
菊判紙數四五〇 定價三圓五十錢 送料十八錢
理科教育の權威たる著者が世の實際家に贈るものが本書であるそれは輝ける理論ではなくて新理科教育實際書である

東京高等師範學校訓導 佐藤末吉先生著
讀方指導の新組織と實際
菊判紙數四二〇 定價三圓二十錢 送料十八錢
珍奇な學習指導を喜んで迎へたのは昔の夢で今後は自學過程と指導過程の一致より成る新指導組織に據らねばならぬ

廣島高等師範學校訓導 堀ノ內恒夫先生著
修身訓練の根本的省察
菊判紙數四〇〇 定價二圓八十錢 送料十六錢
混迷せる修身訓練問題に鋭いメスを振つて縱橫に說破し、吾等の據るべき大道を明示した近來の快著である。

東京高等師範學校訓導 三苫正雄先生著
手工指導系統案と其實踐
菊判紙數四五〇 定價三圓六十錢 送料十八錢
豐富な、資料と多年の經續的研究を基として科學的な指導系統案なる、各學年各月の指導案は絕好な指導書。

廣島高等師範學校訓導 大竹拙三先生著
形象圖畫教育の新機構
菊判紙數三五〇 定價二圓八十錢 送料十四錢
歷史的必然は自由畫を克服して形象圖畫教育へ猛進する。それは心と形を一致せしむる眞の實際的圖畫教育である。

東京市神田區 表神保町拾
賢文館
振替東京五〇八一 電話神田四四九七

教育論・教育思潮・教育問題

著者	書名	叢書	判型	頁数	出版者	出版年月	内容
宇野東風	我が國教育の變遷	我が國教育の變遷	上菊判	200	大同館	三	▲明治維新後より學制發布までの熊本の教育の變遷を記きしものである。
長田新	教育精神の本質	玉川文庫(6)	並菊半截	67	玉川學園出版部	七	▲文化思潮、教育精神の優越、價値結合と教育者、教育愛外一篇附錄一篇。
長田新	教育即宗教論	玉川文庫(7)	並菊半截	69	玉川學園出版部	七	▲價値體系における宗教、生命主觀としての宗教感情、汎神論と宗教教育外六篇。
小西重直	教育原理と自由	玉川文庫(2)	並菊半截	54	玉川學園出版部	十一	▲教育思想に於ける自由の觀念に就て論述した書。
文學博士 小西重直	教育理想の内容	玉川文庫(1)	並菊半截	75	玉川學園出版部	六	▲教育理想の内容、教育小品文。
吉田熊次 教育倫理講座 上田駒次郎	教育と道徳		洋圖菊	224	同文書院	八	▲教育學原論（吉田熊次）國民道徳の根本觀念（井上哲次郎）外一篇。
大日本學術協會編	藝術と道徳教育		洋圖菊	309	同文書院	八	▲心情陶冶を基調とせる修身教育と其の藝術化（森岡準一）外一部より成る。
島田日本日曜學校協會幹事	宗教教育の原理		洋圖四六判	203	日本メソヂスト日曜學校局	五	▲宗教々育最近の傾向を論述し、基督教の理想と生活とに即してその基礎概念を提供す。
G・A・コー著 近藤義一郎譯	社會的宗教々育原論		洋圖四六判	376	名古屋保全社	九	▲社會的理想主義に據る宗教々育、目的方法課程調定を含む一元全人的教育の理論と實際。
野村芳兵衛	生活訓練と道徳教育		洋圖四六判	490	厚生閣	一	▲實踐道徳と道徳認識、生活訓練と道徳教育修身科學習指導の實際外二章。
田島眞治	日本精神の教育		洋圖菊	202	六文館	四	▲著者の三十年間の教育體驗記錄で、日本精神の教育、敬虔心の涵養外六篇。
中野八十八	皇國教育の新使命	福沢山諭吉傳記叢書 日本大學第二中學部長	洋圖四六判	199	教育實際社	二	▲個性の發見と其の開發、愛民の御政治と其の聖徳、學徳王國主義の發展外十九章。

著者	書名	叢書	判型	頁数	出版者	出版年月	内容
森岡島芳	生命線に立つ的行の教育		洋圖四六判	316	文化書房	六	▲具體全一的生命觀と教育、行の教育に於ける根本的陶冶形態外七章にて論述。
ドクトル・オブ・フイロソフキー 大伴茂	個性を生かす教育		洋圖菊	324	賢文館	四	▲個性を生かす教育の根本的な基調に就て論述せるもので個性の診斷外三篇。
朝鮮總督府編纂官 塚原俊郎	存在より價値への教育		洋圖四六判	348	教育研究會	六	▲文化科學としての教育を解き獨自の見解を發表せるもの。
文學士 三木英太郎	生命遺産實踐複式教育		洋圖四六判	378	教育實際社	六	▲複式教育の實際的研究で、學級編制上の諸問題、各種の複式學級外八章。
川越市田島幼稚園長 山崎博	吾が校の體驗教育		洋圖四六判	416	教育實際社	六	▲著者の體驗教育の理論と施設とを叙述せるもので、體驗概念の本質外八章。
鄉土的作業的 島田豐一	體驗教育の原理と實際		洋圖四六判	411	人文書房	九	▲明倫小學校に於て多年研究の結果たる體驗勞育鄉土教育の思想及び施設を叙述す。
農村小學校 松原一夫	教育道への指向		並四六判	374	明文堂	十一	▲研究の着眼と指導、教育教授の經濟化と産業化外一章。
水木楠	自力更生新教育の實際		菊洋布判	140	高踏社	八	▲來るべき農土小學校教育への指向を說述せる書でこの教育道への指向其他。
哲學的教育學的 松月秀雄	現代の潮流		洋圖菊	249	モナス	十一	▲哲學的基礎づけ、個人的教育學—個人主義と自然主義、社會的教育學外三篇にて論述。
小西直重	塾生と語る	玉川文庫(4)	並菊半截	71	玉川學園出版部	七	▲少年時代の勞作、自覺と確信、人生の鍵、自然と人生、典雅と莊重外二篇。
三浦修吾	第二里を行く人	玉川文庫(3)	並菊半截	87	玉川學園出版部	六	▲第二里を行く人、邂逅の束縛と力の制限、社會を動かす力、生活と文藝外十五章。
櫻井祐男	わが生活・思想・教育	國民精神文化叢書の村小學校	上圖四六判	332	厚生閣	四	▲著者櫻井氏の體系的生活史で、生活科學と宗教の發生、藝術外五章。
文學士 松月秀雄	現代の潮流	教育倫理講座 哲學的教育學的	洋圖菊	249	モナス	十一	▲プラトーン、ペスタロッチ、フレーベル其他の教育的偉人の傳記と事業を說述。
田制佐重	教育的偉人と其の事業	文學士	洋圖菊	233	甲子社	七	

福島政雄・大槻正一・北島修一郎譯	教育實典 ペスタロッチー全集 第四卷	菊判函入背革	629	三、〇〇 二三	玉川學園出版部	十月	▲探究（福島政雄譯）祖國社會の更生と教育（大槻正一譯）外一篇。
福島政雄	玉川叢書(20) ペスタロッチーの生命と思想	四六判函入洋布	267	一、五〇 八	玉川學園出版部	十月	▲西洋近世教育史上の偉人ペスタロッチーの行跡とその思想に就て述べたもの。
鰺坂二夫	玉川文庫(29) ペスタロッチーの教育思想	菊半截並製	74	三〇 二	玉川學園出版部	十一月	▲ペスタロッチーの教育思想に就て述べたもので、人間の自發性外五章。
小原國芳譯	玉川文庫(2) 隱者の夕暮	菊半截並製	76	三〇 四	玉川學園出版部	六月	▲教育體系の計畫と解答を含んだペスタロッチーの格言集「隱者の夕暮」の譯。
松本義懿譯	玉川文庫(11) 醉人の妻	菊半截並製	84	三〇 二	玉川學園出版部	八月	▲ペスタロッチーの「醉人の妻」の纖譯。
奈良女子高等師範學校教授 小川正行	フレーベルの生涯及思想	四六判函入洋布	383	二、八〇 二三	目黒書店	九月	▲獨逸が生んだ大教育家の一人フレーベルの生涯及び思想に就て論及せるもの。
小原國芳譯	玉川文庫(10) フレーベル人の教育	菊半截並製	91	三〇 二	玉川學園出版部	八月	▲一般論、乳兒期の教育、少年期の教育その一外二章にて譯述。
鰺坂二夫	玉川文庫(12) ルソーの教育思想	菊半截並製	74	三〇 二	玉川學園出版部	十一月	▲傳記、ルソーと啓蒙思潮、ルソーの教育思想の三章にて論述。
鰺坂二夫譯	玉川文庫(22) ルソーのエミール	菊半截並製	63	三〇 二	玉川學園出版部	九月	▲エミールの出生から成人に至る迄の指導法に對してのルソーの教育論。
ルソオ著 平林初之輔譯	岩波文庫(436—437) エミイル	菊半截並製	667	四〇 四	岩波書店	九月	▲「エミイル」第四篇。
清水・脩譯	玉川文庫(31) レッシング教育と啓示 —人類の教育—	菊半截並製	88	三〇 二	玉川學園出版部	十二月	▲レッシングの絶筆たる「人類の教育」の譯。
田制佐重	嚴正批判 ファシズムと教育	菊判函入洋布	235	二、〇〇 二三	南光社	七月	▲思想激動の時代、現代文明の批判と再認識集團的統制への傾向外十章。
大谷良意	非常時と教育革新	四六判並製	194	一、〇〇 六	東亞評論社	九月	▲教育の根本問題、社會教育の重要性、速かに大學を整理せよ外卅二章。

橋本啓一郎	教育赤化と其の對策	四六判並製	201	一、〇〇 六	文化書房	四月	▲頻々たる教育界の赤化事件と教育者の不安全協教育勞働部の潛行運動外八篇。
池田種生	動きゆく社會と教育の展望	四六判函入洋布	335	一、五〇 八	現代教育社	七月	▲現代教育相の實相を描けるもので、現代教育上の諸問題外四篇。
東北帝國大學教授 廣瀬嘉雄	明日の初等教育	菊判函入洋布	471	三、六〇 二三	高陽書院	五月	▲明日の初等教育の辯、小學校令第一條初等教育の學科課程外三章にて論述。
尾高豐作編	獨逸の新教育運動	四六判並製	350	一、一〇 一〇	刀江書院	六月	▲革命獨逸の新教育界全般に亘っての論述で獨逸全教育界に於ける新教育の現狀外二篇。
クラウザー著 辰巳經世譯	サヴエートロシアに於ける産業と教育	菊判洋布	210	二、〇〇 一〇	大同書院	十一月	▲サヴエート同盟の工藝教育の現狀を取扱ったもので統計及び摘要外四章。
廣島高等師範學校教授 大槻正一	ケルシュンスタイナーの國民教育と教育者本質論	四六判函入洋布	248	一、七〇 一〇	明治圖書株式會社	二月	▲ケルシエンスタイナー獨特の意義、國民教育の根本問題外五章にて論述。
淀川茂重	教育的統計法序說	菊判函入洋布	370	三、三〇 一四	古今書院	五月	▲統計法の意義、相對値の測定、代表値の測定、頻數分配の圖示外六章にて論述。
田制佐重	教育倫理講座 教育的社會學	菊判函入洋布	502	三、五〇 一四	甲子社	七月	▲教育の社會學的研究の進歩、農村社會とその教育、中間的社會團體外十四章。
明星學園長 赤井米吉	新らしき教育計畫のために	菊判並製	74	三五 四	郷土教育聯盟	八月	▲個人意義と社會意義、家庭生活とその教育求めらるゝ學校教育外九章。
寺田彌吉	教育哀話 貧しき子たち	四六判並製	334	一、四〇 八	文教書院	四月	▲百姓の子供、勞働者の子供、ルンペンの子供を主題とせる教育哀話。
野瀬寬顯	初めて教壇へ立つ人々へ	四六判函入洋布	302	一、八〇 一〇	大元社	三月	▲著者の過去十數年の教育體驗を述べたもので、教育とは、就任の態度其他。
帝都教育研究會	國定教科書 編纂趣意書集成	菊判函入洋布	600	四、八〇 二四	教育書院	五月	▲教科書國定制の當初より如何なる推移進展により現在に至つたかを趣意にて研究せる者
岡井二良譯	日本語譯 支那の小學教科書	菊判並製	776	三、五〇 一四	南光社	一月	▲現在支那に於ける新時代初級小學三民主義教科書其他を日本語に譯せるもの。

岡井二良譯	日本語譯 支那の小學地理歴史教科書	上菊製判	327	二、三〇 二四	南光社	一月	▲支那の小學地理歴史、教科書の日本語譯。

教育行政・教育財政・學生思想

文部省督學官 文學士 龍山義亮	教育倫理講座 教育行政原論	洋函菊布入判	392	二、五〇 一四	甲子社	八月	▲教育行政の特質、教育と宗教との關係、學校の管理と學務委員の職能外廿七章。
安部磯雄編	帝國議會 教育議事總覽 第一冊	洋函菊布入判	388	二、八〇 一四	厚生閣	九月	▲第一回より第十二回に至る帝國議會本會議に於ける教育關係記事を採錄す。
安部磯雄編	帝國議會 教育議事總覽 第二冊	洋函菊布入判	405	二、八〇 一四	厚生閣	十月	▲第十三回より第廿五回迄の帝國議會本會議に於ける教育關係記事を採錄す。
安部磯雄編	帝國議會 教育議事總覽 第三冊	洋函菊布入判	356	二、八〇 一四	厚生閣	十二月	▲第廿六回より第卅九回に至る帝國議會本會議に於ける教育關係記事を採錄せるもの。
文部事務官 加藤精三	小學校教育の財政的基礎	洋函菊布入判	230	二、〇〇 一二	南光社	五月	▲郷土教育の財政的基礎、教育者の家計の特殊性に就て外五章にて論述。
文部事務官 加藤精三	市町村立小學校 教育費問題精解	洋函菊布入判	417	二、五〇 一四	南光社	五月	▲教員俸給の不拂防止策と不拂解決策、學校組合の設置を勸奬する外八章にて論述。
文部省學生部長 伊東延吉	社會教育パンフレツト(149) 學生思想問題と學校教育	並四六製判	41	一五 二	社會教育協會	五月	▲思想問題に關する指導訓育に就て述べたもので當面の指導訓育問題外二章。
河合榮治郎 蠟山政道	學生思想問題	並菊製判	149	四〇 六	岩波書店	四月	▲學生思想問題の性質、學生思想問題の對策外二章。附錄國家社會主義擡頭の由來外三章
高山秋月	高等學校と左傾問題	洋四六布判	339	一、五〇 一〇	日本評論社	四月	▲高等學校の現狀を何と見る?、高校騷動に就て、高校の特色と高校生の心理外五章。

教育辭典・日錄

文學博士 入澤宗壽	入澤 教育辭典	背函四六革入判	1656	特九、〇〇 七、〇〇	教育研究會	六月	▲教育學、教育哲學、哲學史、心理學其他の諸知識を網羅し五十音順に配列解釋す。

同文書院編輯部	最新 教育實用辭典	背函四六革入判	203	三、〇〇 一四	同文書院	五月	▲教育生活に實際なる凡ゆる方面のものを集輯類別せる教育百科全書。
教材王國編輯部	昭和七年 教育日錄	洋四六布判		一、〇〇 一〇	文化書房	三月	▲公事としての重要事項其他及び私事としての讀書思索等を毎日記せる樣編めるもの。

公民教育・社會教育

奈良女子高等師範學校教授 眞田幸憲	最新 公民教育・公民科教授の方法	洋函四六布入判	248	一、九〇 八	目黑書店	九月	▲公民教育の意義、公民教育の目的、公民教育法綱領、公民科の題材外五章にて論述。
厚生閣編	エデユケーショナル・クオータリー(6) 公民教育の實際研究	並菊製判	245	一、八〇 一〇	厚生閣	一月	▲現代公民教育の理論及び實際（岡篤郎）公民教育の發展（千葉敬止）外二篇。
文部省普通學務局	公民教育大系	洋菊裝判	1484	六、五〇 二三	帝國公民教育協會	十二月	▲文部省主催昭和七年度夏期講習會の講演全部を蒐錄す政治經濟社會宗教文化教育を詳述
文學博士 野田義夫	修身及公民教育原論	背函菊革入判	609	三、五〇 二三	教育研究會	二月	▲修身及び公民科の改善を說いたもので、諸書に發表した論說を體系づけたもの。
東北帝國大學教授 廣濱嘉雄編著	小學補習 中等學校 公民教育資料大成 上卷	背函菊革入判	1013	六、八〇 一〇	明治圖書株式會社	六月	▲公民教育に從事せるれてゐる方々の參考書で、公民教育及びその對象外十五章。
文部省社會教育官 千葉敬止	公民教育指導要說	洋函四六布入判	354	二、一〇 一〇	厚生閣	三月	▲公民教育指導上の實際問題に就て述べた書で、公民教育の發展外六章。
公民教育研究會編	公民教育の解說と例話	洋函四六布入判	415	二、〇〇 一二	厚生閣	一月	▲中等學生自身の必讀すべき公民科副讀本で人、社會、家、親子、一家の生計外四十五課。
武田種吉	公民科教授資料	洋函菊布入判	739	四、五〇 一二	立命館出版部	二月	▲中等學校公民科教授要目に準據して資料を蒐め平易に說明せるもの。
法學士 坪內武四郎	新制 公民科解說	洋函菊布入判	664	三、八〇 一二	教育研究會	三月	▲我が家、親子、親族、戶籍相續、地方自治我國家、天皇外七章にて解說す。
平川一郎編	公民科學習便覽 上卷	布函菊裝入判	453	一、五〇 一二	三友社	五月	▲公民教育の研究と指導の參考書で、上卷には人と社會、我が家、一家の生計其他十二章。

東京工業大學教授 東洋大學教授 奥田寛太郎	吾が子の公民教育 —國體及憲政篇—	四六判	275	一、五〇	森山書店	七月
東京工業大學教授 東洋大學教授 奥田寛太郎	我子の公民教育 —國家生活及社會生活篇—	四六判	276	一、五〇	森山書店	十二月
文部省社會教育局 青年教育課長 小尾範治	社會教育の展望	四六判	341	一、六〇	青年教育普及會	十一月
京都府社會教育主事 小倉恒司	社會教育パンフレット(175) 團長學概論	四六判	50	五〇	社會教育協會	八月
文部省社會教育官 長野長藏	青年教育の眞髓	四六判	344	二、〇〇	青山書院	五月
歩兵大佐 戸井英太郎	最新 青年訓練教科書	三五判	520	四五	藤谷崇文館	十一月
帝都青年訓練研究會	青年訓練補習學校 全科教本 都市用第三編	菊判	204	四〇	教育書院	十一月
帝都青年訓練研究會	青年訓練補習學校 全科教本 農村用第三編	菊判	208	四〇	教育書院	十一月
大日本聯合女子青年團指導委員・文部省囑託 片岡重助	女子青年團指導教範	四六判	312	一、八〇	啓文社	六月
パウエル著 少年團日本聯盟本部譯	少年團教範	四六判	629	二、八〇	東學社	十月
埼玉縣教育會	公民教本	菊判	100	一五	教育圖書株式會社	十二月

▲著者が自分の子に教へた公民教育のお話で天皇、憲法の重心憲法政治の由來外廿五章。

▲國家生活及び社會生活に就て述べたもので偉大なる民族、利己主義の道德生活外十二章

▲社會教育に於ける重要なる諸問題に就て論述せるもので教育と生活外十八章。

▲團長學に就ての講述で、識見の養成德望論、熱誠論外一章。

▲實業補習學校、青年訓練所等の參考書として著述せしもの。

▲青年訓練に必要な物は詳細に記し附圖二十圖寫眞八頁本文百數十圖挿入。

▲文部省青年訓練所要旨に基き特別編纂委員に依り編纂せられた訓練所用教科書。

▲文部省青年訓練所要旨に基き特別編纂委員に依り編纂せられた訓練所教科書。

▲女子青年團の理念、團體の編成、女子青年團員の階級、技能の練磨修得外三篇

▲森の生活を通じ善き公民資質を與へる教本で、野外生活森林生活外八章。

▲文部省訓令實業補習學校公民科要綱準據、全三卷。

農村教育

横尾惣三郎	農村教育の革新	三六判	256	八〇	日本評論社	十二月

▲須らく現狀を打開せよ、學制の改革、農村甦生の具體案、小學教育の革新外三章。

前本一男編	ニデユケーショナル・クオメーリー(7) 農村教育の企畫と實際	菊判	278	二、〇〇	厚生閣	四月
林勇記	農村家事教育の建設	四六判	366	二、〇〇	大同館	四月
安部清美	農村復興の建設記錄 村の教育	四六判	745	三、二〇	文化書房	一月
文部省囑託 水谷德男	社會教育パンフレット(150) 教育映畫と農村文化	四六判	41	一五	社會教育協會	五月
内外教育資料調査會	農村更生教育 立案講話 資料	菊判	310	一、五〇	南光社	十月

▲日本農業の特色（佐藤寛次）農村社會の研究と教育計畫（片岡重助）外七篇。

▲現代農村家事教育に就て評論し之が改善の資料を廣く蒐集せるもの。

▲傳統と社會教育、學校教育の實際、村の教育網の三章にて論述。

▲農村文化の創造と映畫、現代映畫と農村との關係其他五章にて教育映畫に就て論述。

▲自力更生運動農村の直觀、農村匡救施設、農村更生教育、農村關係團體の使命模範農村

鄉土教育

東京帝國大學助教授 文學博士 入澤宗壽	新鄉土教育原論	菊判	431	四、〇〇	明治圖書株式會社	八月
小田内通敏	鄉土科學叢刊 鄉土教育運動	四六判	230	八〇	刀江書院	八月
入澤宗壽 伊佐田甚藏	文化科教育と鄉土教育	四六判	320	二、三〇	教育實際社	二月
神田次郎 栗下喜久次郎	生産學校と鄉土教育	四六判	359	二、三〇	厚生閣	九月
山崎博	鄉土教育のカリキユラム構成	四六判	102	一、〇〇	人文書房	三月
高師訓導 水木梢	自力更生鄉土教育	菊判	168	一、二〇	高踏社	九月
東木龍七	鄉土經營學 教育編	菊判	193	一、五〇	古今書院	五月

▲新鄉土教育とは何ぞ、鄉土教育の發達、現代教育運動と鄉土教育外十三章にて論述。

▲鄉土科學と其の教育、地方に於ける鄉土地理研究の動向外十三篇にて論述。

▲文化科教育の理論、文化科教育の實際文化科教育と鄉土教育外一篇。

▲小學校令の改正と生産學校、農村の現狀と生産學校の要望外八章。

▲鄉土教育の教科組織、カリキユラムの吟味新課程組織の實際外八章。

▲鄉土教育の自力更生についてその指導の原理と實際を說ける書。

▲鄉土の理論的研究家たる著者の鄉土經營に關する基礎的知識を與へたもの。

志垣寛	郷土主義學校經營の實際案	四六判洋布函入	370	二、五〇 一三	文化書房	五月	▲學校經營の方針、郷土主義學校經營の基礎外四章にて論述。
海後宗臣・飯田晁三・伏見猛彌	我國に於ける郷土教育と其施設	菊判洋布函入	272	二、五〇 一三	目黒書店	九月	▲郷土教育に就ての理論及實際的研究で、郷土教育の發達、郷土教育の理論外一編。
田島體驗學校編	郷土教育の低學年經營	四六判洋布函入	374	二、六〇 一三	教育實際社	二月	▲郷土自然と各教科學習、郷土色の各科經營實際案、低學年の郷土教育外四章。
郷土教育聯盟	郷土學習指導方案	四六判並製	420	一、八〇 一〇	刀江書院	四月	▲郷土教育をいかに實施するかに就ての具體的提案で、郷土學習法の組織外一篇。
橋本重次郎・坂本豐・安治博道	各科教材の郷土化	菊判洋布函入	336	三、二〇 一四	南光社	二月	▲地方別に又は教材別に資料を配列せるもので、郷土中心の學校學級經營に就て其他。
郷土教育研究會編	郷土研究室 ―人物の卷―	四六判布裝函入	363	二、〇〇 一三	同文書院	一月	▲近代郷土の發足をなせる明治以後の人物について詳述せる書で新郷土の開拓外五八篇。
郷土教育研究會編	郷土研究室 ―経展の卷―	四六判洋布函入	375	二、一〇 一三	同文書院	三月	▲生産業の發展、地主小作の協同和親、郷土の負債整理、農村電化外十二篇。
棚橋源太郎	郷土博物館	四六判洋布函入	274	一、六〇 八	刀江書院	九月	▲教育施設の一つである郷土博物館に就て述べた書で、郷土博物館の本質と職能外四章。
文學士 鈴木四郎	神社と郷土教育	四六判上製	380	一、八〇 一四	會通社	九月	▲第一編、神社教育と郷土教育、第二編、神社學習指導案第三編神社地理學序説附錄索引付

教育心理學・兒童研究・家庭教育

ソーンダイク著 安藤文郎・田原博愛譯	教育心理學	菊判洋布函入	487	三、三〇 一三	培風館	九月	▲系統的に原理原則を提示して論述せる教育心理學で、人間の原性外二篇。
早稻田大學教授 小澤恒一	母のための教育心理講話	四六判布裝函入	243	二、〇〇 一〇	人文書房	一月	▲成長の二要素、成長の原理、成長の傾向、兒童の本能、個體本能外五章にて論述。
關寛之	訓練及び管理の實際に應用したる兒童心理學	菊判洋布函入	285	二、五〇 一四	文化書房	十二月	▲訓練の基礎問題、訓練の方法問題、社會訓練及び社會教育の問題外三篇にて論述。

文學博士 久保良英	兒童研究所紀要 第十四卷	菊判並製函入	360	三、八〇 一四	中文館	二月	▲職業指導用テストの試み（久保良英）兒童の發達に就いて（牛島義友）外八篇。
倉橋惣三・岡部彌太郎・野上俊夫・青木誠四郎	子供研究講座 子供の心の教育	四六判洋布函入	338	一、三〇 一〇	日本両親再教育協會	六月	▲幼兒の心理と教育（倉橋惣三）學校兒童の心理と教育（岡部彌太郎）外二篇。
日本両親再教育協會編	子供の情操教育	四六判洋布函入	395	一、五〇 一〇	先進社	五月	▲子供と文學（松村武雄）子供と詩の一考察（葛原しげる）外六篇。
佐藤龜太郎	最新兒童心理と家庭教育	菊判洋布函入	333	三、〇〇 一四	南光社	一月	▲兒童生活の特質と其の精神發達の傾向とを論述せるもので、行動の發達外二篇。
大日本聯合婦人會編	學童の家庭教育	四六判布裝函入	436	一、七〇 一二	三省堂	十月	▲學童の實際的な家庭教育指導書で、小學校といふもの、入學前の注意外二篇。
大阪中央放送局編	両親再教育	菊判洋布函入	325	一、三〇 一二	日本放送出版協會	十二月	▲親と語る。特種兒童の教育。子供の生活の見方。個性を生かす教育。青年の心理と性教育
山本勘助	女學生時代から結婚までの春子の教育	四六判背洋布	357	一、八〇 一〇	文教書院	三月	▲春子といふ妙齡の女子を中心として注意すべき教育事項を述べた書で娘持つ母の心其他
石丸梧平・石丸喜世子	子どもの創作と生活指導	四六判布裝函入	513	二、三〇 一四	厚生閣	十一月	▲夏子といふ子供の人間的修業の記錄で、子どもの生活記錄と修身教育外八部。
田制佐重	青年期少女の生理・心理教育	四六判洋布函入	255	一、六〇 八	友生書院	十一月	▲生理學醫學心理學を基礎としての少女の教育原理の探究で、古代の少女外五章。

性教育

矯風會教育部長 ジー・デー・オールズ	家庭と性教育	四六判並製	70	二五 二	大阪日曜世界社	五月	▲性に關する家庭的訓練と教養の實際的方法を宗教の立場から具體的に示したるもの。
矯風會教育部長 ジー・デー・オールズ	生命のめばえ	四六判並製	30	一五 二	大阪日曜世界社	五月	▲美しい自然の話を通じて子供達に生殖の話を正しく理解させるために書かれたるもの。

個性調査・性能檢査

東京帝國大學助教授 青木誠四郎	個性調査の原理と方法	洋函菊 布入判	303	二、八〇 一四	賢文館	五月	▲個性認識についての具體的な方法書で、個性一般智能の調査外五章。
文學士 稻村玉雄	個性の觀方と伸し方	布菊 裝判	120	一、〇〇 八	高踏社	八月	▲學業成績の導き方操行の良否と導き方勤惰の原因と導き方其他數章に分れて詳述。
內務省社會局 谷口政秀	性能檢查法	洋函四六 布入判	350	一、五〇 一二	春陽堂	一月	▲身體能力、智的能力、情意檢查、希望職業調查法外三章にて兒童の指導を說述す。
文學士 綾哲一	教育的性格診斷學	洋函菊 布入判	408	三、〇〇 一四	教育研究會	八月	▲性格の診斷に關する實驗的研究で、テストにより性格の診斷外八章。
兒童精神科學研究會	活用メンタルテスト	洋函菊 布入判	196	二、〇〇 一二	章華社	十一月	▲メンタルテス＝の豫備知識、メンタルテストの問題と解說外一編にて論述。
全甲社編	小學校入學受驗準備 メンタルテスト	並函菊 製入判	67	三五 四	全甲社	十二月	▲御家庭でごく手輕にお子樣の知慧をおしらべになることの出來る附圖廿四枚と說明。
全甲社編	小學校入學と受驗の準備書 幼兒のメンタルテスト	並函菊 製入判	98	八〇 六	全甲社	十二月	▲家庭で簡易に愛兒の知慧を測ることの出來るメンタルテストの圖と說明。

職業指導

水野常吉	玉川文庫（16） 職業指導	並菊 半截 製	70	〇、二〇 二	玉川學園出版部	八月	▲職業指導運動の鳥瞰圖、我が邦の教育と職業指導、職業指導の要諦外六章。
大日本職業指導協會編	職業指導講演集	並函菊 製入判	315	一、八〇 一〇	青年教育普及會	六月	▲職業指導の要旨（關屋龍吉）教育學上より觀たる職業指導（春山作樹）外廿篇。
東京地方職業紹介事務局 三澤房太郎	社會教育パンフレット（153） 小學校職業指導概論	並四六 製判	60	一五 二	社會教育協會	六月	▲職業指導の要諦、小學校に於ける職業指導實務外一章にて論述。
京畿道安山公立普通學校長 林虎藏	體驗五年 安山卒業生の指導	洋函四六 布入判	304	二、五〇 一四	教育研究會	十一月	▲五年間實地に苦しんで、小學校卒業生を指導し安山を更生せしめた體驗記錄。

學校教育・學級經營

澁谷義夫	作業教育概論	洋函四六 布入判	424	二、五〇 一四	文化書房	一月	▲社會文化の發達と教育、社會より教育への要求、學校教育への要求外四章。
三浦喜雄	新勞作教育の原理と實際	洋函菊 布入判	363	三、五〇 一四	人文書房	一月	▲原理論、教授の勞作的方法、學校の勞作主義的形態外一篇にて論述。
西治公	日本道に立脚せる 勞作教育の新構成	洋函四六 布入判	672	二、八〇 一四	文化書房	一月	▲原理問題、實際問題、勞作教育上の諸問題の三篇にて論述。
石松伴次郎	鄉土に立脚せる 新勞作教育案	洋菊 布判	320	一、〇〇 一〇	受驗研究社	十一月	▲新鄉土に立脚した勞作教育案を說いた書。
滋賀縣島小學校 粟下喜久治郎	生產主義 作業學校の施設と經營	洋函四六 布入判	315	二、五〇 一二	明治圖書株式會社	二月	▲生產主義作業教育の實際に就て述べた書で作業學校と鄉土教育外五章。
文部省督學官 文學士 龍山義亮	學校經營論	洋函菊 布入判	202	二、〇〇 一二	甲子社	九月	▲學校經營の意義と研究の必要、學校經營の原則外十四章にて述べた學校經營論。
渡邊政盛	最新 學校學級經營原論	洋函四六 布入判	576	二、八〇 一四	文化書房	十月	▲小學校を中心とせる學校學級に就ての論述で學校學級經營原論外二篇。
野瀨寬顯	生活陶冶に於ける 學校訓練の實際	洋函菊 布入判	353	二、九〇 一四	厚生閣	十月	▲現代の教育と訓練、訓練の本義、生活の陶冶と訓練、學級訓練方針外三篇にて論述。
教材王國編輯部編	視學巡視と學校參觀法の研究	布函菊 裝入判	458	二、〇〇 一四	文化書房	三月	▲教育活動の本質（長田新）學校視察の概觀（肥後盛熊）視察諸感（岡島義雄）其他。
學校經營編輯部	學校學級 父兄懇談の仕方と資料	並函菊 製入判	289	一、〇〇 一〇	第一出版協會	三月	▲校長と全校父兄懇談會、訓導と學校父兄との懇談、學業成績の向上外七章。
佐藤末吉・岸一敏	低學年教育の新組織と實際	布函四六 裝入版	307	一、八〇 一〇	教育書房	四月	▲現代教育の進展の方向と到達、低學年國語の生活學習外二篇。
稻村玉雄・小林佐源治・佐藤末吉・水木梢	複式學級經營の實際	脊菊 洋布判	196	一、一〇 八	高踏社	八月	▲複式學級經營の着眼點（水木梢）複式學級經營の難關と打開（小林佐源治）其他。
粟下喜久治郎・堀田平藏	鄉土的勞作的 各學年の學級經營	上函菊 製入判	204	一、八〇 一二	人文書房	十一月	▲鄉土教育と勞作教育、鄉土的勞作的各學年の學級經營の基礎的調查外二編。

東京高等師範學校訓導 岸一敏	體驗と作業に據る 各學年教育經營 理論篇	四六 布函 裝入判	273	二、〇〇 一〇	明治圖書株式會社	六月	▲理論篇は第一篇緒論、第二篇教育組織の新體系にて理論的方面を論述。
東京高等師範學校訓導 岸一敏	體驗と作業に據る 各學年教育經營 實際篇	四六 布函 裝入判	811	三、八〇 一四	明治圖書株式會社	六月	▲實際篇には第三篇教育の新組織とその經營の實際(學年教育の新經營外九章)を收む。
西原慶一	新興思潮を實際化せる尋一學級經營の實際	四六 洋函 布入判	759	三、八〇 一四	文化書房	六月	▲尋一學級經營の實踐的研究で、新教育の理念尋一兒童の生活形態外七章。
野瀬寛顯	新興思潮を實際化せる尋三學級經營の實際	四六 洋函 布入判	426	二、五〇 一二	文化書房	五月	▲尋三學級經營の實際化に就て述べたもので經營の方針、學級經營の中心問題外二篇。
野瀬寛顯	新興思潮を實際化せる尋四學級經營の實際	四六 洋函 布入判	430	二、五〇 一二	文化書房	五月	▲尋常四年の學級經營の實際問題に就て述べたもので、學級經營上の中心問題外四章。
澁谷光長	新興思潮を實際化せる尋五學級經營の實際	四六 洋函 布入判	367	二、五〇 一二	文化書房	五月	▲尋常五年學級經營方針、經營の實際に就て論述せるもので、經營方針、經營の實際外一章。
香取良範	新興思潮を實際化せる尋六學級經營の實際	四六 洋函 布入判	540	二、五〇 一四	文化書房	六月	▲尋六學級經營の根本方針、學習中心の尋六學級經營外三章にて論述。附錄教育法規。
和歌山縣師範學校附屬小學校編	經濟化せる 特別教室の新經營	四六 洋函 布入判	342	二、四〇 一二	教育實際社	二月	▲特別教室の經營の實際に就て論述せるもので、讀書教室算術教室外十二章。

教授法・學習指導

佐々木秀一・齋藤榮治	生活辨證法的教授原論	菊 洋函 布入判	447	三、四〇 一四	厚生閣	二月	▲媒介概念の運用を誤りたる教育論一班、概念構成の論理外十八節。
文學士 宇野誠一	實地授業の準備と指導	菊 脊洋 布判	164	一、二〇 八	高踏社	八月	▲實地授業の準備の仕方、教育教授の環境整理の仕方、實力のつく教へ方の三篇。
高師訓導 水木梢	複式學級經營の實際	菊 布 裝判	200	一、四〇 一〇	高踏社	九月	▲複式學級經營の理論と實際を詳述したるもの本學級經營者の參考書。
高師訓導 水木梢	複式教育の新研究	菊 布 裝判	138	一、二〇 一〇	高踏社	五月	▲複式教育の諸問題に關して、微に入り細を穿ちて詳述されたるもの。

高師訓導 小林佐源治	複式教授の仕方と觀法	菊 布 裝判	200	一、四〇 一〇	高踏社	十月	▲複式教授の準備の仕方、複式教授參觀の仕方について細大漏らさず指導せる書。
文學士 佐橋敏雄	公開教授の訓練の仕方	菊 布 裝判	120	一、〇〇 八	高踏社	七月	▲參觀人に關する訓練、教授の難關と訓練、態度の難關と訓練、突發事件と訓練等を詳述。
文學士 田中貳郎	新案公開教授の實際	菊 布 裝判	120	一、〇〇 八	高踏社	七月	▲實地授業の種々相、實地授業の新機軸、實地授業の基礎原理、實地授業の新計畫等詳說。
文學士 佐橋敏雄	學習態度の養ひ方	菊 布 裝判	124	一、〇〇 八	高踏社	八月	▲學習指導に於ては、第一に學習態度の養成が問題であるとしてその理論と實際を詳述。
東京女子高等師範學校訓導 澁谷義夫・淺黄俊次郎	作業化鄕土化 尋一教育の實際 修身讀方篇	四六 洋函 布入判	335	一、八〇 一〇	中文書房	五月	▲尋一の修身(澁谷義夫)、讀方(淺黄俊次郎)の各課について指導の實際とその作業化を說く。
各科教育研究會編	細目式各科教育要項 —尋常科第五學年後期—	菊 脊函 洋 布入判	497	二、八〇 一四	目黑書店	十一月	▲毎日實施して行く各教科の程度と方法を東京高師附屬小學校の訓導が分擔執筆。
各科教育研究會編	細目式各科教育要項 —尋常科第六學年後期—	菊 脊函 洋 布入判	378	二、八〇 一四	目黑書店	十二月	▲尋常六學年後期の各科指導方法及び指導過程を組織的系統的に編成せるもの。
水木梢編著	如何にすれば學習態度は確立するか	四六 脊函 洋 布入判	322	一、〇〇 八	高踏社	一月	▲自修の必要(吉田靜致)修身科の學習と指導要領(川島次郎)外廿一篇。

修身教育

松本浩記	社會的修身教育論	四六 洋函 布入判	427	二、五〇 一二	文化書房	六月	▲現代生活に立脚した修身教育論で、現代思潮の概觀其他十章。
木村文助	惱みの修身	四六 布函 裝入判	439	二、六〇 一二	厚生閣	五月	▲平易を旨とせる修身の研究書で、惱みの本態修身科の位置と共正しき認識外八章。
文學博士 清原貞雄	改訂 修身教授大資料	菊 洋函 布入判	525	四、〇〇 一二	中文館	五月	▲修身教授の參考資料として各種の德目に就き詳しく說述し、訓言美談等を類聚す。

國語教育

著者	書名	判型・装幀	頁數	定價（送料）	發行所	發行月	内容
東京高等師範學校講師 丸山林平	國語教育學	菊判 函入 布裝	588	四、二〇（一三）	厚生閣	十一月	▲國語教育の事實、國語教育研究の史的考察國語教育の基礎學外七章にて論述。
武藤要	國語教育診斷	四六判 函入 洋布	668	二、八〇（一四）	厚生閣	七月	▲教育診斷、國語診斷、新國語教育論考、國語教室の經營外二篇にて論述。
立川昇藏	郷土教育より觀たる國語教育	四六判 函入 洋布	280	一、八〇（一〇）	文泉堂	七月	▲郷土教育と國語教育の關係、敎則の郷土的解釋、方言と國語教育外六章。
西原慶一	生活・勞作自律・形象實踐國語教育學	菊判 函入 布裝	186	一、八〇（一三）	南光社	十二月	▲饗宴に列して飢えたる實踐國語教育、生活教育の現實的志向と國語教育外五章。
小松一寛	國語教育實踐の形象	四六判 函入 洋布	388	二、五〇（一四）	帝國教育研究協會	十月	▲著者の國語教育實踐論で、小兒科專門醫、國語教育實踐の態度外五篇。
友納友次郎	讀方教育原論	菊判 函入 背革	644	四、八〇（二三）	明治圖書株式會社	五月	▲序論、形象直觀と讀みの諸相、鑑賞の本質と機能の三篇にて論述。
東京女子高等師範學校訓導 枦本豐	讀み方力成長の教育	四六判 函入 洋布	434	二、八〇（二三）	明治圖書株式會社	五月	▲國語教師としての我等、讀み方教育の本領讀み方教育刷新の要諦外七章にて論述。
田島師範學校 中島德三郎	新讀方教育體系	四六判 函入 洋布	417	二、八〇（一四）	教育實際社	三月	▲讀みの本質觀、讀方と作業的方法、兒童の讀みの再考察外七章にて論述。
女子學習院教授 射手矢貞三	國語愛の讀方教育	四六判 函入 洋布	319	二、二〇（一三）	明治圖書株式會社	二月	▲探春、相互聯關、讀方教材、愛と知と敎と軍記物教材について外三部。
大井修	形象原理に立つ讀み方教育	四六判 函入 洋布	280	一、八〇（一〇）	南光社	九月	▲尋常小學國語讀本及び高等小學國語讀本に材料を求めて形象の讀み方を叙せるもの。
東西四高師訓導	今後の讀方教育	菊判 函入 布裝	358	二、五〇（一四）	南光社	九月	▲一、讀書教育は何處へ行く二、生活心理より見たる今後の讀書教育三、讀書指導に於ける教材の特質と學習活動の法令。
森本安市	辨證法的讀方教育	四六判 函入 洋布	320	一、八〇（一〇）	厚生閣	十一月	▲辨證法的讀方教育に就ての論述で、讀文の辨證法的意義、實際指導の體驗錄外十五章。
竹内純一	郷土主義讀方教育の實際	四六判 函入 洋布	426	二、五〇（一三）	文化書房	六月	▲序論、郷土教育の實施プラン、郷土主義讀方教育論、國定教科書と郷土主義其他六章。

著者	書名	判型・装幀	頁數	定價（送料）	發行所	發行月	内容
甲斐豐	陶冶の本義に立脚せる讀方學習指導體系	四六判 函入 洋布	242	二、〇〇（一〇）	人文書房	二月	▲讀方教育の眞使命、陶冶と讀方教育、學習指導の革新と其實際外七章。
石川太一	讀方教授案の立方と參觀の仕方	菊判 函入 洋布	140	一、〇〇（八）	高踏社	二月	▲讀方教授の參觀の仕方、讀方教授案の立て方、讀方學習訓練の見方外一章。
保科孝一	國語教育を語る	菊判 函入 洋布	237	一、五〇（一三）	育英書院	十二月	▲國語教育の改善と國語問題の解決、國語教育の進むべき道、古代文の取扱外廿二篇。
文學士 今泉浦治郎	國語教育の礎石 言語の本質及機能	四六判 函入 洋布	485	二、九〇（一四）	明治圖書株式會社	三月	▲言語の本質及び機能を思想と事物との相關關係に於て考察せる書で、指標地位外十章。
東京高等師範學校教授 玉井幸助	教育と國文學	菊判 函入 洋布	358	三、一〇（一四）	中文館	五月	▲教育と國文學（文學とは何か外四章）國文學教授資料（吾妻鏡の女性外十三章）。
坂崎坦編	小學讀本批判座談會	四六判 並製	61	一〇（二）	朝日新聞社	四月	▲東京朝日新聞社の主催になれる小學讀本批判座談會の速記。
東京府豐島師範學校訓導 綿貫數夫	現行國語讀本の縱の研究	四六判 函入 洋布	372	二、五〇（一三）	教育實際社	六月	▲現行國語讀本教材の本質的研究で、讀方の學習。國語讀本の縱觀外一章。

綴方教育

著者	書名	判型・装幀	頁數	定價（送料）	發行所	發行月	内容
谷口武	玉川文庫(43) 綴方教育原論	菊半截 並製	69	二〇（二）	玉川學園出版部	九月	▲詩文の創作による人間修練、兒童哲學としての生活指導外八章。
谷村四郎	綴方教育技術研究	四六判 函入 洋布	362	一、八〇（一〇）	曙社	三月	▲文章の陰影、綴方技術の成長、批評でない批評、常に全體的に外廿二章。
逸見嘉一	郷土主義の綴方教育	四六判 函入 洋布	468	二、五〇（一三）	文化書房	四月	▲新郷土建設への教育、郷土主義綴方の提唱郷土主義綴方の指導案外三篇にて論述。
川村章	實用的綴り方教育	四六判 函入 布裝	541	二、八〇（一四）	厚生閣	五月	▲實用的綴方の新拓野を觀る、兒童生活にみる社會文化、素材論外五章にて論述。
古見一夫	形象原理に立つ綴方教育の實際	四六判 函入 布裝	410	二、一〇（一三）	厚生閣	三月	▲綴方教育の使命と人生の意義、綴方教育の方案と藝術の本質外廿六章にて論述。

東京高等師範學校 田中豐太郎	綴方指導系統案と其實踐	菊判函入布装	536	三、八〇 一二	賢文館	五月	▲綴り方指導系統案の要綱、綴り方指導系統案の要件と體裁外十篇にて論述。
金子好忠	低學年の綴り方	四六判函入布装	360	二、〇〇 一〇	厚生閣	十月	▲低學年の綴り方研究とその實踐方案で、始期としての尋一綴方外十一章。
千葉春雄	兒童文の批評と鑑賞と文話と觀方の研究 尋常第四學年用	四六判函入布装	458	二、八〇 一二	厚生閣	六月	▲兒童文の觀方、批評と鑑賞と文話の實際、尋常四學年頃の生活等三項にて論述。
千葉春雄	兒童文の批評と鑑賞と文話と觀方の研究 尋常第五學年用	四六判函入布製	408	二、八〇 一〇	厚生閣	九月	▲尋常五年の兒童文の批評鑑賞並びに文話の研究で、兒童文の觀方外二項。
千葉春雄	兒童文の批評と鑑賞と文話と觀方の研究 尋常第六學年用	四六判函入布装	396	二、八〇 一〇	厚生閣	九月	▲兒童文の觀方、批評と鑑賞と文話の實際、尋常六學年頃の生活の三項にて論述。
佐々井秀緒	こどもの詩教育	四六判函入布製	381	二、三〇 一二	厚生閣	四月	▲詩の教育に關する實際的研究で、現代詩論を覗く兒童詩への思索外四章。

數學教育

鹽野理化學研究所長 理學博士 小倉金之助	數學教育史 ―一つの文化形態に關する歷史的研究―	菊判函入洋布	356	二、五〇 一四	岩波書店	六月	▲人文主義教育の時代、實在主義教育の發展數學教育の停滯時代外三章。
理學博士 小倉金之助外十三氏	算術教育の現代思潮	菊判函入洋布	479	一、五〇 一四	モナス	六月	▲吾等何をなすべきか（小倉金之助）算術教育問題考（池內房吉）外十篇。
中野恭一	生活指導 算術教育原論	菊判函入洋布	414	三、六〇 一四	賢文館	九月	▲生活算術の目的を闡明しその問題改造論と實際に就て述べた書。
榊原孫太郎	一元的算術教育	菊判函入洋布	281	二、〇〇 一二	モナス	六月	▲一元的算術教育の實際に就て述べたもので一元的算術教育の概念外一章。
稻次靜一	グラフ化の算術教育	菊判函入洋布	328	三、二〇 一四	厚生閣	六月	▲算術の系統だつたグラフ教育研究書で、グラフの社會、統計グラフの形外七章。
入澤宗壽・稻次靜一・松良雄・清永甚吾・岩下吉衞	鄉土算術の新研究	菊判函入洋布	359	一、八〇 一四	モナス	九月	▲鄉土教育の本質（入澤宗壽）鄉土算術教育案を提示す（稻次靜一）外三篇。

廣島高等師範教官 山本孫一	經濟と生活と 算術教育第二次の革新	四六判函入洋布	339	一、五〇 一〇	モナス	四月	▲現代算術教育の誤謬、經濟思想涵養上の標的、經濟主想各學年の指導要諦外十一章。
海老原邦雄	算術・讀方の教育的測定	菊判函入洋布	346	二、三〇 一四	日東書院	十一月	▲「算術に關する教育的測定」を增補し新に讀方に關する教育的測定を附加せるもの。
礒井正平・大谷俊男・赤堀吉雄	新算術課程と指導體系	四六判函入布装	390	二、六〇 一二	教育實際社	三月	▲算術教育の本質的形相、低學年算術教育の新體系、中學年算術教育の新體系外一篇。
朝日文彥	算術教授の立て方と參觀の仕方	菊判函入洋布	140	一、〇〇 八	高踏社	三月	▲總說、算術教授案の立て方、算術學習訓練の見方、算術教授參觀の仕方の四篇。
東京帝國大學教授 青木誠四郎	算術學習の智能的限界	菊判洋布	118	八〇 六	モナス	五月	▲算術學習の個性的指導についての基礎的資料の研究で、調査の方法外四章。
……校長 平田華藏	算術學習の心理	菊判函入洋布	304	二、〇〇 一二	日東書院	三月	▲算術學習の價值、算術能力の診斷、數概念の學習外十七章。附錄算術の教育測定。
白河芳松	個別教育 算術の實際	四六判函入洋布	360	二、三〇 一四	文化書房	一月	▲教育實際の立脚點、算術教育は如何に進むべきか直接學習指導外七章。
東京成蹊學園訓導 藤原安治郎	面白く學ばせる 低學年の算術教育	四六判函入洋布	359	二、五〇 一二	人文書房	五月	▲低學年の算術教育を如何に面白く學ばせるかに就て述べたもので、三篇十四章。
鳳地賢造	教師に必要な 算術科の基礎知識	四六判函入洋布	200	一、二〇 八	大同館	十一月	▲數學教育についての基礎事項を蒐集して論述せる書で、算術、代數式外二編。
東京武藏野學園訓導 三本重長	數學史を背景とせる 尋二算術教育の實際	四六判函入布装	313	二、二〇 一〇	教育書房	十一月	▲數學史を背景としての尋二算術教育の實際に就て述べたもので、加法減法外二編。
東京女子高等師範學校訓導 岩下吉衞	作業主義 尋五算術教育の實際	菊判函入布装	280	二、五〇 一四	人文書房	九月	▲作業主義の立場から尋常五年算術教育の實際に就て述べた書。
奈良女子高等師範學校教諭兼訓導 仲本三二 編著	函數思想の強調 高一 二算術問題 尋へ方解き方	菊判函入背革	677	四、八〇 二二	明治圖書株式會社	二月	▲高等科の算術教科書に解法を施せるもので整數、小數、分數、代數式其他。
奈良女子高等師範學校訓導兼教諭 塚本清	高等小學 幾何指導の理論及實際	四六判函入洋布	374	二、六〇 一二	明治圖書株式會社	六月	▲兒童心理と實際生活に即せる高等小學幾何指導の資料で高一の指導外二篇。

理科教育

算術研究部編（東京府豊島師範学校附属小学校）	小學校に於ける暗算の系統	洋四六判	183	一、三〇	明治圖書株式會社	六月	▲專常三年以後に於ける暗算教材の系統を立案せるもので、暗算教授の目的其他。
日本兩親再教育協會編	母のための小學算術 —一・二・三學年用—	洋四六判	226	一、一〇	先進社	二月	▲算術とはどんな學科か、どうすれば出來る樣になるか、一年生の算術外三章。
日本兩親再教育協會編著	母のための小學算術 —四・五・六學年用—	洋四六判	240	一、一〇	先進社	二月	▲算術の實力とは何か、四年から六年までの算術外四篇にて論述。
吉田弘（東京女子高等師範学校訓導）	理科教育の指導形式（眼り易い佐藤主義教育叢書）	菊判	200	一、〇〇	目黒書店	八月	▲植物教授論、動物教授論、生理衛生教授論外三章。
東京高等師範學校 東傳堂	理科實驗の原理と方法	菊判	349	二、一〇	賢文館	十月	▲小學理科の實驗指導書で、理科實驗の原理理科實驗の方法外一編。
氏家勇記	小學校理科實驗指導細說	菊判	354	二、二〇	厚生閣	九月	▲小學理科實驗指導上の諸問題、小學理科實驗指導の實際の二編にて論述。
奈良女子高等師範學校訓導 大浦茂樹	理科學習指導案 —尋六—	四六判	471	二、九〇	明治圖書株式會社	五月	▲尋常六年理科學習指導の方法と內容とを一丸とせる具體的案で第四十五課迄を收む。
奈良女子高等師範學校訓導 大浦茂樹	理科學習指導案 —高一—	四六判	496	二、九〇	明治圖書株式會社	六月	▲高等一年の理科書第一課より第卅四課迄の具體的教材研究。
東京府豊島師範學校主事 二階源市	修正理科書解說 —高一—	四六判	472	二、九〇	明治圖書株式會社	四月	▲高等小學第一學年理科書の內容を實際教授に際して必要な程度に於て解說す。
理學博士 岡田彌一郎	博物學提要（小學教材を主としたる）	菊判	383	一、七〇	三省堂	二月	▲緒論、動物界、植物界の三篇にて平易に論述せる書。
佐藤清明（教育參考各科講話叢書）	博物科叢話	四六判	567	二、三〇	文教書院	四月	▲動物篇、植物篇、鑛物篇の三篇に分けて說ける科學書。
理學博士 井口玉夫（教育の基礎）	生物學	洋菊判	118	八〇	西ヶ原刊行會	十一月	▲生活と教育、遺傳と教育、發育と教育、適應と教育其他。

歷史教育

加藤與五郎 永海佐一郎	化學の教育方針と基礎及應用	菊判	330	二、〇〇	明治書院	十一月	▲化學學習上基礎となるべき化合物、外十章にて化學教育と其基礎應用を論述。
前本一男編	國史教育の革新	並製菊判	401	二、三〇	厚生閣	九月	▲國史教育改善に對する私見（佐藤保太郎）國史教育の新展開（畫塚一三郎）外七編。
近藤壽夫	現代の史觀と國史教育	四六判	468	二、〇〇	大同館	四月	▲陽は永劫常住の大地に輝く、解釋並びに批判、國史教育の着眼點外三章にて論述。
初等教育研究會編	小學國史教育細目	並製菊判	90	一、一〇	培風館	六月	▲本科教授の要旨、本科教材の選擇排列本科細目實施上及び教授上の注意外二篇。
大松庄太郎（奈良女子高等師範學校訓導 高等小學）	國史課程の新展開	四六判	511	二、二〇	明治圖書株式會社	二月	▲現代國史學習の目標、國史生活內容の刷新國史學習指導の要點其他にて論述。
村瀨仁市（國史教授に於ける）	至難教材の究明	四六判	257	一、八〇	文泉堂	七月	▲國史教授上特に困難とする教材二十二を擧げこれを具體的に解明を施せるもの。
永吉二郎（文學士 文部省嘱託 小學師範教師用書）	國史（教師用書基本的研究 中卷）	四六判	522	二、五〇	中文館	二月	▲文部省新撰小學國史教師用書の基本的研究で、建國の體制外八章。索引。
永吉二郎（文部省著 新撰小學）	國史（教師用書基本的研究）	四六判	542	二、五〇	中文館	十一月	▲鎌倉幕府の成立北條氏の執權政治より西洋人の渡來國民の對外活動迄を解說。
松正（東京女子高等師範學校訓導兼教諭） 飛	尋五の國史教育（教材親遣と實驗）	四六判	498	二、九〇	株式會社 明治圖書	六月	▲毎學期每週適當なる教材配當をなして尋五の國史教育に就て述べたもの。

地理教育

山本熊太郎	生活地理教育の動向	四六判	173	一、三〇	古今書院	九月	▲既定地理教育の動向、現行地理學の趨勢、新興地理教育の動向外二篇にて論述。
山本熊太郎	景觀地理教授法	四六判	143	一、二〇	古今書院	三月	▲地理の本質觀、地理教材觀、地理教授論、地理教育上の諸問題外二章。

香川幹一	地理の教へ方	並四六製判	163	九〇 六	古今書院	十一月	▲地理教授の面白さから始めて説くところ二十一項教授者の參考書。
豐島松治	郷土地理教育の指導體系 上巻	洋函菊布入判	400	三、〇〇 一四	三賓閣	七月	▲郷土論郷土教育論の地理論郷土地理教材論其他二百餘項目に亘る。
豐島松治	郷土地理教育の指導體系 下巻	洋函菊布入判	458	四、〇〇 一四	三賓閣	十二月	▲日本個有民族精神に立脚し世界の教育層を解剖して實際教育の上に具體的示標を示す。
小林茂	玉川叢書（21） 郷土地理教育論	洋函四六布入判	392	一、八〇 一〇	玉川學園出版部	十一月	▲地理教育の原理、郷土地理教育論郷土地理の取扱郷土資料と設備外四章にて論述。
東京女子高等師範學校訓導 齋藤英夫	作業主義 郷土地理教育論	洋函四六布入判	368	二、六〇 一四	明治圖書株式會社	二月	▲郷土地理教育論、郷地土理取扱の實際の二篇十二章にて論述。
理學士 佐々木清治	郷土地理教育の原理と方法	布函菊裝入判	488	四、八〇 一二	賢文館	九月	▲郷土地理教育の原理、郷土地理教育の實際郷土地理研究の基礎外三篇にて論述。
大野武男 五十嵐律三	郷土史及郷土地理調査と其例實	洋函四六布入判	274	二、〇〇 一〇	大同館	六月	▲郷土史調査要目、郷土史調査の方法、郷土史調査の實際外一章にて論述。
滋賀縣島小學校編	都市農村 實態調査の理論及實際	背函菊革入判	628	四、五〇 一二	明治圖書株式會社	六月	▲都市農村に於ける實態を知ることの出來得る樣其兩者に亘つて理論と實際を論述す。
宇野誠一	地理教授案の立て方と參觀の仕方	洋函菊布入判	134	一、〇〇 八	高踏社	六月	▲地理教授杷の立て方、地理學習訓練の見方地理模式教授參觀の仕方外一篇。
東京府豐島師範學校訓導 喜多村九三	活用を主としたる 尋五地理指導案	洋函四六布入判	302	二、二〇 一〇	明治圖書株式會社	五月	▲尋常五年の地理教科書の研究と活用とを極めて組織的に説述せるもの。
東京府豐島師範學校訓導 喜多村九三	活用を主としたる 尋六地理指導案	洋函四六布入判	413	二、六〇 一二	明治圖書株式會社	五月	▲常常六年の地理教科書の書所を追ひ各教材各要素の相關とに意を用ひて探究補說す。
宮城縣女子師範教諭 高橋篤	實習を高潮したる 新地理教授の實際 ―尋常六學年―	洋函菊布入判	632	四、五〇 一二	啓文社	四月	▲昭和七年度より使用の尋常小學校地理教科書卷二の解說を主とせるもの。
文部省地理調査囑託 高橋勝	尋常小學 修正地理書解說 卷六	洋函四六布入判	441	二、九〇 一〇	明治圖書株式會社	三月	▲尋常六學年用地理書に就て教授要項、教材解說、參考資料の順序で解說を施せるもの。

香川幹一	尋五 讀圖・指圖・作圖の地理教育	布函菊裝入判	277	二、三〇 一四	有文書院	四月	▲尋五地理附圖を中心とせる地理教授の實際に就て述べた書。
香川幹一	尋六 讀圖・描圖・作圖の地理教育 ―一名小學地理附圖の解說―	布函菊裝入判	240	二、三〇 一四	有文書院	八月	▲讀圖描作圖を中心に置いた尋六地理教授の手ほどき書。

圖畫・手工教育

上坂雅之助	描現學としての 圖畫教育論	布函菊裝入判	462	二、八〇 一四	培風館	四月	▲圖畫を理論上より說き起し誤りなく實施し得られるやうに記述せる書。
堀内喜一郎	新圖畫教育の主張と實際	布函四六裝入判	388	二、五〇 一〇	章華社	五月	▲圖畫教育の新展開、新圖畫教育の主張、寫生畫指導の實際外十五章にて論述。
阿部七五三吉	實論 圖畫教授の理論と實際	洋函四六布入判	445	二、五〇 一二	教育研究會	四月	▲圖畫教授の目的及び教材組織の變遷に關する研究、圖畫教授細目外九章にて論述。
奈良女子高等師範學校訓導 曾根榮	圖畫の發生的指導法	洋函四六布入判	269	二、五〇 一二	東洋圖書株式合資會社	五月	▲圖畫教育の黎明、發生的圖畫指導の意義、圖畫生活の擴充外十四章にて論述。
田中寛一 丸山良二	圖畫成績考査用尺度	帙四六倍入判	182	四、八〇 一二	藤井書店	一月	▲別に參考畫一二四圖を收めて論述せるもので、從來の成績考査の欠點外四章。
女子學習院教授 上甲二郎	尋一より高三まで 圖案の新指導	布函四六裝入判	292	二、九〇 一〇	明治圖書株式會社	三月	▲一般圖案法の指導を系統的に叙述せる書で圖案指導の要點外一篇十五章。
三苫正雄 山田義郎	尋常 小學圖畫の解說と其取扱 ―尋一―	洋函四六布入判	444	二、九〇 一二	明治圖書株式會社	五月	▲尋常一年圖畫科の目的を明かにし學習指導の具體的方案を細說せるもの。
三苫正雄 山田義郎	尋常 小學圖畫の解說と其取扱 ―尋二―	洋函四六布入判	397	二、八〇 一二	明治圖書株式會社	六月	▲尋二圖畫教師用書の各教材に從つて其目的を明かにし學習指導の具體的方案を細述す。
後藤榮	改正 尋常小學圖畫の指導 ―第一學年用―	洋函菊布入判	281	二、五〇 一二	大同館	七月	▲第二學期第二學期第三學期に分けて改正尋常一年の圖畫教材の取扱を述べた書。
日本兒童美育會編	圖畫指導の生かし方と要領 第一學年	並菊製判	84	六〇 六	厚生閣	十月	▲尋常一年の各學期に分けた教材集で、教授要旨、教授要項、注意事項其他。

家事・裁縫・手藝教育

日本兒童美育會編	圖畫指導の生かし方と要領 第二學年	並菊	製判	84	84	厚生閣	六〇	十月	▲尋常二年の各學期に分けた教材集で、教授要旨、教授要項、注意事項其他。
日本兒童美育會編	圖畫指導の生かし方と要領 第三學年	並菊	製判	84	84	厚生閣	六〇	十月	▲尋常三年の各學期に分けた教材集で、教授要旨、教授要項、注意事項其他。
日本兒童美育會編	圖畫指導の生かし方と要領 第四學年	並菊	製判	84	84	厚生閣	六〇	十月	▲尋常四正の各學期に分けた教材集で、教授要旨、教授要項、注意事項其他。
日本兒童美育會編	圖畫指導の生かし方と要領 第五學年	並菊	製判	84	84	厚生閣	六〇	十月	▲尋常五年の各學期に分けた教材集で、教授要旨、教授要項、注意事項其他。
日本兒童美育會編	圖畫指　の生かし方と要領 第六學年	並菊	製判	84	84	厚生閣	六〇	十月	▲尋常六年の各學期に分けた教材集で、教授要旨、教授要項、注意事項其他。
淺野秀一	毛筆による新日本圖畫	洋菊	布入判	428	三、〇〇 一四	三成社		七月	▲國民性に立脚した我國獨自の圖畫教育に就て論述せるもので、指導要諦外四篇。
藤岡龜三郎	兒童の圖案（附・一般圖案法）	四六菊	布入判	244	一、八〇 一〇	三成社		十二月	▲兒童の圖案に就て講述せる書で、一般圖案法、教授編の二編。
熊谷梅太郎	手工科新教材	洋菊	布入判	300	二、一〇 一四	培風館		四月	▲セメント細工よりセルコイド加工其他の實際に就て叙述せる教材書。
深山晃	手工教材 竹工玩具器具圖說	洋菊	布入判	222	一、八〇 一三	大倉書店		五月	▲至雜なる竹工品創作の教材書で、指導製作と自製作其他にて解說す。
家事教授研究會	現代家事教術資料輯成	洋菊	布入判	296	一、八〇 一四	文光社		九月	▲現行中等學校家事科教科書の教術資料を輯集解說したもの。
中村ハル	九州高等女學校教諭 屬土に立家事科の施設及指導の實際	四六菊	布入判	251	二、〇〇 一三	啓文社		十一月	▲家事教授の基本調査、高等小學校に於ける家事科教授の主義方針外六章にて論述。
東亞學藝協會編	家政教育の根本問題	四六菊	布入	293	一、八〇 一〇	四條書房		五月	▲國民生活化を統一原理とせる家事教育（石澤吉磨）家庭と體育と（河西初子）外九篇。

作法教育

戸澤イマ	裁縫教授の實際的新主張	四六菊	布入判	352	二、〇〇 一二	日東書院		六月	▲裁縫教授の實際的新主張、裁縫の價値、裁縫科教授の要旨外七章にて論述。
齋田コト	創作的手藝學習の指導	四六菊	上製入判	277	二、〇〇 一二	厚生閣		五月	▲手藝科指導の實際に導て述べたもので、女性としての自覺、手藝と人生外十八章。
齋田コト	手藝指導細目	並菊	製判	102	八〇 六	厚生閣		七月	▲尋常五六學年の手藝教材の體系と教材の製作方法及び其指導上の要點等を說述す。
齋田コト	文部省手工要目準據教授日案實用 手藝指導細目 —高等一二年用—	並菊	製判	121	九〇 六	厚生閣		九月	▲文部省の手工要目を基準とせる高等小學校女兒の手藝教材に就ての研究。
本間良助	裁縫・手藝に關する 色彩指導法	洋菊	布入判	246	二、〇〇 一四	厚生閣		十二月	▲裁縫手藝に關する色彩指導に就て論述せるもので、色彩作業指導の實際外二編。
松平友子	最新家事經濟	洋菊	布入判	360	二、〇〇 一二	新知社		五月	▲總論・收入論・支拂論・會計論・準備論に分ち、實際教育者の立場から說いた參考書。
近藤耕藏	最新家庭物理	洋菊	布入判	356	二、〇〇 一二	新知社		五月	▲物理學中家庭の日常生活に關係深きものを編纂詳述す。
紺戸廉平	育兒看護結婚生理衞生	洋菊	布入判	364	二、〇〇 一二	新知社		五月	▲小兒科醫及教育家としての專門家の立場から高女卒業以上の人の爲に說いた書。
神谷ユキヘ	最新和服裁縫指針	洋菊	布入判	400	二、〇〇 一四	新知社		五月	▲多年實際教育者たる著者が獨學及文檢志望者のために書いた參考書。
藏卷良知	食物營養講義	洋菊	布入判	366	二、〇〇 一二	新知社		五月	▲營養問題解決のために一般家庭の榮養・食物の知識を通俗平易に說いた書。
遠藤眞砂子	榮養料理の理論と實際	洋菊	布入判	630	二、八〇 二四	新知社		十二月	▲AKで放送する著者の榮養料理の理論と實際に關する一般的指導書。
田邊光文社	公民作法	並菊	製判	90	一三 一二			一月	▲文部省作法要目に準據し補習學校、男女青年團等の修身科用として平易に作法を解說す

作法教育研究會	小學作法書	菊判並製	44	各八二	田邊光文社 一月
甫守謹吾	少年少女の作法	四六判上製	470	二、〇〇二四	南光社 四月
					▲文部省作法要目に準據し各學年別に挿畫入りにて興味本位に編述尋常科六册高等科一册
					▲一日常の心得二姿勢三起居進退四敬禮五歩行服裝六戸障子襖扉の開閉出入七言語應對等

實業教育

湯川征吉	最新商業教材と其取扱 上卷	菊判並製	541	四、二〇一四	目黒書店 十月
石原眞之助	模擬實踐解疑	菊判並製	543	五、六〇二二	東京實業社 十一月
					▲商業教材の選擇並にその取扱方針に就て述べた書で、小賣業外十八篇。
					▲實踐の觀念、模擬實踐の構成、指導統制の方式外四章。附錄模擬自由法の概觀其他。

體育・體操・遊戯

陸軍戸山學校編	體育理論	菊判並製	485	一、九〇二二	陸軍戸山學校將校集會所 十一月
二宮文右衛門	體育指導原論	四六判並製	398	二、七〇一二	目黒書店 十一月
大日本體育ダンス研究會主幹 澁井二夫	最近思潮體育とリズムの根本研究	四六判上製	169	一、四〇八	人文書房 十一月
宮田覺造 上林英太	最新學校體操精義	菊判並製	699	四、八〇二二	啓文社 五月
東京女子高等師範學校助教授文檢體操科委員 宮田覺造	體操科の指導	四六判並製	249	一、三〇一〇	目黒書店 十二月
加藤一	體驗に基づく體操指導の實際	四六判並製	200	一、三〇八	日本體育學會 二月
奈良女子高等師範學校訓導 川口英明	高等小學體操學習指導案 ―女子用―	四六判並製	487	三、〇〇一四	明治圖書株式會社 二月
					▲陸軍戸山學校教官の編纂に係る體育理論の解說書。
					▲體育に關する一通りの初步的知識を說けるもので、體操、陸上競技外二篇。
					▲體育とリズムに關しての研究で、體育とリズムの根本研究外二編。
					▲學校體育中其の根本をなす體操に就て其取扱ひを系統的に詳述せるもの。
					▲學校體操、學校に於ける體操科、學校體操科の材料、學校體操の指導の方法外一章。
					▲體操科指導の實際問題について述べたもので、體操の目的と指導の心得外十五章。
					▲總說、學習材料の解說の二篇より成る高一二女子用體操科指導案。

陸軍步兵大佐 藤井好祐編	中等學校教練教科書	三五判布裝	484	六五六	學校教練研究會 二月
步兵大佐 戸井英太郎	最新學校教練教科書	三五判洋布	424	四〇四	藤谷崇文館 三月
體育研究所技師 醫學博士 吉田章信	兒童體育運動衛生	四六判洋布	134	八〇六	同文書院 三月
教材王國編輯部編	最新運動會資料集成	菊判並製	653	三、〇〇二二	文化書房 五月
東京高等師範學校助教授 中島海	體操徒手篇	四六判並製	163	八〇八	同文書院 二月
水間一人	日本體操の建設	四六判並製	269	二、〇〇一〇	大元社 三月
日本體育學會編	丁抹と基本體操	菊判並製	228	一、二〇一〇	日本體育學會 二月
齋藤由理男	丁抹基本體操の詳說と指導案例	三六判上製	79	五〇四	現代教育社 六月
東京女子高等師範學校助教授 文部省體操科檢定試驗委員 宮田覺造	思想と實際より觀たる我國の體操とブツクの體操	四六判洋布	428	三、五〇一四	日本體育學會 九月
齋藤由理男	ニルス・ブツク基本體操の解說	菊判並製	143	一、五〇一二	玉川學園出版部 六月
玉川教育研究所編	玉川文庫(17) 體操アルバム ニルス・ブツク體操	菊半截並製	38	二〇二	玉川學園出版部 八月
玉川教育研究所編	玉川文庫(18) 體操アルバム 丁抹フオルクダンス	菊半截並製	25	二〇二	玉川學園出版部 八月
玉川教育研究所編	玉川文庫(21) 體操アルバム チユーン自然體操	菊半截並製	32	二〇二	玉川學園出版部 八月
					▲全教材を一二三學年の部及び四五學年の部に分けて解說す。
					▲中等學校教練に必要なる事を詳細に記し文部大臣岡田良平氏の訓示要旨等も挿入す。
					▲兒童體育運動衛生の要領に就て述べた書で體力と體育運動、食物と體育外十章。
					▲尋常一年より尋常六年迄の運動會の新資料を各學年別に集大成せるもの。
					▲下肢の運動、頸の運動、上肢の運動、胸の運動、平均運動、呼吸運動外五篇。
					▲獨逸體操と瑞典體操、體育の本質、日本體操の目的觀、日本體操の教法觀外六章。
					▲ブツク氏來朝に寄す（北豐吉）丁抹體操の精神と國民民運動（平林廣人）外卅六項。
					▲ニルス・ブツクの基本體操を紹介し其指導案例を示せる書で、基本體操指導の態度其他
					▲我國の體操とブツクの體操との發展過程、我國の體操とブツクの體操外二篇。
					▲基本體操の要點、基本體操の運動構成、基本體操の教材、基本體操の進展外六章。
					▲ニルス・ブツク體操の寫眞集。
					▲丁抹のフオルクダンスの寫眞集。
					▲チユーン博士の自然體操の寫眞集。

音樂・舞踊教育

玉川敎育研究所編	玉川文庫（20）體操アルバム	ソコール國民運動	並菊半製	32	32	二一〇	出版	玉川學園部	八月	▲ソコール國民運動の寫眞帖。
玉川敎育研究所編	玉川文庫（5）	ボーデ表現體操アルバム	並菊半製	32	① 三四	出版	玉川學園部	六月	▲ドルネル・ボーデ博士の表現體操三十二態を收めたアルバム。
第一高等學校教授 伊藤 中村 弘道		運動競技の指導と心理學	洋菊判	200	二、〇〇 一八	敎育	研究會	十一月	▲運動競技に於けるコーチと被コーチの心理を解剖した。コーチの準備外九章。
中村 井 弘道 三雄		スポーツの心理	四六判	194	一、三〇 八	敎育	研究會	七月	▲スポーツに於ける記錄の意義及び種類（松井三雄）外一篇。
宮原 義見		スポーツマツサージ及の理論實際	四六判	124	一、三〇 一〇	出版	體育聯盟會部	九月	▲體育指導者の敎授參考及びスポーツマン必携の書として理論及び實際的方理を說明。
宮原 義見		唱歌・行進遊戲集	菊倍判	74	一、四〇 一四	出版	體育聯盟會部	三月	▲著者の新作遊戲集、幼學年より高女用のもの旅愁以下十一敎材、曲譜附、寫眞多數。
宮原 義見		韻律運動	四六判	166	一、三〇 一〇	出版	體育聯盟會部	九月	▲著者が帶獨中ルドルフ・ボーデ體育大學に於て實習した韻律運動の理論と實際の發表。
高木 武夫		體操競技	四六倍判	311	二、二〇 一〇	目黑	書店	十二月	▲オリムピックに於ける體操競爭を解說せるもので、體操略史、體操競技外十三章。
野口 源三郎	東京府女子師範學校教諭	競技指導法	四六判	141	一、〇〇 八	同文	書院	二月	▲學校に於ける競技運動の指導法に就て述べたもので、競技運動指導論外二篇。
上山 辰二	東京府女子師範學校教諭	小學校における籠・排球指導書	四六判	136	一、〇〇 四	一成	社	十月	▲小學校に於ける籠・排球の指導を如何にすべきかに就て指導案を各月に配當說述す。
貴田 豐	學校家庭	新しい繩跳び遊戲	四六判	137	一、一〇 一〇	岡本偉業館		七月	▲簡易に實行し得る繩による體育遊戲に就て述べたもので、繩による體育の實際外二章。
川口 英明	奈良女子高等師範學校訓導	新しい學校遊戲	洋菊判	351	二、八〇 一四	目黑	書店	十二月	▲中篇は前篇に比して力を要するもの複雜なもの工夫を凝すべき學校遊戲を輯錄。

東京高等師範學校教授 青柳 善吾		音樂教育の實際問題	四六判	351	二、一〇 一二	厚生	閣	三月	▲音樂敎材の當面問題、音樂敎育革新の一考察、農村の樂敎育外廿三篇。
三島 喜代造		唱歌敎育の理論と實際	菊判	391	二、四〇 一四	共益	商社	十二月	▲唱歌敎育の理論と實際に就て論述せる書で目的論、敎材論、音樂論外二篇及び附錄。
山本 正夫	指導細說	低學年の唱歌敎育	菊判	302	二、一〇 一四	人文	書房	一月	▲小學各學年の唱歌敎授及び唱歌敎材の取扱ひ方を各學期の月順によつて解說す。
山本 正夫	指導細說	中學年の唱歌敎育	菊判	304	二、一〇 一四	人文	書房	二月	▲小學各學年の唱歌敎授及び敎材の取扱ひ方を各學期の月順によつて解說す。
山本 正夫	東京女子音樂學校教授 東京豐島師範學校教諭	高學年の唱歌敎育	菊判	337	二、一〇 一四	人文	書房	六月	▲尋常五年及六年の唱歌敎授並びに唱歌敎材の取扱ひ方を各學期の月順に依つて解說す。
井上 武士	東京高等師範學校訓導	新訂尋常小學唱歌の解說と其取扱 —尋一—	四六判	426	二、九〇 一二	株式會社	明治圖書	五月	▲尋常一學年に於ける唱歌敎授上の實際問題及び歌曲に就ての解說。
草川 宣雄	最新	兒童發聲法	四六上製	364	二、八〇 一四	京文	社	五月	▲兒童の呼吸法發聲法、兒童の音樂性と發展等全十四章。兒童發聲を說く。
水口 廣		兒童發聲指導の實際	洋菊判	139	一、八〇 一四	共益	商社	五月	▲兒童發聲法の理論と實際に就て論述せるもので兒童發聲概論外三部。
坊田 かずま		やさしい獨唱と輪唱曲集 —伴奏及解說—	並菊判	77	一、一〇 八	厚生	閣	十月	▲日本鄕土童謠曲を基礎としての獨唱曲輪唱曲廿曲を收めてそれが解說をなす。
佐藤 はま	童謠・唱歌兒童劇	低學年 振付集	菊判 洋	244	二、〇〇 一二	文化	書房	九月	▲尋常一二學年の童謠唱歌學校劇等廿九篇の振付集。
野村 政夫	教材並教授法	唱歌と舞踊	四六倍判 並製	335	二、九〇 一二	文	書堂	六月	▲尋常一年より六年迄を各學年別に四季の敎材を揭げ其敎授法を說述せるもの。
野村 政夫		童謠と兒童舞踊の研究	四六判 洋	306	二、六〇 一四	文化	書房	四月	▲童謠の作法、樂譜の讀方、兒童舞踊の踊方振付法等を實際方面から說述す。
大日本體育ダンス研究會主幹 澁井 二夫		學校舞踊創作の心境と實際	四六判 洋	280	二、一〇 一二	日本體育學會		四月	▲一般舞踊殊に學校舞踊を如何に指導し創作するかに就て論述せる書。

日本體育學會編	學校舞踊とダンス	洋函菊布入判	224	一、八〇 一二	日本體育學會	一月	▲學校舞踊及學校ダンスに就て述べたもので低學年の教材、中學年の教材外二部。
澁井二夫	最新體育ダンス教本 第四輯	並四六倍製判	63	二、五〇 八	人文書房	九月	▲寫眞指導、動作指導、曲譜篇、行進遊戯の四篇にて說ける體育ダンス教本。
青山師範教官 澁井二夫	學年別體育ダンス新教材 一年ヨリ六年迄	並菊製判	200	一、二〇 六	音樂教育書出版協會	十二月	▲尋一より尋六迄の體育ダンスの新創作集で全六册。
日本教育音樂協會	子供の舞踊 一・二・三・四年用	洋菊布判	100	六〇 六	音樂教育書出版協會	十二月	▲卷一、二は幼稚園及小學校低學年用。三、四は小學校高學年用。
石井小浪	幼稚園の舞踊	上菊製判	57	八〇 六	厚生閣	六月	▲幼稚園又はそれ以下の兒童達に歌はれてゐる曲を選び基本練習實際練習の二部にて解說。
石井小浪	尋一の舞踊	上菊製判	55	八〇 六	厚生閣	六月	▲新尋常小學唱歌のうちから曲を選び基本練習實際練習の二部にて說述す。
石井小浪	尋二の舞踊	上菊製判	52	八〇 六	厚生閣	六月	▲基本練習（歩き方、スキップ外三章）實際練習（南京玉、星外十篇）の二部にて解說。
高橋堯	低學年の童心遊戯	背函菊洋布入判	246	一、五〇 一二	文化書房	五月	▲尋一の童心遊戯並びに尋二の童心遊戯各十曲を收む。低學年の舞踊教育附載。
高橋堯	中學年の童心舞踊	背函菊洋布入判	263	一、五〇 一二	文化書房	四月	▲尋常三四年の童心舞踊二十曲の振付、附錄中學年の舞踊教育。

學藝會・兒童劇

現代教育社編	新しき藝術教育としての學藝會資料	背函菊洋布入判	248	一、二〇 一〇 特一、〇〇	現代教育社	二月	▲新しき學藝會の構成（伊井二郎）學校舞踊の提唱（石井小浪）外廿八篇。
北村久雄	學藝會運動會の新研究	上函菊製入判	356	二、八〇 一四	厚生閣	七月	▲學藝會や運動會の課程に於ける實際問題及指導の原生方法等を說述。
岡本てうわ 野長瀬正夫	學藝會實演兒童劇集	上函四六製入判	194	一、五〇 八	文化書房	三月	▲鯉のぼり、やさしい蝶たち、春が來た、級長と惡い子供たち外廿篇。

日本童話協會編	尋六學藝會資料全集	背函菊洋布入判	340	二、五〇 一四	文化書房	二月	▲近來著しく重要視されてきた學藝會の尋常六年の料資全集で、學藝會の實際其他。
佐藤秀美	實際を主眼とした兒童劇と唱歌劇	上函四六製入判	376	二、五〇 一四	京文社	二月	▲流れ星、白い花黑い花等教育的藝術的脚本十四篇。全部伴奏附曲譜を附す。
貝塚正次郎	やさしい童謠と兒童劇	上菊製判	72	五〇 六	シンフォニー樂譜出版社	八月	▲幼稚園及小學初年級として作曲せられた童謠と兒童劇の書。
長尾豐	兒童劇指導の實際	布函四六裝入判	632	二、六〇 一四	文化書房	十二月	▲實際的な兒童劇指導書で、劇化（脚本の讀み方其他）演出（脚本解析其他）外一編。
野村政夫	兒童劇の作り方と指導法	洋函四六布入判	288	一、八〇 一二	文化書房	二月	▲多くの作例實例を挿入して說けるもので、兒童劇の構成、幕について外十六章。
牛島稔	低學年中心 兒童劇の實際	背函菊洋布入判	144	一、〇〇 八	高踏社	六月	▲尋常一二三年の兒童劇の實際に就て述べたもので、美の標準と進歩（新渡戸稻造）其他。
三浦藤作	兒童劇と兒童映畫	洋函四六布入判	262	一、五〇 一二	文化書房	一月	▲兒童劇兒童映畫に關する論文隨筆集で、兒童劇論、兒童映畫雜記外十三篇。
葛岡龍吉編	教訓本位 對話と童話劇	上函菊製入判	264	一、〇〇 一〇	北文館	七月	▲趣味深き教訓的な對話及び童話劇を收蒐せる書で、年頭の決心外三十八篇。
長尾豐	一二年のお話あそび	背函四六洋布入判	246	一、五〇 一〇	文化書房	五月	▲お話と、お話遊びの仕方とを書いたもので花さん、ピリイのお友達其他十篇を收む。
長谷山峻彦	尋一學校劇集成	布函四六裝入判	146	一、二〇 六	大正書院	十月	▲容易に實演出來る尋常一年生の學校劇集で虎と狐、子供の兵隊、星と月外七篇。
長谷山峻彦	新選學校劇集 上卷	布函四六裝入判	228	二、〇〇 八	大正書院	一月	▲幼稚園程度より尋常三四年程度までの作品を收めたもので、小雀の歌外七篇。
長谷山峻彦	新選學校劇集 下卷	布函四六裝入判	232	二、二〇 八	大正書院	一月	▲尋常四五年程度より高等小學程度迄の作品を收めたもので、猿と龜外九篇。
伊達學編	家庭と學校の兒童劇	背函菊洋布入判	624	二、八〇 一二	冨山房	十二月	▲家庭や學校で子供達の力で手輕に演ぜられるやうな兒童劇三十篇を收めた本。

栗原登	曲・舞踊 寫眞付 兒童劇選集 —低學年用—	四六判 布入裝	292	二、〇〇〇 一〇	文化書房	十二月
川村信	心の鐘	四六判 並入製	132	一、〇〇〇 六	青蘭社書房	十月
山崎正七著 馬淵冷佑校訂	兒童劇脚本集 でん〳〵太鼓	五六判 上入製	276	一、二〇〇 一〇	大倉廣文堂	一月
野村政夫	野村政夫兒童劇集(1) 赤い風船	菊判 洋布	110	一、二〇〇 八	文化書房	二月
野村政夫	野村政夫兒童劇集(2) 海邊のお城	菊判 洋布	98	一、二〇〇 八	文化書房	二月
野村政夫	野村政夫兒童劇集(3) 山彥退治	菊判 洋布	103	一、二〇〇 一四	文化書房	四月
三浦藤作	兒童劇集 暮春のメロデイー	菊判 上製	89	八〇 八	文化書房	三月
三浦藤作	兒童劇集 落葉ばらばら	菊判 上製	81	八〇 八	文化書房	三月
三浦藤作	兒童劇集 さらさら小波 —低學年用學校劇集—	菊判 上製	91	八〇 八	文化書房	三月
內山憲堂	子供のための人形劇脚本 第一輯	新菊判 布裝	126	一、〇〇〇 六	文化書房	八月
村上寬	村上童話實演集	四六判 洋布	260	一、五〇〇 一〇	文化書房	十月

講話・童話・說話

教育資料研究會編	學校講話新資料	菊判 洋布	626	三、四〇〇 一二	厚生閣	四月
有文書院編	名士大家學校學級講話講演大集成	菊判 布入裝	530	二、八〇〇 一二	有文書院	十一月
第一出版協會資料編纂部編	新講話資料	菊判 洋布	980	三、五〇〇 一〇	第一出版協會	九月
內山憲堂	新童話術綱要	四六判 布入裝	220	一、三〇〇 八	文化書房	二月

▲低學年向きの兒童劇十八篇を收め各篇毎に實演指導の諸注意を述べたもの。

▲童話劇十四篇、學藝會、少年少女會、祝祭日の會合等に上演用に編述。

▲子女の童心を捉へ、明るくて、且眞實性を目ざした兒童劇集。

▲赤い風船（一幕）物好き王樣（二幕）かゞやく日章旗（四場）外三篇。

▲海邊のお城（一幕）雛祭の夜（一幕）外三篇の兒童劇集。

▲山彥退治（二幕）邪魔する者は（一幕）お辨當箱（一幕）外二篇の兒童劇集。

▲暮春のメロデイー、春雨、深山の奥へ、山越えて谷越えて外二篇の兒童劇集。

▲落葉ばらばら、秋の海邊、坊やが居ない、冬の夜の怪事外二篇の兒童劇集。

▲單純な內容を簡明に表現せる小學校の低學年に適する創作學校劇十篇を收錄。

▲實除に演出した子供のための人形劇脚本集で、赤づきん、舌切雀外五篇。

▲青帶、烏勘左衞門、森の出來事、赤足袋外三篇の實演童話集。

▲小學校を中心に兒童、青年、處女、一般社會への講話教育資料として編めるもの。

▲自然環境はもとより產業行政教化宗教衞生等すべてに及んだ講話講演の集成。

▲主として學校に於ける講話揭示、父兄懇談思想善導に關する講話資料二百七十演題集錄

▲童話術の意義と使命、童話術の基礎、童話術の要素、童話の組立法外六章。

新聞學習

岡山光雄	新聞學習 —子供に新聞をどう讀ませるか—	四六判 洋布	437	二、〇〇〇 一二	先進社	六月
岡山光雄	新聞學習提要	四六判 洋布	199	一、二〇〇 八	中文書房	六月

▲新聞を學習素材として論述せるもので、基礎篇、關心篇、實際篇の三部。

▲東京日日新聞を素材とせる學習例を展示せるもので、新聞學習の實際外一章。

修養

大谷光瑞	大國民讀本	四六判 並入製	116	三五 四	日本文學社	四月
東鄕平八郎述 小笠原長生註	愛國讀本	菊判 並入製	302	一、〇〇〇 一二	實業之日本社	十月
聖書房編輯部	明治天皇御製讀本 —忠君愛國篇—	菊判 並製	238	八五 特六八 八	聖書房	十一月
今井常四郎	神祇に關する御歷代御製集	四六判 上製	305	一、五〇〇 一四	會通社	七月
本間俊平	新生命の獲得	四六判 並入製	366	一、〇〇〇 八	實業之日本社	九月
本間俊平	心靈の戰場から	四判 並製	305	一、〇〇〇 八	實業之日本社	四月

▲臣節の大義を說けるもので、大義、感恩報謝、秩序禮節、孝道、社會の福祉外十六章。

▲この國民的大精神に澎湃として永久に漲れ最良の補短術は勇氣なり外卅七篇。

▲明治天皇の御製及び諸名家の文章を收めたもので、國體以下七章より成る。

▲御製歌の傳はれるは八十八代に及び其の數十餘萬首に上る中、神祇に關するものを集む。

▲信仰問題、人生問題に關する感想集で、滿鮮を旅して、人生生活の標準外廿四篇。

▲惱める若き人々へ、身の不運をかこつ人々よ、不動心生活法外廿篇。

松村介石	堂々たる生活	四六判 洋布入	302	一、七〇 一〇	北文館	二月
野間清治	榮えゆく道	四六判 並製	321	五〇 八	講談社	七月
山崎延吉	世に立つ道	四六判 洋布入	313	一、五〇 一〇	泰文館	二月
石田傳吉	地方青年の覺醒	四六判 洋布入	350	一、五〇 一〇	泰文館	十月
楠正信編	益軒五訓	四六判 布装入	332	一、五 八	大日書房	六月
小倉恒司	茶道（63）（尺素文庫） 和敬清寂	四六判 並製	37	一〇 二	社會教育協會	五月
笹岡末吉	歌で憲法（64）（尺素文庫）	四六判 並製	54	一三 二	社會教育協會	六月
村山廣道	禪と修養	四六判 布装入	303	一、五〇 八	中央佛教社	十月
西川光二郎	修養講話 反省の仕方	四六判 並製	179	一、二〇 八	春陽堂	四月
堀内新泉	滑稽修養 男女百癖	四六判 布装入	636	特一、八〇 一、五〇 一二	一心社	十一月
長尾永五郎	豐臣秀吉のまごゝろ —日吉丸の巻—	四六判 並製	52	三〇 二	四正教育研究會	二月
大日本雄辯會講談社編	美談逸話集	四六判 洋布	438	一、三〇 一〇	講談社	六月
松浦百英	會心資料 話材教材集	三六判 布装入	526	一、五〇 一〇	光融館	七月

▲堂々たる生活、人生觀は斯くありたい、天道樣が見て御座る其他。

▲二十數年前の私、金を融通する力 人の觀方外五十三篇。

▲世に立つ道を丁寧に說けるもので、全體を見る事、農村の若き人達へ外一〇八篇。

▲地方青年の自覺、地方革新と青年の使命、萬世一系我が皇室、勞働神聖論、外數百項。

▲五常訓、大和俗訓、君子訓、家訓、初學訓の益軒五訓を收めたもの。

▲茶道の話を蒐錄せるもので、私とは如何なることか、情とは如何なることか外二話。

▲憲法七十六條を悉く和歌で示せるもので、上欄に憲法の和歌譯、下欄にその本文を記す。

▲國民精神の振作と禪の要諦、永遠の生命と禪、現代思想と四無量心外十六篇。

▲修養の道に入るには、注意を自分に集注せよ、反省の仕方外修養講話十八篇。

▲手に胼胝のでた人、酒の好きな女其他二百の人樣々な癖を描く。

▲日吉丸が傑れた點を擧げ兒童教育に資したもので、寺の小僧外四章。

▲仁慈恩愛、寬仁大慶、剛毅大膽、勇氣氣概孝行友愛、外廿六篇に收めた逸話集。

▲故松浦氏の話材を蒐錄せるもので、信仰門自己門、家庭門其他。

牧野元次郎	續ニコ〳〵全集	菊半截 上製	400	一、〇〇 八	弘學館	一月
熊野御堂進（金澤醫科大學教授 醫學博士）	最新學校應急手當	四六判 背洋布入	128	一、〇〇 八	右文館	一月
竹田仁風	學童の相談と其解決（健康篇）	四六判 洋布入	258	一、五〇 一〇	文化書房	五月
北海道帝國大學編	北海道帝國大學一覽（昭和七年）	四六判 並製	747	一、五〇 一二	北海道帝國大學	十二月
平山武夫	日本大學案內	四六判 並製	436	一、二〇 六	川村書房	二月
芳進堂編輯部編	全國官立私立高等專門學校入學案內	四六判 並製	347	四五 六	武田芳進堂	十月
帝國大學新聞高校部編	高等學校 —進路と展望—	四六判 並製	363	一、〇〇 六	考へ方研究社	十一月
谷猶三郎	中等教員たらん若人へ	四六判 洋布入	162	七五 六	福岡九州高等家政女學校出版部	二月
學習指導研究會編	中等學校入學試驗に直面して父兄は何を爲すべきか	四六判 並製	196	三〇 四	采文閣	四月
帝國青年教育學會編	高等諸學校入學試驗問題と試驗官の答案講評	四六倍判 並製	250	八〇 八	帝國地方行政學會	十二月
青年教育普及會編輯部編	文部省直轄學校入學試驗問題答案講評 —圖語・漢文—	四六判 並製	193	六〇 四	青年教育普及會	十一月

▲ニコ〳〵全集の實行編としてニコ〳〵處世法を具體的な例を擧げて解いた修養書。

▲學校に於ける外科的應急處置に就て述べたもので外傷毒創溺水外九篇。

▲健康相談事項、健康增進法の二章と附錄學校體育衞生行事標準其他にて學童衞生を說く

▲昭和七年五月卅一日現在に於ける北海道帝國大學の一覽書。

▲日本大學總覽（廿四項）櫻門學園展望（十五項）日本大學入學案內（十項）

▲全國官公私立專門學校高等學校大學及び大學に就ての紹介書。

▲受驗篇、生活篇、案內篇の三篇と附錄高校法規一覽、高校職員一覽を揭載。

▲男子中等學校教育方針、中等實業學校教育方針外二章。

▲卒業後の子弟を如何に指導すべきか、入學試驗、制度、方法外三章にて記述す。

▲文部時報に登載された「文部省直轄學校入試問題並に試驗官の講評」を輯錄せるもの。

▲昭和七年度の文部省直轄學校入學試驗問題並に答案講評を科目別に分類編輯せるもの。

叢書	刊行會	版型	頁數	定價	裝幀	發行	備考
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	340	一、二〇八	校風閣	一月	▲第一、第二、第四、第八、浦和、水戸、靜岡の七高等學校の最近の入學試驗精解。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	218	一、〇九	校風閣	八月	▲第一高等學校其他の昭和三年度より昭和七年度迄の入試問題を收めて解說す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	247	一、〇九	校風閣	十月	▲昭和七年度の第二第四水戸新潟各高等學校の入試問題を轉錄して解說を施す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	260	一、〇九	校風閣	十月	▲昭和七年度の第三第八靜岡松本各高等學校の入試問題を轉錄して解說を施す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	209	一、〇九	校風閣	十月	▲昭和七年度の大阪姬路第六廣島各高等學校の入試問題を轉錄して解說を施す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六倍製	295	一、〇八	校風閣	十二月	▲第一早稻田高等學院其他の大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題精解。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	156	一、〇九	校風閣	七月	▲大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題を收め概況及問題解答を附す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	302	一、〇八	校風閣	五月	▲東京、廣島兩高等師範學校の大正十五年より昭和七年迄の入試問題を精解せるもの。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	225	一、〇九	校風閣	十一月	▲大阪商科大學豫科其他の昭和三年より昭和七年迄の入試問題の釋解。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	289	一、〇八	校風閣	十一月	▲東京商大豫科其他の大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題を收めて解說を施す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	171	一、〇九	校風閣	九月	▲東京高工其他の大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題精解。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	207	一、〇九	校風閣	八月	▲桐生高工其他の大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題精解。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	271	一、〇八	校風閣	八月	▲神戸高等工業學校其他の大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題解說。

叢書	刊行會	版型	頁數	定價	裝幀	發行	備考
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	259	一、〇九	校風閣	八月	▲福井高等工業學校其他の大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題解說書。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	154	一、〇九	校風閣	八月	▲東大農學實科其他の大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題解說書。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	135	一、〇九	校風閣	八月	▲臺北帝大農林專門部其他の大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題解說書。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	130	一、〇九	校風閣	八月	▲東京高等蠶糸學校其他の大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題解說書。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	142	一、〇九	校風閣	七月	▲大正十五年度より昭和七年度迄の入學試驗問題を收めて精解を施す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	174	一、〇九	校風閣	七月	▲大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題を收めて精解を施す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	196	一、〇九	校風閣	七月	▲大正十五年度より昭和七年度迄の入學試驗問題を蒐錄して解說を施す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	184	一、〇九	校風閣	七月	▲出題傾向の研究及び大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題精解。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	195	一、〇九	校風閣	七月	▲大正十五年度より昭和七年度迄の入試問題を收めて精解を施す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	151	一、〇九	校風閣	七月	▲昭和三年度より昭和七年度迄の入學試驗問題を收め精解を施す。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	145	一、〇九	校風閣	五月	▲大正十五年度より昭和七年度迄の陸軍士官學校入試問題を採錄して詳解を施せるもの。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	202	一、〇九	校風閣	五月	▲海軍兵學校及海軍經理學校の大正十五年より昭和七年迄の入試問題精解。
志望校別受驗叢書	志望校別受驗叢書刊行會	四六並製	177	一、〇九	校風閣	五月	▲最近廿五ヶ年間の海軍機關學校入試問題中特に重要なものを拔錄して精解を施す。

大日本國民中學會受驗部主任 箕輪香村編	陸軍工科學校入學受驗案内	四六判	123	五〇銭	五月	東華堂	▲陸軍工科學校入學受驗に就ての案内書。附試驗問題全集及各科模範答案。
箕輪香村編	陸軍幼年學校入學試驗問題答案集	四六判	150	五〇銭	七月	東華堂	▲大正13年度問題より昭和7年度問題までの採集と其の解答。
箕輪香村編	陸軍幼年戸山學校入學受驗案内	四六判	130	五〇銭	七月	東華堂	▲入學者への諸注意、參考書の選定方法、體格檢査に付いて、規則、最近施行の試驗問題。
箕輪香村編	各種試驗年鑑 昭和八年度	菊甲判	120	二〇銭	一一月	東華堂	▲檢定試驗規定全集。官費採用試驗全集。
普文學會編	最近試驗問題集 高等試驗 建築試驗 各大學	三五判	1083	二、七〇〇	四月	清水書店	▲最近に於ける高等試驗各大學の試驗問題の一切を網羅蒐集せるもの。
西東社編	入學試驗問題全集 高等學校・專門學校・師範二部 昭和七年度	菊判	204	五〇銭	四月	西東社	▲全國官公私立の高等專門諸學校の外國語數學物理化學歷史其他の入試問題を蒐錄。
慶文堂編輯部編	高等諸學校入學試驗問題模範答案集 昭和七年度	四六判	587	一、七〇〇	四月	慶文堂	▲高等諸學校の入試問題を國漢、英語、數學理化及其他の五部に大別收載し解答を附す。
女子受驗研究會編	入學試驗問題解答集	四六判	129	一、七〇〇	一月	光雲堂	▲東京女子醫專、帝國女子醫專醫學科、大阪女子高等醫專其他の入試問題解答集。
女子中等教育普及會編	入學試驗問題國語解義 最近女子專門學校	四六判	126	一、七〇〇	九月	女子中等教育普及會	▲昭和年間に於ける競爭率の高い學校を網羅しその入試國語問題に解答を施せるもの。
女子中等教育普及會編	女子專門學校入試問題數學解義 最近	四六判	260	一、七〇〇	一一月	女子中等教育普及會	▲東京女高師其他の最近の入試數學問題を蒐錄し解說を施せるもの。
內外教育資料調査會編	全國師範學校第一部入學試驗問題各科模範解答 昭和七年度	四六判	665	二、〇〇〇	七月	南光社	▲昭和七年度の全國師範學校第一部入學各科試驗問題を蒐錄して解答を施す。
大周社編輯部	女子入學試驗問題集 最近五年 高等專門學校入學	四六判	420	八〇銭	五月	大周社	▲昭和三年より昭和七年迄の女子高等專門學校入學試驗問題を全部集めて各學校別となす
大明堂編輯部編	入學試驗問題解答集 最近五ケ年全國女子醫・歯專	四六判	338	一、三〇〇	一月	大明堂	▲實檢受驗の總案内、各科の學習指導と受驗方針の二篇、附錄試驗規定集其他。

山田耕	小遣より文檢まで 獨學研究者の爲に	上四六判	330	一、八〇	十二月	大同館	▲徹頭徹尾獨學を以て尊正から文檢まで通過した秀才たる著者が汗と力との生活の宣言書
法學士 高橋鐵也編	事檢（男女）高檢高資 試驗問題全集	四六判	348	一、八〇	三月	弘文堂	▲大正十三年度より昭和六年度迄に施行の專檢高檢高資試驗問題全集。
教員檢定受驗研究會編	最新 小學校教員檢定試驗 問題大集	四六判	272	七五	九月	有文書院	▲全國に於ける最近の小學校教員檢定試驗問題を蒐集し勉學法其他を懇切に述ぶ。
大日本國民中學會受驗部長 箕輪香村編	小學校教員檢定試驗 問題全集	四六判	302	一、〇〇	十一月	文憲堂	▲最近施行各府縣の試驗問題を輯錄せるもの附錄小學校令及小學校令施行細則其他。
大明堂編輯部編	小學各府縣別各教員科・科目別 最近問題全集 昭和七年版	四六判	439	一、〇〇	九月	大明堂	▲昭和七年度の小學校教員各府縣別各科科目別に集輯せる受驗案内。
岡田怡川	教育修身 文檢受驗指針及問題全集 —第一回より現在まで—	四六判	327	一、八〇	二月	モナス	▲文檢受驗必勝法二十則、文檢教育科受驗方針、文檢修身科受驗方針外二篇。
岡田怡川	文檢教育科問題解義	四六判	1050	二、四〇	四月	モナス	▲第一回より現在に至る文檢教育科問題を網羅して解答を施せるもの。
岡田怡川	教育學要覽 教育（學習受驗）	三五判	155	一、〇〇	十月	莊人社	▲師範學校及び檢定受驗者の參考書で、教育の意義、學校教育の効果外二十六章。
大日本帝國統治權者主宰「教育勅語」渙發記念會・帝國教育會編 岡田怡川	教育史要覽 教育（學習受驗）	三五判	180	一、二〇	九月	莊人社	▲師範學校教育科教科書の近世教育史を學習せんとする者の爲に論述せる書。
渡部政盛 高橋勇	重要問題 系統的教育科解說	菊判	684	二、九〇	十月	啓文社	▲問題本位の立場より教育科を系統的に解說せるもので、教育學外十編。
藤原信	文檢教育科 短期合格 新準備法	四六判	286	一、〇〇	六月	啓文社	▲文檢教育科受驗者の爲に一ケ年間の準備で合格出來る樣其必勝法を詳述せるもの。
松田友吉	最新指導 文檢教育科受驗法	四六判	162	一、一〇	二月	大同館	▲文檢教育科受驗の短期速成を目的とする研究法の要諦を說く。
松田友吉	最新指導 文檢教育科問題解答	四六判	666	二、八〇	二月	大同館	▲心理學に關する問題、論理學に關する問題教育學に關する問題外三篇。

大日本學術協會主事「教育學術界」編輯長 岡田怡川	教育科要覽叢書(3) 學習受驗 心理學要覽	三五判 並製	159	四五 四	莊人社	九月	▲心理學の意義及び任務、心理學の應用、感覺の屬性、感情と敎育外四十七章。
大日本學術協會主事「教育學術界」編輯長 岡田怡川	教育科要覽叢書(4) 學習受驗 論理學要覽	三五判 並製	115	四〇 二	莊人社	十月	▲論理學の意義、論理學の必要、推理の意義及び種類、分析と綜合外廿七章。
大日本學術協會主事「教育學術界」編輯長 岡田怡川	教育科要覽叢書(5) 學校管理法要覽	三五判 並製	158	四五 四	莊人社	十二月	▲學校管理法の意義及內容、我が國敎育制度の三大特色、學校衞生外廿三章にて論述。
大日本學術協會主事「教育學術界」編輯長 岡田怡川	教育科要覽叢書(6) 各科教授法要覽	三五判 並製	175	四五 四	莊人社	十一月	▲修身、國語、算術、歷史、地理、其他各科の教授法要覽。
大日本學術協會主事「教育學術界」編輯長 岡田怡川	教育科要覽叢書(7) 學習受驗 教育思潮要覽	三五判 並製	172	四五 四	莊人社	十一月	▲現代教育思潮の學術的基礎、現代教育思潮の分類、經驗的教育思潮外十章。
明治教育社	文檢受驗用 國民道德要覽	四六判 最上製	478	二、五〇 一八	大同館書店	十月	▲合格者の經驗を基礎として成り文章平易大意把捉に便せる受驗要訣。
教育學術會編	文檢 國民道德要領・教育大意 問題解答	四六判 洋布	491	二、三〇 一二	大同館	一月	▲文檢受驗者の爲に教育大意及國民道德要領の問題を解答し兩科の受驗法を附記す。
大日本學術協會編著	系統的問題對照 國民道德教育大意要義	菊判 函入 背洋布	417	二、〇〇 一四	モナス	一月	▲國民道德要領及び教育大意の二篇より成る文檢受驗參考書。
島爲男 富田義雄	文檢修身科問題解義 —自第一回至現在—	四六判 函入 洋布	810	四、〇〇 一四	モナス	五月	▲第一回より現在迄の文檢修身科問題を系統的に排列し解答を試みたもの。
濱野宮之助	文檢參考問題中心 修身科精義	四六判 洋布	600	三、五〇 一三	三友社	十一月	▲文檢修身科の問題を最初より昭和七年迄を系統的に配列して解說したもの。—增訂版—
三浦藤作	修身科講座	菊判 函入 洋布	1027	六、八〇 二三	文化書房	十月	▲文檢修身受驗者の爲に修身科全體に亙つて講述せるもので、倫理學外九篇。
大日本學術協會編	系統的問題對照 修身科要義	四六判 函入 洋布	689	二、五〇 一四	モナス	九月	▲倫理學概論、西洋倫理史、東洋倫理史、東洋倫理概說、日本倫理史外四章。
石川誠	文檢國語科受驗と就職の手引	四六判 函入 洋布	405	一、八〇 一二	大同館	一月	▲文檢の輪廓、準備の方法、受驗の實際、就職戰術等四篇にて論述。

今井柳三	最新指導 文檢習字科受驗法	四六判 函入 洋布	455	二、〇〇 一二	大同館	九月	▲文檢國語漢文科中の習字に就いて揮毫練習上の方針と試問解答と要項を舉げて說く。
酒井三郎	高等教員中學教員 文檢西洋史（系統的）研究法	四六判 函入 洋布	282	二、〇〇 一〇	大同館	五月	▲文檢西洋史受驗者の爲の手引書で、西洋史と語學、中等教員の部、高等教員の部其他。
大川榮次	提要 文檢體操科の組織的研究	菊判 函入 洋布	623	四、五〇 一三	啓文社	十一月	▲著者の文檢受驗生活記錄で、解剖生理衞生體育原理、體操概論外一編。
大元茂一郎	文檢 家事合格の手びき	菊半截 並製	36	一〇 二	文光社	十二月	▲文檢家事參考、書最近五年間文檢問題彙類料理の實地問題、最近文檢家事問題を收錄。
『專檢』編輯部	專檢カード式參考書 修身科	袖珍 函入 カード式	172	六〇 四	選試社	二月	▲既往の專檢修身科問題を全部整理配列し表面に問題を裏面け解答を揭載。
『專檢』編輯部	專檢カード式參考書 博物科	袖珍 函入 カード式	170	六〇 四	選試社	二月	▲既往の專檢博物科試驗問題全部を整理配列しカードの表裏に編纂。
『專檢』編輯部	專檢カード式參考書 英單語科	袖珍 函入 カード式	178	六〇 四	選試社	二月	▲專檢文驗者に必要な最小限度の英單語を既往の專檢問題から抽き裏表問答式の參考書。
陸軍省囑託 金子慶太	陸軍軍人を志す人のために	四六判 函入 布裝	190	一、〇〇 八	現人社	十一月	▲一般青少年から直接陸軍に志願し得るもののみを選び其心得べき事柄を記述す。
海軍少佐 中島武	海軍軍人を志す人のために	四六判 函入 布裝	194	一、〇〇 八	現人社	十一月	▲海軍軍人を志ず者にとつての知識を設けるもので、海軍軍人となるには外七章。
大日本國民中學會受驗部主任 箕輪香村編	海軍志願兵採用受驗案內	四六判 並製	130	五〇 四	東華堂	五月	▲海軍志願兵を受驗するについての總べてに亘る案內書。
法學士 高橋鐵也編	陸海軍人・飛行家少年航空兵 立身指導總案內	四六判 並製	172	六〇 六	弘文堂	三月	▲軍人志望の青少年にとつての準備指導書で陸軍軍人立身案內、海軍軍人立身案內其他。
所澤陸軍飛行學校副官 山崎一二	航空志願者の指針	四六判 洋布	367	一、八〇 一〇	埼玉 航空社	三月	▲航空に進むべき道を叮嚀に詳述せるもので學生から兵士から將校へ大空へ其他。
日本少年國防協會編	日本少年國防協會叢書(1) 少年航空兵	四六判 並製	171	六〇 六	新日本書房	四月	▲陸軍少年航空兵に志願する人達の爲に航空に關する一般常識を設けるもの。

大山	竹田	文徹	輔成	少年航空兵試驗問題と合格準備書	四六並製	349	九月	文教科協會	一〇〇	四六並製	學	▲少年航空兵の特質とその手續を明示し最近入學試驗問題とその解答を附す。
箕輪	香村			海軍少年航空兵受驗案內	四六並製	120	五月	東華堂	四〇	四六並製	學	▲海軍少年航空兵となるについての案內を詳細に說述す。
箕輪	香村			陸軍少年航空兵入學受驗案內	四六並製	130	十二月	東華堂	四〇	四六並製	學	▲入學者への諸注意、規則、準備方法、體格檢査の注意と最近施行の試驗問題と其の解答
箕輪	香村			陸軍現役兵志願立身案內	四六並製	130	十二月	東華堂	四〇	四六並製	學	▲現役兵より將校へなる方法の近道、軍人になつて立身せんとするもの、指導書。
關	澤	金造	警視廳及各府縣各植民地に於ける警察官吏の採用試驗問題	巡査採用試驗問題集	四六並製	275	七月	警察官司獄官講習所	一、三〇六	四六並製	學	▲警視廳及各府縣各植民地に於て施行したる巡査採用試驗問題を蒐集して解答を施す。
大明堂編輯部編				新聞記者アナウンサーガイド採用試驗問題集	四六並製	209	十月	大明堂	一、〇〇八	上製入	學	▲大正十二年度より昭和七年度迄の東京大阪の大新聞社の試驗問題を年度順に配列す。
小林又七編				海軍雜問參考書	四六並製	200	十二月	兵用圖書株式會社	四〇	四六並製	學	▲海兵にて進級の試驗に必要なる雜問を網羅し受驗參考書。
小林又七編				海軍算術教科書解答 第三・四	四六並製	215	十一月	兵用圖書株式會社	四〇	四六並製	學	▲海軍省編纂の海軍算術教科書の解答にして卷三、卷四を合本。
小林又七編				海軍讀本詳解	四六並製	180	十二月	兵用圖書株式會社	各四〇	四六並製	學	▲海軍省編纂の海軍讀本卷五卷六と卷七、八を獨習用に詳解。
在郷武官	鈴木	春次郎	國家の干城	入隊前後の心得	四六並製	120	二月	良榮堂	三〇二	四六並製	學	▲新入營者諸氏の軍隊準備教科書。
昭和	本	亘編		最新神職試驗問題集	四六並製	161	五月	臼井書店	八四	四六並製	學	▲昭和二年四月より昭和六年十月までの一二等司業、學正、高等神職試驗問題の全部收載。
東華	堂編輯部		全國	選信講習所受驗準備全書	四六並製	330	十一月	東華堂	特一、〇〇八九	四六並製	學	▲全國選信講習所受驗準備全書。附最近十年間全國試驗問題及答案集。
鐵道	技術研究會			機關車乘務員各科問答集	四六判布クロス	560	十月	東洋書籍出版協會	三、〇〇四	四六判布クロス	學	▲鐵道算術、技術、法規、最近施行試驗問題竝解答を收む。

石田	靖一編			保線科入學試驗問題解答集	四六並製	38	十一月	鐵道研究社	三五二	四六並製	學	▲鐵道保線科自第二回至第五回入學試驗問題並解答、東京鐵道局教習所規程、等
石田	靖一編			專門部入學試驗問題集	四六並製	94	十一月	鐵道研究社	三五二	四六並製	學	▲鐵道專門部自第一回至第九回入學試驗問題東京鐵道局教習所規程、專門部入學者調。

河野清丸著

兒童教育學概論

定價金貳圓五拾錢・東京堂版

◇書物展望は、新古東西に偏せずあらゆる書物に關する研究を主眼とし、讀書界に出版界にいさゝか寄與したく努力いたして居ります。

◇書物展望は、自由なる編輯によつて、汎く書物に關する諸家執筆の研究批評隨筆文献資料紹介其他硬軟とり〳〵の諸篇を網羅し、努めて精選せる內容により權威ある書物研究誌としてあくまで讀書人の好伴侶たらん事を念願として居ります。

◇書物展望は、小誌ではありますが印刷に用紙に製本に、書物研究誌として恥づかしからざるやう、體裁にも充分注意を拂つて居ります。

◇書物展望は、創刊以來豫想外の好評を博し讀書人書店人に歡迎されて居りますが、尙、此上共同好諸氏は勿論のこと、書物に關心を持たるゝあらゆる方々の、有益なる研究の寄稿と購讀とによつてよりよき發展を見まするやう、各位の御後援御鞭撻を切にお願ひ申上げます。

前「愛書趣味」主幹　齋藤昌三
前「東京堂月報」編輯主任　岩本柯青

木村毅著	西園寺公望	戲曲と西園寺公研究三篇及び文獻解題收載。新菊判・竹皮裝・限定版 定價二・五〇 送料二〇	
横光利一著	小說 雅歌	菊判・白樺裝・限定版 序文著者自筆凸版刷 定價一・六〇 送料一〇	
內田魯庵著	魯庵隨筆 讀書放浪 普及版	隨筆十六篇と著作年譜 四六判・新聞紙裝 定價一・八〇 送料一〇	
內田魯庵著	魯庵隨筆 紙魚繁昌記 普及版	書物に關する隨筆卅篇 四六判・紙魚本裝 定價一・八〇 送料一〇	
齋藤昌三編	現代 筆禍文獻大年表	明治大正發賣禁止目錄 菊判・上製 定價四・六〇 送料二〇	
土屋由岐雄著	東京を買つた屑屋さん	童話と童話劇十篇 菊判・上製 定價一・五〇 送料一〇	
齋藤昌三 岩本柯青編輯	月刊 書物展望	一冊金五〇、半年分金三・〇〇一年分金六・〇〇（毎月廿五日頃發行）	
齋藤昌三著	隨筆集 書痴の散步	番傘裝・限定版 定價三圓・全部賣切	
內田魯庵著	魯庵隨筆 紙魚繁昌記	酒袋裝・限定版 定價三圓・全部賣切	
內田魯庵著	魯庵隨筆 讀書放浪	背革裝入・限定版 定價三圓・全部賣切	

內容の良いのと、獨特の裝幀によつて本社の出版物は、いつも好評を博して居ります。本年も愛書家の見逃せぬい・本をせい〳〵出します。詳しいことは「書物展望」を御覽下さい。

東京市杉並區阿佐ケ谷五ノ三五
書物展望社
振替東京一五五三三番
（事務所一京橋區新富町三ノ七）

四、文學

(A) 文學一般

文學理論・文藝評論

著者	書名	形體裝釘	頁數	定價錢 送料錢	發行所	發行月	內容大意
小泉八雲	文學入門	四六判並製	241	一、〇〇 六	金星堂	十二月	▲生活及び性格の文學に對する關係、文章の構成に就いて、特殊な散文の研究外七章。
八住利雄	初學者の爲の哲學・思想叢書 初學者の爲の文學概論	四六判函入布製	234	一、三〇 八	文化書房	四月	▲初學者の爲に平易に說ける文學概論で、文學一般論近代文學論外二章。
土田杏村	文學理論	四六判並製	444	一、〇〇 一〇	第一書房	七月	▲文藝本質論、詩についての雜感、現代作家論、文壇的問題の四篇。
垣內松三編著	國文學體系(6) 文學理論の研究	菊判函入洋布	178	一、二〇 一二	不老閣	七月	▲文學理論の研究、樣式史の問題、形象理論と國語教育外一篇にて論述。
松浦一	生き行く力としての文學	菊判函入上製	348	二、五〇 一四	大東出版社	六月	▲文藝と實生活、生き行く力としての文學、無償の文學、無常に據る人外八篇。
坪內逍遙	春陽堂文庫(70) 小說神髓	菊半截並製	135	一五 二	春陽堂	八月	▲小說の變遷、小說の主眼、小說脚色の法則主人公の設置、叙事法外六章。

田山花袋	近代の小説 (春陽堂文庫(33))	並製菊半截	250	三〇 四	春陽堂	十一月	▲明治以降の小説に就て語つたもの。
モウルトゥン著 本多顕彰譯	文學の近代的研究 —文學の理論及び解釋の序論—	並製菊判	622	二、三〇 一二	岩波書店	十一月	▲モウルトンの四十年に亘る文學研究の總勘定で、文學研究の分野と範圍外七篇。
テエヌ著 瀬沼茂樹譯	文學史の方法 (岩波文庫(827))	並製菊半截	128	二〇 四	岩波書店	五月	▲文學史の方法、精神的事象に於ける依存關係と諸條件メリメ論の三編の譯載。
エドマンド・ゴス著 相良次郎譯	文學の連續性 (文學論パンフレット(4))	並製四六判	74	三五 四	研究社	一月	▲エドマンド・ゴスの「文學の連續性」及「小説の專横」を譯述せるもの。
ブラッドリ著 曾根保譯	詩のための詩 (文學論パンフレット(5))	並製四六判	68	三五 四	研究社	一月	▲オックスフォド大學に於て試みたブラッドリーの就任講演たる詩のための詩を譯述。
ハーフォド著 植田虎雄譯	浪漫情調 (文學論パンフレット(6))	並製四六判	57	三五 四	研究社	一月	▲ロマンティシズム研究家として名あるハーフォドの「浪漫情調」を譯述せるもの。
マケイル著 酒井善孝譯	文學に於ける宏大性 (文學論パンフレット(7))	並製四六判	56	三五 四	研究社	五月	▲マケイル教授が英文學會の會長に任ぜられた時の講演"Largeness in Literature"の譯。
フォースタ著 阿部知二譯	小説の構成 (文學論パンフレット(8))	並製四六判	51	三五 四	研究社	五月	▲フォースタ著「小説の諸面」中、プロットの部と結論とを譯出した小説論。
リチャーズ著 李歌河譯	詩と科學 (文學論パンフレット(9))	並製四六判	78	三五 四	研究社	九月	▲一般的狀況、詩の經驗、詩と價値、生の統制外三章にて詩の本質を論述。
ニコルスン著 中野好夫譯	文學に於ける新精神 (文學論パンフレット(10))	並判四六判	80	三五 四	研究社	九月	▲主知派とは何ぞ、新興派作家は利己的であるか、理知と本能と外二章。
ホワイトヘッド著 柏倉俊三譯	反動としての浪漫思潮 (文學論パンフレット(11))	並製四六判	66	三五 四	研究社	九月	▲ホワイトヘッドの「科學と近世」中の第五章「反動としての浪漫思潮」の譯。
ハーデイ著 織田正信譯	小説の科學 (文學論パンフレット(12))	並製四六判	47	三五 四	研究社	九月	▲ハーデーの小説論「小説の科學」及び「英國小説に誠實ありや」外一篇。
マッシス著 那須辰造譯	小説論 (列分新文學研究・評論部(3))	並製四六判	81	五〇 四	金星堂	十一月	▲私たちが小説に要求するもの、小説とスタイル、小説と自敍傳小説外三章。

ブラボオ著 瀬沼茂樹譯	リアリズム論 (列分新文學研究・評論部(5))	並製四六判	70	五〇 四	金星堂	十二月	▲ブラボオの「小説の技法」中の「現實主義」の抄譯で、ゾラの定義した自然主義外八章。
ペーターゼン著 芦田弘夫譯	文藝學概論 (獨逸文藝學叢書)	洋布四六判	153	八〇 六	建設社	十二月	▲ペーターゼンの「獨逸浪漫派の本質」の紹介で、民族と土地外七章。
エルマティンゲル著 武田忠哉譯	文藝學の法則 (獨逸文藝學叢書)	洋布四六判	130	八〇 六	建設社	十二月	▲エルマティンゲルの「文藝學の哲學」中に發表された「文藝學の法則」を譯述せるもの。
秋澤三郎 森本忠譯	文學の實驗と傳統	背布四六判	264	一、五〇 八	金星堂	十一月	▲ロンドン市文藝協會で新銳文學者に小説、詩、劇等の實驗と傳統を討論させた講演集。
ヴァレリイ著 中島健藏 佐藤正彰譯	ヴァリエテ	並製圖入菊判	347	三、五〇 一四	白水社	十一月	▲精神の危機、覺書、「アドニス」に就きて序言、ダヴィンチの方法敍說外三篇譯載。
ヴァレリイ著 堀口大學譯	文學 (詩論)	並製四六判	106	五〇 四	第一書房	九月	▲ヴァレリイの詩論を收めたもの。—普及版—
ヴァレリイ著 辻野久憲譯	詩の本質	並製四六判	52	六〇 二	椎の木社	五月	▲ボイル・ヴァレリイの"Propos sur Poesie"を完譯せるもの。
ヴァレリイ著 秦一郎譯	純粹詩論	並製四六判	81	七〇 四	椎の木社	十二月	▲ヴァレリイの「純粹詩論」「マラルメへの最後の訪問」其他を譯述。解說小傳を添ふ。
外山卯三郎	純粹詩歌論	洋布圖入四六判	170	一、二〇 八	第三書院	六月	▲純粹な詩歌に就ての諸論文を收めたもので詩歌の純粹性と造形性外三章。
小林秀雄	續文藝評論	上製圖入菊判	264	一、八〇 一四	白水社	十一月	▲文藝批評の科學性に關する論爭、フランス文學とわが國の新文學外廿三篇。
河上徹太郎	自然と純粹 —文藝評論集—	上製圖入菊判	232	一、八〇 一四	芝書店	九月	▲エッセイ(自然人と純粹人外八篇)作家と作品(オフエリヤ遺文外三篇)音樂論。
伊藤整	新心理主義文學	並製四六判	218	一、二〇 六	厚生閣	四月	▲文學について、新心理主義文學、プルウストとジョイスの文學方法について外廿一篇。
久野豐彦 淺原六朗	新社會派文學	並製四六判	232	一、二〇 六	厚生閣	七月	▲新社會派文學の發生過程、新社會派の社會觀、新社會派と大衆外十五篇の論文集。

著者	書名	判型	頁數	定價	發行所	月	內容
正宗白鳥	文壇人物評論	四六 布函 裝入判	478	一、五〇 / 一三	中央公論社	七月	▲明治文壇總評、夏目漱石論、蘇峰と蘆花、尾崎紅葉論、幸田露伴論外十五篇。
尾關岩二	童心藝術概論	四六 洋函 布入判	352	二、〇〇 / 一三	文化書房	六月	▲童心の本體、創作の動機としての童心、童謠及び童詩、舞踊藝術の二方面外十五章。
千葉龜雄編	最近の文學・文章研究と國語教育	菊 洋函 布入判	469	二、五〇 / 一四	厚生閣	十月	▲最近文學の主流と方向（千葉龜雄）文學の表現原理について（久野豐彥）外卅五篇。
石川啄木	評論感想集 上卷（改造文庫第二部（181））	菊半 裁裝	329	四〇 / 四	改造社	七月	▲上卷は明治卅七年より四十一年迄の評論感想集で、詩談一則外卅八篇。
石田憲次	基督教的文學觀	菊 洋函 布入判	394	二、五〇 / 一三	研究社	五月	▲謙虚の心、四樣の生活態度、カーライルの倫理說、生の文學外九篇。
平林駒子編	平林初之輔遺稿集	菊 洋函 布入判	753	三、八〇 / 二三	平凡社	二月	▲あらゆる新聞雜誌類に發表された平林氏の評論研究論文等を蒐錄せるもの。
フリーチェ著 黑田辰男譯	藝術社會學の諸問題	四六 並製判	364	一、五〇 / 八	往來社	三月	▲藝術の辯證法的發展の問題、文化樣式としての印象主義外十篇。
板垣鷹穗編	現代藝術の展望（時代藝術叢書（一））	菊 洋函 布入判	404	二、九〇 / 一四	六文館	六月	▲現代文藝思潮の一篇（山田肇）現代映畫藝術の理論的展望（淸水光）外九篇。
板垣鷹穗	藝術閑考	新菊 布函 裝入判	317	二、八〇 / 一四	六文館	九月	▲斷片、心理描寫と心理學說、映畫閑記、大伽藍造營略考、現代藝術觀想の五篇。
藏原惟人	藏原惟人論文集 第三卷	四六 並製判	100	二〇 / 二	日本プロレタリア作家同盟出版部	十二月	▲プロレタリア藝術運動の組織問題藝術運動の組織問題再論外一篇。
藏原惟人	藏原惟人論文集 第四卷	四六 並製判	92	二〇 / 二	日本プロレタリア作家同盟出版部	十二月	▲藝術的方法についての感想、藝術理論に於けるレーニン主義のための鬪爭外一篇。
藏原惟人	藝術論	四六 布函 裝入判	548	一、五〇 / 一四	中央公論社	十二月	▲藝術史及び藝術理論、文藝運動に關する諸問題、研究と隨筆の三篇三十章。
藏原惟人	プロレタリアートの文化の問題	四六 並製判	285	一、〇〇 / 八	鐵塔書院	六月	▲藝術理論に於けるレーニン主義のための鬪爭、プロレタリアート文化の問題外四章。

著者	書名	判型	頁數	定價	發行所	月	內容
日本プロレタリア作家同盟教育部編	組織篇（プロレタリア文學講座（1））	四六 函 並製入判	226	一、〇〇 / 八	白揚社	十一月	▲資本主義下に於けるプロレタリア文學の確立の問題鹿地亘外九篇。
森山啓	プロレタリア詩のために—意義・問題の檢討・作法—	四六 並製判	298	九〇 / 六	白揚社	五月	▲プロレタリア詩の作り方、日本に於けるプロレタリア詩の發達概觀、詩論と感想。
中野重治編	プロレタリア詩の諸問題	四六 並製判	374	一、一〇 / 八	叢文閣	六月	▲中野重治、森山啓、伊藤信吉、佐野獄夫四氏のプロ詩に關する論說十七篇收載。

文藝研究襍誌

著者	書名	判型	頁數	定價	發行所	月	內容
春山行夫編	文學 第一册	菊 並製判	405	二、〇〇 / 一四	厚生閣	三月	▲いくつかの轉回點（吉村鐵太郎）小說の藝術（春山行夫）地上の星（瀧口修造）其他。
	文學 第二册		410	二、〇〇 / 一四		六月	▲第二册はジョイスの研究特輯號で、ジョイスの短篇小說（阿部知二）外五十一篇。
	文學 第三册		400	二、〇〇 / 一四		九月	▲文學論の喜劇性（西脇順三郎）マルセル・プルウスト（堀辰雄）其他を收錄。
	文學 第四册		400	二、〇〇 / 一四		十二月	▲テイ・エス・エリオット論（西脇順三郎）ロコン論（春山行夫）外五十五篇。
春山行夫編	詩と詩論 第十册	菊 並製判	286	一、〇〇 / 一〇	厚生閣	八月	▲詩と實在（瀧口修造）其他。—宣傳版—
	詩と詩論 第十一册		266	一、〇〇 / 一〇		八月	▲自然と純粹（河上徹太郎）其他。—宣傳版—
	詩と詩論 第十二册		408	一、六〇 / 一四		八月	▲心理小說（小林秀雄）其他。—宣傳版—
	詩と詩論 第十三册		398	一、六〇 / 一四		八月	▲ロオランスの世界（西脇順三郎）其他。—宣傳版—
	詩と詩論 第十四册		402	一、六〇 / 一四		八月	▲詩と小說（春山行夫）其他。—宣傳版—

著者・編者	書名	判型	頁數	定價・送料	發行所	月	摘要
伊藤整編	新文學研究 第五輯	並菊製判	418	一、〇〇 一四	金星堂	十一月	▲評論、文學の綜合化について（阪本越郎）外六篇、研究七篇、作品十二篇其他。
伊藤整編	新文學研究 第六輯	並四六製判	418	二、〇〇 一四	金星堂	五月	▲第六輯は新英米短篇小説集で、コネイ・アイランド御告鐘（青山鋭夫譯）外廿七篇。
飯島正・秋田滋編	小説 第一輯	並菊製判	291	一、五〇 一〇	芝書店	一月	▲女の學校（ヂイド、飯島正譯）肉體（舟橋聖一）文學理論の問題（春山行夫）外廿五篇
秋田滋編	小説 第二輯	並菊製判	387	二、〇〇 一四	芝書店	五月	▲「今日の小説家」を對象としたエッセイ、研究等を收錄せるもので、幻影其他。
秋田滋編	小説 第三輯	並菊製判	312	一、五〇 一二	芝書店	十月	▲二十世紀小説家の態度（西脇順三郎）心理小説の發展（春山行夫）外卅七篇。
啓松堂編	理論 第一輯	並新菊製判	218	一、〇〇 八	啓松堂	十一月	▲人間の歴史性（池島重信）現代日本文學に於ける生意識（藤原定）外八篇。
福田久道編	批評 第一冊	並菊製判	322	一、八〇 一四	木星社	十一月	▲文學に於ける反動（瀬沼茂樹）外廿四篇の文學評論、研究、エッセイを集錄。
神戸雄一編	ヌウヴエル 第一輯	並菊製判	351	一、五〇 一〇	朝日書房	九月	▲一つの感想（横光利一）表現形態に關する覺書（井上友一郎）其他を蒐錄。
早稲田大學文學部編	文學思想研究 第一輯	上菊製判	304	二、〇〇 一四	春秋社	十二月	▲藤原俊成の歌論（窪田空穂）アイヌの神曲とオキクルミの文字（金田一京助）外六篇。
吉田一穂編	新詩論 第一輯	並菊製判	334	二、〇〇 一四	アトリヱ社	十月	▲詩の新しい散文形態に就いて（穴戸儀一）建速須佐之男命（北原白秋）外卅八篇。
難波卓爾編	文科 第四輯	並新菊製判	156	五〇 四	春陽堂	三月	▲鳥羽家の子供（田畑修一郎）蠻と遊ぶ（坪田譲治）アシカ（丸山薫）外八篇。
藝術學研究會編	マルクス・レーニン主義 藝術學研究 第一輯	並菊製判	223	一、〇〇 八	藝術學研究會	七月	▲レーニン主義文學理論の確立へ（川口浩）文學批評の基準（宮本顯治）外十一篇。
藝術學研究會編	マルクス・レーニン主義 藝術學研究 第二輯	並菊製判	289	一、〇〇 八	叢文閣	十二月	▲藝術的方法に關する諸問題（川口浩）プロレタリア文學の發展段階（池田壽夫）外十篇

外國文學研究

著者・編者	書名	判型	頁數	定價・送料	發行所	月	摘要
法政大學教授 田部重治	中世歐洲文學史	洋函菊布入判	479	二、五〇 一四	第一書房	十二月	▲紀元五六世紀から十四世紀末迄の文學を取扱つたもので、カール大帝時代外廿八章。
フリーチエ著 外村史郎譯	歐洲文學發達史	並四六製判	360	一、〇〇 八	鐵塔書院	十月	▲中世から現代に至る迄の複雜なる歐洲文學の發達の過程を説述せるもの。―普及版―
早稲田大學歐羅巴文學研究會編	歐羅巴文學研究 現實主義事相的研究	並四六倍製判	211	一、六〇 一二	三省堂	六月	▲コンラッド小論（谷崎精二）明治文學とリアリズム（本間久雄）外七篇。
齋藤勇	思潮中心の英文學史	洋函四六布入判	635	四、〇〇 一四	研究社	九月	▲中代英語の時代、文藝復興時代、擬古典主義全盛時代外七章。―增補改訂版―
伊東勇太郎	英文學研究の道程	布函四六裝入判	369	二、五〇 一二	大同館	七月	▲英文學探究上最も有効なる道程を述べたもので、如何なる書を讀むべきか外卅三章。
名古屋高商教授 源馬漂拔	英國浪漫詩研究	洋函菊布入判	334	二、五〇 一二	弘文堂	六月	▲英國浪漫主義の由來、エリザベス朝文學と英國浪漫主義、自然への復歸外六章。
岡田哲藏	英詩文の片影	洋函四六布入判	418	二、二〇 一二	新生堂	八月	▲英詩文の叙述で、ミルトン「樂園回復」の一卷、小泉八雲の思想外十六篇。
青山學院教授 阿部義宗	宗教英詩十二講	洋函四六布入判	297	一、二〇 一〇	基督教出版部	十一月	▲宗教詩十二篇を選んで講述せるもので、村の牧詩、神中心の家庭其他。
寺井邦男	京城帝國大學法文學會第二部論纂第四分冊 英國小説の傳統を辿る	並菊製判	144	八〇 六	刀江書院	五月	▲英國小説のその成形以後に於てこれに加へられた種々の experiment を考察せるもの。
ジアルウ著 太田咲太郎譯	列國新文學研究叢書（4） 現代英吉利小説	並四六製判	74	三〇 四	金星堂	十二月	▲英吉利小説に關するジアルウの紹介批評でヂエイムズ・ヂヨイスと外四篇。
町野靜雄	新文學讀本（2） 今日のイギリス文學	背四六布判	266	一、五〇 八	金星堂	九月	▲現實のイギリス文學の様相に就て述べたもので、新文學の發生まで外七章。
早稲田大學教授 繁野政瑠	ミルトン 失樂園研究	洋四六布判	275	二、〇〇 八	研究社	十一月	▲本論（失樂園の題目外十三章）附説（擬古典派外五篇）參考書目。

石田憲次（京都帝國大學助教授）	パーナード・ショオ眞髓	洋菊判	472	三〇〇	六	月	弘文社	▲序說、戲曲、評論、小說、餘論ショオの再評價の五篇にてショオの眞髓を論ず。
ゴルマン定譯	ジョイスの文學	四六並製	268	一七〇	六	月	厚生閣	▲ジェムス・ジョイスが文學に於て如何なることを爲し遂げたかを解說的に說明す。
高只一（早稻田大學教授）	アメリカ文學概論	四六洋製	385	二一〇	九	月	東京堂	▲現代アメリカ文學の實相と其由來する所を述べた書で、植民時代の文學外十四章。
カルヴアートン著（東京帝國大學文學部（2）研究室）十字路に立つアメリカ文學	阪井德三譯	新四六並製	86	三〇	特二〇	月	雄文閣	▲アメリカ文學一般に於ける最近の諸問題を歷史的社會的に述べた書。
ブルウスト著（東京帝國大學文學部（2）研究室）ボオドレエル論	山中散生譯	四六並製	57	三五	四	月	金星堂	▲マルセル・ブルウストの最後の勞作「ボオドシエル論」の譯。
伊藤整編（判型新文學研究・評論部（1）プルウスト研究・紹介・飜譯・批判・十四人集）		四六並製	190	一三〇	六	月	金星堂	▲マルセル・ブルウストの音樂性（神西清）外十二篇。
東京帝國大學獨逸文學會編	獨逸文學研究第一號	菊判並製	259	二〇〇	八	月	建設社	▲浪漫主義とは何ぞや（上村清延）獨逸文藝壇の印象（相良守峯）外七篇。
東京帝國大學獨逸文學會編	獨逸文學研究第二號	菊判並製	190	一三〇	一〇	月	建設社	▲「ハウプトマン特輯號」で、小島徇氏の「自然主義作家としてのハウプトマン」外五篇。
ライマン著岡田光雄譯	獨逸古典文學史批判	上製	184	八〇	八	月	木星社	▲獨逸文學史に於ける傳說形成と歷史歪曲、ヘルデルと辯證法的方法の二篇を收む。
阪本越郎	今日の獨逸文學	四六並製	234	一三〇	八	月	金星堂	▲今日の獨逸文學、ヨーゼフ・ロートの小說ハインリツヒ・ハウゼル論外十六篇。
茅野蕭々	ゲヨエテ研究	四六倍判	1044	一〇〇〇	七	月	第一書房	▲獨逸文學史上の第一人者ゲヨエテの研究でゲヨエテとナポレオン外五十三章。
茅野蕭々	ゲヨエテ研究	菊判並製	1039	二六〇	立命館出版部	四月		▲ゲーテとプラトン（カシーラー）ゲーテの世界文學の理念（シュトリヒ）外二篇譯述。
佐藤明	ゲーテの思想	四六並製	227	一七〇	田立			

日獨文化協會編（百年祭記念）	ゲーテ研究	菊判並製	578	三五〇	一二	月	岩波書店	▲ゲーテの古典主義（上村清延）ゲーテの獨逸浪漫派（吹田順助）外十二篇の論說集。
三井光彌	父親としてのゲーテ	並製	355	一五〇	一二	月	第一書房	▲典型的「人間」と稱せられるゲーテの父親としての生活を描けるもの。
松岡敏幸	フアウスト研究	菊判並製	561	三五〇	一二	月	木星社	▲ギョーテの「フアウスト」の研究書で、總論、悲劇第一部、悲劇第二部。
メーリング著（土方定一・藤生譯）	レツシング傳說第一部	上製	372	一五〇	一〇	月	木星社	▲メーリングの勞作として著名な「レツシング傳說」の譯で、七年戰爭の心理外九章。
米川正夫	ロシヤ文學思潮	菊判並製	293	二〇〇	一四	月	三省堂	▲ロシヤ文學の歷史、その性質、意義及價値等に就て平易に論述せるもの。
アウエルバツハ著（上田進一譯）	建設期のソヴエート文學	四六並製	368	一一〇	八	月	叢文閣	▲ソヴエート・プロレタリア文學の地位任務方向等を示せる諸論文集。
長澤規矩也（内田泉之助）	支那文學史綱要	四六並製	128	六五	六	月	文求堂	▲平易簡明を主とした支那文學史、漢詩漢文から小說戲曲にまで及ぶ。
今關天彭	近代支那の學藝	菊判並製	594	四〇〇	一二	月	民友社	▲清代及び現代の學術界、清代及び現代の詩文界、清代及び現代の詞界外三篇。

隨筆・感想・書簡

德富猪一郎	大事小事	四六判並製	409	二〇〇	一一	月	民友社	▲新聞界に於ける五十年の印象及び觀察、明治天皇の御盛德と國民融和外卅二篇。
齋藤昌三（柳田泉）編	書痴隨筆紙魚繁昌記	四六判並製	370	二〇〇	一四	月	書物展望社	▲書物通内田魯庵の書物に關する隨筆集で、書籍の話、書齋雜談、紙魚獨語其他。
德富猪一郎	典籍清話	四六判並製	433	二〇〇	一一	月	民友社	▲前田侯爵家の宋槧「世說新語」石山本願寺日記、古社寺の研究外六十七篇。
齋藤昌三（柳田泉）編	書痴隨筆紙魚繁昌記	四六判並製	370	二〇〇	一四	月	書物展望社	▲故内田魯庵の書物に關する隨感隨筆で裝幀全部異る好書。書籍の話外十二篇。—普及版—

齋藤昌三編 柳田泉	書物隨筆	讀書放浪	四六判	368	三七〇	一四	書物展望社	六月	▲内田魯庵の隨筆集で、銀座繁昌記、東西愛書趣味の比較外十四篇。魯庵著作年譜附載。
齋藤昌三		書痴の散歩	新菊判	343	三〇〇	一四	書物展望社	十一月	▲所謂中世紀雜誌考、裝釘界の追想、書物徒然草、大谷崎の處女小說其他隨筆三十篇。
河合榮治郎		書齋の窓から	上製四六判	216	一一〇	八	日本評論社	三月	▲自由主義、一學徒の手記、讀書その折々、人物評論の論外八篇の隨筆集。
來栖三郎	早大教授	日曜靜觀	布製四六判	231	一五〇	一〇	社會書房	一月	▲兩國産風景、殺人時代、神樣の失業、肉體爭奪戰、納涼と納骨、暴力の逃避所他四八項。
村海南	法學博士	越同舟	上製四六判	474	一七〇	一二	四條書房	二月	▲世界の眞の平和、新しい國寶物語、山陰觀光漫談外廿四篇の評論紀行及傳記集。
下村海南	法學博士	吳船北馬	布製四六判	386	一七〇	一二	四條書房	七月	▲日本はどうなる、支那はどこへ行く、墮胎公認論是非、外廿七篇の隨筆集。
谷崎潤一郎		倚松庵隨筆	上製新菊判	272	一四〇	八	創元社	四月	▲懷情の說、戀愛及び色情、現代口語文の缺點について、私の姓のこと外三篇の隨筆集。
吉村冬彥		續冬彥集	布製四六判	434	二〇〇	一四	岩波書店	六月	▲異鄉、浮世繪の曲線、さまよへるユダヤ人の手記より、讀書の今昔外廿七篇の隨筆集。
安倍能成		青丘雜記	布製四六判	368	二〇〇	一四	岩波書店	九月	▲旅心、朝鮮所見二三、京城とアテーネ、新義州より奉天まで外廿五篇。
柳田國男		秋風帖	布製四六判	213	一四〇	八	梓書房	十一月	▲御祭の香、出來合の文明、佐渡へ巡記、峠に關する二三の考察外隨筆八篇。
杉村楚人冠		續湖畔吟	並三六製判	306	九〇	八	日本評論社	六月	▲馬の畵、祝ひの返禮、杉のひで、赤飯、伊勢まゐり、傳書鳩外七十七篇の隨筆集。
土岐善麿		文藝遊狂	布製四六判	280	一七〇	一〇	立命館出版部	七月	▲珠數を拾ふ、ラヂオ風景に就て、當世奥樣哲學外廿八篇のエッセイ集。
中勘助		しづかな流	布製四六判	499	三一〇	一四	岩波書店	六月	▲感想錄。

相馬御風	子	人間最後の妻	四六判	195	一二〇	八	春陽堂	二月	▲故鼠子夫人の「人間最後の妻」外十篇の隨筆並に短歌及び御風氏の「亡妻追憶」を收む
相馬御風		一茶と良寬と芭蕉	三六判	288	一〇〇	六	春秋社	九月	▲一茶、良寬、芭蕉に關する隨筆集で、野人一茶の悟、良寬と由之外十六篇。
吉田絃二郎		思想の朝	新四六判	271	八〇	六	改造社	八月	▲步み寄る春、初夏の感覺、八月の草を步めば、山青み外廿六篇の隨筆集。
小川未明		童話雜感及小品	洋四六判	623	二〇〇	一四	文化書房	七月	▲常に自然は語る、自由なる空想、童話の核心、少年時代禮讃外九十五篇の感想集。
渡邊玲水		南窓靜思	並四六判	147	五〇	六	霜香堂	六月	▲讀書の態度、農村の青年にすゝめたき書物必讀すべき古典外十二篇の隨筆集。
二瓶一次		魂に城くもの	上製四六判	457	二三〇	一二	厚生閣	二月	▲隨想、言葉に聽く、この世懷しの思ひ、机邊雜記、汽車の窓から其他に分けた隨筆集。
兒山敬一		おとのない三角	並四六判	260	一〇〇	六	短歌表現社	三月	▲短歌表現社友の作品選集。內容の種類は哲學、藝術論、短歌、小品、詩、短歌論。
安積得也	農會副事務官	雜草の實	並四六製判	260	一〇〇	六	新政社	六月	▲內務省の少壯官吏たる著者の人間生活批判
橫山正一	「野の花玉砂」	雜草の實	並四六製判	180	五〇	四	新政社	十月	▲人間生活の急所を捉へて、之を創作化、劇化、隨筆化した作品集。
田中貢太郎		酒・散策・俳句	上製四六判	376	一五〇	一二	內外社	七月	▲踏青、酒徒の秋、盛岡より松島へ、蛇は寸にして外廿八篇の隨筆及び俳句を收錄。
西村文彥		酒譜	洋四六判	320	一二〇	一四	啓松堂	十二月	▲日本酒の風味、旅行と酒、飮酒家として堂に入るもの外廿七篇の酒に關する隨筆集。
西川一草亭		風流生活	上製四六判	316	七〇	一四	第一書房	三月	▲清風莊の陶庵公、あめりかにずむと茶人、屋外廣告論外廿三篇の隨筆集。
今井紫雲		動物と藝術	布製四六判	299	三〇〇	一〇	芸艸堂	一月	▲動物と藝術との關係を闡明せる書で、狗、馬、牛、羊、兎、駱駝外廿四篇。

松崎直枝	一話題 趣味の樹木	四六 洋函布入判	280	一、五〇 一〇	博文館	八月	▲樹木に就ての趣味を述べたもので、梅、松、泰山木、夾竹桃、栗外四十一篇。
農學博士 横山桐郎	優曇華	四六 布函裝入判	321	二、〇〇 一四	創元社	五月	▲主として虫に關する隨筆を網羅した書で、みづすまし外廿七篇。
辰野隆 辰野保	スポオツ隨筆	四六 上製判	308	一、五〇 八	大畑書店	十二月	▲辰野隆（スポオツ回顧、野球漫談外九篇）辰野保（心ごゝろ外三部）の隨筆集。
櫻井忠温	銃劍は耕す	四六 布函裝入判	405	一、三〇 一二	新潮社	四月	▲滿洲の新戰場に於ける我將士の勇猛とその勞苦を筆にせる視察記。
丸木砂土	女性西部戰線	四六 並製判	430	一、〇〇 一〇	風俗資料刊行會	六月	▲美しい女性、女性西部戰線、第二の顔、二人の映畫女優、新女性美學外二部。—普及版—
丸木砂土	處女學講座	四六 並函製入判	292	一、一〇 八	文藝春秋社出版部	十月	▲涙とすね方、處女とは、婚約、男に話しかけられた時、嫉妬其他より成る。
井上吉次郎	ベルリン 社會學	四六 並製判	220	一、〇〇 六	淺野書店	四月	▲哲學の裸體、モダン享樂生活、蕃學階梯、時は流連する、帶、枕外六篇。
加藤武雄	砧村隨筆（玉川文庫(8)）	菊半 並製截	87	二〇 二	玉川學園出版部	七月	▲饗應、老馬星月、犬の記、早春、青草、初夏、八月、秋深し外三篇の隨筆集。
加藤武雄	文藝隨筆（玉川文庫(9)）	菊半 並製截	80	二〇 二	玉川學園出版部	七月	▲文學と道德、かくありたい女性、大衆文學の問題外七篇の文藝隨筆集。
松岡讓	文化的野蕃人（ホリデイ叢書）	菊半 並製截	250	五〇 六	第一書房	八月	▲宗教、自然其他に分け收めた感想錄。
大田黒元雄	大西洋そのほか（ホリデイ叢書）	菊半 並製截	255	五〇 六	第一書房	八月	▲大西洋、ロンドン生活、ネクタイ講義、ロンドンの寄席外九篇の隨筆集。
久野豐彦	艶文蒐集（ホリデイ叢書）	菊半 並製截	231	五〇 六	第一書房	十月	▲艶文蒐集、歪んだ紅い唇、フイリップの藝術、海のナンセンス夫人外四十七篇。
中河與一	左手神聖（ホリデイ叢書）	菊半 並製截	231	五〇 六	第一書房	十月	▲秋の算術、職業の魅力と爭議、左手神聖、神の僕外隨筆四十八篇。

正岡子規	松蘿玉液（春陽堂文庫(77)）	菊半 並製截	89	一〇 二	春陽堂	七月	▲子規の雜文集。
幸田露伴	賴朝・平將門（春陽堂文庫(80)）	菊半 並製截	175	二五 二	春陽堂	十二月	▲露伴の史傳文學、賴朝と平將門の二篇を收む。
內田魯庵	おもひ出す人々（春陽堂文庫(71)）	菊半 並製截	360	四〇 六	春陽堂	十月	▲四十年前—新文藝の曙光、硯友社の勃興の道程、三十年前の島田沼南外九篇。
佐々木信綱	信綱文集（改造文庫第二部(73)）	菊半 布裝截	188	二〇 四	改造社	六月	▲萬葉集の價値、松坂の一夜、大和の國と若い歌人、犬山城の夕ぐれ外四十八篇。
島崎藤村	長篇紀行 海へ（改造文庫第二部(86)）	菊半 布裝截	521	五〇 八	改造社	六月	▲海へ以下三十項より成る。
島崎藤村	春を待ちつつ（岩波文庫(81)）	菊半 並製截	151	二〇 四	岩波書店	四月	▲自然、愛、四つの問題、生長と成熟、身のまはりのこと其他感想四十八篇。
島崎藤村	飯倉だより（岩波文庫(99)）	菊半 並製截	157	二〇 四	岩波書店	四月	▲三人の訪問者、土、初戀、婦人の力、初學者のために外感想隨筆四十六篇收載。
島崎藤村	新片町だより（春陽堂文庫(76)）	菊半 並製截	275	三〇 二	春陽堂	十二月	▲藤村の感想集で、淺間の麓、吾國民性の缺點、放浪者、老婆と孫外數十章。
永井荷風	西遊日誌抄・新歸朝者日記（春陽堂文庫(35)）	菊半 並製截	113	一五 二	春陽堂	九月	▲西遊日誌抄、新歸朝者自記の二篇收錄。
永井荷風	日和下駄 附・江戸藝術論（春陽堂文庫(92)）	菊半 並製截	216	二五 二	春陽堂	十二月	▲東京市中を散歩しながらの感想隨筆集日和下駄及び江戸藝術論の二著を收載。
薄田泣菫	太陽は草の香がする（春陽堂文庫(67)）	菊半 並製截	258	二五 四	春陽堂	八月	▲中宮寺の春、初蛙、三角堂の住人、水鷄を聞く、秋の小英雄外五十六篇。
河井醉茗	生ける風景（春陽堂文庫(74)）	菊半 並製截	239	二五 四	春陽堂	九月	▲砂丘の丘より、山のこなた、歩いた道、鎭まる大地其他より成る散文集。
若山牧水	樹木とその葉（春陽堂文庫(75)）	菊半 並製截	275	三〇 四	春陽堂	十一月	▲草鞋の話旅の話、酒の讃と苦笑、自然の息自然の聲其他感想隨筆三十三篇。

芥川龍之介	岩波文庫(334) 侏儒の言葉	菊半截 並製	136	二〇 四	岩波書店	八月
室生犀星	春陽堂文庫(79) 犀星隨筆	菊半截 並製	259	二五 四	春陽堂	九月
佐藤信重 麻生恒太郎編	新興詩隨筆選集	菊判 並製	224	一、五〇 一〇	詩と人生社	一月
野口米次郎	日本國民讀本	菊判 上製	205	一、二〇 一〇	金星社	十二月
有島武郎	改造文庫第二部(214) 有島武郎書簡集	菊半截 布裝	449	五〇 六	改造社	十二月
石川啄木	改造文庫第二部(185) 書簡 上卷集	菊半截 布裝	443	五〇 六	改造社	三月
石川啄木	改造文庫第二部(154) 書簡 下卷集	菊半截 並製	351	四〇 六	改造社	十月
竹内てるよ	第二曙の手紙	四六判 並製	50	五〇 二	溪文社	四月
草野心平譯	サツコ・ヴアンゼツチの手紙	四六判 並製	33	一五 二	溪文社	九月
ラスキン著 御木本隆三譯	プレエーテリタ 想ひ出の記	菊判 並製	550	一、五〇 一四	使命社	十二月
タゴール作 吉田絃二郎譯	世界名作文庫(426) タゴールの詩と言葉	菊半截 並製	226	三〇 二	春陽堂	十二月
ゴオガン著 前川堅市譯	岩波文庫(793) ノア・ノア	菊半截 並製	114	二〇 二	岩波書店	四月
フランス著 草野貞之譯	エピキユウルの園	四六判 並製	355	一、〇〇 一〇	第一書房	十月

▲芥川氏の戯言葉で、星其他を收む。

▲山粧ふ、日本人と技術、招かれざる客、湯ケ原の夏、夜半の酒外六十六篇の隨筆集。

▲詩と人生の會の會員諸氏及び現文壇大家の作品を輯錄せるもの。

▲大正より昭和へ移るの時一感想、青年と共に往く、神祕の日本外十六篇。

▲一八九九年より一九二三年に至るまでの有島武郎氏の書簡集。

▲上卷は明治卅四年かの四十一年迄の書簡二百三十四通を收めたもの。

▲下卷は明治四十二年より四十五年迄の書簡を收め、索引、年譜併載。

▲親しき人々におくる。幼き日よりの友へはたし狀一札、一つである、頬、他數篇。

▲アメリカの疑獄事件の主人物サツコとヴアンゼツチの獄中の手紙を譯載。

▲ジヨン・ラスキンの一八七五年のクラインスまでの自叙傳で、プロテリタ第一編外二編。

▲タゴール論及び言葉より、詩、ギタンジヤリ、園丁、新月等各篇の選譯集。

▲ゴオガンの有名なタヒチ紀行の譯。

▲エピキユウルの園、尼僧修道院について、かるたの城外五篇。—改訂版—

イエーツ著 長澤才助譯	新時代學藝叢書(2) 日本の能樂	四六判 並製	97	三〇 四	雄文閣	二月
ジヤン・コクトオ作 堀口大學譯	ホリデイ叢書 白紙	菊半截 並製	222	五〇 六	第一書房	八月
コクトオ作 堀口大學譯	阿片	四六判 並製	295	一、〇〇 八	第一書房	三月
ルナアル作 岸田國士譯	世界名作文庫(123) 葡萄畑の葡萄作り	菊半截 並製	214	二五 四	春陽堂	八月
藤野滋譯	春秋文庫(52) 英國現代隨筆集	三六判 洋布	296	一、〇〇 六	春秋社	十二月
李家正文	厠（加波夜）考	四六判 並製	449	一、八〇 一二	六文館	九月

▲イエツの文藝と日本の能樂（日高只一）日本の能樂長澤才助譯。

▲コクトオの評論感想集で、一九一九年三月から八月までパリ・ミデ紙に載せた記事。

▲四十頁のデツサンと二百のノオトから成るコクトオ最近の作品集。—普及版—

▲土地の便り、エロアの控帳、葡萄畑の葡萄作りなどに分けたエツセイ集。

▲英國現代のエツセイ三十篇を收めたもので細い黑線（オーモウニア）其他。

▲厠について文献を渉獵して考察したもので字義及び起原築樣式並家相外十一章。

書誌學・圖書・索引・書目・年表

橘井清五郎	西洋書誌學要略	菊判 函入 洋布	70	二、〇〇 一〇	圖書館事業研究會	五月
太田爲三郎編	續日本隨筆索引	菊判 函入 洋布	895	六、五〇 一二	岩波書店	十月
關書院編輯部編	國學者著述一覽	四六判 函入 布裝	317	二、〇〇 一〇	關書院	十一月
朝鮮總督府編	朝鮮圖書解題	菊判 函入 洋布	602	七、〇〇 一二	朝鮮通信社	十月
高市慶雄編	明治文獻目錄	菊判 函入 並製	316	二、〇〇 一二	日本評論社	三月
京山高等學校助教授 同校前圖書課長 平岡伴一編	國字國語問題文獻目錄	菊判 函入 洋布	354	三、五〇 一二	岩波書店	三月

▲現代印刷文化の發達に就て述べたもので、書誌學とは何ぞや外七章。挿圖十二圖。

▲百七十八種八百六十一卷に上つた隨筆を五十音順に配列せる索引。

▲國學者の著書目錄及び生歿年月、墓、學統、小誌などを掲げた書。

▲經、史、子、集の四部に大別し朝鮮總督府所藏の朝鮮圖書に解說を施せるもの。

▲明治元年から同二十三年國會開設迄の間に現はれた文獻を網羅せるもの。

▲國字國語問題の土臺、國字國語問題の理論國字問題の實際、關係諸問題の四部より成る

水谷不倒	明治大正古書價之研究	菊判	345	四、五〇	駿南社
齋藤昌三編	現代筆禍文獻大年表	菊判	432	四、六〇	粹古堂
今關天彭	法帖叢話	菊判	344	三、五〇	民友社
長澤規矩也 川瀨一馬編	善本影譜 —自第一輯—至第十輯—	菊倍判	20	一、〇〇	日本書誌學會
川瀨一馬編	舊刊影譜	四六倍判	89	一〇、〇〇	日本書誌學會
太田爲三郎	和漢圖書目錄法	菊判	210	二、〇〇	芸艸會
村島靖雄	圖書分類概論	菊判	150	一、八〇	芸艸會
圖書週報編輯部編	明治大正發賣禁止書目	四六判	52	一〇	沼津市古典社
圖書週報編輯部編	最新古本市場相場表	四六判	43	二〇	沼津市古典社
神谷暢編	無政府主義文獻出版年報第一輯	菊判	50	一〇	溪文社

▲明治大正五十年間に於ける古書價の變遷其他に就て述べた書で、古書價の追憶外二編。

▲明治初年より大正十五年に至るまでの發賣禁止書雜誌新聞其他を網羅せる目錄。

▲法帖に關する知識を述べたもので、法帖に關する事ども、淳化閣法帖外四十七篇。

▲書誌學研究參考資料として、各種善本中の緊要部分を玻璃版に附して解說を加ふ。

▲奈良朝より室町末期に至る代表的刊本の卷首刊記等を玻璃版に附して解說す圖版百六十六。

▲圖書館に於ける圖書目錄の記入方法並に編成につき詳述せるもの。

▲圖書分類に關し、東西に涉り學說、理論、歷史等を講述せるもの。

▲明治元年以來、千二百餘點の禁止圖書、雜誌、新聞を年月順に排列し書名索引を附す。

▲著名書籍約五千點をアイウエオ順に排列し一々東西古本市場の標準値段を記入す。

▲無政府主義に關する、昭和六年度刊行の雜誌新聞單行本名、及內容目次紹介。—[illegible]—

ジヤーナリズム・新聞・雜誌

喜多壯一郎	ジヤーナリズムの理論と現象	四六判	356	一、五〇	千倉書房
ブレーク著 巻田吉太郎譯	英國新聞の解剖	四六判	48	一五	精華書房

▲特に新聞紙を主たる對象としての研究で、現代アメリカ新聞紙研究外四篇。

▲英國新聞の現狀に就て種々の方面より解剖を施せるもの。

綜合ヂヤーナリズム講座編輯部編	雜誌の編輯	菊判	240	一、五〇	內外社
讀書新聞社編輯部編	新聞雜誌編輯者・記者の基礎知識	四六判	123	六〇	讀書新聞社

▲雜誌編輯の要諦（森下雨村）文藝雜誌の編輯（中村武羅夫）外十六編。

▲新聞雜誌の編輯及び發行の基礎知識を說いたもので、現代と出版業外六章。

文學辭典・文藝年鑑

藤村作編	日本文學大辭典 第一卷	四六倍判	1022	一〇、〇〇	新潮社
山田清三郎編	尖銳語辭典	三六判	277	八五	白揚社
山田清三郎編	新文藝用語の字引	三六判	277	七五	白揚社
文藝家協會編	文藝年鑑 一九三二年版	菊判	886	三、〇〇	改造社

▲國文學全般、及び國語關係の國文法國語問題言語學古文書學其他より成る文學大辭典。

▲プロレタリア文學及び廣く一般文學藝術上に於ける事實用語等に對する平明な解說。

▲プロレタリア文學及び廣く一般文學藝術上に於ける事實等に對しての解說。

▲小說戲曲大衆小說評論隨筆詩歌其他文藝部門の諸事項を記載した年鑑。

(B)國文學・漢文學

國文學史・總論・雜纂

金子彥二郎 河津啓太郎	新體國文學史要	菊判	286	二、二〇	培風館
次田潤	國文學史新講 上卷	菊判	460	三、五〇	明治書院
日本文學社編	國文學史總說	菊判	362	一、五〇	日本文學社

▲總篇、時代篇（古代奈良朝時代外四章）にて縱橫交錯の事實を示した文學史。

▲序說、大和時代、平安時代前期、同後期、鎌倉時代迄の國文學史。

▲連俳主潮の展開（各務虎雄）上代より室町時代に到る和歌概說（福井久藏）外十三篇。

藤村作	日本文學史概說	上菊製判	285	一、五〇 一四	中興館	十月	▲上古から近世明治に至るまでの國文學の發達を叙し作品作者につきに概說したもの。
生田蝶介	日本和歌史	布函四六艶入判	482	二、二〇 一四	立命館出版部	六月	▲和歌の發生から生長完成までの内面的研究で、神話時代、大和時代外五篇。
原田芳起	日本小說評論史序說	布函四六裝入判	381	二、五〇 二二	大同館	十二月	▲日本小說評論の發達展開に就て叙述せるもので、文學の自意識と批評汎論外二編。
文學士 鈴木暢幸	江戸時代小說史	上函菊製入判	1020	一〇、〇〇 特八、〇〇 二二	教育研究會	二月	▲江戸時代の小說に就て叙述せるもので、江戸時代小說の特質外三篇。
新屋敷幸繁 峯岸義秋	日本文學概論	洋函菊布入判	310	二、五〇 一四	大明堂	六月	▲日本文學全體を對象とせる組織的研究で、日本文學の概念とその研究方法外六章。
浦和高等學校教授 藤田德太郎	國文學槪說	洋函菊布入判	406	三、五〇 一四	六文館	一月	▲口誦傳承の文學、萬葉集に現はれたる上代思想、古今集の研究に就いて其他にて論述。
文學博士 三矢重松	國文學の新研究	布函菊洋入判	548	四、八〇 二二	中文館	十二月	▲三矢博士の遺著集で、古事記に於ける特殊なる訓法の研究、源氏物語講義其他。
峯岸義秋	國文學の批評的研究	洋函菊布入判	264	一、五〇 一四	山海堂出版部	六月	▲國文學の本質的理念の闡明を主とした批評的研究で、意識から理念一の展開外三篇。
新村出 武田祐吉 編	佐佐木信綱還暦記念論文集 日本文學論纂	洋函菊布入判	910	六、八〇 三〇	明治書院	六月	▲ウタの語原諸說(新村出)元暦校本萬葉集卷第十七の一考察(武田祐吉)外五十九篇。
橋純一	上代の國語國文學	洋函菊布入判	419	三、三〇 一八	六文館	六月	▲天孫降臨神話の發生形と完成形、伊勢内外神宮兩神御一體の舊信仰外八篇の論文集。
浦和高等學校教授 藤田德太郎	源氏物語研究書目要覽	洋函四六布入判	260	二、五〇 一〇	六文館	三月	▲源氏物語に關するあらゆる書目を掲げ解題を施したもの。
駒澤大學教授 豐田八十代	國文學に現れたる佛教思想の研究	洋函四六布入判	231	一、五〇 一〇	大岡山書店	四月	▲國文學に及ぼした佛教の影響の研究で、奈良朝、平安朝、鎌倉時代外四篇。
文學博士 姉崎正治編	切支丹宗教文學	布函菊艶入判	723	七、〇〇 二二	同文館	九月	▲キリシタン宗教文學中のマルチリヨ篇、キリストを學び奉る經卷第二其他。

堀尾貫善	天體と日本文學	布函四六艶入判	276	一、五〇 一〇	立命館出版部	八月	▲月とその美觀、我國中古以後の文學上の日月星辰の美外三篇にて叙述。
廣田榮太郎編	國文學者一夕話	並四六製判	420	一、五〇 一二	六文館	七月	▲隨筆二則(藤村作)上代の國文學(吉澤義則)其他國文學者の隨筆四十七篇收載。

記紀萬葉研究

新屋敷幸繁	古事記の鑑賞	洋四六布判	300	一、八〇 一二	大同館	三月	▲一冊の中に古事記の全内容を盛り通續役全卷を見通したと同し效果を擧るべく說ける書
文學博士 佐佐木信綱	萬葉集概說	洋函四六布入判	224	一、五〇 一〇	明治書院	十一月	▲萬葉集の解題とその研究の興味、情の歌人人麿、社會生活の歌と憶良外二十篇。
宮中顧問官 醫學博士 井上通泰	萬葉集雜攷	洋函菊布入判	304	二、五〇 一四	明治書院	十一月	▲萬葉關係の論集で書誌、歴史、地理、闡釋雜に分けて卅七篇を收む。
辰巳利文編	萬葉集論考	洋函菊布入判	331	二、五〇 一四	素人社	六月	▲伊久里考(山田孝雄)萬葉集の春景としての正倉院文書(佐佐木信綱)外卅三篇。
木本順司	萬葉集入門	上函四六製入判	188	一、〇〇 六	白帝書房	五月	▲誰にもすぐ解るやう平易に說ける萬葉集で概說篇、作者篇、作品篇の三篇。
岡不崩	萬葉集草木考	洋函菊布入判	675	六、〇〇 二二	建設社	三月	▲萬葉集より其草木を詠みたる代表歌を擧げ寛永刊行本を基本として探究考査を施す。
林古溪	萬葉集外來文學考	布函四六艶入判	258	一、五〇 一〇	丙午出版社	八月	▲萬葉集の歌と外來の支那文學との關係に就て述べた書で、思想叙述の形式外四章。
土屋文明編	萬葉集年表	洋函菊布入判	566	三、八〇 二二	岩波書店	四月	▲萬葉集中の長歌短歌旋頭歌全部を製作の前後により洒列し註釋を施す。
萬葉三水會編	萬葉集研究年報	並菊製判	142	九〇 八	岩波書店	四月	▲昭和六年一月より十二月迄に刊行された萬葉集關係の雜誌其他に現れた事件を輯錄。

古今新古今研究

著者	書名	體裁	頁數	定價 / 送料	發行所	月	内容
國學院高等學校教授 安田喜代門	古今集時代の研究	洋函菊布入判	421	三、二〇 / 一四	六文館	四月	▲古今集を中心とせる和歌史的考察で、古今集の本質、古今集の成長外九章。
川田順	新古今集の鑑賞	布函四六裝入判	391	一、五〇 / 一二	立命館出版部	七月	▲新古今和歌集の鑑賞、新古今時代の諸歌人藤原定家歌集講話外一篇にて論述。

近世和歌・俳諧・川柳研究

著者	書名	體裁	頁數	定價 / 送料	發行所	月	内容
土岐善麿編	國歌八論（改造文庫第二部（186））	布菊半裁裝	251	五〇 / 四	改造社	九月	▲國家八論を中心として展開された諸家の歌論を收錄せる書。
窪田空穗・松村英一編	徳川時代和歌の研究	布函菊裝入判	727	三、八〇 / 一二	立命館出版部	十一月	▲江戸時代の和歌の二傾向（窪田空穗）小津蘆庵の歌論（松村英一）外卅三篇。
東京帝國大學講師 文學士 志田義秀	俳文學の考察	洋函新菊布入判	508	三、〇〇 / 一二	明治書院	三月	▲俳文學の史觀と概考、俳人の展望と特性、俳句の諸吟味と特殊面外一篇。
高木蒼梧	俳諧史上の人々	洋函四六布入判	414	二、〇〇 / 一二	俳書堂	十一月	▲俳句草創期の宗鑑守武より子規鳴雪等に至る迄各時代の著名俳人百廿人の傳記。
鈴木重雅	俳人許六の研究	上函四六製入判	370	一、八〇 / 一二	俳書堂	十一月	▲元祿俳壇の俳論家許六の出生より家系俳歴の詳密なる記述年表と句集を附載す。
野口在色遺稿 上伊那教育會編	俳解解脱抄	和菊綴判	80	七五 / 八	信濃毎日新聞社	九月	▲野口在色遺稿を上伊那教育會が編纂せるもの巻中芭蕉を詳評。
淺野信	音韻上より見たる俳諧文法論	洋函四六布入判	330	二、二〇 / 一二	中文館	一月	▲一般文法を俳句中に於て深く説論せるもので、單詞論係結び論外三章。
今井柳三	國文學研究參考書 川柳の新研究	洋函菊布入判	566	三、八〇 / 一四	大同館	一月	▲川柳をあらゆる方面から研究總合せるもので研究篇、鍊磨篇外二篇。
西原柳雨 再生外骨編	川柳三題集	和函四六綴入判	264	一、五〇 / 一二	内外社	五月	▲故西原柳雨氏の舊著、謠曲と川柳、川柳女一代、川柳九州志の三題を合册せるもの。

明治・大正文學研究

著者	書名	體裁	頁數	定價 / 送料	發行所	月	内容
藤村作 久松潛一	明治文學序説	洋函菊布入判	341	二、五〇 / 一四	山海堂出版部	十一月	▲明治時代文學の取扱と區分、啓蒙的文學と傳統的文學、守實的傾向の文學外二章。
日本文學社編	明治文學史集説	並菊製判	313	一、二〇 / 八	日本文學社	六月	▲明治文學思潮（宮島新三郎）明治前期の小説（福田清人）外十五篇。
早稻田大學教授 宮島新三郎	改訂 明治文學十二講	洋函四六布入判	332	二、〇〇 / 一二	東京出版社	六月	▲明治文化の混沌時代、新文學運動の諸相、自然主義運動の實際外九講。—改訂版—
明治大學講師 篠田太郎	史的唯物論より觀たる近代日本文學史	布函菊裝入判	525	三、〇〇 / 一二	春陽堂	四月	▲ブルジョア革命期の文學、ブルヂョアジー發展期の文學外一篇にて論述。
武藤丸楠編	日本エスペラント學事始—伊井迂氏談話集—	並四六製判	130	五〇 / 四	鐵塔書院	三月	▲伊井迂氏の談論を蒐錄せるもので、蛙と鼠の大合戰、秋田雨雀先生外十五篇。
早稻田大學教授 宮島新三郎	改訂 大正文學十四講	洋函四六布入判	269	二、八〇 / 一二	東京出版社	十月	▲社會動搖期の文學、世界正戰と文藝の歸趨、自然主義の傳統外十一講。—改訂版—

評傳

著者	書名	體裁	頁數	定價 / 送料	發行所	月	内容
荻原井泉水	旅人芭蕉	布三五製判	299	一、〇〇 / 六	春秋社	十月	▲芭蕉の俳諧藝術の精神に就て述べた書で、深川移轉、野分の日外九十八篇。—縮刷版—
湯本喜作	蓮元義・愚庵	上函四六製入判	238	一、三〇 / 八	白帝書房	十二月	▲異色ある三歌人蓮月、元義、愚庵の研究で蓮月尼研究、平賀元義に就いて外五章。
島爲男	夏目さんの人と思想	布函四六裝入判	289	二、〇〇 / 一二	大同館	三月	▲「草枕」を中心とせる夏目漱石の人及び思想の論究で、宗教思想外十篇。—増補改訂版—
西谷碧落居	俳人芥川龍之助論	布函四六裝入判	416	一、五〇 / 一二	立命館出版部	五月	▲俳人としての芥川龍之介の作品を吟味批判し彼の俳論を評價決定せるもの。
土岐善麿	啄木追懐	上函四六製入判	374	一、八〇 / 一〇	改造社	四月	▲明日の考察、交遊記、墓標の前に立つて、澁民村の半日其他啄木の追憶記事を收錄。
大島庸夫	詩春を語る	並菊半製截	150	五〇 / 四	海圖社	六月	▲社會詩人として時代の犧牲者であつた生田春月を語つた氏の研究書。

國文學校本註釋

田井嘉藤次（神道大教正）	校異集成標註 古古事記	菊判 洋布入	198	二、五〇 一四	同館	一月
笛木謙治	新譯古事記	菊判 上製入	279	二、〇〇 一四	ロゴス書院	二月
堀江秀雄	校註 日本書紀 ―神代より神武天皇まで―	四六判 洋布	190	、〇〇 六	明治書院	九月
武田祐吉 今泉忠義編	國文 國史 日本書紀上	新菊判 洋布入	328	二、五〇 一二	大岡山書店	九月
澤瀉久孝 森本治吉	作者類別 年代順 萬葉集	菊判 布裝入	864	三、〇〇 二二	新潮社	五月
塚本哲三編	萬葉集 上卷	四六判 布裝	618	一、五〇 一四	有朋堂	三月
鴻巣盛廣（文學士）	萬葉集全釋 第三冊	菊判 洋布入	650	六、三〇 二二	大倉廣文堂	十月
石川誠	詳註口譯 萬葉集短歌選	四六判 洋布入	426	二、〇〇 一二	大同館	七月
尾上八郎編（文學博士）	校註 古本古今和歌集	菊判 上製入	330	二、〇〇 一四	雄山閣	二月
窪田空穗	新古今和歌集評釋	菊判 布裝入	551	四、〇〇 二二	東京堂	十一月
石田吉貞	新古今和歌集註釋 上卷	菊判 洋布入	547	三、八〇 一四	大同館	八月
佐佐木信綱（文學博士）	異本伊勢物語	新四六判 布裝入	283	一五、〇〇 一四	岩波書店	四月

▲『古事記』を譯註した書。

▲天地の開闢より推古天皇迄の神話歷史等を收めたもので、天地の初發其他。

日本書記の卷第一から第三までを校註せるもので、神代上、神日本磐余彥天皇其他。

▲六國史全部を國文に譯す第一卷で、日本書紀卷の十五までを譯載。

▲萬葉集の全作品を作者によつて別ち更にこれを年代順に排列して註解を施す。

▲萬葉集二十卷のうち第十卷迄を上卷として略解を施せるもの。

▲第三册は卷第九、卷第十、卷第十一に全釋を施せるもの。

▲萬葉集二十卷中から短歌だけを選んで詳註を施し口譯を試みたもの。

▲古今和歌集に校註したもので、卷一より卷二十まで。

▲新古今和歌集の春夏秋冬の部を語釋、釋評、評又にて評釋せるもの

▲上卷は新古今集卷第一春歌上より卷第十羇旅歌までに註譯を施す。

▲平安朝國文學の珠玉たる伊勢物語の古寫本の中新たに發見せられた異本の解說。

新井無二郎	評釋伊勢物語大成	菊判 洋布入	980	六、五〇 二二	代々木書院	一月
永田義直	對譯伊勢物語新講	四六判 洋布入	515	一、五〇 一四	岡村書店	十月
塚本哲三編	源氏物語 一卷	四六判 布裝	652	一、五〇 一四	有朋堂	三月
塚本哲三編	源氏物語 二卷	四六判 布裝	596	一、五〇 一四	有朋堂	三月
島津久基校訂	源氏物語 岩波文庫（356—358） ―四―	菊半截 並製	275	六〇 六	岩波書店	三月
宮田和一郎	增訂對譯源氏物語 卷一	菊判 洋布入	413	三、二〇 一四	日本文學社	十月
三條西公正校訂	岩波文庫（722—723） 三條西家本 榮花物語 中卷	菊半截 並製	272	四〇 四	岩波書店	六月
塚本哲三	增鏡解釋	菊判 洋布入	571	三、五〇 一四	青野文魁堂	四月
塚本哲三編	平家物語	四六判 布裝	652	一、五〇 一四	有朋堂	三月
井上雄一郎	參考 義經記詳解	四六判 洋布入	616	三、五〇 一四	大同館	二月
佐藤仁之助	講本 神皇正統記	四六判 布裝入	237	一、二〇 八	立命館出版部	四月
佐野保太郎	徒然草講義 上卷	菊判 洋布入	758	四、五〇 二二	藤井書店	一月
友田宜剛 鎗田龜次	評釋 更級日記	四六判 洋布入	256	一、三〇 一〇	三成社	二月

▲藤井高尚の新譯本を底本として伊勢物語を現代語譯せるもの。

▲伊勢物語全體を百二十五段に分ち考異、語釋、通釋、評の四項目にて講述す。

▲平安朝文學の精華たる源氏物語の校訂で、第一卷は桐壺より繪合までを收錄。

▲第二卷は松風より若菜（上）までを收錄して校訂を施す。

▲若菜、柏木、横笛、鈴蟲、幻、椎本外七項を收む。

▲湖月抄本によつて本文をたてた源氏物語の註釋書。―增訂版―

▲中卷は三條西家本榮花物語のうち第八はつ花より第廿御賀までの校訂。

▲文學として或は語句文章の意味情調を主眼として增鏡を紹介せる書で、新島もり其他。

▲忠盛の昇殿に筆を起し建禮門院の崩御に至る迄平家盛衰の顚末を記せる平家物語の飜刻

▲義經の牛若時代より奧州の露と消え果てる迄の一代の事跡を略盡くせる義經記の詳解。

▲准后源親房公の精忠に成る神皇正統記六卷に校訂を加へ假名遣を一定せるもの。

▲古來最も廣く讀まれた徒然草文段抄によつて講義せるもので、上卷は一三六段迄。

▲更級日記の原文を上欄に解釋文を下欄に集錄して評釋を施す。

文學士 久松潜一編	中古詩歌日記選	洋四六布判	303	一、一〇 六	明治書院	二月	▲詩歌篇(古今和歌集以下十三篇)日記隨筆篇(土佐日記以下七篇)を選び註を附す。
佐成謙太郎	校註 謠——曲	洋四六布判	207	一、〇〇 六	明治書院	二月	▲謠曲中より高等、各種專門學校國語科に適當なものを選び註を附した書高砂外十四篇。
山崎美成 藤田德太郎校	歌曲考	洋函四六布入判	229	二、〇〇 九	大岡山書店	十一月	▲歌謠史の先驅たる「歌曲考」の校訂で、來目歌、神樂、催馬樂其他。解説、索引。
藤田德太郎校註	岩波文庫(778) 校註 閑吟集	並菊半製截	117	二〇 四	岩波書店	三月	▲閑吟集及び狂言小歌集、室町小歌拾遺集を收む。
井原西鶴作 和田萬吉校訂	岩波文庫(836) 武道傳來記	並菊半製截	184	二〇 四	岩波書店	八月	▲各地の復讐談三十二篇を集錄したもので、心底を彈琵琶の海、思ひ入吹女尺八其他。
井原西鶴作 和田萬吉校訂	岩波文庫(853) 西鶴諸國咄 本朝櫻陰比事	並菊半製截	166	二〇 四	岩波書店	十一月	▲西鶴の「西鶴諸國咄」「本朝櫻陰比事」の全本の複刻。
文學士 松浦一六	西鶴織留新註	洋函菊布入判	282	三、〇〇 一四	春陽堂	十二月	▲未定稿のまゝ遺された「本朝町人鑑」「世の人心」より成る「西鶴織留」の註釋書。
小倉博編	御國淨瑠璃 四篇	並四六製判	174	一、〇〇 四	仙臺 無一文館	七月	▲御國淨瑠璃の田村三代記、丸山物語、迫合戰、御所の的の四篇と解説。
尾崎久彌編	改造文庫第二部(168) 草雙紙選	布菊半裝截	474	五〇 六	改造社	六月	▲於杉於玉二身之仇討、鹿子紋娘道成寺、四家怪談後日譚外九篇。附錄合卷類と諸動物。
武田鶯塘	奧の細道新釋	上三六製判	195	一、〇〇 四	素人社	九月	▲古今紀行文中の白眉といはるゝ奧の細道紀行に解釋を施せるもの。
潁原退藏校註	岩波文庫(811—812) 校註 芭蕉俳句集	並菊半製截	296	四〇 六	岩波書店	六月	▲芭蕉の作として知られてゐる中確實と認められるものを採集して季題別に分類排列す。
荻原井泉水校訂	改造文庫第二部(77) 芭蕉遺語集	布菊半裝截	259	三〇 四	改造社	五月	▲人及び藝と術家としての芭蕉の俳諧並びに文章に校訂を施せるもの。
服部畊石	芭蕉句集新講 上卷	布函四六裝入判	536	一、八〇 一二	四條書房	九月	▲上卷は芭蕉十四歳より四十六歳迄の作五百九十四句を收めて講述せるもの。

服部畊石	芭蕉句集新講 下卷	布函四六裝入判	554	一、八〇 一二	四條書房	十一月	▲下卷は四十七歳より五十歳及び年代不明、疑問の句等千五百十三句を收めて講述す。
新田寛	七部集 猿蓑評釋	布函四六裝入判	540	二、八〇 一四	大同館	四月	▲本文を元祿版猿蓑集に據り文章は訓解・通釋の二項に發句は訓解・評釋其他にて評釋す。
句と評論同人編	丈草發句集研究 —卷一—	並四六製判	54	三〇 四	句と評論社	四月	▲元祿の俳人丈草の句を「句と評論」同人諸氏が合評解説したもの。
荻原井泉水編	俳人讀本 下卷	布函四六裝入判	399	一、八〇 一二	春秋社	六月	▲芭蕉其他多くの俳人の俳文俳句を一日々々の部に配列せる書下卷は七月より。
柳書刊行會 編輯部解題	文山柳叢書(1) 諸國奉納 尙歯會	和菊裝判	18	八〇 二	岐阜 柳書刊行會	十一月	▲享保七年刊本の批附類本を校訂解題して原本通り翻刻せるもの。
文學士 飯野哲二	日本文學讀本	布菊裝判	260	一、四〇 一四	賢文館	十二月	▲前後二篇に分ち後篇は各時代の代表作を掲げ前篇はそれらを批評せる論説を採錄。
新町德之 飯田正一	鎌倉時代文學選	洋函菊布入判	344	二、八〇 一四	中興館	四月	▲鎌倉時代文學の全貌及び個々の作品を理解し鑑賞し批評すべく其の粹を集めたもの。
淡齋主人譯 青木正兒校註	岩波文庫(791) 通俗古今奇歌	並菊半製截	174	二〇 四	岩波書店	二月	▲支那の短篇小説四十篇を選集せる「通俗古今奇觀」の校註。附「月下淸談」。
西尾豐作編著	氷室長翁全集	洋函四六布入判	238	一、二〇 八	名古屋 咬菜塾	十月	▲氷室長翁の「亘勢の山ふみ」「桂花余香」「須磨日記」其他を收めて解説を施す。
富破摩雄 横山重校訂	伴信友家集	洋函四六布入判	440	四、二〇 二一	大岡山書店	六月	▲伴信友翁の歌文集を主とし、翁の小傳、年譜、書書目錄、交友名簿等を附す。
藤谷成章 松尾捨治郎校註	あゆひ抄	洋函四六布入判	305	二、五〇 一二	大岡山書店	十二月	▲助詞、助動詞、接尾語に就て講明せる藤谷成章の「あゆひ抄」に校註を施せるもの。
稲村眞里	評釋 近世名家諄辭典	洋函菊布入判	402	三、二〇 二二	明治書院	十一月	▲皇學の四大人以下近世名家の諄辭を文集又は其他より選拔して評釋を施す。—改訂增補版—
文學士 鈴木敏也	樋口一葉 たけくらべ評釋	上函四六製入判	237	二、六〇 一〇	目黑書店	二月	▲樋口一葉の代表作「たけくらべ」に註解批評を施せる書。

漢文學・漢詩

幸田露伴校閲 塚山又四郎譯註	岩波文庫（854—855）	李太白詩選 上卷	並菊半製	293	四四〇	岩波書店	十一月	▲專ら『唐宋詩醇』を師標として選資れた李太白詩選で、譯註を併載。
王國維		王觀堂文選	並四六製判	130	六六〇	文求堂	六月	▲支那近代の考古學者王國維切學術論文二十五篇を輯錄してある。（漢文）
中烏嫣		斗南存稿	和菊製判	138	一、一〇	文求堂	十月	▲生涯數奇の運命に終つた在野の志士熱血の漢詩文で羅振玉の序文がある。
第二高等學校教授 長澤規矩也編		影宋刊本御注考經	和菊奏牋縮緬入製	18	三、七〇〇	日本書誌學會	十一月	▲天下の孤本たる宮內省圖書寮舊藏北宋刊本御注孝經を玻璃版に附して解說を加ふ。
福並築水編		南洲先生詩纂	並三六製判	118	四五〇	民友社	十月	▲一世の英傑西鄕南洲の詩百四十五首を纂めたもので、謝貞鄕先醒之恩遇其他。
角田晉吉		支那女流詩講	布面四六裝入判	402	一、八〇	立命館出版部	六月	▲支那近代女流の詩歌及び春秋時代より清初まで各時代を代表せる女流の作を集錄す。
松崎覺本		漢詩入門	洋面四六製本入判	406	二、三五〇	春陽堂	五月	▲詩式、韻字及書類、漢詩の種類、本書中記載の作詩家列傳外二章。
奧田月城		漢詩の作り方	布面三六裝入判	187	八〇	中央佛敎社	五月	▲漢詩の作法を懇切に說ける書で、漢詩の常識初めて詩を學ぶには外六章。
臨江詩閣編	作法叢書	漢詩講座	洋面菊布入判	1068	三、七〇〇	大阪觀文社	九月	▲作法、漢料の二大部類より成る漢詩獨習の目的を以つて編輯せる書。

詩論・作詩法

(C) 詩歌・俳句・民謠

橫山青娥		詩の本質	上四六製判	115	七六	交蘭社	十月	▲詩の根本義を闡明せるもので、詩の概說、詩の內容、詩の形式外二篇。
文學社編		現代詩の新研究	並菊製判	182	一、二一〇	東北書院	十一月	▲各家の詩論六篇、エッセイ十五篇、民謠論六篇、紹介研究十篇を收む。

詩集

島崎藤村	春陽堂文庫（15）	藤村詩集	並菊半製	499	五六〇	春陽堂	二月	▲若菜集、夏草、落梅集等を纏めた詩集。
土井晩翠		アジアに叫ぶ	洋面菊半截入	377	一、五〇〇	博文館	八月	▲光は東方より、野口英世頌の二部に分けて六十八篇を收錄せる詩集。
河井酔茗	詩集	紫羅欄花	四六面洋布入判	132	二〇〇	東北書院	六月	▲阿羅世伊止宇（泰の詩集外二十七章）詩の道（詩の道外二十二章）を收めた詩集。
杉江重英	詩集	雲と人	四六上面製入判	105	一、〇〇	東北書院	九月	▲露と人（この道外十三章）外一篇を收めた詩集。
松村又一	詩集	雜木林	四六上面製入判	139	一、三〇	東北書院	十一月	▲畑の午餐、野天に歌ふ、漂泊へる農夫等六十三篇の詩及び五十首の短歌を收錄。
中村漁波林	詩集	地獄	菊上面製入判	84	一、〇〇	東北書院	十二月	▲詩人宣言、泥濘に訣別する、山里で、一つの點畫、夕燒以後外廿篇の詩集。
宝生犀星	詩集	鐵集	並四六倍製判	89	一、三〇	椎の木社	十月	▲煤だらけの山、死のツラ、僕の遠近法、宮殿外二部にて四十六篇を收錄。
乾直惠	詩集	肋骨と蝶	並菊製判	62	六〇	椎の木社	六月	▲饒、丘の上、朝は白い掌を、肋骨と蝶、高原、檢溫器、午後外十七篇より成る詩集。
三好達治		南窗集	並菊製判	40	八〇	椎の木社	八月	▲詩集、新カトレーン三十一章。
竹中郁	詩集	象牙海岸	新四六上面製入判	190	一、〇〇	第一書房	十一月	▲五つの Cinepoewes 白鳥のやうに、旅行の指、スエズ以東其他を收めた詩集。

米澤順子	米澤順子詩集	四六判 上函入製	393	一、八〇 一四	第一書房	六月
對馬正	轟々と流るるものへ	四六倍判 背函入布	166	三、〇〇 一四	梓書房	三月
喜志邦三	詩集 交替の時	菊判 洋函入布	228	一、八〇 一四	交蘭社	九月
英美子	詩集 東洋の春	四六判 上函入製	156	一、二〇 一〇	交蘭社	七月
英美子	美子・戀愛詩集	四六判 上函入製	114	一、二〇 一〇	素人社	六月
吉地昌一	草原の夢	四六判 洋函入布	114	一、二〇 八	泰文館	一月
村田清零	歌・詩	四六判 背函入布	217	一、八〇 一〇	マノメ書房	八月
田村保蔭	魂の言葉	四六判 並製	75	七〇 四	海圖社	五月
柿木青蛙	詩集 自像を彫みつつ	四六判 上函入製	176	一、〇〇 六	大地舍	一月
淺海陸一	詩集 からだ	四六判 並製	127	六〇 四	大地舍	三月
大崎安藝子	詩集 孔雀	四六判 上函入製	130	六〇 六	大地舍	十一月
さちこ・やまかわ	詩集 白き〳〵髑髏	四六判 上函入製	137	一、〇〇 八	大地舍	二月
池田圭	詩集 技巧	四六倍判 上函入製	39	二、〇〇 一〇	以士帖印社	四月

▲聖水盤、聖水盤以後の二部に分ち故米澤順子氏の百三十三篇を收めた詩集。

▲轟々と流るるものへ、新しき祈、起克賦、黒き鳥の群其他より成る詩集。

▲炎上、吹雪を浴びて、空白の碑、遠心の性時代の斷層外五十四篇を收めた詩集。

▲梅の花、なぜ牛は、山東省野遊賦、花の音東洋の春外卅一篇より成る詩集。

▲夏雲、熱風とばら、氷の女、別後、跛な生活、彼と彼女の世界、外一篇を收む。

▲人生篇、戀愛篇、社會篇等三篇五十四項より成る長篇叙事詩。

▲詩歌、靜かなるもの、夏から秋、斷笑其他にて百十三篇を收めた詩集。

▲こころのなげき、何を求めて、失業の群、果てなき歩ゆみ外四十三篇の詩集。

▲詩集、さきに民謠集「歸る」を出版したる著者の近作の詩五十篇を收む。

▲近作の詩七十餘篇を收む。詩形は極めて短く、尖鋭。

▲白鳥省吾夫人たる著者の近作の詩四十餘篇を收む。

▲白き〳〵髑髏、梟に寄す外詩二十四篇及短歌八十一首を收めた書。

▲微笑の返報（十篇）黒襟（一篇）海（一篇）等を收めた詩集。—特製十四—

山根義雄	詩集 翼	四六判 上函入製	192	二、〇〇 八	山根家（黒古屋）	五月
渡邊清次郎	詩集 濱の枯芝	四六判 並製	63	五〇 四	東京書房	十二月
吉野信夫	長篇抒情詩集 永遠の愛人	四六判 並製	183	一、〇〇 六	詩人時代社	五月
石原廣文	詩人時代叢書(5) 詩集 ぼへみあんぶろふゐる	四六判 上函入製	113	八〇 六	詩人時代社	十一月
月原橙一郎編	明治大正昭和代表詩人選抄 南有集	菊判 上函入製	97	二、〇〇 一〇	東北書院	八月
西條八十	少女純情詩集	菊判 布函入裝	293	一、五〇 八	講談社	十月
三野混沌	こゝの主人は誰なのか解らない	菊判 並製	32	三〇 二	溪文社	八月
坂本遼	たんぽぽ	四六判 並製	130	八〇 四	溪文社	十月
北達夫	同志に送る歌	菊判 並製	18	一五 二	溪文社	十二月
北原白秋	國民歌謠集 青年日本の歌	四六判 布函入裝	352	一、五〇 一〇	立命館出版部	三月
北原白秋編	日本幼兒詩集	新菊判 洋函入布	431	三、八〇 二二	采文閣	四月
中野重治編	ナップ七人詩集	四六判 並製	341	一、二〇 八	白揚社	一月
日本プロレタリア作家同盟編	年刊 日本プロレタリア詩集 一九三二年版	菊判 並製	250	五〇 口	日本プロレタリア作家同盟出版部	八月

▲翼の群、硝子と木、僕の肉體、寫眞帖、天上の扇、等八十四篇を收めた詩集。

▲少年時代集、壁のズボン集、濱の枯芝集、生活集其他に分け七十六篇及び英詩を輯錄。

▲永遠の愛人、黄昏の歌、嘆きの門、抒情小曲、世紀の沒落の五部より成る詩集。

▲放浪異情、天邪鬼詭語、瀬戸の花嫁、各篇數十章を收む。

▲萩原朔太郎、春山行夫、百田宗治、室生犀星、北原白秋其他の代表詩人選抄。

▲ひとりうたへる、なつかしの友外五部に分け一〇一篇を收めた詩集。

▲天日燦として輝く我等出でて働かざる可らずおほばこから出てんだからおほばこの花だ

▲時雨、たんぽぽ、おかん腹おさえておくれだまつてゐる心と心等。

▲追放された學生、同志よ、肉親のものへ、他八篇。

▲頌歌、挽歌、團歌、會歌、町歌、校歌、生活譜歌等白秋氏の作になる國民歌謠九十三篇

▲大正十一年後半期より昭和六年の前半期に至る迄の幼兒の詩七章三百八十五篇を收錄。

▲西澤隆二窪川鶴次郎伊藤信吉上野壯夫一田アキ森山啓中野重治七氏の詩を收む。

▲生ける銃架（槇村浩）別れ（木原豹）俺は新たな戰地へ（富山不二夫）外五十二篇。

プロレタリア詩人會編	プロレタリア詩集	菊半截並製	170	四〇二	中外書房 八月
永井荷風	珊瑚集（春陽堂文庫(60)）	菊半截並製	80	一〇二	春陽堂 十月
ホイットマン作 有島武郎譯	ホイットマン詩集（世界名作文庫(421)）	菊半截並製	322	三五二	春陽堂 十二月
堀口大學譯	ヴエルレエヌ詩抄（ホリデイ叢書）	菊半截並製	255	五〇六	第一書房 八月
堀口大學譯	アポリネエル詩抄（ホリデイ叢書）	菊半截並製	216	五〇六	第一書房 八月
ジョイス著 左川ちか譯	室樂	菊半截並製	36	四〇二	椎の木社 八月

▲雪（伊藤信吉）その日のために（鳥羽啓）差入れ（渡邊哲夫）外五十篇のプロ詩集。

▲大正二年刊行の「珊瑚集」より採錄した卅八篇の佛蘭西近世の譯詩集。

▲故有島武郎譯のホイットマン詩集を再刊せるもの。

▲土星びとの歌、やさしき歌、言葉なきロマンス外七部にて六十八篇の詩を收錄。

▲アルコホル、動物詩集、カリグラム、雜集の四部にて收めたアポリネエルの詩抄。

▲ジョイス詩の譯。

歌論・鑑賞・作歌法

土田杏村	短歌論	菊判 洋布	201	一、二〇八	第一書房 四月
簇劉一郎	新短歌論	四六判 脊布	291	一、五〇八	素人社 九月
阪口保	短歌概說	四六判 上函入製	320	一、五〇一〇	白帝書房 三月
近藤武夫	短歌形態論（詩歌叢書(16)）	四六判 並製	110	五〇四	白日社 四月
安部忠三	短歌雜考	四六判 上函入製	321	一、二〇一二	立命館出版部 八月
安部忠三	歌壇史稿	四六判 上函入製	333	一、二〇一二	立命館出版部 八月

▲短歌の發生及び歷史並に本質と其の革新の必然性とを說ける短歌論。

▲短歌の貧困より短歌の擴充へ、短歌の理論的把握、合理論的考察外六章の新短歌論。

▲短歌形式の成立、短歌形式の固定、短歌格調の變遷外七章。附短歌本質を論ず其他。

▲或る解釋、短歌私見、定型律詩の藝術的價値について、定型の概念外十篇。

▲字餘り短歌の研究 觀覺にゝる語感に就いて、口語歌を見る其他。—普及版—

▲尾上柴舟論覺書、歌壇一九三〇年度報告書新詩社に就て外五篇。—普及版—

大井廣	南窓歌話	四六判 布函入裝	420	一、五〇一二	立命館出版部 五月
短歌民族協會編	短歌民族（第一輯）	菊判 並函入製	287	二、〇〇一四	アトリエ社 十一月
兒山敬一編	おとのない三角（短歌表現叢書(2)）	四六判 並製	260	一、〇〇八	短歌表現社 四月
高田浪吉	現代短歌の鑑賞（アララギ叢書(59)）	四六判 並製	331	一、五〇八	古今書院 十二月
松村英一	現代名歌評釋	菊半截 上製	124	五〇四	白帝書房 十月
尾山篤二郎	作歌法入門	四六判 上函入製	207	九五八	白帝書房 七月
生田蝶介	作歌入門	四六判 布函入裝	521	二、二〇一四	立命館出版部 八月
窪田空穗	短歌に入る道	新四六判 並製	208	七〇六	金星堂 十二月
尾山篤二郎編	短歌新辭典	新四六判 上製	237	一、〇〇六	資文堂 五月
松村英一編	改選現代短歌用語辭典	新四六判 函入洋布	342	一、三〇八	素人社 十二月
矢島歡一編	現代作歌辭典	三五判 洋布	233	七〇四	金星堂 十二月
作家協會々長 中村美佐雄	短歌用語辭典（附特殊用語まくら詞）	四六判 洋布	250	一、五〇八	文藝評論社出版部 十月
作家協會々長 中村美佐雄編	全國昭和詩歌人錄	四六判 上製	175	一、五〇八	東京新人作家協會 十一月

▲大井氏の過去に於ける和歌知識の集大成で南窓雜記、研究、うたの話外一部。

▲定型短歌論（北原白秋）外評論研究感想等十四編及び短歌作品六百餘首を收錄。

▲兒山敬一氏外歌誌「歌短表現」による人々の哲學、藝術論、短歌、小品其他を蒐錄す。

▲現代短歌の鑑賞並びに解釋をなせるもので正岡子規、伊藤佐千夫、長塚節外十八篇。

▲北原白秋、釋迢空、中村憲吉、尾上柴舟、齋藤茂吉外十三氏の短歌を評釋せるもの。

▲矩歌作法の入門書で、歌を作るには、歌はかういふもの、歌の格の話外三篇。

▲五百首に近い例歌を挿入して說述せる短歌作法書。

▲歌といふものゝ概念とその精神、歌の傳統とその四期の變遷、歌の形式外三章。

▲短歌作法と用語の解釋を兼用し、用語索引を附す。

▲短歌用語の意業を明らかにし用法としての適確さを實例を以つて示せる辭典。

▲短歌を學ぶ者の爲に方今一般の間に使はれてゐる言語を蒐錄して解說せる辭典。

▲單語篇（八百餘）枕詞篇（四百餘）特殊用語篇（六十餘）の三篇に分類。

▲全國の有名無名の短歌人作を發表せるものにして各住所學歷經歷等をも載す。

歌集

長塚節	長塚節歌集（春陽堂文庫(20)）	菊半截並製	568	六〇 八	春陽堂	三月	▲明治三十三年から大正三年迄の短歌、長歌及び俳句を蒐錄。
土岐善麿	鶯の卵（改造文庫第二(71)）	菊半截布裝	252	三〇 四	改造社	四月	▲唐宋元明清あたりから日本に於ける漢詩を日本語に譯し尙ローマ字に綴つたもの。
石川啄木	啄木歌集	菊半截上製	275	七〇 四	素人社	十二月	▲有名な「東海の小島の磯の白砂にわれ泣きぬれて蟹とたはむる」外五百五十首を輯錄。
森山汀川	歌集 峠路（アララギ叢書(53)）	四六判函入布裝	311	二、三〇 一二	古今書院	一月	▲「永き日の黄を浴び立てる學校の硝子ことごと陽炎へるかも」外六百二十餘首を收錄。
久保田不二子	歌集 苔桃（アララギ叢書54）	四六判函入布裝	314	二、三〇 一二	岩波書店	六月	▲著者の歌集で、明治四十四年より昭和六年までの作七百六十九首を收む。
高田浪吉	歌集 砂濱（アララギ叢書56）	四六判函入上製	209	一、五〇 一〇	岩波書店	四月	▲大正十五年秋から昭和五年迄の高田氏の作品五百八首を蒐めた歌集。
原三郎	歌集 朝の實驗室（詩歌叢書(7)）	四六判並製	186	一、〇〇 六	白日社	三月	▲定型律から自由律に轉向せる原氏の昭和三年より同六年迄の歌四百四十五首を收む。
矢代東村	歌集 一隅より（詩歌叢書(8)）	菊半截函入洋布	186	八五 八	白日社	一月	▲大正元年十一月から同四年五月迄の定型文語歌二百五十七首を自選せる叢書。
前田夕暮編	詩歌年刊歌集 第二輯（詩歌叢書(15)）	四六判並製	224	一、〇〇 六	白日社	三月	▲前田夕暮氏の主宰になる「詩歌」が新興短歌に發展してよりの年刊歌集第一輯、
前田夕暮	歌集 水源地帶（詩歌叢書(17)）	四六判函入布裝	178	一、三〇 八	白日社	九月	▲定形短歌形態から新興短歌へ轉換してからの夕暮氏の約五百首を收めた歌集。
川端千枝	歌集 白い扇（香蘭叢書(3)）	四六判函入布裝	209	一、八〇 一〇	泰文館	四月	▲川端氏の大正二年十二月より昭和七年二月迄の作五百八首を輯錄せる歌集、
菊池猶喜	歌集 向日集（[illegible]叢書(1)）	四六判並製	130	一、〇〇 六	蔔社	四月	▲「六つの子が我が年齡とひて數へ居る指の亂れを見つゝ居蘇くむ」外二百餘首を收む。

大井廣	きさらぎ	四六判函入上製	309	一、五〇 一〇	立命館出版部	四月	▲「墓原のあきの穗草にきてうごく風や亡しき世の妻なり」外七百四十四首を收む。
西村陽吉	歌集 舗道の歌	四六判上製	256	一、三〇 八	素人社	八月	▲「きびしい寒さのあとで地もぬくむ春がくるのか 春よはや來い」外六百十九首。
柳瀬留治	歌集 眞葛葉	四六判函入上製	196	一、〇〇 八	短歌草原社	十月	▲「鯉やゐると水の面見てあれば大き脊をぬつと現はして河馬の浮き出ぬ」外五七六首。
安部忠三	歌集 碎氷船（水甕叢書(27)）	四六判函入上製	286	一、五〇 一〇	水甕社	四月	▲大正十四年より昭和六年までの作を收む。
前原利男	歌集 草炎（水甕叢書(3)）	四六判函入上製	158	一、三〇 八	水甕社	五月	▲大正十四年四月より昭和六年の暮までの二百五十首を收む。
松田常憲	歌集 三徑集	四六判函入上製	250	二、〇〇 一〇	雄山閣	五月	▲昭和五年一月より昭和七年二月までの作、三百五十六首を收めたる著者第三歌集。
安田青風	歌集 春鳥（水甕叢書(40)）	四六判函入上製	185	一、五〇 一〇	水甕社	四月	▲大正三年より昭和五年までの作三百二十餘首を收む。
山崎敏夫	歌集 花火（水甕叢書(39)）	四六判上製	97	九〇 八	水甕社	十一月	▲北歐の小さき國を代表し選手のおゆみほがらなりけり。
宇佐美喜三八 外六名	歌集 色彩（水甕叢書(41)）	四六判並製	170	八〇 八	水甕社	七月	▲水甕同人合著歌集。
尾上柴舟 外九名	歌集 月夜雲（水甕叢書(43)）	四六判函入上製	160	一、三〇 八	水甕社	七月	▲水甕同人合著歌集叢書第四十三篇なり。
石井直三郎 外九名	歌集 青嵐（水甕叢書(44)）	四六判函入上製	160	一、三〇 八	水甕社	七月	▲水甕同人合著歌集。
安藤彦三郎 外十五名	歌集 樗岡（水甕叢書(46)）	四六判並製	160	八〇 八	水甕社	七月	▲水甕同人合著歌集。
水甕社編	水甕年刊歌集	四六判函入上製	228	一、五〇 一〇	水甕社	六月	▲水甕社第三年刊歌集にして社内二百二十七氏の選集なり。

太田水穗鑑選	荒海	上四六製函入判	431	一、八〇	潮音社	七月	▲潮音第三選集で昭和三年十一月より昭和七年五月に至る社友の時代色の出た歌を收む。
川田順山海經		上四六製函入判	206	一、〇〇	白帝書房	一月	▲著者の出世自作と謂はれる代表的歌集。
千田迅一郎歌集	殿多	並四六製函入判	116	一、一〇	ぬはり社	四月	▲短歌百五十一首。
菊池知勇口語歌集	風景	並四六製函入判	112	一、〇〇	文錄社	三月	▲口語短歌百七十六首。
前田孝愛歌集	素描	上四六製函入判	815	一、三〇	ぬはり社	九月	▲短歌四百二十八首。口繪コロタイプ五葉、寫眞銅版一葉。
宇津井都留世歌集	寒椿	上四六製函入判	211	一、一〇	ぬはり社	十月	▲短歌三百八十首。
前田孝愛歌集	素描	上四六製函入判	815	一、三〇	ぬはり社	十月	▲短歌四百三十一首。
横江幸子歌集	忘れ草	並四六製函入判	120	八〇	大地書院	十一月	▲現時著者の心境に詠じて歌二百七十餘を集錄せるものなり。
彌富破摩雄歌集	青楓集	上四六製函入判	230	一、二〇	新撰書院	十一月	▲禁省雜詠抄、雜詠、慶弔歌、羈旅歌、送別唱和歌。圖版三枚。
細田靜夫編歌集	白日の夢	並菊半製錢	42	三〇	松延書院	一月	▲著者の第二歌集。最近五年間の作百七十首を集む。
津輕てる子歌集	秋・現實	上菊半製錢	90	五〇	短歌と方法社	十二月	▲細田靜夫以下七人の新進歌人の作を集む。
細田靜夫	雲雀	短歌集パンフレット	72	四〇	日英社	四月	▲關西新進歌人の合同歌集。
細田靜夫	裸身	抒情歌集	122	一、〇〇	松延書院	十二月	▲文語の短歌、主として著者若き日の戀歌を集錄す。松延叢書第二篇。

田中元治	阿降利鎭	上四六製人判	200	一、〇〇	黎明社	十二月	▲著者の故郷神奈川縣の阿降利鎭の近邊身邊を二部に編したものである。
中村美佐雄	收穫	上四六製函判	135	六〇	文藝評論社出版部	一月	▲新興歌人八十四名の作を發表して有る。卷末に各歌人の經歷、住所等明記。
大瀧夢迷	情炎	並四六製函判	89	四〇	東京新人作家協會	一月	▲嫁ぎし君に、塊をくだく、うつろ、能代を訪ひて、寂寥、貧しきわれ、他三十五篇。
平賀紫蘇	秋の點景	並四六製函判	20	二〇	東京新人家協會	十月	▲秋の影景、及自愛の二篇收錄し五十余首を收む。
島都夫	自靈哀章	上四六製函判	60	一、二〇	文藝評論社出版部	十二月	▲鄕愁、墓原の秋、父母に寄する心等他二十九篇に別たれてゐる。歌數二百五十余首。
小玉朝子	歌集 黃薔薇	並新四六製函判	174	一、三〇	平野書房	十月	▲「いちまいのガラスの魚泳ぎゐて透明體となりし海なり」外八八七首。
友田宜剛	精神作興思想善導 和漢吟詠集 —やまとにしきの卷—	三六洋裝布入判	495	一、八〇	三成社	三月	▲明治天皇御製にその他歷代天皇の御製並に古來臣子の至情溢れた歌を蒐錄せるもの。
星野武男編	明治天皇御製全集	四六背革入判	554	二、三五	交蘭社	三月	▲宮內省版の「御集」に收錄されてゐる一六八七首に民間流布の御製約五百首を蒐錄す。
日本歌人協會編	年刊歌集 昭和七年度版	並四六製函判	480	二、〇〇	アトリエ社	三月	▲日本歌人協會員百卅四氏の昭和六年一月から同十二月に至る迄の所作を選抄せるもの。
尾山篤二郎矢嶋歡一編	昭和一萬歌集	四六背洋布入判	509	一、三〇	素人社	八月	▲歌集、全國の新聞雜誌等の作品から採錄分類せる歌集。
荻原井泉水	俳句の道	四六上製裝入判	324	一、三〇	立命館出版部	三月	▲俳句の鑑賞と作法、新進作家の句選評、佳き句をおもふ心の三篇にて說述。
荻原井泉水	新俳句提唱	四六上製裝入判	315	一、三〇	立命館出版部	七月	▲俳句の爲めに、民衆藝術としての俳句、俳句に於ける表現の意義外十七篇。

俳論・作句法・季寄

荻原井泉水	俳句に入る道	新四六判 並四六製	218	七〇六	金星堂	十二月
新井聲風	明治以降物故新派俳人傳 第一輯	四六判 並四六製	59	五〇二	あかね社	十一月
井手逸郎	明治大正俳句史	四六判 布函入洋	326	一、五〇一〇	立命館出版部	五月
素人社編	新版 現代俳家人名辭書	四六判 洋函入布	510	三、〇〇一二	素人社	五月
水原秋櫻子	俳句新講座 第二卷—作法篇	四六判 布函入裝	212	一、三〇一〇	牛山堂	二月
水原秋櫻子	俳句新講座 第三卷—論說篇	四六判 布函入裝	207	一、三〇一〇	牛山堂	六月
松本仁	俳句文法六十講	四六判 上函入製	314	一、五〇一二	立命館出版部	一月
西谷碧落居	俳句新釋	四六判 上函入製	359	一、五〇一〇	立命館出版部	二月
上原綠葉	俳句の添削と其實例	四六判 上函入製	199	一、二〇八	交蘭社	四月
吉田冬葉	俳句の作り方と味ひ方	四六判 布函入裝	297	一、五〇一〇	交蘭社	十月
野崎小蟹	少年少女 俳句の學び方	四六判 上函入製	200	八〇六	南光社	六月
內藤鳴雪	新しき俳句の作り方と模範名句集	菊半截 上製	445	一、〇〇八	資文堂	六月
吉田冬葉編	詳解例句 新成歲事記	三五判 洋函入布	727	二、七〇〇 特二、三〇〇	交蘭社	六月

▲初めて入る人に、一句一句の評釋、とりをりの俳話、質疑に答へて等より成る入門書。

▲其取材を流派に卽せず各方面より探査蒐集せる明治以降の新派物故俳人傳。

▲明治大正の俳句を主題とし文化史的に且發生學的に理論づけたもので、月並俳句其他。

▲現存俳家の雅號姓名住所生年月生地職業俳歷等を記載。附昭和六年物故俳人小傳其他。

▲初學者のために、研究者のために、實地指導の三篇にて說述。

▲山口誓子論、俳句に於ける自然觀察、關東の沼に關する小研究、論爭戰線外十一篇。

▲俳句にあらはれたる助動詞助詞副詞接尾語感動詞等の用法に從つて詳述す。

▲春、夏、秋、冬、新年の部に分け著名な句を網羅して解釋を施す。

▲春之句添削と實例、私の句作感境、夏之句添削と實例、晝寢十一題外五章。

▲俳句の概念、俳句の鑑賞、季語と季感、形式と音調、俳句の叙法外四篇。

▲古來の名句を擧げて一々說明したるものにて少年少女絕好の俳句入門書である。

▲俳句の作り方とその練習外四章にて新しき俳句の作り方を說述。模範名句集併載。

▲時候、天文、地理、人事、宗教、動物、植物の七部に分類して季語を蒐錄す。

宮田戊子	昭和大成 新修歲時記	菊半截 布函入裝	1324	一、三〇一〇	大文館	七月
水原秋櫻子編	現代 俳句季語解	菊半截 洋函入布	337	一、八〇八	交蘭社	十二月
黎明居紫舟編	新選俳句季語辭典 春の部	菊半截 上製	154	六〇四	上田泰文堂	四月
黎明居紫舟編	新選俳句季語辭典 夏の部	菊半截 上製	224	八〇四	上田泰文堂	六月
黎明居紫舟編	新選俳句季語辭典 秋の部	菊半截 上製	160	六〇四	上田泰文堂	十月
俳句月刊社編	俳句季寄	菊半截 並製	185	三〇四	素人社	六月

▲俳句歲時記。

▲現代生活に關係ある季語をあつめて文學的の解說を施せるもの。

▲俳句の季題を解釋したもの。

▲夏の季語集で、時候、天文、人事、衣食住宗教、動物、植物等の順序に配列す。

▲秋の時候天文地文人事衣食住宗教動物植物等の順序に配列せる季語辭典。

▲實際に役立つよう難題には一々平易な解說を施せる俳句季寄。

俳句集

長谷川かな女編	零餘子句集 第二輯	四六判 上函入製	312	一、五〇八	水明發行所	二月
荻原井泉水	俳句集 梵行品	四六判 布函入裝	312	一、八〇一〇	改造社	六月
山口誓子	句集 凍港	四六判 上函入製	128	一、〇〇八	素人社	五月
奧田雀草	句集 自像	四六判 上函入製	195	一、三〇六	兵庫 青螺社	八月
大場白水郎	續白水郎句集	四六判 上函入製	100	一、〇〇一〇	俳書堂	十二月
白石天羽子 熊倉双葉編	句集 雜林	四六判 並製	102	三〇四	長崎書店	六月

▲俳人故長谷川零餘子の俳句集で、大正十三年以降昭和三年までの句が收めてある。

▲大正十三年十四年の作品七百五十餘句を輯錄せるもので「浮いて雲も枯草いろ」其他。

▲「どんよりと利尻の富士や鰊群來」以下大正十五年より昭和三年迄の俳句を收む。

▲枯野抄、ぬかご抄、水明抄、其他に分けて千二百六十二句を收めた句集。

▲典型的東京人白水郎の昭和三年以降最近までの俳句を嚴輯したる句集。

▲癩を病んで自ら世より隔離せる人々の句作の收錄。

碌人會編	句集 峰座	四六判上製函入	103	一、〇〇 六	碌人會	十月	▲俳句雜誌「黎明」に集る人々の俳句集である。
小澤武二	花と繪馬と氣球	四六判並製	120	八〇 四	層雲社	三月	▲小澤武二氏の俳句集。
池田龍眠	陽を浴びて	四六判並製	180	七〇 六	層雲社	十二月	▲池田龍眠氏の俳句集。
中塚一碧樓	芝生	三六判上製	110	一、〇〇 二	海紅社	九月	▲中塚一碧樓の第五句集にて昭和七年早春までの約四年間の作句より嚴選一集を成す。
中塚一碧樓	海紅第六句集	四六判上製	160	一、五〇 四	海紅社	十月	▲主として、昭和二年八月より六年末に至る四年間餘の月刊俳誌「海紅」の句より選む。
一橋南琴吟社編	南琴吟社第二句集	四六判布函裝入	423	一、一〇 一〇	東京旭印刷株式會社出版部	九月	▲原石鼎氏の選に成る一橋學園南琴吟社の第二句集で、爐句抄外二篇。
橋本喜斗編	傑作一萬句	四六判布函裝入	476	一、五〇 一〇	崇文館	十二月	▲新年、春、夏、秋、冬の五大部に分ち極く最新の句一萬を收たる句集。
橋本喜斗編	新選一萬句	四六判布函裝入	465	一、五〇 一二	崇文館	十二月	▲大阪を中心として廣く關西の作家を網羅せる一萬句集。
耆文堂編	年刊俳句集 昭和七年版	四六判上製函入	427	二、〇〇 一〇	耆文堂	八月	▲昭和五年十二月より同六年十一月號迄の各誌より俳句及び記事目錄を收錄せる句集。
服部畊石	慶弔俳句集 作句心得法	四六判布函裝入	297	一、五〇 八	實業之日本社	六月	▲慶賀、慰問、悼弔に關する句を網羅し色紙短册の書き方を附載す。

民謠研究

松村又一編	新民謠研究 第一卷	菊判並製	311	一、八〇 一〇	民謠レビュー社	七月	▲民謠への認識（伊福部隆輝）音數律の原理（福士幸次郎）其他評論研究及作品を收錄。
藤澤衞彥	日本民謠研究	四六判洋函布入	515	二、九〇 一四	六文館	四月	▲民謠とは何か、近世調民謠の諸國分布、民謠が持つ時代思想外七篇。

日本鄕土俚謠研究會編	鄕土藝術 日本民謠	四六判洋函布入	325	一、三〇 八	光文社	二月	▲日本各種民謠の歌詞、歷史、起原、傳說等を網羅せる書。並製六拾五錢。

民謠集

細田靜夫	藁の雪沓	菊半截上製	120	一、二〇 六	文潮舍	二月	▲竹久夢二裝幀、野口雨情序文、高野辰之題字、足立正夫跋文、版畫、關谷政雄。
細田靜夫	細田靜夫歌謠集 うつぎの花	四六判上製	162	一、〇〇 八	詩と音樂社	十月	▲竹久夢二裝幀。詩と音樂叢書第三篇。
安井青衿子	初時雨	四六判並製	25	五〇 四	詩と音樂社	十月	▲細田靜夫跋文、竹久夢二裝幀。詩と音樂叢書第二編。
細田靜夫編	關西新民謠選集	菊半截並製	50	五〇 四	文潮舍	一月	▲關西新民謠詩人の作品を集錄す。
石井逢花	昭和六年度 俚謠正調集	四六判和綴	132	一、二〇 四	萬朝報社	九月	▲昭和六年中萬朝報紙上に掲載された募集俚謠正調を集錄したもの。
細田靜夫	一九三二年民謠年鑑	四六判並製	105	一、〇〇 八	詩と音樂社	二月	▲民謠作家住所錄、民謠雜誌拔萃、作品の拔萃。
白鳥省吾	民謠集 國ざかひ	菊半截並製	173	五〇 四	大地舍	十二月	▲横斷步道、濱の春雨、豐年萬作外七十七篇の民謠集。
內藤鋠策	詳解 全・地方民謠集	菊半截布函裝入	286	一、三〇 六	交蘭社	十二月	▲關東、東北、中部、北陸、京阪近畿、中國四國、九州朝鮮の八部に分けた民謠の詳註。
喜志邦三譯	スペイン民謠集	四六判洋函布入	106	二、〇〇 一二	東北書院	五月	▲薔薇の蕾、誠くらべ、新造舟、まな娘、茅のまう屋其他百篇のスペイン民謠集。

童謠集

佐藤義美	童謠集 雀の木	菊判布裝	139	一、五〇 一〇	高原書店	七月	▲蜂の家、雲の飛行船、テフテフノ町、月の中、風のふく日外四十五篇の童謠集。

久保田宵二	宵二童謠集	四六判 上製入	215	一、二〇 一二	啓文社	四月
有賀連	童謠集 風と林檎	新菊判 洋布入	139	一、八〇 一二	高原書店	八月
落合・勇	子供とピアノ	四六判 布裝入	160	一、四〇 八	東北書院	十二月

▲日和傘、線香花火、月夜の濱蘆、吹雪の夜人さし指等百篇より成る童謠集。

▲牛の舌、夜店、鳩が啼く、薔薇の鬼、食堂車の胡桃、風と林檎外五十篇の童謠集。

▲さみしい蟲、朝の散歩、萱刈、夕立、秋の夜等々七十篇の童謠を收む。

（D）小說・物語・戲曲

現代小說

二葉亭四迷	其面影（春陽堂文庫(61)）	菊半截 並製	214	二五 四	春陽堂	十月
二葉亭四迷	片戀（春陽堂文庫(25)）	菊半截 並製	322	三〇 六	春陽堂	四月
尾崎紅葉	伽羅枕（春陽堂文庫(77)）	菊半截 並製	141	一五 二	春陽堂	十二月
尾崎紅葉	不言不語（春陽堂文庫(53)）	菊半截 並製	106	一〇 二	春陽堂	六月
尾崎紅葉	三人妻（春陽堂文庫(28)）	菊半截 並製	211	二五 四	春陽堂	五月
尾崎紅葉	多情多恨（春陽堂文庫(31)）	菊半截 並製	340	三五 八	春陽堂	五月
尾崎紅葉	金色夜叉（春陽堂文庫(16)）	菊半截 並製	483	五〇 六	春陽堂	五月

▲長谷川二葉亭の名作「其面影」の複刻。

▲片戀、ふさぎの蟲、奇遇、二狂人、あひびき、四日間、露助の妻。

▲尾崎紅葉の中篇傑作小說伽羅枕を複刻したもの。

▲不言不語。

▲三人妻。

▲長篇「多情多恨」

▲紅葉の名作「金色夜叉」

尾崎紅葉	二人女・心の闇（春陽堂文庫(47)）	菊半截 並製	171	一五 四	春陽堂	六月
幸田露伴	五重塔外二篇（春陽堂文庫(35)）	菊半截 並製	160	二〇 四	春陽堂	五月
樋口一葉	にごりえ（春陽堂文庫(24)）	菊半截 並製	157	二〇 四	春陽堂	三月
泉鏡花	照葉狂言（春陽堂文庫(17)）	菊半截 並製	111	一五 二	春陽堂	四月
森鷗外	水沫集 上卷（春陽堂文庫(56)）	菊半截 並製	365	三五 四	春陽堂	十月
森鷗外	水沫集 下卷（春陽堂文庫(57)）	菊半截 並製	366	三五 四	春陽堂	十月
夏目漱石	それから（春陽堂文庫(12)）	菊半截 並製	298	三〇 六	春陽堂	三月
夏目漱石	門（春陽堂文庫(18)）	菊半截 並製	230	二五 四	春陽堂	三月
夏目漱石	滿韓ところどころ（春陽堂文庫(21)）	菊半截 並製	115	一五 四	春陽堂	三月
夏目漱石	彼岸過迄（春陽堂文庫(23)）	菊半截 並製	311	三五 六	春陽堂	三月
夏目漱石	硝子戸の中（春陽堂文庫(26)）	菊半截 並製	92	一〇 二	春陽堂	三月
夏目漱石	野分（春陽堂文庫(72)）	菊半截 並製	177	二〇 四	春陽堂	九月
高濱虚子	朝鮮（春陽堂文庫(22)）	菊半截 並製	288	三〇 六	春陽堂	四月

▲二人女（おぼろ舟、むき玉子、後篇むき玉子）心の闇。

▲五重塔、風流佛、一口劍。

▲にゑごり。

▲片唄以下九項より成る鏡花氏の名作。

▲舊版「水沫集」の縮刷で、上卷にはうたかたの記、戰僧外十四篇。

▲下卷には埋木、調高矣洋絃一曲、折薔薇、於母影（十九章）を收む。

▲それから。

▲長篇小說「門」

▲滿韓ところどころ。

▲風呂の後、停留所、報告、雨の降る日、須永の話外二項より成る長篇。

▲硝子戸の中。

▲長篇「野分」

▲俳人高濱虚子氏の朝鮮紀行。

高濱虚子	柿二つ（春陽堂文庫43）	並製菊半截	232	二五 四	春陽堂	五月	▲柿二つ。
石川啄木	小説集 上卷（改造文庫第二部179）	布裝菊半截	529	六〇 八	改造社	一月	▲雪は天才である、葬列、漂泊、菊池君、病院の窓、二筋の血外二篇の小説集。
石川啄木	小説集 下卷（改造文庫第二部180）	布裝菊半截	451	五〇 六	改造社	一月	▲葉書、我等の一團と彼、故郷に入る、ある筋書、あきの愁ひ外卌七篇。
島崎藤村	生ひ立ちの記（岩波文庫852）	並製菊半截	133	二〇 二	岩波書店	十月	▲生ひ立ちの記―或る婦人に與ふる手紙、芽生の二篇を收む。
島崎藤村	新生 第一卷（春陽堂文庫13）	並製菊半截	278	三〇 六	春陽堂	三月	▲新生（序の章、第一卷）
島崎藤村	新生 第二卷（春陽堂文庫14）	並製菊半截	308	三〇 四	春陽堂	四月	▲叔父と姪との戀愛を描いた長篇。
島崎藤村	異邦人 別名・エトランゼエ（春陽堂文庫40）	並製菊半截	306	三〇 四	春陽堂	六月	▲藤村氏の佛蘭西の旅行記で、別名エトランゼエ。
島崎藤村	嵐・分配（春陽堂文庫27）	並製菊半截	96	一〇 二	春陽堂	五月	▲嵐、分配。
島崎藤村	出發（改造文庫第二部188）	布裝菊半截	364	四〇 四	改造社	十月	▲出發、幼きものゝ死、突貫、沈默、岩石の間、河岸の家、一夜外三篇。
島崎藤村	三人（改造文庫第二部187）	布裝菊半截	267	三〇 四	改造社	八月	▲三人、伸び仕度、食堂、ある女の生涯、貧しい理學士の五篇の短篇集。
島崎藤村	夜明け前 第一部	上製四六判	727	一、八〇 一四	新潮社	一月	▲舊き傳統に生く木曾山中の人々の生活を中心に明治維新の時代相を描ける大作の第一部
田山花袋	田舍教師（春陽堂文庫37）	並製菊半截	266	三〇 四	春陽堂	六月	▲限りない希望を抱きながら若くして逝つた教師林信三の生涯を描ける長篇。
德田秋聲	あらくれ（春陽堂文庫38）	並製菊半截	218	二五 四	春陽堂	七月	▲あらくれ。

正宗白鳥	泥人形 外二篇（春陽堂文庫5）	並製菊半截	224	二五 四	春陽堂	七月	▲何處へ、微光、泥人形の三篇。
森田草平	煤煙（岩波文庫791—792）	並製菊半截	269	四〇 四	岩波書店	二月	▲一九〇九年東京朝日新聞に掲載した長篇小説。
森田草平	輪廻 前篇（春陽堂文庫83）	並製菊半截	291	三〇 四	春陽堂	十二月	▲森田草平の長篇小説輪廻の前篇を收む。
鈴木三重吉	小鳥の巣（春陽堂文庫81）	並製菊半截	302	三〇 四	春陽堂	十一月	▲小鳥の巣上下三篇。
永井荷風	ふらんす物語（春陽堂文庫52）	並製菊半截	232	二五 四	春陽堂	十月	▲船と車、ローン河のほとり、秋のちまた、蛇つかひ、祭の夜がたり其他。
永井荷風	おかめ笹（春陽堂文庫59）	並製菊半截	160	二〇 四	春陽堂	十月	▲長篇小説「おかめ笹」
谷崎潤一郎	刺青 外六篇（春陽堂文庫41）	並製菊半截	212	二〇 四	春陽堂	六月	▲刺青、麒麟、少年、幇間、秘密、惡魔、續惡魔等七篇の短篇集。
谷崎潤一郎	捨てられる迄（春陽堂文庫58）	並製菊半截	115	一五 二	春陽堂	八月	▲捨てられる迄。
谷崎潤一郎	饒太郎（春陽堂文庫66）	並製菊半截	116	一五 二	春陽堂	八月	▲饒太郎。
谷崎潤一郎	痴人の愛（改造文庫第二部85）	布裝菊半截	366	四〇 六	改造社	九月	▲ナオミに對する主人公讓治の痴情を描いた有名な長篇小説。
谷崎潤一郎	卍（まんじ）（春陽堂文庫9）	並製菊半截	194	二〇 四	春陽堂	四月	▲同性愛を描いた長篇。
谷崎潤一郎	蓼喰ふ蟲（春陽堂文庫36）	並製菊半截	199	二〇 四	春陽堂	四月	▲奇妙な夫婦生活を描いた長篇。
谷崎潤一郎	盲目物語	四六倍判 和裝函入	186	一、七〇 一〇	中央公論社	二月	▲傑作「盲目物語」を始め、吉野葛、紀井國狐憑漆掻語、覺海上人天狗になる事等を收む。

芥川龍之介	春陽堂文庫(69) 影燈籠	菊半截 並製	208	二〇四	春陽堂	九月	▲蜜柑、開化の良人、短篇十三篇。
芥川龍之介	春陽堂文庫(19) 邪宗門	菊半截 並製	94	一〇二	春陽堂	三月	▲邪宗門。
芥川龍之介	春陽堂文庫(29) 春服	菊半截 並製	212	二五四	春陽堂	四月	▲六の宮の姫君、トロツコ、おぎん、お富の貞操、藪の中外短篇十篇。
武者小路實篤	岩波文庫(829) 友情	菊半截 並製	127	二〇二	岩波書店	七月	▲友情。
志賀直哉	改造文庫第二部(169) 矢崎柳堂 —志賀直哉全集第一卷—	菊半截 布裝	195	二〇四	改造社	二月	▲荒絹、漆端の住ひ、クローディアスの日記矢島柳堂、大津順吉外四篇。
志賀直哉	改造文庫第二部(170) 焚火 —志賀直哉全集第二卷—	菊半截 布裝	175	二〇四	改造社	二月	▲子供三題、焚火、夢、山形、剃刀、和解の六篇を收む。
志賀直哉	改造文庫第二部(171) 老人 —志賀直哉全集第三卷—	菊半截 布裝	185	二〇四	改造社	二月	▲老人、不幸なる戀の話、城の崎にて、兒を盗む話、濁つた頭外五篇。
志賀直哉	改造文庫第二部(172) 網走まで —志賀直哉全集第四卷—	菊半截 布裝	218	二〇四	改造社	二月	▲菜の花と小娘、網走まで、鳥尾の病氣、小僧、神樣、沓掛にて外十篇。
志賀直哉	改造文庫第二部(173) 速夫の妹 —志賀直哉全集第五卷—	菊半截 布裝	197	二〇四	改造社	二月	▲或る朝、范の犯罪、正義派、速夫の妹、彼と六つ上の女外一篇。
志賀直哉	改造文庫第二部(175) 雪の日 —志賀直哉全集第七卷—	菊半截 布裝	189	二〇四	改造社	二月	▲雪の日、赤城にて或る日、若い法學士、母の死と新しい母外十一篇。
里見弴	改造文庫第二部(191) 多情佛心 前篇	菊半截 布裝	338	三〇四	改造社	十月	▲長篇小說「多情佛心」の前篇。
里見弴	改造文庫第二部(192) 多情佛心 後篇	菊半截 布裝	337	三〇四	改造社	十一月	▲押入の中、うはさ、不動堂、眠られぬ庭外六項。
里見弴	春陽堂文庫(54) 多情佛心 前篇	菊半截 並製	362	三五四	春陽堂	九月	▲「多情佛心」前篇。

里見弴	春陽堂文庫(55) 多情佛心 後篇	菊半截 並製	357	三五四	春陽堂	九月	▲「多情佛心」後篇。
里見弴	日本小說文庫(156) 安城家の兄弟 前篇	菊半截 並製	256	三〇四	春陽堂	九月	▲長編小說「安城家の兄弟」前篇。
里見弴	日本小說文庫(153) 安城家の兄弟 中篇	菊半截 並製	264	三〇四	春陽堂	九月	▲「安城家の兄弟」中篇。
里見弴	日本小說文庫(52) 安城家の兄弟 後篇	菊半截 並製	342	三〇四	春陽堂	九月	▲「安城家の兄弟」後篇。
里見弴	日本小說文庫(4) 闇に開く窓	菊半截 並製	325	三五六	春陽堂	二月	▲長篇小說で「誕生祝」から始る。
久保田万太郎	春陽堂文庫(42) 春泥	菊半截 並製	163	一五四	春陽堂	六月	▲向島以下六項より成る中篇小說。
宇野浩二	改造文庫第二部(194) 山戀ひ	菊半截 布裝	329	四〇六	改造社	十一月	▲長篇小說山戀ひ（前後）短篇小說一と踊、心中、人心を收む。
宇野浩二	改造文庫第二部(193) 苦の世界	菊半截 布裝	236	三〇四	改造社	十一月	▲わが身の情痴を縷々と述べた宇野浩二の長篇傑作。
佐藤春夫	春陽堂文庫(46) 田園の憂鬱	菊半截 並製	130	一五一	春陽堂	七月	▲田園の憂鬱。
佐藤春夫	日本小說文庫(154) 心驕れる女 前篇	菊半截 並製	138	二〇四	春陽堂	七月	▲慌しき港に以下うしろ姿。
佐藤春夫	日本小說文庫(155) 心驕れる女 後篇	菊半截 並製	203	二〇四	春陽堂	七月	▲行き詰より始る。
佐藤春夫	武藏野少女	四六判上製入	423	一八〇一四	新潮社	二月	▲一少女の運命を描いた長篇小說。
山本有三	日本小說文庫(155) 生きとし生けるもの	菊半截 並製	240	二五四	春陽堂	八月	▲周作、夏樹、獨立、其他より成る長篇。

山本有三	風	四六判 布函入	540	二、〇〇 一四	朝日新聞社	十月
岸田國士	日本小說文庫(158) 由利旗江	菊半截 並製	361	三五 六	春陽堂	八月
小島政二郎	海燕	四六判 上函入	401	一、七〇 一二	新潮社	七月
佐佐木茂索	困つた人達	菊判 上函入	246	二、〇〇 一四	白水社	一月
室生犀星	青い猿	四六判 上函入	318	一、九〇 一〇	春陽堂	三月
十一谷義三郎	敗武文庫第二部(207) 唐人お吉	菊半截 布裝	161	二〇 二	改造社	十二月
十一谷義三郎	敗武文庫第二部(208) 時の敗者唐人お吉	菊半截 布裝	390	四〇 六	改造社	十二月
十一谷義三郎	日本小說文庫(15) 唐人お吉	菊半截 並製	122	一五 四	春陽堂	一月
十一谷義三郎	日本小說文庫(17) 時の敗者 ―唐人お吉續篇―	菊半截 並製	323	三〇 六	春陽堂	一月
十一谷義三郎	日本小說文庫(59) 太陽よ！隣人よ！ 前篇	菊半截 並製	303	三〇 六	春陽堂	四月
十一谷義三郎	日本小說文庫(60) 太陽よ！隣人よ！ 後篇	菊半截 並製	320	三〇 六	春陽堂	四月
十一谷義三郎	笑ふ男、笑ふ女	新菊判 上函入	391	二、五〇 一四	白水社	三月
川端康成	日本小說文庫(61) 淺草紅團	菊半截 並製	176	二〇 四	春陽堂	四月

▲有產階級に人となり而も非合法運動者を夫とせる素子を主人公に描ける長篇小說。

▲長篇「由利旗江」。

▲戀愛を結婚を家庭生活を血みどろに生きる男女の姿を描ける長篇小說。

▲有閑婦人達の憂鬱な心理を描いた長篇小說

▲創作家松平とその周圍を描いた長篇小說。

▲十一谷義三郎の傑作唐人お吉を收めたもので、唯一つある家外六章。

▲時代に反抗しつゞけて遂に滅んだ唐人お吉の後半生を描ける小說。

▲らしやめんお吉を描いた長篇。

▲後の唐人お吉の物語。

▲前篇は「父と子」以下「水の唄」まで收載。

▲後篇は「闇い花」から始り「最後のもの」まで。

▲街の麒麟兒平賀源内を描ける「笑ふ男」及十二階下の妖しき女の物語「笑ふ女」を收む。

▲淺草紅團の物語。

横光利一	上海	四六判 並製	310	一、〇〇 八	改造社	七月
横光利一	寢園	四六判 布函入	418	一、八〇 一〇	中央公論社	十二月
横光利一	雅歌	菊判 白樺裝	151	一、六〇 八	書物展望社	十二月
井伏鱒二	川	新菊判 上函入	82	一、五〇 八	江川書房	十一月
伊藤整	生物祭	新菊判 並製	224	一、七〇 一二	金星堂	十月
春山行夫編	小說 時と詩論別冊	菊判 並製	494	二、〇〇 一四	厚生閣	一月
保高德藏編	文學クオタリイ 第一輯	菊判 並製	598	一、五〇 一四	大盛堂	二月
保高德藏編	文學クオタリー 第二輯	菊判 並製	512	一、八〇 一四	文學クオタリイ社	六月
荒木精之	今日の文學シリーズ 青年作家	新四六判 並製	122	八〇 六	今日の文學社	十一月
中村美佐雄	ルツボの世界	四六判 上製	390	二、五〇 一二	文藝評論社出版部	九月
坂部護郎編著	單獨登攀者	四六判 上函入	214	九〇 八	J・C・C	五月
伊藤貫一郎	海峽を越える	四六判 並製	313	一、二〇 八	文化書房	十一月
佐藤加壽輔	こひごころ	四六判 洋函入 布	254	一、五〇 一〇	文化書房	六月

▲上海を中心として起つた五三十事件を背景に描ける長篇小說。

▲長篇小說「寢園」と、短篇小說「母」の二篇を收む。

▲一つの戀愛葛藤を描いた中篇小說。

▲新進作家井伏氏の中篇小說「川」。

▲生物祭、錯覺のある配列、蕾の中のキリ子M日貨店外七篇の小說集。

▲アフリカのドイル（阿部知二）逃亡記（井伏鱒二）病める人（堀辰雄）外四十三篇。

▲十二月（井上友一郎）人にすぐれた藝（宇野浩二）外卅篇を收めた創作集。

▲迫田農場（張赫宙）惡鬼（宇野浩二）ある時代の居留民（保高德藏）外二十九篇。

▲文學志望の一青年を描いた中篇小說。

▲ルツボの世界、お春の戀、措かれた女、拾つたチケツツ、かげろへる船出他二編。

▲山案内人は怒る、驢馬の後ろを行く、單獨登攀者外十五篇の山岳短篇小說集。

▲海峽を越える、井村先生と僕、血緣、素描ピクニツク外八篇の教員小說。

▲櫻林、愛してるなら、愛憎、この術あり、宿直室、冬來たる外十篇の短篇小說集。

櫻井祐男	或る青年教師を語る	四六判並製	340	一、五〇八	文化書房	二月
古賀殘星	學校宿直室物語	四六判並製	328	一、〇〇八	文化書房	五月
燕三吉	アメリカを掏摸る	四六判上製	315	一、六〇一〇	先進社	一月
堀田昇一	奴隷市場	四六判並製	268	八〇六	中外書房	一月
岩藤雪夫	新選岩藤雪夫集	四六判並製	519	一、〇〇八	改造社	二月
平林たい子	新選平林たい子集	四六判並製	395	一、〇〇八	改造社	二月
林房雄	改造文庫第二部(200)自選短篇集	菊半截布裝	701	七〇八	改造社	十二月
前田河廣一郎	日本小說文庫(163)支那	菊半截並製	222	二五四	春陽堂	八月
德永直	日本小說文庫(164)太陽のない街	菊半截並製	274	三〇四	春陽堂	八月
德永直	阿蘇山	四六判並製	208	四〇四	新興書房	五月
德永直 槇本楠郎 外十四名	消費組合小說集七月二日をめがけて	四六判並製	102	一五四	日本無產者消費組合聯盟機關紙部	七月
貴司山治	バス車掌七百人	四六判並製	189	四〇四	新興書房	五月
井東憲	この支那人を見ろ	四六判上製	300	一、二〇八	內外社	五月

▲教員生活を描いた長篇。

▲或る師範生の手記、學校宿直物語、教員の綽名傑作集、つゆ空外短篇十九篇。

▲朗らかなるモダン掏摸燕三吉の米大陸に於ける活躍物語で、紐育に躍る燕外四篇。

▲奴隷市場、勞働官僚、冬近く、麵麭、肉親について等五篇。

▲殺人、鬪ひをつぐ者、母へ、工場勞働者、故鄕にそむく其他プロ小說二十篇。

▲勞働者の妻、投げすてよ！　女店員の不平未だ生きてゐた男外卅九篇。

▲海と飛魚の子と、或る明るい物語、牢獄の五月祭、偉大なる創造主外廿五篇の短篇集。

▲長篇小說「支那」。

▲長篇「太陽のない街」。

▲山一製絲工場、擴がる戰線、女工舍監の日記、阿蘇山の四篇を收めたプロ小說集。

▲七月二日をめがけて（德永直）僕らの店（槇本楠郎）赤い團結餅（高光義明）其他十四篇。

▲小市民の歌、音樂會、新聞社、ハンスト、バス車掌七百人外一篇のプロ小說集。

▲怪殺クラブ、女ばかりの船、賭博場前の殺人、この支那人を見ろ外八篇の短篇集。

窪川いね子	祈禱	四六判並製	292	八〇八	新興書房	六月
須井一	清水燒風景	四六判並製	455	一、二〇一〇	改造社	十二月
須井一	日本プロレタリア作家同盟叢書(1)綿	四六判並製	47	一〇二	日本プロレタリア作家同盟出版部	六月
小林多喜二	日本プロレタリア作家同盟叢書(2)沼尻村	四六判並製	80	二〇二	日本プロレタリア作家同盟出版部	十月
上田廣	同志文學シリイズ現業委員會	四六判並製	132	四〇二	同志文學社	八月
五十公野清一	同志文學シリイズ庄內平野	四六判並製	132	三五四	同志文學社	十一月
安瀨利八郎	爆發	四六判並製	203	五〇四	中外書房	二月
金親清	旱魃	四六判並製	170	五〇六	中外書房	二月
中野時雄	農民小說飢餓線の彼方	四六判並製	275	五〇六	農民自治文化聯盟	七月
日本プロレタリア作家同盟編	日本プロレタリア創作集 —一九三二年版—	四六判並製	536	一、二〇一〇	日本プロレタリア作家同盟	三月
江口渙編	ナップ十人集	四六判並製	321	一、〇〇八	改造社	一月
松岡讓	憂鬱な愛人 上卷	四六判並製	623	一、八〇一二	第一書房	二月
吉田絃二郎	G線上のアリア	新四六判並製	354	一、〇〇六	新潮社	九月

▲祈禱、幹部女工の涙、煙草工女、小作人の息子、初めての經驗から外八篇の創作集。

▲綿、踊る、幼き合唱、樹のない村、清水燒風景等五篇の小說集。

▲貧農に生れた主人公の生ひ立ちから階級的戰士として出獄する迄を描いたナップ派の作

▲プロ小說「沼尻村」。

▲驛勢要覽、失業記錄、現業委員會の三篇のプロ小說を收錄。

▲庄內平野に在る日本一の豪農本間を曝いたプロ文學。

▲東北のM製糸工物に起つた爭議を取扱つた長篇。「沈み繰り」併載。

▲長篇プロレタリア小說。

▲搾取都市の手に崩壞し行く農村の生活道程を描ける長篇農民小說。

▲綿（須井一）善作の頭（中野重治）決意（窪川いね子）外四十二篇。

▲德永中野片岡橋本武田黑島窪川立野藤澤村山など十氏のプロ小說十篇を收む。

▲文豪夏目漱石の一門をモデルとした戀愛小說。—改作增補版—

▲山靜かに、父と河童の子、荒井良輔、除夜G線上のアリア等五篇の小說集。

廣津和郎	女給君代	布四六裝	338	八八	中央公論社	二月	▲女學校を卒業して始めて女給生活に入つた君代が如何なる道を辿つたかを描いた長篇。
下村千秋	暴風帶	上圖四六製入判	584	一、三五 一四	中央公論社	十一月	▲インテリ・ルンピンの沒落と其甦生過程を描ける長篇で、上空一千米外廿六項。
大佛次郎	白い姉	布圖四六裝入判	383	一、三五 一二	改造社	五月	▲現代的令嬢佐保子の數奇な內心生活を描ける長篇で、狂つた夜、襟飾外九項。
大佛次郎	ふらんす人形	上圖四六製入判	492	一、八〇 一四	新潮社	十月	▲人間悲劇の中に醸された多彩な愛慾の葛藤を描ける長篇で、旅びと、青い家外七項。
如斐一光	の序曲	上圖四六製入判	630	二、〇〇 一四	先進社	三月	▲踏まれた花束以下八十餘項より成る長篇。
山中峯太郎	聖なる乳房	上圖四六製入判	473	一、八〇 一〇	新潮社	六月	▲あくまでも虐げられて見えざる血を流しつゝある日本女性の姿を描ける長篇小說。
佐藤紅綠	新たに芽ぐむもの	上圖四六製入判	478	一、八〇 一四	新潮社	六月	▲學窓の親交を成人の曉迄續ける四人の少年を背景に複雜なる現代世相を描寫せる長篇。
鶴見祐輔	子	布四六裝判	651	一、八〇 一四	講談社	五月	▲父を失ひ母の苦しき犧牲を知る子「進」の心情を描ける長篇。「母」續篇！
牧逸馬	七つの海	上圖四六製入判	870	一、八〇 一四	中央公論社	二月	▲自分を辱しめ父を憤死せしめ姉を狂はせた男に復讐せんとする美女を主人公とせる長篇の四篇の小說集。
牧逸馬	相思樹	上圖四六製入判	505	一、三五 一二	中央公論社	八月	▲想思樹、愛すべく、試驗別居、愛の防風林
北村小松	限りなき舖道	上圖四六製入判	630	一、八〇 一四	中央公論社	九月	▲東京日日及大阪每日に連載された映畫女優の暴露小說で、覩かれた女外三十章。
北村小松	肥料と花	上圖四六製入判	405	一、三五 一三	先進社	四月	▲肥料と花、港街の挿話、眞夜の淑女、橫町の唄外四篇の撮影所と港と女に關する物語。
北林透馬	居留地の丘	並圖四六製入判	344	一、三五 一四	大矢書店	四月	▲九月の海以下九項より成る浪曼小說。

久野豐彥	人生特急	布四六裝判	329	一、三五 一〇	千倉書房	十月	▲一九三二年の義雄絶まりなき緊急問題社會經濟時局を織り込んだ長篇。
宮原昿	曠野を拓く	上圖四六製入判	962	一、八〇 一四	創建社	一月	▲長井純一郎を中心とせる建設聯盟員の滿洲大平原に於ける活動振りを描寫せる長篇。
坂本石創	結婚狂想曲	上圖四六製入判	362	一、三五 一〇	崇文堂	五月	▲文豪田山花袋氏の家庭に於ける其令嬢を巡つての結婚悲劇の眞相を描ける長篇。
淺原六朗	モダンマダム行狀記 日本小說文庫(238)	並菊半製紙	166	一、三五 一二	春陽堂	十二月	▲或るモダンマダムの無愛行狀を描いた通俗小說。
長田幹彥	祇園小唄 日本小說文庫(165) (1)	並菊半製紙	242	一、三五 一四	春陽堂	八月	▲祇園を描いた情話集で、第一卷は祇園、夢占、地主櫻、鬼灯、野の宮外七篇を收む。
長田幹彥	祇園小唄 日本小說文庫(166) (2)	並菊半製紙	234	一、三五 一二	春陽堂	十二月	▲死靈、送り火、しぐれ茶屋、浮名、法燈、紅の森、都踊の夜、大佛供養外二篇。
長田幹彥	祇園小唄 日本小說文庫(167) (3)	並菊半製紙	238	一、三五 一二	春陽堂	十二月	▲夜櫻、薄雲太夫、島原、水屋町夜話、宇治夕すゞみ、宵宮の女、野分のあと外二篇。
長田幹彥	祇園小唄 日本小說文庫(168) (4)	並菊半製紙	212	一、三五 一二	春陽堂	十二月	▲春さき、月夜、竹生島、無言詣、舞ひの袖清水寺、京極、千鳥、秋風、小鼓外二篇。
長田幹彥	港の唄 日本小說文庫(210)	並菊半製紙	387	一、三五 一四	春陽堂	十二月	▲北日本の港を背景にした哀切悲戀の通俗長篇小說。
長田幹彥	綠衣の聖母 前篇 日本小說文庫(148)	並菊半製紙	267	一、三〇 一四	春陽堂	七月	▲長篇小說「綠衣の聖母」
長田幹彥	綠衣の聖母 後篇 日本小說文庫(149)	並菊半製紙	261	一、三〇 一四	春陽堂	七月	▲同
長田幹彥	虹 日本小說文庫(29)	並菊半製紙	327	一、三五 一六	春陽堂	一月	▲名譽の獨唱其他より成る長篇。
菊池寬	不壞の白珠 日本小說文庫(213)	並菊半製紙	331	一、三五 一四	春陽堂	十二月	▲長篇小說不壞の白珠の全篇を收む。

菊池寛	新女性鑑	日本小說文庫(21)	並製	菊半	286	三三〇	春陽堂	十二月	▲中間インテリゲンチヤの女性達を描いた長篇小說。
菊池寛	有憂華	日本小說文庫(1)	並製	菊半	409	三二九	春陽堂	一月	▲秀作光枝兄妹を中心とした長篇。
菊池寛	東京行進曲	日本小說文庫(128)	並製	菊半	320	三三〇	春陽堂	五月	▲長篇小說「東京行進曲」
菊池寛	勝敗	四六判上製	並製	菊半	442	一、三五〇 一四	新潮社	一月	▲一人のブルジョア令嬢とその異腹の姉妹なる二人の娘との生活及愛の戰ひとを描く。
菊池寛	蝕める春・春蕾	四六判上製	並製	菊半	441	一、二六〇 一二	新潮社	十月	▲某大實業家の美しい三人姉姉と貴族出の若き音樂家をモデルとせる長篇。春蕾併載。
菊池寛	花の東京	四六判上製	並製	菊半	443	一、三五〇 一二	非凡閣	九月	▲漁師の娘おあいを中心に戀愛葛藤を描いた長篇。
久米正雄	螢草	日本小說文庫(156)	並製	菊半	272	三三〇	春陽堂	七月	▲長篇小說「螢草」
久米正雄	螢草	日本小說文庫(157)	並製	菊半	266	三三〇	春陽堂	七月	▲同
久米正雄	青眉	日本小說文庫(29)	並製	菊半	316	三三〇	春陽堂	一月	▲前篇は第一の誘惑以下西洋間まで收載。
久米正雄	青眉	日本小說文庫(53)	並製	菊半	223	三三五	春陽堂	一月	▲後篇は夜路から始まり白孔雀までを收む。
久米正雄	白夜明くる	四六判上製	並製	菊半	507	一、六〇〇 一二	講談社	九月	▲一青年を繞つての戀の葛藤を描ける長篇で神聖なる煙突掃除夫、紅い白夜外十九項。
加藤武雄	銀河	日本小說文庫(36)	並製	菊半	231	三三五	春陽堂	二月	▲前篇には「失踪」から「小さい娘」までを收む。
加藤武雄	銀河	日本小說文庫(37)	並製	菊半	219	三三五	春陽堂	二月	▲後篇は「病床」から始つて終りまで收載。

加藤武雄	蠻	日本小說文庫(13)	並製	菊半	316	三三〇	春陽堂	六月	▲婚約者以下懲ゆるもの迄。
加藤武雄	蠻	日本小說文庫(124)	並製	菊半	270	三三四	春陽堂	六月	▲死床以下街頭の雨まで。
中村武羅夫	愛憎の彼方へ	日本小說文庫(38)	並製	菊半	285	三三〇	春陽堂	三月	▲長篇小說。
中村武羅夫	愛憎の彼方へ	日本小說文庫(39)	並製	菊半	287	三三五	春陽堂	三月	▲後篇は苦難の日より始る。
三上於菟吉	輪日	日本小說文庫(90)	並製	菊半	290	三三〇	春陽堂	五月	▲德惠子と城木を中心とした物語。
三上於菟吉	輪日	日本小說文庫(91)	並製	菊半	272	三三〇	春陽堂	五月	▲後篇は「落花の如く」より始る。
三上於菟吉	白鬼	日本小說文庫(98)	並製	菊半	398	三三〇	春陽堂	四月	▲白鬼の如き美青年細沼を主人公とした長篇小說。
直木三十五	青春行狀記	日本小說文庫(133)	並製	菊半	295	三三五	春陽堂	六月	▲一人の男性を繞る四人の女性の性の鬪爭を描ける長篇で、前篇は歎氣其他。
直木三十五	青春行狀記	日本小說文庫(134)	並製	菊半	327	三三五	春陽堂	六月	▲後篇は襲撃、第一の復讐、歪んだ日、第二の復讐等四項より成る。
細田民樹	愛人	日本小說文庫(26)	並製	菊半	433	三三五	春陽堂	二月	▲「房州の市日」以下「生きてゐる人」まで。
細田民樹	愛人	日本小說文庫(27)	並製	菊半	360	三三五	春陽堂	二月	▲後篇は「十一月二十日」から終りまで。
邦枝完二	接吻市場	日本小說文庫(145)	並製	菊半	218	三三四	春陽堂	七月	▲月夜の虹以下旅まで。
邦枝完二	接吻市場	日本小說文庫(146)	並製	菊半	276	三三四	春陽堂	七月	▲二重映寫より始る。

野村愛正	日本小說文庫(120)	大地に立つ	前篇	菊半截 並製	188	二〇四	春陽堂	六月	▲農園の春以下相讓らずに迄。
野村愛正	日本小說文庫(121)	大地に立つ	後篇	菊半截 並製	218	二〇四	春陽堂	六月	▲待たれる人以下湧立つ歡聲迄。
野村愛正	日本小說文庫(179)	霧の中の曙		菊半截 並製	164	二〇四	春陽堂	十二月	▲野村愛正氏の中篇小說霧の中の曙を收載。
賀川豐彥	日本小說文庫(211)	傾ける大地		菊半截 並製	313	三五四	春陽堂	十二月	▲賀川豐彥の長篇小說傾ける大地全篇を收載
吉屋信子	日本小說文庫(143)	鳩笛を吹く女		菊半截 並製	302	三〇四	春陽堂	六月	▲絢子の家其他より成る長篇小說。
吉屋信子	日本小說文庫(178)	小市民		菊半截 並製	163	二〇四	春陽堂	十一月	▲プチブル階級の人達を描いた中篇小說。
正木不如丘	日本小說文庫(40)	戀愛黑點	前篇	菊半截 並製	288	三〇六	春陽堂	一月	▲前篇は繪絹の斑點以下百貨店風景まで。
正木不如丘	日本小說文庫(41)	戀愛黑點	後篇	菊半截 並製	198	二〇四	春陽堂	一月	▲後篇瀨戸內海の波紋以下復讐までを收む。
正木不如丘	日本小說文庫(169)	木賊の秋		菊半截 並製	180	二〇四	春陽堂	八月	▲二人の兄妹を主人公とせる佐久の平に棲む村人の悲しい物語。
正木不如丘	日本小說文庫(180)	三太郎		菊半截 並製	341	三五四	春陽堂	九月	▲長篇小說「三太郎」。
正木不如丘	日本小說文庫(181)	診療簿餘白		菊半截 並製	217	二五四	春陽堂	八月	▲誤診一つ、王手飛車取り其他。
正木不如丘	第二	診療簿餘白		四六判 上函入製	429	一、七〇一〇	四條書房	十月	▲大學醫學部の各研究室に於けるナンセンスとユーモアを收めたもの。
丸木砂土	日本小說文庫(147)	女祕書		菊半截 並製	241	二五四	春陽堂	七月	▲女祕書、金貨百萬圓事件。

丸木砂土	日本小說文庫(187)	半處女		菊半截 並製	238	二五四	春陽堂	八月	▲日清談判破裂して、女巡査其他。
龍膽寺雄	日本小說文庫(105)	掌の上の惡魔		菊半截 並製	116	一五二	春陽堂	五月	▲掌の上の惡魔。
龍膽寺雄	日本小說文庫(104)	珠壺		菊半截 並製	119	一五四	春陽堂	五月	▲少女珠壺の物語。
龍膽寺雄		虹と兜蟲		四六判 上函入製	580	一、五〇一四	改造社	六月	▲兜島に住む人たち、ガラメキ鑛泉、廢金鑛寶藏の拔穴外六章より成る長篇小說。
群司次郎正		泥の子・太陽の子		四六判 上函入製	435	一、五〇一二	雄文閣	九月	▲泥の子、太陽の子外六篇の小說と、街の底外三篇の戲曲、シナリオを收載。
群司次郎正	日本小說文庫(72)	日本	前篇	菊半截 並製	216	二五四	春陽堂	六月	▲ミスニツポン前篇は女重役と女××黨員以下近郊發展地帶新風景迄。
群司次郎正	日本小說文庫(73)	日本	後篇	菊半截 並製	248	二五四	春陽堂	六月	▲同後篇は續近郊發展地帶新風景から始る。
群司次郎正	日本小說文庫(215)	處女刑	前篇	菊半截 並製	208	二五四	春陽堂	十二月	▲一少女がふとした誤から處女刑に問はれることを問題として扱つた小說。
群司次郎正	日本小說文庫(214)	處女刑	後篇	菊半截 並製	207	二五四	春陽堂	十二月	▲處女刑の後篇で、現實の道以下最終までを收む。

大衆文藝・傳奇小說

中里介山	大菩薩峠	第十冊	菊半截 布函入裝	601	一、五〇一〇	春秋社	三月	▲第十冊はまだ新聞にも雜誌にも掲載しない「辨信の卷」。
中里介山	大菩薩峠	第十一冊	菊半截 布函入裝	610	一、五〇八	大菩薩峠刊行會	十月	▲第十一冊は「不破の關の卷」を收む。
中里介山	大菩薩峠	1—甲源一刀流の卷	菊半截 並製	136	二五二	大菩薩峠刊行會	十二月	▲甲源一刀流の卷。—大乘晋及版—

中里介山	大菩薩峠 2—鈴鹿山の巻・壬生と島原の巻	菊半截	並製	216	二三四	大菩薩峠刊行會	十二月	▲鈴鹿山の巻、壬生と島原の巻。—大乘普及版—
中里介山	大菩薩峠 3—三輪神杉の巻・龍神の巻	菊半截	並製	198	二三四	大菩薩峠刊行會	十二月	▲三輪神杉の巻、龍神の巻。—大乘普及版—
中里介山	大菩薩峠 4—間の山の巻	菊半截	並製	142	二三四	大菩薩峠刊行會	十二月	▲間の山の巻。—大乘普及版—
中里介山	大菩薩峠 5—東海道の巻・白根山の巻	菊半截	並製	206	二三四	大菩薩峠刊行會	十二月	▲東海道の巻、白根山の巻。—大乘普及版—
中里介山	大菩薩峠 6—女子と小人の巻・市中騒動の巻	菊半截	並製	228	二三四	大菩薩峠刊行會	十二月	▲女子と小人の巻、市中騒動の巻。—大乘普及版—
中里介山	大菩薩峠 7—駒井能登守の巻・伯耆安綱の巻	菊半截	並製	206	二三四	大菩薩峠刊行會	十二月	▲駒井能登守の巻、伯耆安綱の巻。—大乘普及版—
中里介山	大菩薩峠 8—如法闇夜の巻	菊半截	並製	170	二三四	大菩薩峠刊行會	十二月	▲如法闇夜の巻。—大乘普及版—
中里介山	大菩薩峠 9—お銀様の巻	菊半截	並製	190	二三四	大菩薩峠刊行會	十二月	▲お銀様の巻。—大乘普及版—
中里介山	大菩薩峠 10—慢心和尚の巻	菊半截	並製	166	二三四	大菩薩峠刊行會	十二月	▲慢心和尚の巻。—大乘普及版—
中里介山	大菩薩峠 11—道庵と龍八の巻	菊半截	並製	148	二三四	大菩薩峠刊行會	十二月	▲道庵と龍八の巻。—大乘普及版—
中里介山	切支丹夜話	四六判	並製	365	一、二〇八	大菩薩峠刊行會	十二月	▲徳川初期の殉教者原主水を描いた小説「聖母の畫像」及び「切支丹婦人」の二篇を收む。
田山花袋	源義朝	菊半截	並製	406	四〇四	春陽堂	七月	▲源義朝。
森田草平	吉良家の人々	菊半截	並製	217	二三四	春陽堂	十月	▲「吉良家の人々」「四十八人目」の二篇を收む。

武者小路實篤	大石良雄	四六判	並製	370	一、二〇〇	講談社	六月	▲大石良雄の全面的に亘つて描ける長篇で、大石良雄妻と子、大石の心のなか外百八章。
井原西鶴	日本小說文庫(7)	菊半截	並製	92	二〇三	春陽堂	一月	▲井原西鶴の心境を描いたもの。
木村毅	星旗樓祕聞 日本小說文庫(15)	菊半截	並製	172	二〇四	春陽堂	一月	▲巴里コンミーンを題材とした長篇物語。
木村毅	島原美少年錄 日本小說文庫(83)	菊半截	並製	250	二三四	春陽堂	七月	▲島原の美少年加納惣三郎を主人公とせる大衆小說。 ▲大衆小說「艷麗風土記」前篇。
小島政二郎	艷麗風土記 日本小說文庫(95) 前篇	菊半截	並製	253	二三四	春陽堂	九月	
小島政二郎	艷麗風土記 日本小說文庫(96) 後篇	菊半截	並製	229	二三四	春陽堂	九月	▲「艷麗風土記」後篇。
岡本綺堂	半七捕物帳 —1— 日本小說文庫(13)	菊半截	並製	120	二〇二	春陽堂	一月	▲岡ツ引半七の捕物奇談集で、廣重と河獺、化銀杏、お文の魂、半七先生等四篇を收む。
岡本綺堂	半七捕物帳 —2— 日本小說文庫(14)	菊半截	並製	114	二〇二	春陽堂	一月	▲第二輯には辨天娘、鬼娘、柳原堤の女等三篇が收めてある。
岡本綺堂	半七捕物帳 —3— 日本小說文庫(70)	菊半截	並製	112	二〇二	春陽堂	四月	▲向島の寮、人形使ひ、山祕の夜、張子の虎雪達磨。
岡本綺堂	半七捕物帳 —4— 日本小說文庫(71)	菊半截	並製	115	二〇二	春陽堂	四月	▲小女郎狐、猫騒動、津の國屋。
岡本綺堂	半七捕物帳 —5— 日本小說文庫(84)	菊半截	並製	115	二〇二	春陽堂	四月	▲旅繪師、熊の夜籠、半鐘の怪、假面、少年少女の死。
岡本綺堂	半七捕物帳 —6— 日本小說文庫(85)	菊半截	並製	113	二〇二	春陽堂	五月	▲むらさき鯉、蝶合戰、春の雪解、お照の父の四篇。
岡本綺堂	半七捕物帳 —7— 日本小說文庫(88)	菊半截	並製	111	二〇二	春陽堂	五月	▲異人の首、冬の金魚、一つ目小僧、鷹のゆくへ等四篇を收めた捕物物語。

岡本綺堂	半七捕物帳 日本小說文庫(89)	菊半製	112	二一〇	春陽堂	五月	▲奥女中、松茸、雷獄と蛇、槍突き等四篇の捕物集。
岡本綺堂	半七捕物帳 日本小說文庫(129)	菊半製	103	二一〇	春陽堂	六月	▲三河萬歲、海坊主、狐と僧、筆屋の娘等四篇の捕物集。
岡本綺堂	半七捕物帳 日本小說文庫(130)	菊半製	113	二一〇	春陽堂	六月	▲朝顏屋敷、勘平の死、お化師匠、帶取の池等四篇の捕物集。
岡本綺堂	半七捕物帳 日本小說文庫(161) 11—11	菊半製	116	二一〇	春陽堂	五月	▲湯屋の二階、女行者、あま酒賣、石燈籠の四篇の捕物物語。
岡本綺堂	三浦老人昔話 日本小說文庫(115) 綺堂讀物集—1	菊半製	191	二一五	春陽堂	五月	▲桐畑の太夫、縫箔の血、人參、置いてけ堀落城の譜、權十郎の芝居外六篇の讀物集。
岡本綺堂	青蛙堂鬼談 日本小說文庫(116) 綺堂讀物集—2	菊半製	207	二一五	春陽堂	五月	▲青蛙神、利根の渡、兄弟の魂、蛍の眼、蛇精、清水の井、窯變外五篇の讀物集。
岡本綺堂	近代異妖篇 日本小說文庫(117) 綺堂讀物集—3	菊半製	233	二一五	春陽堂	五月	▲こま犬、異妖篇、月の夜がたり、水鬼、馬來俳優の死、停車場の少女外八篇の讀物集。
岡本綺堂	探偵夜話 日本小說文庫(118) 綺堂讀物集—4	菊半製	238	二一五	春陽堂	六月	▲火藥庫、劍魚、椰子の實、山の祕密、娘義太夫、穴、狸尼、狸の皮、百年前の黑手組
岡本綺堂	今古探偵十話 日本小說文庫(119) 綺堂讀物集—5	菊半製	206	二一〇	春陽堂	六月	▲ぬけ毛、女俠傳、蜘蛛の夢、慈悲心鳥、馬妖記、山椒魚、麻畑の一夜外三篇の讀物集。
鈴木泉三郎	お傳地獄 日本小說文庫(135)	菊半製	196	二一〇	春陽堂	七月	▲明治初年の名高い毒婦高橋お傳を描いた小說。
田中貢太郎	朱唇	四六上製入判	403	一、〇〇〇	朝日新聞社	十二月	▲週刊朝日に連載された維新頃に題材をとつた長篇小說。
村松梢風	清水の次郎長 日本小說文庫(49) 前篇	菊半製	272	二一五	春陽堂	二月	▲有名な俠客清水の次郎長を主人公とした長篇。
村松梢風	清水の次郎長 日本小說文庫(50) 後篇	菊半製	213	二一五	春陽堂	二月	▲後篇は森の石松の殺される處から始る。

村松梢風	人間飢饉 日本小說文庫(25)	菊半製	247	二一〇	春陽堂	四月	▲劍士平手造酒を主人公とした物語。
白井喬二	沈鐘と佳人 日本小說文庫(33)	菊半製	138	一一五	春陽堂	一月	▲沈鐘と佳人、愛月の殺人、湖上の武人等三篇收載。
白井喬二	第二の巖窟 日本小說文庫(10)	菊半製	148	一一五	春陽堂	二月	▲第二の巖窟、おぼろ俠談、明治の白影等を收む。
白井喬二	祖國は何處へ 日本小說文庫(63) 1—民人篇	菊半製	326	二一五	春陽堂	十一月	▲白井喬二の大長篇「祖國は何處へ」の第一卷民人篇を收む。
白井喬二	祖國は何處へ 日本小說文庫(64) 2—革新篇	菊半製	341	二一五	春陽堂	十一月	▲「祖國は何處へ」の第二卷革新篇を收む。
白井喬二	祖國は何處へ 日本小說文庫(65) 3—尖端篇	菊半製	382	二一五	春陽堂	十一月	▲「祖國は何處へ」の第三卷尖端篇を收む。
白井喬二	祖國は何處へ 日本小說文庫(66) 4—心影篇	菊半製	427	二一五	春陽堂	十一月	▲「祖國は何處へ」の第四卷心影篇を收む。
白井喬二	祖國は何處へ 日本小說文庫(67) 5—島嶼篇	菊半製	367	二一五	春陽堂	十一月	▲「祖國は何處へ」第五卷島嶼篇を收む。
白井喬二	祖國は何處へ 日本小說文庫(68) 6—海坂篇	菊半製	420	二一五	春陽堂	十二月	▲長篇祖國は何處への第六海奴篇を收載。
直木三十五	德川地獄圖解	四六上製入判	530	一、三五〇	改造社	五月	▲封建德川の强權の下に拉かれた駿河大納言忠長をめぐる犧牲者達を描ける長篇。
直木三十五	益滿休之介	四六製判	411	一、一〇〇	新潮社	七月	▲幕末より江戸城明け渡し迄の大變革を背景に益滿休之助の活躍を描く、戰爭と花附載。
直木三十五	明暗三世相 上卷	四六製入判	342	一、三五〇	改造社	九月	▲幕末佐幕の雄藩雜賀家の三男久伍とその許嫁小房を中心とした大衆小說。
直木三十五	楠木正成	四六製入判	528	一一〇	中央公論社	十一月	▲偶像視され化石視された六百年前の大忠心楠公を描ける歷史小說。

直木三十五	關ヶ原（日本小說文庫3）	並菊半截	358	三五 六	春陽堂	一月	▲關ヶ原合戰を描いた長篇。
直木三十五	敵討雜記帳 前篇（日本小說文庫55）	並菊半截	224	二五 四	春陽堂	三月	▲免許狀事件、血笑死笑、鰻で討つ、金が敵持ち餘した仇討、戀が敵外二篇を收む。
直木三十五	敵討雜記帳 後篇（日本小說文庫56）	並菊半截	199	二〇 四	春陽堂	三月	▲羅漢を見た爲に、淺香崩れ、大野九郎兵衞の思想、三人の相馬大作等を收む。
直木三十五	南國太平記 前篇（日本小說文庫46）	並菊半截	430	三五 六	春陽堂	七月	▲呪殺變以下刺客行。
直木三十五	南國太平記 中篇（日本小說文庫47）	並菊半截	447	三五 六	春陽堂	七月	▲南玉奮戰以下お爲派崩れ。
直木三十五	南國太平記 後篇（日本小說文庫48）	並菊半截	470	三五 六	春陽堂	八月	▲後篇は鷹野變、まんじ亂れ、其他。
直木三十五	死染血染 前篇（日本小說文庫192）	並菊半截	270	三〇 四	春陽堂	九月	▲長編大衆小說「死染血染」の前篇。
直木三十五	死染血染 後篇（日本小說文庫193）	並菊半截	263	三〇 四	春陽堂	十月	▲後篇は二つの不和、假乞ひ、こゝろ、東山颪、血染死染其他より成る。
大佛次郎	天狗廻狀	上函四六製入判	490	一、六〇 一二	新潮社	五月	▲山門、待伏せ、朝、木幡の殿、薄むらさき宗像近江守外五項よりなる大衆小說。
大佛次郎	鼠小僧次郎吉	上函四六製入判	446	一、五〇 一二	新潮社	七月	▲人情の怪盜鼠小僧次郎吉の眞面目を描ける長篇で、鼠、浪宅、追はれる男外十一項。
吉川英治	檜山兄弟 上卷	上函新菊製入判	482	二、二〇 一四	新潮社	七月	▲風雲急なる幕末の時代相を背景に錢屋五兵衞の遺兒檜山兄弟の動靜を描ける大衆小說。
吉川英治	菊一文字（日本小說文庫53）	並菊半截	352	三五 六	春陽堂	四月	▲菊一文字、邯鄲片手双紙、蜘蛛寶紅太郎、舛長天王、鐵砲巴、劍俠百花島。
吉川英治	江戸城心中 前篇（日本小說文庫140）	並菊半截	280	三〇 四	春陽堂	六月	▲唐棧の女以下、じやがたら風まで。

吉川英治	江戸城心中 後篇（日本小說文庫141）	並菊半截	261	三〇 四	春陽堂	六月	▲かげらふ秘室より始る。
吉川英治	かんかん蟲は唄ふ（日本小說文庫142）	並菊半截	216	二五 四	春陽堂	七月	▲かんかん蟲は唄ふ。
三上於菟吉	愛憎秘刄錄	上函四六製入判	543	一、七〇 一四	新潮社	八月	▲女俳句劍の中に生きて三分の俠氣と一點の素心を失はぬ早谷露滴の心中を描ける讀物。
三上於菟吉	淀君 前篇（日本小說文庫11）	並菊半截	371	三五 六	春陽堂	一月	▲淀君を描いた長篇で、前篇は「春宵怨念」以下「修法成就」まで。
三上於菟吉	淀君 後篇（日本小說文庫12）	並菊半截	392	三五 六	春陽堂	一月	▲後篇は「内籠禍」より始り淀君の最期までを收む。
三上於菟吉	清河八郎 前篇（日本小說文庫92）	並菊半截	434	三五 六	春陽堂	三月	▲幕末の偉人清河八郎を主人公とした長篇。
三上於菟吉	清河八郎 後篇（日本小說文庫93）	並菊半截	398	三五 六	春陽堂	三月	▲後篇は地獄變相より始り八郎の最期までを描く。
長谷川伸	小說集 濡れ闇の男	並四六製判	568	一、〇〇 一〇	中央公論社	四月	▲濡れ闇の男、胴を惜む物語、異人屋往來、黑髮白髮、番太夜話外小說十一篇。
長谷川伸	紅蝙蝠 前篇（日本小說文庫8）	並菊半截	299	三〇 六	春陽堂	二月	▲劍豪戸並長八郎の物語で、ウシ町喧嘩以下早桶詮議まで。
長谷川伸	紅蝙蝠 後篇（日本小說文庫9）	並菊半截	259	三〇 六	春陽堂	二月	▲後篇は「訣別」から始る。
長谷川伸	戸並長八郎 前篇（日本小說文庫44）	並菊半截	300	三〇 六	春陽堂	三月	▲劍俠戸並長八郎の物語。
長谷川伸	戸並長八郎 後篇（日本小說文庫45）	並菊半截	257	三〇 六	春陽堂	三月	▲後篇は下前の手から始る。
長谷川伸	瞼の母（日本小說文庫112）	並菊半截	236	二五 四	春陽堂	五月	▲瞼の母、人斬り伊太郎、戰爭行狀、惡には過ぎる、狐ざむらひ外二篇の讀物。

長谷川伸	沓掛時次郎（日本小說文庫111）	菊半截並製	183	三〇 四	春陽堂	五月	▲沓掛時次郎、夜もすがら検校、名人巾着切上野戰爭逸事、小林平八郎外三篇の讀物。
子母澤寛	彌太郎笠	四六判上製	378	一、五〇 一二	春陽堂	六月	▲彌太郎笠、天狗の安、鬼火等三篇を收めた大衆讀物集。
子母澤寛	菊五郎格子	四六判函入布装	504	一、五〇 一五	改造社	十二月	▲菊五郎格子、いざよい砧、次郎太川止め、新藤兄弟の四篇大衆小說。
子母澤寛	新選組物語（日本小說文庫24）	菊半截並製	144	二五 四	春陽堂	一月	▲隊士絶命記、人斬り鉄次郎、隊中美男五人衆、壬生心中、かくし女郎外一篇。
子母澤寛	さんど笠（日本小說文庫6）	菊半截並製	160	三〇 四	春陽堂	一月	▲定九郎の彌一、鄕土くずれ、人斬り林蔵、的場半次郎、裏切つた秋太郎、さんど笠。
子母澤寛	英五郎ふたり（日本小說文庫80）	菊半截並製	174	三〇 四	春陽堂	三月	▲御家人櫻、英五郎ふたり、黒髪磧、笹川の繁蔵、忠治御用辨外讀物一篇。
子母澤寛	投げ節彌之（日本小說文庫81）	菊半截並製	179	三〇 四	春陽堂	三月	▲投げ節彌之、紋三郎の秀、平親王將焼き。燃ゆる峠外讀物二篇。
子母澤寛	逃げる旗本（日本小說文庫82）	菊半截並製	176	三〇 四	春陽堂	四月	▲逃げる旗本、新徴組江戸時代、壬生心中、小笠原壹岐守と忠僕、新撰組開書。
子母澤寛	木曾路の鴉（日本小說文庫162）	菊半截並製	150	三〇 四	春陽堂	八月	▲木曾路の鴉、海棠やくざ、興津の新藏。
子母澤寛	無頼三代（日本小說文庫196）	菊半截並製	111	一五 二	春陽堂	九月	▲無頼三代、八木老人思出話の二篇。
子母澤寛	近世侠客ばなし（日本小說文庫161）	菊半截並製	205	三五 四	春陽堂	九月	▲小金井小次郎、以下五侠客物語。
土師清二	青頭巾	四六判上製	483	一、八〇 一二	新潮社	三月	▲天保時代の混沌たる世相を背景に複雑なる人間恩讐の褄を描ける讀物。
土師清二	砂繪呪縛 前篇（日本小說文庫18）	菊半截並製	319	四五 六	春陽堂	二月	▲平打の金簪以下泊まる氣か迄收載。
土師清二	砂繪呪縛 後篇（日本小說文庫19）	菊半截並製	325	四五 六	春陽堂	二月	▲後篇は、ほゝ笑む露路、から始る。
土師清二	女殺延命院（日本小說文庫43）	菊半截並製	294	三〇 六	春陽堂	三月	▲僧の子として生れ役者の子として育てられた丑之助が谷中延命院に入つての行跡迄。
土師清二	天保赤門黨 他三篇（改造文庫第二部195）	菊半截布装	468	五〇 六	改造社	十二月	▲大衆文藝天保赤門黨、斬れた竹光、舞鶴合戰、髪の長右衛門の四篇收載。
佐々木味津三	小說集 小笠原壹岐守	四六判並製	470	一、一〇 一〇	柳書房	七月	▲小笠原壹岐守、帶解け佛法、雪に憑かれた女、お犬様夜話外五篇の小說集。
佐々木味津三	まぼろし峠	四六判函入上製	667	一、八〇 一二	平凡社	三月	▲妻はあるか！以下二十項より成る幕末物。
佐々木味津三	まぼろし峠 前篇（日本小說文庫197）	菊半截並製	337	三五 四	春陽堂	十二月	▲明治維新當時を題材とした大衆時代小說の前篇。
佐々木味津三	まぼろし峠 後篇（日本小說文庫198）	菊半截並製	351	三五 四	春陽堂	十二月	▲大衆時代小說まぼろし峠の後篇で心の宿より大團圓まで收む。
佐々木味津三	右門捕物帳 1（日本小說文庫30）	菊半截並製	223	三五 四	春陽堂	二月	▲南蠻幽靈、生首の進物、血染の手形、青眉の女、笛の秘密、謎の八卦見。
佐々木味津三	右門捕物帳 2（日本小說文庫31）	菊半截並製	231	三五 四	春陽堂	二月	▲村正騒動、卍の文身、達磨を好く遊女、耳の無い浪人、身代り花嫁、青色の唇。
佐々木味津三	右門捕物帳 3（日本小說文庫32）	菊半截並製	227	三五 四	春陽堂	二月	▲足のある幽靈、曲藝三人娘、京人形大盡、七化け役者、蛇使ひ小町、明月一夜騒動。
佐々木味津三	右門捕物帳 4（日本小說文庫54）	菊半截並製	242	三五 四	春陽堂	二月	▲袈裟斬り太夫、千柿の鍔、妻戀坂の怪、因縁の女夫雛、幽靈水、直參八人組外一篇。
佐々木味津三	續右門捕物帳 1（日本小說文庫106）	菊半截並製	230	三五 四	春陽堂	四月	▲呪ひの藁人形、卒塔婆を祀つた米櫃、七七の橙、獻上博多人形、お蘭扱帯の秘密。
佐々木味津三	續右門捕物帳 2（日本小說文庫107）	菊半截並製	200	三五 四	春陽堂	四月	▲開運女人地藏、闇男、毒を抱く女、朱彫りの花嫁、死人風呂。

佐々木味津三	仇討五十三	日本小說文庫(37)	菊半截並製	166	三〇	四	春陽堂	四月	▲江川平太の仇討長篇物語。
佐々木味津三	旗本退屈男 前篇	日本小說文庫(77)	菊半截並製	181	三〇	四	春陽堂	五月	▲劍俠早乙女主水之介の物語で第一話より第五話まで。
佐々木味津三	旗本退屈男 後篇	日本小說文庫(78)	菊半截並製	203	三〇	四	春陽堂	五月	▲第六話「身延に現れた退屈男」以下五話。
佐々木味津三	神風時雨組	日本小說文庫(97)	菊半截並製	260	三〇	四	春陽堂	五月	▲神風時雨組、卍蜘蛛の二篇の讀物を收む。
佐々木味津三	風雲天満双紙	日本小說文庫(114)	菊半截並製	343	三五	六	春陽堂	五月	▲大鹽平八郎を中心とした物語。
佐々木味津三	天草美少年錄	日本小說文庫(125)	菊半截並製	318	三五	六	春陽堂	六月	▲美少年天草四郎時貞を中心に豐家の恩顧をうけた切支丹宗門の隱士達の大謀を描く。
邦枝完二	歌麿をめぐる女達	日本小說文庫(199)	菊半截並製	414	三五	四	春陽堂	十二月	▲浮世繪師歌麿を中心とした長篇。
邦枝完二	東洲齋寫樂	日本小說文庫(124)	菊半截並製	206	三五	四	春陽堂	六月	▲東洲齋寫樂、師走空、反逆者光秀等三篇を收めた讀物集。
國枝史郎	隱亡堀	日本小說文庫(5)	菊半截並製	216	三五	四	春陽堂	二月	▲隱亡堀、首頂戴、蜂飼の進四郎、廣重と遊女、五右衞門と新左、出世！出！外二篇。
平山蘆江	お岩長屋		四六判上製函入	712	一、二〇	一二	平凡社	三月	▲骨正月、枯れ柳、押入と葛籠、孕み女外廿六項より成る長篇讀物。
平山蘆江	西南戰爭 前篇	日本小說文庫(75)	菊半截並製	290	三〇	六	春陽堂	三月	▲殆んど史實に卽してまとめた西南戰爭の記錄で、前篇は西南戰爭の原因より。
平山蘆江	西南戰爭 後篇	日本小說文庫(76)	菊半截並製	312	三〇	六	春陽堂	三月	▲後篇は西南戰爭最初の口火を切つた熊本鎭臺攻擊より偉人西鄉の最後迄を收む。
平山蘆江	唐人船	日本小說文庫(79)	菊半截並製	306	三五	六	春陽堂	四月	▲蘆江氏の自叙傳的長篇小說。

本山荻舟	忠臣藏八景	日本小說文庫(99)	菊半截並製	147	二五	四	春陽堂	五月	▲一番槍一番太刀、戒名討入、お金配分、歸參浪人、臣節以上、兩國橋邂逅外二篇。
本山荻舟	一刀流物語	日本小說文庫(100)	菊半截並製	136	二五	四	春陽堂	五月	▲一刀流物語、二刀流物語。
矢田挿雲	澤村田之助 前篇	日本小說文庫(22)	菊半截並製	308	三〇	六	春陽堂	二月	▲役者の澤村田之助を主人公とした長篇。
矢田挿雲	澤村田之助 後篇	日本小說文庫(23)	菊半截並製	306	三〇	六	春陽堂	二月	▲後篇は田之助の最期まで收載。
本山荻舟	義人群像		四六判上製函入	513	一、八〇	一二	四條書房	三月	▲驛路、沼田城、茂左衞門登城外二十二項。
額田六福	諸國捕物帳	日本小說文庫(101)	菊半截並製	344	三五	六	春陽堂	五月	▲岡つ引きのお役者文三が稀代の女賊の後を追ふて諸國巡りの捕物物語。
額田六福	相馬大作	日本小說文庫(110)	菊半截並製	211	二五	四	春陽堂	五月	▲檜山騷動の主人公相馬大作の物語。
野村胡堂	錢形平次捕物控（二）	日本小說文庫(194)	菊半截並製	234	二五	四	春陽堂	九月	▲七人の花嫁、外七篇の捕物帖。
野村胡堂	錢形平次捕物控	日本小說文庫(28)	菊半截並製	262	二五	四	春陽堂	一月	▲金色の處女、振袖銀太、大盜懺悔、呪ひの銀簪、幽靈にされた女外捕物手柄話四篇。
下村悦夫	朱面組傳奇 前篇	日本小說文庫(108)	菊半截並製	352	三五	六	春陽堂	五月	▲朱面組の怪奇物語。
下村悦夫	朱面組傳奇 後篇	日本小說文庫(109)	菊半截並製	377	三五	六	春陽堂	五月	▲後篇は「黄金蟲」より始る。
群司次郎正	侍ニッポン	日本小說文庫(74)	菊半截並製	238	三五	四	春陽堂	四月	▲勤王武士新納鶴千代の物語。
田中惣五郎	與茂七		四六判上製函入	512	一、三〇	一二	朝日書房	四月	▲寶永の越後一揆を背景に描いた義民與茂七の物語で、お粥小屋、獄門外二十項。

三遊亭圓朝	日本小說文庫(200) 怪談牡丹燈籠	菊半截	173	二〇四	春陽堂 十一月
三遊亭圓朝	日本小說文庫(201) 業平文治漂流奇談	菊半截	182	二〇四	春陽堂 十二月
三遊亭圓朝	日本小說文庫(202) 安中草三 後開榛名梅香—前篇	菊半截	231	二五四	春陽堂 十一月
三遊亭圓朝	日本小說文庫(203) 安中草三 後開榛名梅香—後篇	菊半截	220	二五四	春陽堂 十一月

▲名人故三遊亭圓朝の一代の名作怪談牡丹燈籠を收む。

▲名人三遊亭圓朝の講談業平文治漂流奇談を收む。

▲名作講談安中草三、前篇を收む。

▲講談「安中草三」の後篇を收む。

探偵小說

大下宇陀兒	魔人	四六判 上圖入製	407	一、五〇 一〇	新潮社 八月
大下宇陀兒	蛭川博士	菊半截	366	三五六	春陽堂 三月
大下宇陀兒	恐怖の齒型	菊半截	335	三五六	春陽堂 六月
大下宇陀兒	決鬪介添人	菊半截	204	二〇四	春陽堂 六月
大下宇陀兒	宙に浮く首	菊半截	261	三〇四	春陽堂 十二月
江戸川亂步	孤島の鬼	菊半截	311	三〇六	春陽堂 一月
江戸川亂步	陰獸	菊半截	112	一〇二	春陽堂 一月
江戸川亂步	蟲	菊半截	193	二〇四	春陽堂 二月

▲魔人、恐るべき教師、死の愛慾、餓鬼道、魔法街外二篇の創作集。

▲都會の病氣以下十九章より成る怪奇小說。

▲長篇怪奇小說で、戯れより始る。

▲決鬪介添人、星史郎懺悔錄、碧漾莊の主人、光榮の柩、闇、銀座の妖婦。

▲探偵小說集で、宙に浮く首、黃昏の怪人、畫家の娘、罠、加納博士の恐怖外一篇。

▲岩屋島の諸戸屋敷を中心とした怪奇小說。

▲探偵作家大江春泥を主人公とした怪奇物語。

▲怪奇小說「蟲」及び「湖畔亭事件」の二篇を收む。

江戸川亂步	蜘蛛男	菊半截	302	三五六	春陽堂 三月
江戸川亂步	黃金假面	菊半截	281	三〇六	春陽堂 五月
江戸川亂步	一寸法師	菊半截	251	三五四	春陽堂 四月
江戸川亂步	獵奇の果	菊半截	242	二五四	春陽堂 六月
江戸川亂步	心理試驗	菊半截	151	一五四	春陽堂 六月
江戸川亂步	盲獸	菊半截	160	二〇四	春陽堂 十一月
甲賀三郎	盲目の目擊者	菊半截	229	二五四	春陽堂 三月
甲賀三郎	荒野の祕密	菊半截	182	二〇四	春陽堂 八月
甲賀三郎	血染のパイプ	菊半截 布裝	350	四〇四	改造社 十月
小酒井不木	戀愛曲線	菊半截	116	一五二	春陽堂 十二月
小酒井不木	疑問の黑枠	菊半截	263	三〇四	春陽堂 十二月
濱尾四郎	殺人鬼 前篇	菊半截	266	三〇四	春陽堂 七月
濱尾四郎	殺人鬼 後篇	菊半截	265	三〇四	春陽堂 七月

▲殘忍酷薄な蜘蛛男と探偵明智小五郎との深讐綿々たる鬪爭を描ける長篇。

▲怪奇小說「黃金假面」。

▲怪奇小說「一寸法師」及び「屋根裏の散步者」の二篇を收む。

▲長篇怪奇小說。

▲心理試驗、二錢銅貨、二廢人、一枚の切符、百面相役者、覆面の舞踏者等六篇。

▲變質的な主人公を題材とした奇怪な中篇探偵小說。

▲「盲目の目擊者」及「山莊の殺人事件」の二篇の探偵小說を收む。

▲荒野の秘密をめぐつての葛藤を描ける長篇

▲血染のパイプ、怪紳士の二篇の探偵小說を收む。

▲變愛曲線、癡人の復讐、秘密の相似、呪はれの家、鬪爭の五篇を收む。

▲故小酒井不木博士の長篇探偵小說。

▲美しき依頼人以下あらしの前まで。

▲第三の悲劇より始る。

濱尾四郎	日本小說文庫(173) 博士邸の怪事件	菊半截 並製	229	二五 四	春陽堂	十一月
横溝正史	日本小說文庫(173) 殺人暦 外三篇	菊半截 並製	223	二五 四	春陽堂	八月
水谷準	日本小說文庫(171) 殺人狂想曲 外二篇	菊半截 並製	259	二五 四	春陽堂	八月
夢野久作	日本小說文庫(228) 押繪の奇蹟	菊半截 並製	245	三〇 四	春陽堂	十二月
海野十三	日本小說文庫(227) 電氣風呂の怪死事件	菊半截 並製	259	三〇 四	春陽堂	十二月
佐々木俊郎	日本小說文庫(172) 假面の輪舞 外四篇	菊半截 並製	185	二〇 四	春陽堂	八月
直木三十五	日本の戰慄	四六判 上圖入製	428	一、五〇 一二	中央公論社	六月
海軍少佐 石丸藤太	太平洋戰爭	四六判 布裝	464	一、九〇 一〇	春秋社	十二月
海軍中佐 宮島惣造	太平洋擊滅艦隊	四六判 上製	261	一、二〇 八	文教科學協會	十月
海軍中佐 宮島惣造	太平洋の危機 陛下の艦隊とアメリカ	四六判 並圖入製	261	八〇 八	文教科學協會	七月
騎兵少佐 中山四郎	日米開戰と赤露の襲來	四六判 上圖入製	500	一、五〇 一〇	赤爐閣	五月
浦路耕之助	風雲急！俎上の日本	四六判 洋圖入布	385	一、五〇 一〇	日東書院	十二月

▲長篇探偵小說「博士邸の怪事件」と短篇「不幸な人達」の二篇を收む。

▲殺人暦、三本の毛髮外二篇。

▲殺人狂想曲、闇に呼ぶ聲、瀕死の白鳥。

▲押繪の奇蹟、あやかしの鼓、支那米の袋、死後の戀の四篇の探奇小說を收む。

▲電氣風呂の怪死事件、赤鑵事件の眞相、階段人造人間殺害事件外四篇の探偵小說集。

▲假面の輪舞、謀殺罪、密會綺譚外三篇。

戰爭小說・戰記文藝

▲政治、外交、經濟、科學等を取入れた昭和の戰爭小說で、廢人と其子供達外八項。

▲聯盟總會より日本對米英戰爭迄を取扱つた小說で、滿洲事變より太平洋戰爭へ外二篇。

▲第二次世界戰爭の序曲ともいふべき日米戰爭を取扱つた小說。

▲日米戰爭を取扱つた小說で、洋上の間諜戰外五十八章。

▲日米戰爭を題材とした長篇小說。

▲風雲急！俎上の日本、秘めたる戀の十三年の二篇の小說及び戲曲密偵躍る滿洲を收む。

中山四郎	滿洲事變の後に來るもの？	四六判 並製	358	一、〇〇 一〇	戸張書店	三月
平山壯太郎	13對1	四六判 上製	373	一、五〇 一〇	春秋社	一月
櫻井忠溫	肉彈	四六判 布裝	245	九〇 八	誠文堂	四月
櫻井忠溫	ガス・ますく	四六判 布裝	536	一、〇〇 一〇	誠文堂	四月
櫻井忠溫	日本小說文庫(42) 草に祈る	菊半截 並製	138	一五 四	春陽堂	一月
櫻井忠溫	日本小說文庫(160) 銃後	菊半截 並製	260	三〇 四	春陽堂	七月
櫻井忠溫	日本小說文庫(127) 煙幕	菊半截 並製	311	三五 六	春陽堂	六月
櫻井忠溫	日本小說文庫(159) 新編乃木將軍	菊半截 並製	164	二〇 四	春陽堂	七月
佐々木邦	日本小說文庫(34) 笑の王國	菊半截 並製	296	三〇 六	春陽堂	二月
佐々木邦	日本小說文庫(132) いたづら小僧日記	菊半截 並製	260	三〇 四	春陽堂	六月
山中峯太郎	人生突進記	四六判 並製	375	一、〇〇 八	新潮社	十一月
中村正常	日本小說文庫(188) 花嫁戲語	菊半截 並製	286	三〇 四	春陽堂	十月

▲朝北の嵐以下二十五項より成る戰爭小說。

▲昭和五十年以後の世界を描いた長篇小說で海底作業船、南北太平洋外十一項。

▲旅順役の辛慘を描ける實戰記で、戰友の血塊、肉彈又肉彈外廿六章。—普及版—

▲秘聞女軍事探偵、又一年、人造人間の戰爭村へ來る者外四十篇の讀物集。—普及版—

▲草に祈る、秘聞女軍事探偵、日探露探兩面男、女兵等を收む。

▲日露戰爭の回想錄。

▲白樺の森、先陣爭ひ、秩父の山うるはし其他收載。

▲芝居や映畫の乃木さん、實寫映畫、その姿凱旋服、一つの部屋其他。

諧謔小說・滑稽小說

▲或良人の慘敗、若い雜誌記者の話、一年の計、社長秘書の話外十二篇の諧謔小說集。

▲いたづら小僧日記、續いたづら小僧日記、おてんば娘日記。

▲山梨皆太郎の愚直なる突進ぶりを描いた長篇。

▲花嫁戲語、愛は表現、幸福な結婚、寒い夜の舞踏會、アパートの花嫁外八篇。

寺尾幸・夫	結婚適齢記	四六判上函入製	454	一、五〇 一二	非凡閣	九月
寺尾幸夫	細君解放記	四六判上製	415	一、七〇 一二	先進社	五月
寺尾幸夫	日本小說文庫(189) 細君解放記	菊半截並製	357	三五 六	春陽堂	十一月
寺尾幸夫	日本小說文庫(182) 愛は何所まで	菊半截並製	219	二五 四	春陽堂	九月
寺尾幸夫	日本小說文庫(183) 夫唱婦唱	菊半截並製	175	二〇 四	春陽堂	八月
岡本一平	日本小說文庫(184) どぜう地獄	菊半截並製	202	二五 四	春陽堂	九月
岡本一平	日本小說文庫(185) 刀をぬいて	菊半截並製	140	二〇 四	春陽堂	八月
細木原青起	日本小說文庫(191) 女房を拾ふまで	菊半截並製	148	二〇 四	春陽堂	十一月
和田邦坊	日本小說文庫(136) 女可愛いや	菊半截並製	170	二〇 四	春陽堂	九月
和田邦坊	日本小說文庫(195) 口笛吹いて百萬兩	菊半截並製	209	二五 四	春陽堂	十一月

▲結婚適齢記、細君新戰術、無產結婚、細君經濟私觀、細君に謝る外三篇の小說集。

▲夫から解放された妻、妻から解放された夫のモダンナ夫婦生活を描ける長篇。

▲細君を解放して意外の波瀾を生む長篇諷刺小說。

▲愛は何處まで、細君經濟私觀の二篇。

▲僚妻、鯛ちり、復興時代其他。

▲長篇「どぜう地獄」。

▲刀をぬいて、漫畫の世の中外二篇。

▲千萬長者の一粒種が女房を拾ふ迄外三篇の漫畫入滑稽小說。

▲漫畫入長篇「女可愛いや」。

▲邦坊自叙傳、用心棒、結婚申込秘訣五ヶ條春の夜の出來事外三篇。

情話・傳說・實話・漫談

大阪朝日新聞社編	山の傳說と情話	四六判並製	3.0	一、〇〇 八	大阪盛文館	七月
大阪朝日新聞社編	海の傳說と情話	四六判並製	334	一、〇〇 八	大阪盛文館	七月

▲金人と七人の姫君、アイヌ娘ユナミの戀、黑髮を梳く山姥外卅八篇。

▲鮑を怒らした戀の海女、五人の姫さまと五色石、白蛇岩の美しい男外五十篇。

山上雷鳥（本名藤木九三）	アルプス傳說集	地券版入 容洋布	148	一、二〇 一〇	大阪黑百合社	六月
山上雷鳥（本名藤木九三）	チロル傳說集	地券版入 容洋布	136	一、二〇 一〇	大阪黑百合社	十月
牧逸馬	世界怪奇實話全集(3) 戰爭とは何だ！	四六判上函入製	490	一、五〇 一二	中央公論社	七月
安藤盛	祖國を招く人々 ―女放浪者の聲―	四六判上製	408	一、七〇 一〇	先進社	九月
三角寬	昭和妖婦傳	四六判並製	373	一、二〇 八	新潮社	十一月

▲北方の龍、蟇の怪異、梟の魔法、ワッツ山上の鬼ソルシタインの妖魔ヴエニスの奇術師等

▲ローゼンガルテン物語クフシタインの塔硝子の山ビブルグ湖の異變等の歐洲山岳傳說集

▲アリゾナの女虎、八つ切られ三助、戰爭とは何だ、白日の幽靈外四篇の怪奇實話集。

▲海外を放浪してゐる無智な日本女の生活を描けるもので、祖國を招く人々外十篇。

▲母娘詐話師、淫虐美人、魔の令孃、山窩お良、阿片窟の女王外三篇の妖婦物語。

飜譯小說

ベックフォード作 矢野目源一譯	世界名作文庫(18) ヴアテック	菊半截並製	144	一五 二	春陽堂	十二月
チアールズ・ラム著 メアリ・ラム 野上彌生子譯	岩波文庫(817—819) 沙翁物語	菊半截並製	448	六〇 六	岩波書店	六月
ワイルド著 平田禿木譯	世界名作文庫(5) 深き淵よりの叫び	菊半截並製	104	一五 二	春陽堂	十月
デイツケンス作 矢口達譯	世界名作文庫(6) デヰッドの生立ち ―1―	菊半截並製	346	三五 六	春陽堂	十月
デイツケンス作 矢口達譯	世界名作文庫(7) デヰッドの生立ち ―2―	菊半截並製	330	三五 六	春陽堂	十一月
デイツケンス作 矢口達譯	世界名作文庫(8) デヰッドの生立ち ―3―	菊半截並製	332	三五 六	春陽堂	十一月
デイツケンス作 矢口達譯	世界名作文庫(9) デヰッドの生立ち ―4―	菊半截並製	330	三五 六	春陽堂	十一月

▲英文學史上の隱れた珍籍たるベックフォード作ヴアテニクの譯。

▲シエークスピヤの名作物語を譯せるものであらし、リア王外十八篇。

▲ワイルドの獄中記の譯。

▲デイツケンスの傑作「デヰットの生立」の譯で、私は生れる、寵を失ふ外十二項。

▲デイケンスの傑作「デヰット・コパフイールド」の全譯。第二卷。

▲前書の續きで此三卷には、第三十章損失以下四十四章世帶までを收む。

▲第四十五章「デイック君は伯母の豫言を遂げる」より大團圓までを收む。

著者・譯者	書名	體裁	頁數	定價	發行所	月	摘要
ブロンテ作 大和資夫譯	嵐が丘 前篇（世界名作文庫13）	並菊半截製	240	二五 四	春陽堂	十月	▲英國の女流作家エミリ・ブロンテの名作たる「ワザリング・ハイツ」の譯。
ブロンテ作 大和資夫譯	嵐が丘 後篇（世界名作文庫14）	並菊半截製	258	二五 四	春陽堂	十月	▲エミリ・ブロンテの名作「ワザリング・ハイツ」の後篇。
森村豐譯	ハーディ短篇集 幻想を追ふ女 他五篇（岩波文庫848―449）	並菊半截製	257	四〇 六	岩波書店	十月	▲幻想を追ふ女、妻ゆゑに、氣安めに、許されぬ願外二篇の短篇集。
ヂョイス作 森田草平・龍口直太郎・安藤一郎・名原廣三郎・小野健人・村山英太郎譯	ユリシーズ ―一―（岩波文庫800―801）	並菊半截製	333	四〇 六	岸波書店	二月	▲歐羅巴の一小都市ダブリンに於けるブルームの一日の經驗を記錄せるもの。第一部。
ヂョイス著 森田草平・龍口直太郎・安藤一郎・名原廣三郎・小野健人・村山英太郎譯	ユリシーズ ―二―（岩波文庫802―803）	並菊半截製	342	四〇 六	岩波書店	四月	▲ヂエイムズヂョイスの傑作の飜譯で、8より11まで收載註解。
森田草平・龍口直太郎・安藤一郎・名原廣三郎・小野健人・村山英太郎譯	ユリシーズ ―三―（岩波文庫804―805）	並菊半截製	273	四〇 六	岩波書店	八月	▲ヂョイスの傑作「ユリシーズ」の譯。
森田草平・名原廣三郎・龍口直太郎・小野健人・安藤一郎・村山英太郎譯	ユリシーズ ―四―（岩波文庫806―808）	並菊半截製	402	六〇 六	岩波書店	十二月	▲ユリシーズのクライマックスともいふべき第十五挿話を譯載。
ヂョイス作 小野松二・横堀富雄譯	若き日の藝術家の肖像	並四六製判	454	一、五〇 一二	創元社	十月	▲ジョイスの"Aportrait of the Artist as a yongman"の譯。
ジョイス作 永松定譯	短篇集（列國新文學研究・作品部(1)）	並四六製判	79	五〇 四	金星堂	十月	▲陰鬱、アラビイ、イイヴリン、土くれ、二人のしやれもの等五篇の短篇集。
ハックスレー作 永松定譯	戀愛双曲線 前篇（世界名作文庫11）	並菊半截製	390	四〇 六	春陽堂	十月	▲インテリゲンツイアを取扱つたハックスレーの小說「戀愛双曲線」前篇の譯。
ハックスレー作 永松定譯	戀愛双曲線 後篇（世界名作文庫12）	並菊半截製	365	四〇 六	春陽堂	十月	▲同じく「戀愛双曲線」の後篇。
ハクスレイ作 森本忠譯	チロツツオンの饗宴（列國新文學研究・作品部2）	並四六製判	47	五〇 二	金星堂	十月	▲ハクスレイの辛辣な鋭鋒を全篇に漲るユーモラスな氣分で包んだ小說。
ウルフ著 葛川篤譯	ウルフ短篇集（列國新文學研究・作品部(3)）	並四六製判	92	五〇 四	金星堂	十二月	▲ヴアジニヤ・ウルフの短篇集で、弦樂四重奏、幽靈屋敷、月曜か火曜外五篇。

著者・譯者	書名	體裁	頁數	定價	發行所	月	摘要
エドガア・ウオレス作 原寛一譯	インチキ一座（ホリデイ叢書）	並菊半截製	260	五〇 六	第一書房	八月	▲人を殺さない殺人犯、詩人巡査、インチキ一座、ラグビイ試合外四篇の短篇集。
ポオ作 佐々木直次郎譯	偸まれた手紙（ポオ小說全集3）	新四六判 背函革入	410	二、五〇 一〇	第一書房	五月	▲黃金虫、モルグ街の殺人事件、偸まれた手紙、お前が犯人だ外一篇譯述。
ポオ作 佐々木直次郎譯	妖精の島（ポオ小說全集4）	四六判 背函革入	372	二、五〇 一〇	第一書房	十一月	▲ハンス・プファアルの無類の冒險、妖精の島、メズメリズムの啓示外六篇の小說集。
ポオ作 森鷗外譯	病院横町の殺人犯 外二篇（世界名作文庫401）	並菊半截製	89	二五 二	春陽堂	八月	▲うづしほ、病院横町の殺人犯外一篇。
ロンドン作 堺利彥譯	野性の叫聲（世界名作文庫425）	並菊半截製	121	三〇 二	春陽堂	十二月	▲飼犬が祖先の野性の生活に復歸するまで動物心理を描寫した快作。
ロンドン作 淸水宜譯	アダム以前（世界名作文庫410）	並菊半截製	174	三〇 四	春陽堂	十一月	▲原始人の生活や爭鬪を題材としたジャックロンドンの快作。
ロンドン作 大江專一譯	月狀顏 外七篇（世界名作文庫420）	並菊半截製	207	二五 四	春陽堂	十一月	▲ジャック・ロンドンの短篇集で、月狀顏豹使の話、地方色素人の晩外三篇。
シンクレア作 前田河廣一郎譯	ジャングル 前篇（世界名作文庫408）	並菊半截製	249	二五 四	春陽堂	八月	▲シカゴのストックヤードの製肉方法を背景に描ける長篇。
シンクレア作 前田河廣一郎譯	ジャングル 後篇（世界名作文庫409）	並菊半截製	260	二五 四	春陽堂	八月	▲同後篇。
シンクレア作 早坂二郎譯	スパイ 前篇（世界名作文庫410）	並菊半截製	226	二五 四	春陽堂	八月	▲シンクレアの長篇「スパイ」の前篇。
シンクレア作 早坂二郎譯	スパイ 後篇（世界名作文庫411）	並菊半截製	220	二五 四	春陽堂	八月	▲同後篇。
フロイド・デル作 田坂誠晤譯	結婚せざる父	上四六製判	394	一、六〇 八	先進社	三月	▲現代の戀愛乃至結婚の形式、私生見問題に對する正しき認識等を取扱つた長篇。
ローマン・ガリ作 寺田鼎譯	暗殺引受業	並四六製判	414	一、四〇 一〇	新潮社	五月	▲爆彈と戀、革命とギロチンとの交錯せる實話小說で、青春、亡命外十五項。

森鷗外譯	佛蘭西短篇集	世界名作文庫(121)	並菊半製紙	235	二四五	春陽堂	九月	▲聖ジュリアン以下十四篇の短篇集。
メリメ作 生田長江譯	カルメン	世界名作文庫(114)	並菊半製紙	77	二〇二	春陽堂	八月	▲メリメの世界的作品「カルメン」の譯。
メリメ作 石川剛譯	チユルヂス伯爵夫人	世界名作文庫(108)	並菊半製紙	296	三〇五	春陽堂	十一月	▲メリメ作品中の最長篇「シヤルル九世年代記」の全譯。
スタンダール作 前川堅一譯	アルマンス	世界名作文庫(164)	並菊半製紙	259	二〇二	春陽堂	十二月	▲スタンダールの處女小說アルマンス（一八二七年に於ける巴里のサロン情景）の全譯。
スタンダール作 佐々木孝丸譯	赤と黒	世界名作文庫(105)	並菊半製紙	278	二〇三	春陽堂	九月	▲「赤と黒」前篇。
スタンダール作 佐々木孝丸譯	赤と黒	世界名作文庫(106)	並菊半製紙	271	二〇三	春陽堂	十月	▲「赤と黒」中篇。
スタンダール作 佐々木孝丸譯	赤と黒	世界名作文庫(107)	並菊半製紙	279	二〇三	春陽堂	十月	▲「赤と黒」後篇。
バルザック作 水野亮譯	「絶對」の探求	世界名作文庫(101)	並菊半製紙	320	二五三	春陽堂	九月	▲バルザックの傑作「絶對」の探求。
バルザック作 永戸俊雄譯	放蕩親爺	世界名作文庫(102)	並菊半製紙	348	二五三	春陽堂	九月	▲「從姉ベット」の前篇。
バルザック作 永戸俊郎譯	放蕩親爺	世界名作文庫(107)	並菊半製紙	438	二四六	春陽堂	十月	▲バルザックの傑作「放蕩親爺」の後篇。
ユーゴー作 江間俊雄譯	ノートルダムの傴僂男	世界名作文庫(109)	並菊半製紙	275	二四六	春陽堂	九月	▲「ノートルダムの傴僂男」前篇。
ユーゴー作 江間俊雄譯	ノートルダムの傴僂男	世界名作文庫(110)	並菊半製紙	282	二三四	春陽堂	十月	▲「ノートルダムの傴僂男」中篇。
ユーゴー作 江間俊雄譯	ノートルダムの傴僂男	世界名作文庫(111)	並菊半製紙	218	二三四	春陽堂	十月	▲「ノートルダムの傴僂男」後篇。

デュマ作 上於菟吉譯	モンテ・クリスト伯 前篇	世界名作文庫(126)	並菊半製紙	413	二四五	春陽堂	十月	▲デュマの傑作「モンテ・クリスト伯」前篇の譯。
デュマ作 上於菟吉譯	モンテ・クリスト伯 中篇	世界名作文庫(127)	並菊半製紙	342	二三五	春陽堂	十月	▲「モンテ・クリスト伯」中篇の譯。
デュマ作 上於菟吉譯	モンテ・クリスト伯 後篇	世界名作文庫(128)	並菊半製紙	461	二四六	春陽堂	十月	▲「モンテ・クリスト伯」の後篇。
ドーデー作 田沼利男譯	惡魔が淵	世界名作文庫(125)	並菊半製紙	100	一〇二	春陽堂	八月	▲サンド女史の傑作「惡魔が淵」の譯。
ミュッセ作 荻原厚生譯	ミユッセ小說集	世界名作文庫(135)	並菊半製紙	245	二〇三	春陽堂	十二月	▲フレデリックとベルヌレツト、テイテイアンの息子、エンムリヌ、クロアジルを譯載。
ドーデー作 佐藤一英譯	風車小屋だより	岩波文庫(830—831)	並菊半製紙	246	二四五	岩波書店	七月	▲ドーデーの出世作たるコント集で、ト居、法王の騾馬、二軒の茶屋外廿一篇。
フロオベル作 生田長江譯	サランボオ	世界名作文庫(112)	並菊半製紙	412	二四四	春陽堂	八月	▲フロオベルの傑作「サランボオ」の譯。
モオパツサン作 青柳瑞穗譯	モオパツサン短篇集	世界名作文庫(133)	並菊半製紙	219	二三四	春陽堂	十月	▲二人の友、父親、狂女、母親其他モオパツサンの短篇十一篇を收む。
モオパツサン作 高木安雄譯	吾等の心	世界名作文庫(115)	並菊半製紙	280	二三四	春陽堂	八月	▲モオパツサンの名作「吾等の心」の譯。
ゾラ作 江喬松譯	ルゴン家の人々 前篇	世界名作文庫(141)	並菊半製紙	240	二三四	春陽堂	十月	▲ゾラの名篇「ルゴン家の人々」の前篇。
ゾラ作 江喬松譯	ルゴン家の人々 後篇	世界名作文庫(142)	並菊半製紙	247	二三四	春陽堂	十月	▲「ルゴン家の人々」後篇。
ゾラ作 齋藤一寬譯	居酒屋 前篇	世界名作文庫(139)	並菊半製紙	331	二三六	春陽堂	十二月	▲ルーゴン・マッカール叢書中の傑作居酒屋の譯。前篇を收む。
ミルボオ作 岡野かをる譯	小間使の日記 前篇	世界名作文庫(116)	並菊半製紙	226	二三四	春陽堂	九月	▲「小間使の日記」前篇。

ミルボオ作 岡野かをる譯	小間使の日記	及短篇	菊半製	261	三四〇	春陽堂	九月	▲「小間使の日記」後篇。
ブウルジエ作 木村太郎譯	裁く人	世界名作文庫(171)	菊半製	89	一〇	春陽堂	九月	▲ブウルジエの代表的傑作「裁く人」。
フランス作 岡野馨譯	エス・ボナールの罪	世界名作文庫(118)	菊半製	212	二四五	春陽堂	八月	▲長篇「エスボナールの罪」の譯。
フランス作 石川淳譯	赤い百合	世界名作文庫(119)	菊半製	338	三五五	春陽堂	九月	▲フランスの傑作「赤い百合」。
フランス作 杉捷夫譯	人間悲劇	世界名作文庫(135) 外十篇	菊半製	191	二一〇	春陽堂	十月	▲人間悲劇、黒パン、舌のバテ、リケ感想錄ナヴラン、ロマンテイスム外五篇。
フランス作 村田義雄譯	血に飢えた神々	世界名作文庫(15)	菊半製	335	三五五	春陽堂	十一月	▲佛蘭西革命時代の委を描いたアナトール・フランスの長篇小說。
フランス作 森丘次郎譯	血みどろな道化師	世界名作文庫(143)	菊半製	297	三五五	春陽堂	十一月	▲一人の女優を爭ふ二人の男の物語。
レニエ作 矢野目源一譯	ド・ブレオ氏の戀愛行狀記	世界名作文庫(134)	菊半製	263	三一〇	春陽堂	十一月	▲青年貴族のド・ブレオ氏の巴里に於ける情痴を描いた長篇。
フイリップ作 堀口大學譯	フイリップ短篇集	世界名作文庫(122)	菊半製	199	二一〇	春陽堂	八月	▲慈善、獅子狩、食人人種の話、外九篇。
ジロドウ作 堀口大學譯	パリユウド	世界名作文庫(112)	四六判製	203	一、七〇〇 六	第一書房	七月	▲パリ市井の平凡人を主人公とせる哲學的な長篇小說。—普及版—
バルビュッス作 佐々木孝丸譯	クラルテ	世界名作文庫(129)	菊半製	405	四六〇	春陽堂	十月	▲バルビュッスの傑作「クラルテ」を收めたもの。
ジツド作 大久保洋譯	プロメラ	世界名作文庫(132)	菊半製	81	一〇 二	春陽堂	九月	▲ジツドの名作「プロメテ」を收む。
コクトオ作 河盛好藏譯	山師トマ	世界名作文庫(136)	菊半製	126	一五五 二	春陽堂	十月	▲ジヤン・コクトオの「山師トマ」の譯。

江口清譯	ロビンソン	四六信判	38	一〇〇〇 一〇	蕉木家	十月	▲ドニイズの譯で、試驗座別證添込白紙を用ひた限定版。
堀口大學譯 青柳瑞穗	仇ごころ ヴアルリイ・ラルボオ	四六判製	209	一、〇〇〇 八	第一書房	十月	▲ヴアルリイ・ラルボオの「仇ごころ」の譯—普及版—
ケツセル作 堀口大學譯	晝顏	四六判製	299	一、〇〇〇 八	第一書房	五月	▲晝の實笑婦、實は上流夫人の靈と肉慾の恐るべき離隔を主題とした長篇小說。
ルイ・エモン作 信一郎譯	マリア・シヤプドレーヌ	四六判製	219	今 六〇	改造社	七月	▲美しい孃マリアを中心にカナダの自然力と鬪ふ開拓者の一家を描いた長篇小說。
モリース・デコブラ著 永渕漠譯	ダイアナ婦人と十三人目の男	四六判上製入製	358	一、一〇〇 一〇	先進社	三月	▲『ダイアナ夫人』三部作中の第三篇「吐火獅のゴンドラ」の譯。
ミシエル作 田邊孝譯	もんばるの	四六判製	363	一、七〇〇 八	第三書院	十二月	▲大戰後のモンパルナス美術家の生活を描いた小說。
シヨワジ作 井澤潔譯	獄中性愛記錄	四六判製	246	一、〇〇〇 六	風俗資料刊行會	六月	▲訪問時間、男子刑務所に於けるフイリエール、女子刑務所外三章。—普及版—
ダヌンチオ作 生田長江譯	死の勝利	菊半製	438	四〇〇 六	春陽堂	八月	▲ダヌンチオの名作「死の勝利」の譯。
イバニエス作 永田寬定譯	血と砂	世界名作文庫(413) 前篇	菊半製	269	三〇〇 二	春陽堂	十二月	▲鬪牛士ガリヤルドを主人公としたイバニエスの長篇小說。前半五章を收藏。
森鷗外譯	獨逸短篇集	世界名作文庫(212)	菊半製	220	二五〇 四	春陽堂	八月	▲はげあたま、わかれ外短篇十五篇。
ゲーテ作 佐藤通次譯	ヘルマンとドロテア	岩波文庫(838)	菊半製	154	三〇 四	岩波書店	九月	▲革命時にドイツに入つた悲慘な行列の思ひ出や其他を取扱つたゲーテの敘事詩。
ゲーテ作 柴田豐吉譯	ヘルマンとドロテア	世界名作文庫(302)	菊半製	80	一〇 二	春陽堂	八月	▲名作「ヘルマンとドロテア」の譯。
クライスト作 相良守峯譯	聖ドミンゴ島の婚約	世界名作文庫(214) 外五篇	菊半製	179	二三〇 四	春陽堂	十一月	▲クライストの小說、聖ドミンゴ島の婚約、拾ひ子、O侯爵夫人外三篇譯載。

ハイネ作 石中象治譯	世界名作文庫（22） 北海・觀想	菊半截 並製	158	三〇 四	春陽堂	十一月	▲一八二七年ハイネが「旅行記」第二卷として出した「北海」「觀想」の二篇を譯載。
ズーデルマン作 相良守峯譯	世界名作文庫（218） 憂愁夫人	菊半截 並製	330	三五 六	春陽堂	十月	▲獨乙自然派の代表作家ズーデルマンの名作「フラウ・ゾルゲ」の全譯。
ズーデルマン作 生田長江譯	世界名作文庫（208） 消えぬ過去 前篇	菊半截 並製	384	四〇 六	春陽堂	八月	▲傑作「消えぬ過去」の前篇。
ズーデルマン作 生田長江譯	世界名作文庫（209） 消えぬ過去 後篇	菊半截 並製	388	四〇 六	春陽堂	八月	▲同後篇。
シュニッツラー作 山本有三譯	世界名作文庫（206） 盲目のゼロニモとその兄 外五篇	菊半截 並製	159	二五 四	春陽堂	八月	▲盲目のジェロニモとその兄外五篇。
ウェルフェル作 笹澤美明譯	世界名作文庫（216） 或る人間の秘密	菊半截 並製	248	三五 四	春陽堂	十一月	▲獨逸表現派の巨匠ウェルフェルの「或る人間の祕密」「罪は殺した者にある」を譯載。
ウェークネル作 三井光彌譯	下から見た世界	四六判 並製	310	一、〇〇 八	第一書房	九月	▲始めて歩き出してより自我意識が目覺める迄の幼兒の生活を描寫せる小說。—普及版—
バウム作 新居格譯	グランドホテル	四六判 並製	511	一、二〇 八	創建社	二月	▲ホテル內に於ける一週間の絢爛多彩なる人生構圖を描ける長篇。
バウム作 牧逸馬譯	グランドホテル	四六判 上製函入	699	一、七〇 一四	中央公論社	十月	▲グランド・ホテルが呑吐する愛慾事業詐欺殺人等一切の秘密を描ける長篇小說。
ステルン作 永田逸郎譯	戀愛參謀本部	四六判 上製	300	一、三〇 一〇	先進社	五月	▲戀愛、女、男女兩性間の關係交渉に關する研究觀察を逸話物語の形式にて發表せる書。
モルナアル作 鈴木善太郎譯	お互に愛したら	四六判 並製	275	一、〇〇 八	第一書房	九月	▲帽子ピン、奥さんを警戒なさい、お互に愛したら。外套外廿四篇。—普及版—
シエンキーウキッツ作 内田魯庵譯	世界名作文庫（407） 二人畫工	菊半截 並製	133	二五 二	春陽堂	九月	▲二人畫工、十字架のエスの二篇を收錄。
森鷗外譯	世界名作文庫（317） 露西亞短篇集—I—	菊半截 並製	217	三五 四	春陽堂	十月	▲ぬけうり、馬鹿な男、馬丁、パアテル セルギウス等五篇の露西亞短篇集。

森鷗外譯	世界名作文庫（318） 露西亞短篇集 第二篇	菊半截 並製	216	三五 四	春陽堂	九月	▲樺太脫獄記以下十篇の短篇集。
プーシュキン作 熊澤復六譯	世界名作文庫（324） 大尉の娘	菊半截 並製	204	三〇 四	春陽堂	十月	▲プーシュキンの傑作「大尉の娘」の譯。
プーシュキン作 伊藤職雄譯	世界名作文庫（343） 吹雪 外四篇	菊半截 並製	112	二五 二	春陽堂	十二月	▲棺桶屋、驛長、百姓令嬢、決鬪、吹雪の五篇を譯載。
ゴンチャロフ作 山内封介譯	世界名作文庫（337） オブローモフ 第一篇	菊半截 並製	268	三〇 二	春陽堂	十二月	▲ゴンチャロフの代表的傑作で十餘年前の譯を訂正改譯せるもの。
ツルゲーネフ作 熊澤復六譯	世界名作文庫（305） 貴族の家	菊半截 並製	262	三五 四	春陽堂	九月	▲ツルゲーネフの名作「貴族の家」。
ツルゲーネフ作 米川正夫譯	世界名作文庫（321） その前夜	菊半截 並製	252	三五 四	春陽堂	十月	▲ロシヤ社會組織の癌であつた農奴制度徹廢の前夜を描ける長篇小說。
トルストイ作 米川正夫譯	岩波文庫（841—842） 幼年時代	菊半截 並製	227	四〇 四	岩波書店	九月	▲長篇「幼年時代」。
トルストイ作 米川正夫譯	岩波文庫（843） 少年時代	菊半截 並製	135	三〇 四	岩波書店	九月	▲長篇「少年時代」。
中村白葉譯	岩波文庫（846） トルストイ民話集 人は何で生きるか 他四篇	菊半截 並製	156	三〇 四	岩波書店	九月	▲人は何で生きるか、火を粗末にすると、愛のあるところに神あり外二篇。
中村白葉譯	岩波文庫（847） トルストイ民話集 イワンの馬鹿 他八篇	菊半截 並製	171	三〇 四	岩波書店	九月	▲イワンの馬鹿とその二人の兄弟、鷄の卵ほどの穀粒、三人息子外六篇の民話集。
トルストイ作 内田魯庵譯	世界名作文庫（301） 復活 前篇	菊半截 並製	308	三五 四	春陽堂	九月	▲「復活」の前篇。
トルストイ作 内田魯庵譯	世界名作文庫（302） 復活 後篇	菊半截 並製	394	四〇 六	春陽堂	九月	▲「復活」後篇。
米川正夫	戰爭と平和物語	四六判 上製函入	373	一、六〇 一二	岩波書店	五月	▲不出世の文豪トルストイの最大傑作「戰爭と平和」の梗概を傳へた物語。